

広島大学文書館蔵

# 濱本博登関係文書目録

補訂版

令和3年3月

広島大学文書館



# 広島大学文書館所蔵濱本博登関係文書目録

## 目 次

解題（小池聖一）	i
凡例	v
<b>濱本博登文書</b>	<b>1</b>
1. 個人・履歴関係等	1
(1) 個人・履歴関係	1
(2) 手帳	3
(3) 写真・アルバム	4
2. 書類	5
(1) 戦前	5
①呉海軍工廠時代、②三菱重工長崎造船所時代	
③三菱重工広島造船所時代	
(2) 広島大学関連	8
①研究ノート、②研究資料、③教材、④指導	
⑤試験、⑥参考資料、⑦その他	
(3) 海難審判関係	24
(4) 技能検定・溶接技関係	31
(5) その他	32
3. 書籍等	33
4. 追補（平成31年度追加寄贈）	37
<b>呉市海事歴史科学館長期貸借資料</b>	<b>41</b>
1. 個人・履歴関係等	41
(1) 個人・履歴関係	41
(2) 手帳	41
2. 書類	43
(1) 戦前	43
①東京帝国大学工科大学船舶工学科時代、②呉海軍工廠時代	
③三菱重工長崎造船所時代、④広島工業専門学校時代	

(2) 広島大学関連	44
①研究ノート、②研究資料、③教材、④指導	
⑤試験、⑥参考資料、⑦その他	
(3) 海難審判関連	69
(4) 技能検定・溶接技関係	71
(5) その他	72
3. 書籍等	73
4. 物品	111
<b>濱本家文書</b>	113
1. 網元関係	113
2. 教育・文化関係	117
<b>中村光子文書</b>	119
おわりに	123

## 濱本博登関係文書解題

広島大学文書館

小池 聖一

### はじめに

濱本博登広島大学名誉教授（以下、濱本先生と略記）は、呉鎮守府を臨む呉市広長浜で明治 43 年 3 月 24 日に生まれられた。実家が網元であり船に親しまれた濱本先生が、当時の造船技術の粋を集めた軍艦に魅せられ、造船学・船舶工学の道を歩まれたのも、自然であったのかもしれない。

濱本先生は広島第二中学校、旧制第六高等学校をへて、東京帝国大学工科大学船舶工学科に進学され、昭和 8 年(1933 年)に卒業。その後、呉海軍工廠に勤務、昭和 11 年 8 月 8 日付で三菱長崎造船所技師とられた。昭和 12 年 10 月から同 17 年 11 月まで海軍艦政本部に嘱託として勤務している。昭和 19 年 3 月より三菱重工業広島造船所において戦時標準輸送船の設計等を担当された。

この過程で、濱本先生は軍艦の線図等を先輩の造船官等から譲られた。敗戦後、昭和 20 年 9 月 20 日付の軍備撤廃要領に基づき、旧海軍艦政本部が所蔵していた膨大な設計図が全て焼却されたなかで、濱本先生が所蔵された各種線図は貴重な一級資料である。また戦時体制のもと、濱本先生は技師として、船舶基本設計、船体局部強度、艤装、復原性、溶接工学など造船学・船舶工学に関する広範な分野を実地に学ばれた。この実地での経験が後に各分野における研究を生み出し、それを総合した船体構造用肘板に関する一連の研究では、国際的にも高い評価を受けられたのであった。

そして昭和 20 年 12 月、自ら広島原爆を体験されたなか、広島工業専門学校造船科の教員として赴任され、その再建に尽力されるとともに、昭和 26 年 3 月、新制広島大学工学部船舶工学科教授となり、自らの経験に裏付けされた親身な指導をされた。昭和 48 年 3 月、広島大学工学部教授として定年を迎えられるまでの 28 年間、各界で活躍する 700 名にのぼる卒業生を輩出されたのであった。また、その専門性を生かして海難審判の各種事件の原因鑑定なども行われた。広島大学定年後、長崎造船大学教授に就任され、同大学は昭和 53 年 7 月に名称変更で長崎総合大学となったが、引き続き同大学教授として勤め、昭和 55 年 3 月大学を退職。その後、御病気となり、昭和 56 年 5 月 26 日に亡くなられた。同日、勲三等旭日中授章を贈られている。

### 濱本博登関係文書の来歴

濱本博登関係文書は、平成 21(2009)年 3 月 30 日に茂里一紘広島大学名誉教授をへて、広島大学時代の講義ノート等の寄贈（第一次）を濱本隆夫氏より受けた。その後、平成 22 年 4 月 5 日に戦後の造船学関連の資料等の寄贈を受けた(第二次)。同年 5 月 10 日に呉市広長

浜の濱本邸に伺い、書齋・蔵などを見せていただき、戦前戦後の資料を(第三次)、平成 24 年 9 月 14 日に個人履歴・濱本家関係資料の寄贈を受けた(第四次)。さらに平成 25 年 9 月 11 日に寄贈(第五次)を受けた。これらの過程で受け入れた資料について、平成 29 年 12 月に目録を刊行したが、新たに平成 31 年 4 月に濱本隆夫氏より資料の追加寄贈を受けた。

また濱本隆夫氏から呉市海事歴史科学館(大和ミュージアム)に寄贈された資料 2,599 点(文書等 1,148 点、図書 624 点、雑誌 786 点、物品 41 点)について、戸高一成館長の御厚意もあり、広島大学文書館に長期貸借を受けた。これにより濱本博登関係文書が基本的に整備されることとなった。

この寄贈の過程は、濱本博登先生の御遺族、望月昌子様、中村光子様、寄贈者・濱本隆夫様がともに広島大学の御出身ということと、工学部長等を歴任された広島大学名誉教授茂里一紘先生の御尽力、ご遺族のなかでも中村光子様のご厚意・ご尽力により完成することができた。

なお、呉市海事歴史科学館には、広島大学より 3000t 大型強度試験機が移されている(平成 23 年 7 月)。この強度試験機は、ドイツから昭和 9 年に輸入され、旧呉海軍工廠に設置されて戦艦大和等の艦体強度試験に使われ、戦後、鉄道技術研究所に移管してからは新幹線車両連結器などの強度試験に使われたものである。また、濱本先生の尽力により、昭和 43 年、本学に移管してからは瀬戸大橋や明石海峡大橋の構造物の強度試験などにも使われた。

なお、本資料については、呉市海事歴史科学館及び広島大学大学院工学研究科と共催で、平成 24 年 10 月 30 日から翌月 5 日までの 7 日間、広島大学図書館で特別企画展示「昭和の造船教育者・濱本博登」を行っている。

本濱本博登関係文書は、戦艦大和の建造に代表される戦時日本の造船技術の発展が、教育面でも戦後日本の造船業に寄与し、大学教育のなかで生かされていったのかを、濱本博登先生の事績を通じて明らかにするものである。

これまで、戦前期日本の造船技術における一つの頂点として戦艦大和の建造が位置づけられ、船舶設計、生産管理技術等、戦後日本の造船界の興隆にいかに関与したのかが多くの文献等によって明らかにされてきた。しかし、その造船界を支えた人々を送り出す教育面での貢献についての研究は多くない。本目録の公開を通じて、戦時造船の教育面での貢献について、その一端を明らかにすることができることを期待している。

## 濱本博登関係文書の内容

濱本博登関係文書は、広島大学文書館が所蔵する濱本博登文書、濱本家文書、中村光子文書、および呉市海事歴史科学館長期貸借資料から構成される。以下、それぞれの文書につき解説する。

## 濱本博登文書、呉市海事歴史科学館長期貸借資料

### 1. 個人・履歴関係等

個人・履歴関係等には、濱本先生の履歴関係書類（履歴書・功績調書、各種辞令、成績、旧制六高時代のノートも含まれている）が含まれる。特に六高の講義ノートは、旧制高校の講義内容が理解できる貴重な資料である。また手帳、写真・アルバム等も含まれている。

### 2. 書類

#### （1）戦前

##### ①呉海軍工廠時代

東京帝国大学工学部造船学科卒業後、濱本先生は徴兵を挟んで呉海軍工廠製図工場・造船実験部・造船研究部に勤務した。この時、戦艦大和の建造にもかかわったと言われている。豊後水道を公試運転中の戦艦大和の写真は有名であるが、これは濱本先生旧蔵のガラス乾板写真である（遺族が保存）。呉時代、濱本先生は艦艇建造における電気溶接について研究している。

##### ②三菱重工長崎造船所時代・海軍艦政本部業務嘱託期（昭和12年10月～昭和19年1月）

濱本先生は、海軍艦政本部に嘱託とし戦時標準輸送船の設計および実験で関与した。また三菱長崎造船所時代（昭和17年11月～同19年2月）、濱本先生は、三菱長崎工業青年学校（明治37年(1899年)創立、昭和10年に青年学校に改組）で造船学の教鞭をとっていたと考えられる。長崎工業青年学校での経験は、後に広島大学工学部等での教育の原型をなすとともに、次世代の人材育成という教育の重要性を認識させたことであろう。そして、この経験が敗戦後、三菱重工業を退社し、広島工業専門学校（広島大学工学部の前身）で教鞭をとることを決意させたと言える。

##### ③三菱重工業広島造船所期（昭和19年2月～昭和20年11月）

広島造船所において濱本先生は、技術部造船設計課に勤務し、船殻係長兼資材係長、造船設計課長として勤務していた。

#### （2）広島大学関連

本項目は、広島大学での教育・研究資料で構成されている。具体的に、内容から、①研究ノート、②研究資料、③教材、④指導、⑤試験、⑥参考資料、⑦その他、に分類した。

敗戦後、昭和20年12月に、濱本氏は、広島工業専門学校の教員として赴任。以後、昭和24年の新制広島大学の発足にあたり船舶工学科（現在の大学院工学研究科輸送・環境システム専攻）の教員として学生の指導にあたられた。その豊富な経験に裏打ちされた親身な指導は、各講義ノートから理解できる。

#### （3）海難審判関連

濱本先生は、カーフェリーさいとぼる、小型客船第五北川丸などの海難事件について、その転覆原因の鑑定にあっている。

#### （4）技能検定・溶接技関係

海技試験、溶接技術等の試験問題・検定関係の資料が所収されている。

(5) その他

### 3. 書籍等

造船工学等、広島大学で研究・教育に使用した書籍及び冊子等で構成されている。

#### 濱本家文書

濱本家は呉市広長浜の網元であった。本項目には、幕末から昭和戦前期までの濱本家が蔵に所蔵していた資料を1. 網元関係、2. 教育・文化関係に分けて採録した。必ずしもすべてが揃っているわけではないが、土地証書、「掛金受取証」「漁網御荘売捌帳」、書付、帳簿等が含まれている。

#### 中村光子文書

濱本先生の次女、中村光子氏の履歴書、通知表（目録には掲載するが非公開）、時間割、呉三津田高校時のノート、広島大学文学部のノート等が含まれている。

## 凡例

1.本目録は、広島大学文書館に寄託された濱本博登関係文書の目録である。

2.本目録に採録した資料の中には、国籍・職業・身体・性別等による差別的表現・記述や、プライバシーを侵害する可能性のある記述がある。しかし、歴史的事実を正確に記録し、かつ科学的な歴史研究を推進することによって、基本的人権の擁護を図ることを目的として採録した。資料の利用に当たっては、この趣旨を理解された上で調査・研究に役立てることをお願いしたい。

3.原則として字体は「常用漢字表」中の字体を用いた。また、判読困難なものについて「□」で表記した。

4.目録の各項目は次の通りである。

### (1)番号

濱本博登文書・呉市海事歴史科学館長期貸借資料・濱本家文書・中村光子文書それぞれに付与された通し番号である。

### (2)所蔵

濱本博登文書は、濱本隆夫氏から広島大学に寄贈された文書群であるが、本来、呉市海事歴史科学館の所蔵となっている資料が一部含まれている。これらは、はじめ海事歴史科学館に譲渡されたのち、何らかの理由で再び隆夫氏の手元に戻ったものであると推測される。したがって、これらの資料については所蔵の権利が海事歴史科学館にあるため、「呉」との表記を行うことで所蔵元の違いを明示することとした。

### (3)件名

件名は表題や文書名などを採録した。原文書からそのまま使用したものは「」で囲んで表記している。

### (4)作成年月日

資料が作成された年月日を和暦で採録した。採録者の推定で判断した部分は（）で囲んで表記した。

### (5)作成（発信→受信）

資料の作成者（発信者・受信者）で判明するものを可能な限り採録した。発信者と受信者は矢印で結んだ。発信者のみ判明する場合は発信者のみを、受信者のみ判明する場合は矢印と受信者を表記した。採録者の推定で判断したものは（）で囲んで表記した。複数名の場合は並列表記している。

### (6)形態

基本的に用紙の大きさ（B4、A4、〇〇×〇〇cm等）、紙質（洋紙、わら半紙、タイプ用紙

等)、数量、記述・記述の方法(黒ペン書、コピー等)、綴じ方(ホッチキス、クリップ等)を可能な限り採録した。

(7)備考

書き込み等、他の項目で採録できなかった事項のうち、資料の性格を理解する上で必要と思われるものを採録した。

5. 補訂版の編集は伊東かおり(文書館助教)が担当し、酒井真、水野椋太、清水俊希、何家豪の協力を得た。

# 濱本博登文書



# 1. 個人・履歴関係等



# 1. 個人・履歴関係等

## (1) 個人・履歴関係

番号	所蔵	件名	作成年月日	作成(発信→受信)	形態	備考
1	呉	「卒業証書」	昭和2年3月2日	広島県立広島第二中学校長正六位勲六等泉英七	29×38cm,1	
2	呉	学校教練検定合格「証明書」	昭和2年3月2日	広島県立広島第二中学校配属将校陸軍歩兵少佐佐六位勲五等安岡林	27×20cm,1	
3		「地方在住者入門許可状」	昭和4年7月14日	講道館	28×20cm,1	
4		入段書申請書類	昭和5年1月12日	東京市小石川下富坂町十八番地講道館幹事	24×33cm,1	
5		賞状筒(丸筒)「大学」			1	破損,表面剥離
6	呉	「卒業証」	昭和5年3月13日	第六高等学校長正四位勲二等岡野義三郎	29×37cm,1	
7		賞状筒(丸筒・ワニ皮模様・黒)			1	「東京帝国大学成績表等」と記載の貼紙あり
8		東京帝国大学工学部学士試験及び論文合格証明書	昭和8年3月31日	東京帝国大学工学部長田中芳雄	29×40cm,1	
9	呉	東京帝国大学工学部学士試験合格証明書	昭和8年3月31日	東京帝国大学工学部長正四位勲二等工学博士工学士田中芳雄	42×52cm,1	
10	呉	給与辞令,職務辞令	昭和10年,11年		28.5×19.5cm和紙3	浜本博登氏海軍省辞令2枚,三菱重工業辞令1枚
11	呉	陸軍歩兵少尉任命書	昭和12年3月31日	内閣総理大臣正三位勲一等四級林銑十郎	23×30cm,1	
12		辞令綴	昭和19～54年		B5冊子1	広村軍人優待会からの褒状(昭和12年)1枚,三菱重工業株式会社からの辞令(昭和19年)1枚の挟込あり
13		辞令綴 委嘱など	昭和33～54年		B5冊子1	浜本房子宛入江神社奉納寄付金受納書(昭和62年)1枚の挟込あり
14		辞令綴	昭和55年		B5冊子1	綴じなし
15		賞状筒(丸筒・ワニ皮模様・茶)			1	
16		「通告表」	大正5～6年	広南尋常高等小学校 溝本一美	21×14cm,1	
17		「賞状 学業優等 一学年間精勤 三等賞」	大正6年3月28日	広南尋常高等小学校	20×25cm,1	
18		「通告表」	大正6～7年	広南尋常高等小学校 溝本一美	21×14cm,1	
19		「賞状 操行佳良 学業優等 一学年間精勤 一等賞」	大正7年3月28日	広南尋常高等小学校	20×25cm,1	
20		「通告表」	大正7～8年	広南尋常高等小学校 溝本一美	21×14cm,1	
21		「賞状 学業優等 四等賞」	大正8年3月28日	広南尋常高等小学校	20×25cm,1	
22		「通告表」	大正8～9年	広南尋常高等小学校 溝本一美	21×14cm,1	
23		「賞状 操行佳良 学業優等 一等賞」	大正9年3月27日	広南尋常高等小学校	20×25cm,1	
24		「通告表」	大正9～10年	広南尋常高等小学校 白井美登里	21×14cm,1	
25		「賞状 操行佳良 学業優等 一等賞」	大正10年3月28日	広南尋常高等小学校	20×25cm,1	
26		「通告表」	大正10～11年	広南尋常高等小学校 土肥次郎	21×14cm,1	
27		「賞状 操行佳良 学業優等 一等賞」	大正11年3月28日	広南尋常高等小学校	20×25cm,1	
28	呉	「通知簿」	大正11～12年	広島県立広島第二中学校 安田百助	20×24cm,1	
29	呉	「通知簿」	大正12～13年	広島県立広島第二中学校 安田(百助)	20×24cm,1	
30	呉	「通知簿」	大正13～14年	広島県立広島第二中学校 野中節次	20×24cm,1	
31	呉	「成績通知表」	大正14～15年	広島県立広島第二中学校 栗村	20×24cm,1	
32	呉	「成績通知表」	昭和元～2年	広島県立広島第二中学校 中川正弥	21×17cm,1	
33		第六高等学校 在寮記念 2587 南八浜本メダル	昭和2年	第六高等学校	7.5×5.4×1.7cm,1	

# 1. 個人・履歴関係等

番号	所蔵	件名	作成年月日	作成(発信→受信)	形態	備考
34		第六高等学校・柔道部・式千五百八十八年メダル	昭和3年	第六高等学校	7.5×4.8×1.7cm,1	桐箱入,サイズは箱の縦・横・厚,表面に「覇」の文字のパナーのデザイン
35		六高時代ノート「Plane Analytic Geometry S.1. A.3. "2, " " H. Hamamoto.」		浜本博登	21×17cm冊子1	
36		六高時代ノート「No.2. 上総教授講義 Differential Calculus S. II. A. III. S. III. A. I. H. Hamamoto.」		浜本博登	21×17cm冊子1	
37		六高時代ノート「No.1. 岩切教授講義 Integral Calculus S. III. A. I. H. Hamamoto.」		浜本博登	21×17cm冊子1	
38		六高時代ノート「No.2. 岩切教授講義 Integral Calculus S. III. A. I. H. Hamamoto.」		浜本博登	21×17cm冊子1	
39		六高時代ノート「No.2. Solid Analytic Geometry S.3. A.1. H. Hamamoto.」		浜本博登	21×17cm冊子1	
40		六高時代ノート「雑賀講義 Philosophy No.1. S.2. A.3. H. Hamamoto.」		浜本博登	21×17cm冊子1	
41		六高時代ノート「雑賀教授講義 Physics No.2. S.2. A.3. H. Hamamoto.」		浜本博登	21×17cm冊子1	
42		六高時代ノート「雑賀教授講義 Physics No.3. S.3. A.1. H. Hamamoto.」		浜本博登	21×17cm冊子1	
43		六高時代ノート「雑賀教授講義 Physics No.4. S.3. A.1. H. Hamamoto.」		浜本博登	21×17cm冊子1	
44		六高時代ノート「雑賀教授講義 Physics No.5. S.3. A.1. H. Hamamoto.」		浜本博登	21×17cm冊子1	
45		六高時代ノート「No.1. 物理学 浜本博登」		浜本博登	23×16cm冊子1	
46		六高時代ノート「No.2. 物理学 浜本博登」		浜本博登	23×16cm冊子1	当時生活費明細の扶込あり
47		六高時代ノート「微分学 Differential Calculus. 浜本博登」		浜本博登	23×16cm冊子1	
48		六高時代ノート「解析 問題解答 S. A. Hiroto. Hamamoto」		浜本博登	23×16cm冊子1	
49	呉	六高時代ノート「I 理科三年 浜本博登」		浜本博登	20×13cm冊子1	
50	呉	六高時代ノート「II 浜本博登」		浜本博登	20×13cm冊子1	
51		「数学演習問題集」	昭和5年5月28日	寺沢寛一著,東京帝国大学工学部数学力学研究室発行	22×15cm冊子1	「浜本博登 5643.」と署名あり
52		東京帝国大学「大学 二五九二」メダル	(昭和7年)		7.5×5.3×2.1cm,1	桐箱入,サイズは箱の縦・横・厚
53		東京帝国大学「大学 T友会 1932」メダル	昭和7年	T友会	5.5×4.3×1.7cm,1	ケース入,サイズはケースの縦・横・厚
54		「寺沢教授講義 数学 101」			21×17cm冊子1	
55		「寺沢教授講義 数学 101 No.2」			21×17cm冊子1	
56		講義ノート「数学 寺沢寛一」		浜本博登	24×21cm,1	東京帝国大学時代の講義ノートを製本,旧大和ミュージアム浜本隆夫氏寄贈資料10-30
57		会員名簿	昭和9年12月20日	広島二中同窓会	B6用紙,冊子1,92頁,活版	
58	呉	正八位叙勲証書	昭和12年4月15日	宮内大臣従二位勲一等松平恒雄	23×30cm,1	
59		「表彰状」	昭和35年5月21日	広島大学工学部長河喜多能一	32×44cm,1	
60		広島大学「船型試験水槽1967竣工記念 工学部」文鎮	昭和42年	広島大学工学部	8.5×8.4×1cm,1	のし箱入,サイズは箱の縦・横・厚,表面学章文鎮
61		銀杯「広島大学工学部 創立五十周年記念 1970・勤続二十五年表彰」	昭和45年	広大工学部	11.2×11.2×5cm,1	桐箱入,サイズは箱の縦・横・厚
62		「感謝状」	昭和47年2月21日	日本溶接協会広島県支部長雲瀬富三郎	31×43cm,1	
63		「表彰状」	昭和47年4月24日	日本溶接協会中国溶接工検定委員長浜本博登	31×43cm,1	中国地区溶接技術協議会(第一回)表彰状,宛名無記入

番号	所蔵	件名	作成年月日	作成(発信→受信)	形態	備考
64		「表彰状」	昭和47年4月24日		31×43cm,1	中国地区溶接技術協議会(第一回)表彰状,無記入
65		募金原簿	昭和47～48年	浜本博登先生退官記念事業会	30×23cm,1	郵便貯金通帳など挟込あり
66		「表彰状」	昭和48年4月6日	社団法人日本溶接協会会長井川博	31×45cm,1	
67		佐々木賞受賞記念寄せ書き	昭和48年5月25日		24×18cm,1	電報3通挟込あり
68		「感謝状」	昭和48年11月1日	労働大臣加藤常太郎	39×55cm,1	
69		「感謝状」	昭和49年6月1日	社団法人日本溶接協会溶接工検定委員長木原博	30×43cm,1	
70		「表彰状」	昭和49年10月1日	呉市長奥原義人	34×49cm,1	
71		「感謝状」	昭和52年11月11日	広島県技能検定協会会長村尾時之助	31×43cm,1	
72		「感謝状」	昭和53年5月12日	海上保安大学校長横山禪一	29×42cm,1	
73		「表彰状」	昭和54年11月21日	社団法人日本溶接協会会長木原博	31×43cm,1	
74		袋「浜本博登 自筆 叙勲申請書 S.56 業績書 等 保存」	昭和56年	浜本博登	袋1	
75		日本溶接協会広島支部の運営と育成,溶接技術の普及向上に尽力に付「感謝状」	昭和61年10月4日	社団法人日本溶接協会会長小林卓郎	43×31cm,1	

## (2) 手帳

番号	所蔵	件名	作成年月日	作成(発信→受信)	形態	備考
76		手帳「皇紀二五九九年」	昭和15年	浜本博登	15×9cm 冊子1	
77		手帳「1952」	昭和27年	浜本博登	12×8cm 冊子1	
78		手帳「昭和28年 1953 社団法人造船協会」	昭和28年	浜本博登	15×10cm 冊子1	
79		手帳「1954」	昭和29年	浜本博登	13×8cm 冊子1	武田薬品工業株式会社製
80		手帳「昭和29年 1954」	昭和29年	浜本博登	15×10cm 冊子1	日本工学会手帳
81		手帳「昭和30年 1955」	昭和30年	浜本博登	15×10cm 冊子1	日本工学会手帳
82		手帳「昭和31年 1956」	昭和31年	浜本博登	15×10cm 冊子1	日本工学会手帳
83		手帳「昭和32年 1957」	昭和32年	浜本博登	15×10cm 冊子1	日本工学会手帳
84		手帳「昭和33年 1958」	昭和33年	浜本博登	15×10cm 冊子1	日本工学会手帳
85		手帳「昭和34年 1959」	昭和34年	浜本博登	15×10cm 冊子1	日本工学会手帳
86		手帳「1959」	昭和34年	浜本博登	14×10cm 冊子1	三菱造船株式会社製
87		手帳「1960」	昭和35年	浜本博登	12×7cm 冊子1	丸善株式会社製
88		手帳「昭和35年 1960」	昭和35年	浜本博登	15×10cm 冊子1	日本工学会手帳
89		手帳「昭和36年 1961」	昭和36年	浜本博登	15×10cm 冊子1	日本工学会手帳
90		手帳「昭和37年 1962」	昭和37年	浜本博登	15×10cm 冊子1	日本工学会手帳
91		手帳「昭和38年 1963」	昭和38年	浜本博登	15×10cm 冊子1	日本工学会手帳
92		手帳「1964」	昭和39年	浜本博登	12×9cm 冊子1	三菱造船株式会社製
93		手帳「昭和39年 1964」	昭和39年	浜本博登	15×10cm 冊子1	日本工学会手帳
94		手帳「昭和40年 1965」	昭和40年	浜本博登	15×10cm 冊子1	日本工学会手帳
95		手帳「昭和41年 1966」	昭和41年	浜本博登	15×10cm 冊子1	日本工学会手帳
96		手帳「昭和42年 1967」	昭和42年	浜本博登	15×10cm 冊子1	日本工学会手帳
97		手帳「昭和44年 1969」	昭和44年	浜本博登	15×10cm 冊子1	日本工学会手帳
98		手帳「1970 日立造船株式会社」	昭和45年	浜本博登	13×9cm 冊子1	年間スケジュール表の挟込あり
99		手帳「1970」	昭和45年	浜本博登	11×8cm 冊子1	三菱重工業株式会社製
100		手帳「1971」	昭和46年	浜本博登	11×8cm 冊子1	三菱重工業株式会社製
101		手帳「DIARY 1971」	昭和46年	浜本博登	19×9cm 冊子1	株式会社有章(広島市)製
102		「行事予定表 1972」	昭和47年	浜本博登	26×18cm 冊子1	実務資料研究会編の「主要行事予定」までの断片
103		手帳「1972」	昭和47年	浜本博登	11×8cm 冊子1	三菱重工業株式会社製
104		手帳「Nippon Steel Electrodes 1973」	昭和48年	浜本博登	15×9cm 冊子1	日鉄溶接工業株式会社製
105		手帳「1973 日立造船株式会社」	昭和48年	浜本博登	13×9cm 冊子1	
106		手帳「1974 日立造船株式会社」	昭和49年	浜本博登	13×9cm 冊子1	三菱重工業株式会社製の予定表の貼付あり
107		手帳「1974 日立造船株式会社」	昭和49年	浜本博登	13×9cm 冊子1	
108		手帳「1975 日立造船株式会社」	昭和50年	浜本博登	13×9cm 冊子1	
109		手帳「1975 日立造船株式会社」	昭和50年	浜本博登	13×9cm 冊子1	
110		手帳「1976」	昭和51年	浜本博登	11×8cm 冊子1	三菱重工業株式会社製
111		手帳「1976 ナカシマプロペラ」	昭和51年	浜本博登	15×9cm 冊子1	
112		手帳「1977 日立造船株式会社」	昭和52年	浜本博登	13×9cm 冊子1	
113		手帳「1977」	昭和52年	浜本博登	11×8cm 冊子1	三菱重工業株式会社製

## 1. 個人・履歴関係等

番号	所蔵	件名	作成年月日	作成(発信→受信)	形態	備考
114		手帳「1978 フジテレビ」	昭和53年	浜本博登	16×9cm 冊子1	
115		手帳「'78」	昭和53年	浜本博登	14×9cm 冊子1	日産建設株式会社製
116		手帳「1979」	昭和54年	浜本博登	13×9cm 冊子1	日本長期信用銀行製
117		手帳「1979」	昭和54年	浜本博登	13×9cm 冊子1	日本長期信用銀行製
118		手帳「1980」	昭和55年	浜本博登	11×8cm 冊子1	日本メルク万有株式会社製
119		手帳		浜本博登	15×10cm 冊子1	表紙破損取扱注意,昭和23~49年頃までの履歴ほか長期にわたり携行した備忘録と思われる

### (3) 写真・アルバム

番号	所蔵	件名	作成年月日	作成(発信→受信)	形態	備考
120		「卒業記念写真帳・第六高等学校」	昭和5年		縦30cm×横42cm,1	1頁に理科甲類・浜本博登の記入あり
121		六高柔道部アルバム			縦30cm×横42cm,1	裏表紙に六校柔道部浜本の刻印あり
122		戦前(昭和)写真・ガラス乾板			縦28.5×横23cmの菓子缶箱入195(うちガラス乾板109枚)	
123		「大元丸あるぼむ」	昭和26年~27年	日立造船株式会社向島工場	29×20cm洋紙,冊子1	
124		写真スライド(船舶模型)			5.5×11×3.3cm,2	

## 2. 書 類



## 2. 書 類

### (1) 戦前

#### ① 呉海軍工廠時代

番号	所蔵	件名	作成年月日	作成(発信→受信)	形態	備考
125		「挿物ニ関スル規準」	昭和6年2月	呉海軍工廠造船部	B5青焼コピー用紙34,ホッチキスどめ	
126		「鉄填隙ニ関スル基準」	昭和6年5月	呉海軍工廠造船部	B5青焼コピー用紙,冊子1,57頁,ホッチキスどめ	
127		「工作法規準 鉸鋸法」	昭和6年8月	呉海軍工廠造船部	B5青焼コピー用紙15,ホッチキスどめ	
128		「工作法基準 鉸鋸法(附図及諸表)」	昭和6年8月	呉海軍工廠造船部	A4変青焼コピー用紙,冊子1,20頁	表に浜本の印あり
129		溶接のファイル	昭和7年		A4冊子を含む資料ファイル1	1頁黒ペン書で昭和7年2月の青写真ノート等電気溶接工養成講座,海軍技手辻景雄・S6年9月号の月刊誌入のメモ挿入あり,メモは後年整理用カ
130		「大型構造物試験機独乙国立材料試験所試験成績 其ノ一」	昭和8年11月4日		A4変青焼コピー用紙3,ホッチキスどめ	
131		「大型構造物試験 機独乙国立材料試験所試験成績 其ノ二」	昭和8年11月4日		A4変青焼コピー用紙20,ホッチキスどめ	
132		「3,000屯大型構造物試験機概略説明書」	昭和9年10月	呉海軍工廠造船部	B5青焼コピー用紙,冊子1,5頁,ホッチキスどめ	
133		「耐圧正円殻強度曲線使用法」	昭和10年2月15日		A4青焼コピー用紙,冊子1,11頁,ホッチキスどめ	
134		「工学博士石川登喜治講述 研究ト作業」	昭和10年3月15日	住友伸銅鋼管株式会社	B5青焼コピー用紙,冊子1,29頁,ホッチキスどめ	
135		「工廠ノ一員トシテノ心得」	昭和10年5月	呉海軍工廠造船部製図工場	B5わら半紙,冊子1,13頁,活版,ホッチキスどめ	表に浜本の印あり
136		「研究実験成績報告 報告第146号 6耗D.S.板ニストリツブ溶接スル場合ノ強度実験」	昭和10年7月6日	呉海軍工廠造船部	B5青焼コピー用紙23,ホッチキスどめ	表紙に造船実験部図書印あり
137		「3000屯試験機調査試験附表」	昭和10年7月27日	呉海軍工廠造船部	B5青焼コピー用紙,冊子1,24頁,ホッチキスどめ	
138		「造船部災害防止教育週間実施方案」	昭和10年7月	呉海軍工廠造船部	B5わら半紙,冊子1,11頁,活版	
139		「飛行機格納庫内消火装置実験」	昭和10年12月11日	呉海軍工廠造船部	B5用紙,冊子1,60頁,コピー,ホッチキスどめ	表紙に浜本の印あり
140		「船殻重量ヨリ見タ鋸接,溶接船比較(最上.那智.蒼龍)」	昭和11年1月8日	呉海軍工廠造船部	B5青焼コピー用紙,冊子1,17頁,ホッチキスどめ	
141		「溶接使用範囲」	昭和11年1月30日	呉海軍工廠造船部	B5用紙,冊子1,88頁,コピー,ホッチキスどめ	
142		「研究実験成績報告 報告第175号 潜水艦用傾斜計精度試験」	昭和11年1月31日	呉海軍工廠造船部	B5青焼コピー用紙18,ホッチキスどめ	表に黒ペン書で浜本部長とあり
143		「3,000屯試験機成績表」	昭和11年1~2月		B5青焼コピー用紙,冊子1,9頁,ホッチキスどめ	表に赤印にて,参考,浜本とあり
144		「遭難船救助作業ノ話」	昭和11年2月3日		B5変洋紙,冊子1,47頁,活版	表紙に浜本の印あり
145		「コンパレーターニ依ル残存内応力測定」	昭和11年5月1日~6月15日		B5青焼コピー用紙17,ホッチキスどめ	表に浜本の印あり
146		「研究実験成績報告 電気溶接ノ船体強度ニ及ボス影響調査 其ノ一(旧駆逐艦天津風ニ依ル実験)」	昭和11年6月30日		B5青焼コピー用紙,冊子1,56頁	表紙に浜本の印あり
147		「研究実験成績報告 電気溶接ノ船体強度ニ及ボス影響調査 其ノ二(箱型梁ニ依ル基礎実験)」	昭和11年6月30日	呉海軍工廠	B5青焼コピー用紙,冊子1,32頁,ホッチキスどめ	
148		「「ガイゲル」式振動計ニ就テ」	昭和11年	ジェー,ガイゲル	B5青焼コピー用紙,冊子1,15頁,ホッチキスどめ	
149		「Stress in a Plate with a Circular Hole, stiffened with Cross Bars」	昭和16年2月25日	Hiroto Hamamoto	B5青焼コピー用紙,冊子1,14頁	「昭和15年講演(大和関係)H21,9,27」と黒ペン書の後年整理用封筒あり
150		「Stress in a Plate with a Circular Hole, stiffened with Cross Bars」			A4原稿用紙6,クリップどめ	
151		鋸数,鉄心距表など図表	昭和16年2月28日		A4青焼コピー用紙3,クリップどめ	
152		「マーキング規格」	昭和17年1月		A5青焼コピー用紙,冊子1,31頁	
153		振動数,振幅,加速度直列図表など	昭和17年6月12日		A4ハトロン紙2,クリップどめ	

## 2. 書類

番号	所蔵	件名	作成年月日	作成(発信→受信)	形態	備考
154		船設計図(船側口扉内開きなど)			A4変ハترون紙20,厚紙洋紙包	「昭和8年時代海軍工廠の時?、三菱造船長崎等H21・2・22」,「呉海軍工廠時代 H21・2・22」と赤ペン書のA4洋紙,「書齋引き出しに入っていた書類」と黒ペン書のB6洋紙あり,後年整理時のもの
155		船設計図(貨物船一般配置図など)			A4変ハترون紙38,厚紙洋紙包	
156		対称的一様分布荷重両端自由支持など計算図面			B5ハترون紙8,クリップどめ	造船設計部軍艦課専用紙
157		「中央集中荷重両端自由支持」			B5ハترون紙1	造船設計部軍艦課用箋
158		「コンパレーター」使用に依る残存内応力測定」		呉海軍工廠造船部研究係	B5コピー用紙,冊子1,10頁,コピー,ホッチキスどめ	
159		「工業用講座目録一覧表」		呉海軍工廠造船部	B5コピー用紙,冊子1,10頁,コピー,ホッチキスどめ	
160		「残存内応力ノ検出法ノ研究(技研)」		海軍	B5コピー用紙,冊子1,18頁,コピー,ホッチキスどめ	
161		「用字例」		海軍	B5コピー用紙,冊子1,56頁,コピー,ホッチキスどめ	
162		「抗張力試験片縦方向ニ於ケル鉋孔ノ影響及其応力分布ニ就テ」			B5洋紙,冊子1,72頁,コピー,ホッチキスどめ	表紙に浜本の印あり
163		「橋梁桁材ノ圧縮試験成績」		呉海軍工廠造船部	B5洋紙,冊子1,46頁,コピー,ホッチキスどめ	表紙に浜本の印あり
164		「TRANSMISSION OF SOUND THROUGH VOICE TUBES」		E.A.ECKHARDT	B5コピー用紙,冊子1,32頁	
165		「Strömung in glatten, geraden Rohren mit Über- und Unterschallgeschwindigkeit」		W.FRÜSSEL	A4変コピー用紙,冊子1,8頁,ホッチキスどめ	
166		「重心査定」			B5洋紙,冊子1,64頁,活版,ホッチキスどめ	
167		「鉋形状決定及組合長柱実験」		浜本	B5便箋用紙,冊子1,39頁,ホッチキスどめ	呉海軍工廠造船部便箋
168		「附図」			B5青焼コピー用紙,冊子1,15頁,ホッチキスどめ	
169		「資源局標準用語」			B5青焼コピー用紙,冊子1,86頁	表に浜本の印あり
170		有機化合物の分類ほか書類			B4洋紙13,孔版,クリップどめ	
171		「Strömung in glatten, geraden Rohren mit Über- und Unterschallgeschwindigkeit」			A4変コピー用紙,冊子1,8頁,ホッチキスどめ	
172		「材料強弱学」			B5わら半紙,冊子1,46頁,孔版,ホッチキスどめ	
173		「水油防隔壁取付構造ニ関スル実験」			B5わら半紙9,青焼コピー用紙,冊子1,91頁,ホッチキスどめ	表に浜本の印あり
174		「二列鉋接手実験」		呉海軍工廠造船部	B5青焼コピー用紙,冊子1,60頁	表に浜本の印あり
175		盤木圧縮試験成績曲線図面5枚		呉海軍工廠造船部	50×70cm青焼コピー用紙5,クリップどめ	
176		NOMOGRAM FOR CALCULATING COLLAPSING PRESSURES図面4枚ほか		呉海軍工廠造船部	78×100cm青焼コピー用紙4ほか,クリップどめ	
177		「Einfluß der Nietlänge auf die Gute der Nietverbindung」			A4変青焼コピー用紙6,ホッチキスどめ	
178		平行部の長さが延伸度に及ぼす影響の図面			A4変青焼コピー用紙2,クリップどめ	
179		アセチレン瓦斯発生器に関する図面ほか			37.5×70cm青焼コピー用紙2,ほか7,袋入	A4茶封筒,造船協会の袋,表に浜本博登殿の孔版印刷あり
180		「Strain Meters」			B5青焼コピー用紙28,クリップどめ	
181		「構造物及鍛鋼棒抗張試験成績」			B5青焼コピー用紙55,ホッチキスどめ	表に浜本の印コピーあり
182		「鉋形状決定及構造長柱実験附図」			B5青焼コピー用紙9,ホッチキスどめ	表に浜本の印あり
183		「縦接手溶接強度実験」			B5青焼コピー用紙46,ホッチキスどめ	表に浜本の印あり
184		「Bemerkungen zur Stabilität dünnwandiger, Kreiszyllindrischer Schalen oberhalb der Proportionalitätsgrenze」		W.Kaufman	B5青焼コピー用紙12,ホッチキスどめ	

番号	所蔵	件名	作成年月日	作成(発信→受信)	形態	備考
185		「Bemerkungen zur Stabilität dünnwandiger, Kreiszyklischer Schalen oberhalb der Proportionalitätsgrenze」			B5青焼コピー用紙12, ホッチキスどめ	
186		陸上にて鉸鉸スル範囲など		呉海軍工廠造船部	B5青焼コピー用紙16, クリップどめ	
187		大和ミュージアムへの資料一覧			B5ノート用紙1	黒ペン書でH22,4,3とあり

## ②三菱重工長崎造船所時代

番号	所蔵	件名	作成年月日	作成(発信→受信)	形態	備考
188		「漁船建造必携 昭和八年版」	昭和8年1月20日	モータシップ雑誌社	B5洋紙, 冊子1,109頁, 活版	黒ペン書でH22,4,3とあり
189		「撓鉄, 山形鍛, 鉄機工 講義録」	昭和13年6月	三菱長崎造船所内鉄工場	B5洋紙, 冊子1,218頁, 孔版	
190		「造船学教科書 第一巻」	昭和14年4月	私立三菱長崎工業青年学校	B5洋紙, 冊子1,327頁, 活版	表に第一船殻工場備付参考書類の赤印あり
191		「造船学教科書 附図」	昭和15年4月	私立三菱長崎工業青年学校	B5洋紙, 冊子1,230頁, 活版	表紙に浜本の印あり
192		「造船学教科書 第三巻」	昭和16年4月10日	私立三菱長崎工業青年学校	B5洋紙, 冊子1,133頁, 活版	表紙に浜本の印あり
193		船に関する設計図一式袋入	昭和17年12月29日	三菱重工業株式会社社長崎造船所	A4ハトロン紙80	
194		「造船現図展開画法(前編)」	昭和18年3月10日	森 保	A5わら半紙, 冊子1,150頁, 活版	表紙に浜本の印あり, 表紙裏にメモ3枚あり
195		「初級機械工業大意」	昭和18年3月20日	三菱長崎工業青年学校造機科	A5洋紙, 冊子1,299頁, 活版	
196		「造船学教科書 第二巻」	昭和18年11月	私立三菱長崎工業青年学校	B5洋紙, 冊子1,336頁, 活版	
197		「造船学教科書 第一巻」	昭和19年4月	私立三菱長崎工業青年学校	B5洋紙, 冊子1,210頁, 活版	
198		「造船学教科書 附図」	昭和19年4月	私立三菱長崎工業青年学校	B5洋紙, 冊子1,206頁, 活版	
199		「商船艤装 浜本教官」			27×20cm洋紙, 冊子1	紐綴じ
200		「艤装」			B5洋紙2	表紙のみ
201		「船用蒸気タービン製作目録」		三菱重工業株式会社社長崎造船所	A4青焼コピー用紙6, ホッチキスどめ	
202		船別各機関一覧表			A4ハトロン紙1	
203		「汽船洞南丸乾舷計算表」			B4洋紙7, クリップどめ	
204		船に関する積算表など一式			A4ハトロン紙など62, ファイル入	

## ③三菱重工広島造船所時代

番号	所蔵	件名	作成年月日	作成(発信→受信)	形態	備考
205		「鋸材記号打刻廃止ノ件」	昭和19年1月8日	阪神地方海軍鋼材監督官	B5青焼コピー用紙1	
206		第一章公差及鋼質など船鋼材の検討一式	昭和19年9月13日～20年12月19日		A4ハトロン紙23, ファイル入	
207		「商船課調査報告第251号」	昭和19年11月4日		A4集計用紙8, クリップどめ	
208		「日立造船株式会社築港造船所配置図」	昭和19年12月20日		B5青焼コピー用紙1	表に黒ペン書で「大和ミュージアムへ戦前, H22,4,3」との後年整理封筒あり
209		「艤装品」	昭和19年		A4洋紙50, ファイル入	表に黒ペン書で「これは大和ミュージアムへ寄託 H22,4,3」との後年整理封筒あり, 1頁黒ペン書で昭和19年9月頃の記録のメモ挿入あり
210		TABLE7 OPTIMUM PROPELLER EFFICIENCIESなど計算図表など	昭和20年5月20日		A4変青焼コピー用紙17, クリップどめ	「浜本20.5.20施設」の印あり
211		「鋼材」	昭和20年10月20日		A4ノート洋紙1, 50頁	裏表紙裏に3枚のメモあり
212		図面名称一覧	昭和20年12月18日		A4コピー用紙1	

## 2. 書 類

### (2) 広島大学関連

#### ①研究ノート

番号	所蔵	件 名	作成年月日	作成(発信→受信)	形 態	備 考
213		[船舶設計に関する英書研究ノート]			31.8×23.1cm,冊子1	紐綴じ
214		[7.船の旋回中の見かけの水の質量に就て(第1報)]	昭和16～17年		角形2号封筒1	封筒のみ
215		[船の旋回中の見かけの水の質量に就て(第1報)]	昭和16年	赤崎繁	B5洋紙,冊子1	複製
216		[船の旋回中の見かけの水の質量に就て(第2報)]	昭和17年	赤崎繁	B5洋紙,冊子1	複製
217		[米国造船海事資料]	昭和24年12月	船舶技術協会	B5わら半紙,冊子1,15頁, 活版	
218		[1.Determination of Principal Dimention and GM of Smaller Coaster 1961. 小論文(H. Hamamoto, Hiroshi Matsuura) 1.船の長さの決定法について 1954 小論文(S29) 浜本博登 glass wool冷却試験 原紙(31枚) 11.2.1964 浜本博登]	昭和29～39年		35×24cm箱1	
219		[2.歪計]	昭和29～42年		角形2号封筒1	
220		[歪計取扱い方]		浜本	A4洋紙13,クリップどめ	
221		[ストレインゲージとその取扱法]			A4洋紙18,クリップどめ	
222		[KP型歪計の使い方]			A4洋紙4,クリップどめ	
223		[ポリエステルゲージ取扱説明書]			A4洋紙6,クリップどめ	
224		[strain meter]		浜本	A4洋紙15,ホッチキスどめ	
225		[半導体歪ゲージ取扱説明書]			A4洋紙12,クリップどめ	
226		[動的歪計DPM-3BS試験成績]		小林	A4洋紙5,クリップどめ	[Kyowamusen Kenkyu jo Co., Ltd.]用箋
227		[動的歪計DPM-3BS試験成績]		浜本	A4洋紙5,クリップどめ	
228		[CA-104型万能歪計 取扱説明書]	昭和29年2月			
229		[SM-4J 抵抗線歪測定器 取扱説明書]				
230		[SM-4J 修 試験成績表]	昭和30年6月29～30日			
231		[共和ゲージとその取扱法]	昭和42年10月			
232		[交叉曲線]	昭和37年11月	奥川和幸	封筒1	書簡3種,図面8種,メモ2枚あり
233		[1.Index 原紙]			A4洋紙222	1861-1963年の各種書誌の目次タイプ原稿
234		[3.船体に関する一般規定]			A4洋紙46	
235		[4.主寸法]			A4洋紙12	
236		広島大学時代草稿など			B5・B4E洋紙120	
237		[縦抵抗率ノ算定]			30×29cm洋紙1	
238		[造船技術の発展]		浜本博登	A4青焼コピー用紙,冊子1,71頁	
239		[造船年譜]		浜本博登	A4青焼コピー用紙,冊子1,34頁	
240		[3B 3D]			A4ノート洋紙1,50頁	
241		図面管理ノート			A4ノート洋紙1,50頁	表紙に浜本の赤印あり
242		各船舶の要目表			B5サイズ要目表15,クリップどめ	
243		[需給会議用関係]			A4洋紙1	表紙に浜本の赤印あり
244		[300t試験機の試験及検査実験]		浜本博登	B4変ノート1,30頁,黒ペン書	
245		広島大学工学部ファイル			B5ファイル1	背に赤ペン書にて「溶接テキスト」とあり
246		[論文下書]			袋1	[日本海重工業株式会社]封筒
247		[論文原稿]			袋1	[三東商会]封筒
248		[手書き 雑学 浜本博登用 戦後～S56]		浜本博登	袋1	
249		[交叉曲線 復原力曲線 DW1250 # 4300]			袋1	[日立造船技報]封筒,図面4枚入
250		[High-speed CARGO Liners の図面等]			袋1	表に黒ペン書で「浜本用船舶卒の方に尋ねる 竹西様に H21.9.27」との後年整理封筒あり

## ②研究資料

番号	所蔵	件名	作成年月日	作成(発信→受信)	形態	備考
251		Flexure of an Infinite Plateなど論文綴	昭和10年4月	Barnard	B5青焼コピー用紙25,紐綴じ	
252		「推進器計画法」	昭和22年5月3日	技術部船用機関設計課	A4綴1	後年整理封筒あり
253		管内航路浮標一覧図など一式	昭和28年4月	第六管区海上保安本部	A4洋紙など39,紐綴じ	
254		「インテグラフ」	昭和28年7月22日		A4変青焼コピー用紙2,クリップどめ	青印で広島大学工学部船舶工学科,赤印で船舶科浜本とあり
255		「漁船検査規則 漁船法関係法令」	昭和28年,昭和30年6月	水産庁	A5わら半紙,冊子1,152頁,活版,紐綴じ	
256		造船関係図表ファイル			32×23cmフォルダ1	黒ペン書で「広島大の袋に入っている S19?」との後年整理洋紙1枚あり
257	呉	「Chapter3 Materials and fabrication」			A4青焼コピー用紙,冊子1,36頁,ホッチキスどめ	42頁に「浜本隆夫氏寄贈資料555」の挿入あり
258	呉	「Chapter6 Cargo ships」			A4青焼コピー用紙,冊子1,51頁,クリップどめ	呉市制100周年封筒入,封筒裏面に「浜本隆夫氏寄贈資料554」の貼付あり
259		DESIGN-ANALYSIS DIAGRAM FOR 3-BLADED PROPELLERS WITH WIDE BLADESなどの図面			A4ハترون紙14,クリップどめ	
260		計算表			B4集計用紙3,クリップどめ	広島大学工学部用紙
261		「単縹施式の商船型についての更に進んだ実験」			B5集計用紙7,クリップどめ	
262		吃水に関する理論			B5洋紙1	広島大学工学部便箋
263		Comparison of Series 57 and 60 Contours of I.O.W.Lなど図表			A4ハترون紙2,クリップどめ	
264		Comparison of Series 57 and 60 Contours of I.O.W.Lなど図表			A4青焼コピー用紙3,クリップどめ	
265		「CONTOURS OF RESIDUARY RESISTANCE IN POUNDS PER TON OF DISPLACEMENT」			B5変青焼コピー用紙15,クリップどめ	
266		「参考資料」			A4厚紙1	表紙のみ
267		「艦本式推進器画法」			A4青焼コピー用紙1	
268		速度換算表など図表			A4青ハترون紙43,クリップどめ	
269		裏表紙			A4厚紙1	
270		「Gun Supportニ於ケルMax stressヲ受クル仰角ノ算出」			A4青焼コピー用紙3,ホッチキスどめ	
271		「Nietlange und Gute der Nietverbindung」			A4変青焼コピー用紙4,クリップどめ	
272		「Einfluß der Nietlange auf die Gute der Nietverbindung」			A4変青焼コピー用紙2,ホッチキスどめ	表紙に浜本の印あり
273		「Bodenschaden im Vorschiff und die neuen Vorschriften der Klassifikationsgesellschaften」			A4変青焼コピー用紙5,ホッチキスどめ	表紙に浜本の印あり,A4ノート紙4枚挿入あり

## ③教材

番号	所蔵	件名	作成年月日	作成(発信→受信)	形態	備考
274		「22.シャフト・ブラケット」	昭和22年		角形2号封筒1	
275		「シャフトブラケットの強度計算に就て」	昭和22年5月17日	正員 工学士 岡部利正	A3洋紙中折5,青焼,ホッチキスどめ	同内容書類3点あり
276		「shaft brachet 強度計算」		浜本	A4洋紙4,ホッチキスどめ	
277		「30.LPG特別船」	昭和29～42年		角形2号封筒1	
278		「SNO.480 2,500M3型 L.P.G運搬船復原性に関する検討」	昭和29年6月11日	キセセ(計)	A4洋紙11,青焼,ホッチキスどめ	
279		「A Series of Japanese-built L.P.G Tankers for South America」	昭和38年7月		A4洋紙2,青焼,ホッチキスどめ	「MOTOR SHIP」掲載
280		「The Two-speed-geared 'Marton Cross」	昭和38年8月		A4洋紙2,青焼,ホッチキスどめ	「MOTOR SHIP」掲載
281		「TRANSVERSE PROPULSION」	昭和38年9月	Capt.E.C.Goldworthy	A4洋紙3,青焼,ホッチキスどめ	「Shipbuilding and Shipping Record」掲載
282		「Plastics Ship Construction System」	昭和42年6月		A4洋紙1,コピー	「THE ENGINEER」掲載
283		「フェロセメント船」		長沢 準	B4洋紙中折4,コピー	
284		「Ferro-Cement Boatの現状及び将来の展望」		一色技術士事務所 一色 勝	B4洋紙中折3,コピー	「船の科学」掲載
285		「双螺旋曳船,曳引力概算法」			B5洋紙8,青焼,ホッチキスどめ	
286		「木船」			A4ハترون紙1,A4洋紙1,青焼	

2. 書類

番号	所蔵	件名	作成年月日	作成(発信→受信)	形態	備考
287		浚渫船・曳船要目表			A4洋紙3,青焼,ホッチキスどめ	
288		SN0.480グラフ			A4洋紙8,コピー,ホッチキスどめ	
289		円・球に関する計算書			A4ハトロン紙9,黒ペン書	
290		「18.推進軸固有振動数の近似計算法(論文) 浜本博登 S.30.2.」	昭和30～42年	浜本博登	角形2号封筒1	『広島大学工学部研究報告』第4巻第1冊抜刷
291		「推進軸固有振動数の近似計算法」	昭和30年2月	浜本博登	B5洋紙,冊子1,6頁	
292		「第3編 軸系に発生する曲げ応力の解析」	昭和42年3月28日		B5洋紙,冊子1,28頁	
293		「プロペラ軸たわみ計算」			A4洋紙1	
294		「31.I/Y」	昭和31年		角形2号封筒1	
295		「スーパータンカーのI/Yに就てのロイド新規則」	昭和31年7月25日	日立造船株式会社因島工場造船部造船設計課	A4洋紙7,青焼,ホッチキスどめ	
296		Blub Angle・Frangéの数値表			21.2×19.5cm洋紙,冊子1,31頁,青焼	
297		各種形態鋼数値表			A4ハトロン紙12,黒ペン書	
298		各種図形に関する計算書			A4洋紙6,青焼,ホッチキスどめ,A4洋紙9,青焼,ホッチキスどめ,A4洋紙4,青焼,A4ハトロン紙1,黒ペン書	
299		「25.振動(1)」	昭和34～41年		角形2号封筒1	
300		「矩形水槽壁の接水振動について」	昭和34年11月	正員 鬼頭 史城	B4洋紙中折27,青焼,ホッチキスどめ	
301		「振動関係ハンドブック」	昭和41年12月23日		A4洋紙74,青焼,ホッチキスどめ	
302		「船の振動数の図表示と振動数に及ぼす甲板室の影響」		A.J.Johnson・P.W.Ayling	B4洋紙中折3,青焼,ホッチキスどめ	造船協会誌第353号掲載論文
303		「防撓せる板の有効幅 二.実際問題」		正員 工学士 柳本武	B4洋紙中折20,青焼,ホッチキスどめ	
304		「Bossongの振動数」			A4ハトロン紙1,黒ペン書	
305		グラフ			A4ハトロン紙1,黒ペン書	「M.E.N.A.July.1955」とあり
306		「14.Cross Curve」	昭和35～41年		角形2号封筒1	
307		「香伸丸 復原力交叉曲線」	昭和35年6月2日		46×91cm洋紙1	向島船渠株式会社の押印あり
308		「ブツシャーボート復原力交叉曲線図(完成図)」	昭和41年5月20日		30×51cm洋紙1	「(初期計画用)」を抹消して「(完成図)」と記載
309		「ブツシャーボート排水量等交叉曲線図(初期計画図)」	昭和41年5月20日		44×73cm洋紙1	複製
310		「CROSS CURVE OF STABILITY」			54×75cm洋紙1	
311		「復原力計算表」			36×49cm洋紙2	
312		「2000T Cross Curves」			52×73cm洋紙1	A4洋紙1枚の挟込あり
313		「RIGHTING LEVER(m)」			52×73cm洋紙1	
314		Displacement/GZ/Moment 角度別一覧			28×46cm洋紙1	
315		角度別一覧			A4ハトロン紙1,A4洋紙3	無記入
316		DISPLACEMENT/GZ(m)/MOMENT角度別一覧			A4洋紙1,A4ハトロン紙1	複製
317		計算書			27×28cm洋紙1	
318		計算書			A4E洋紙2	複製
319		「POSITION OF CRD」			A4E洋紙1	複製
320		グラフ			A4E洋紙1	
321		HALF BREADTH/HEIGHT/F <sup>1</sup> cle/POOP表			A4洋紙2,A4ハトロン紙1	
322		AREAS/MOMENTS表			A4洋紙1	無記入
323		「CROSS CURVES OF STABILITY 三〇〇総屯貨客船(国幸丸) 復原力交叉曲線図」			31×65cm洋紙1	複製
324		Displacement/GZ/Moment 角度計算表			32×45cm洋紙1	計算書(A4洋紙1枚)のピンどめあり
325		船体断面などメモ			B5洋紙3	広島大学用箋
326		「比良山丸」			B5E洋紙1	複製 向島船渠株式会社用箋
327		「Cross Curveの数値」			B5洋紙1	ホッチキスどめ 福島造船鉄工所用箋
328		計算表			B5洋紙1	広島大学用箋
329		甲板浸水角度表			B5E洋紙1	福島造船鉄工所用箋
330		「復原力交叉曲線」			30×42cm洋紙1	
331		「海水流入角曲線」			30×42cm洋紙1	
332		計算表			A4洋紙5	

番号	所蔵	件名	作成年月日	作成(発信→受信)	形態	備考
333		「海水流入点 船尾楼端壁水密ドア」			28×50cm洋紙1	
334		「昭和36年度 鋼船構造テキスト」	昭和36～37年	浜本博登教授	角形2号封筒1	浜本博登「鋼船構造」コピー2部
335		「29.BKT(写真ネガ有)」	昭和39年		角形2号封筒1	
336		BKT試験片取付固定用治具設計図	昭和39年11月16日		A4洋紙2,A3洋紙1,青焼,ホッチキスどめ	
337		「第6章 ブラケットの圧壊強度」		西牧興	A4洋紙35,青焼,ホッチキスどめ	同内容書類3点
338		「三角形ブラケットの圧壊強さ」		西牧興・浦田昭典・原洋一	A4洋紙8,青焼,ホッチキスどめ	
339		「振り理論」			A4洋紙14,青焼,ホッチキスどめ	
340		「BKT座屈」			B5洋紙,冊子1,12頁,青焼,ホッチキスどめ	「深水タンク損傷対策研究委員会報告」とあり
341		試験片B点におけるラーメン解計算書			A4洋紙4,青焼,ホッチキスどめ	
342		肘板の強度実験報告書			A4洋紙17,青焼,ホッチキスどめ	
343		試験片の荷重状態についてなど書付綴			A4洋紙24,青焼,ホッチキスどめ	
344		「TYPICAL SPECIMEN」			A4洋紙1,青焼	
345		挫屈応力・圧縮力に関する書類			A4洋紙3,青焼,ホッチキスどめ	
346		「圧縮試験機 50TONS型」			A4洋紙2,青焼	設計図
347		「島津式万能試験機(200TONS型)」			A4洋紙2,青焼	設計図
348		グラフ図表			B5洋紙2,黒青ペン書,A4洋紙2,青焼	
349		写真ネガ			3.5×25cmネガ5	器具と人物の写真ネガ,ケース入
350		「35.構造原図(2) (重要?)」	昭和39～41年		角形2号封筒1	
351		「板付形鋼および曲縁板の断面係数および断面二次モーメント」	昭和39年	日本海事協会	B5ハترون紙20,青焼原紙	劣化により一部読み取り不可
352		船舶図面	昭和41年2月		A4洋紙6,コピー	「Shipping world & Shipbuilder」掲載
353		図表・船舶図面	昭和41年9月		A4洋紙4,コピー,クリップどめ	「Shipping world & Shipbuilder」掲載
354		第4～23編原稿			A4ハترون紙54,黒鉛筆書	広島大学工学部封筒入,封筒表紙に「浜本」とあり
355		25編4章表綴			B5洋紙9,孔版,クリップどめ	
356		26編2章表綴			B5洋紙5,孔版,クリップどめ	
357		「溶接の記号.寸法等の図示方法」			B5ハترون紙2	
358		「第六章 船体用鍛鋼材」			A4洋紙2,コピー	
359		数値図表コピー			A4洋紙2,B5洋紙1,B4洋紙1,28.5×24.5cm洋紙2,コピー	
360		図面			A3ハترون紙1,A4ハترون紙16,22.1×55cm洋紙1,黒ペン書	船体各部の図面,試験片図面
361		「33.Carrugated BHD」	昭和42年		角形2号封筒1	
362		「OPTIMUM DESIGN OF PLATES WITH SYMMETRICAL TRAPEZOIDAL CORRUGATIONS SUBJECTED TO LATERAL PRESSURE」	昭和42年4月	A.K.BASU・J.C.CHAPMAN	A4洋紙14,青焼,ホッチキスどめ	「RINA」vol.109掲載
363		「carrugated BHD.」		浜本	A4ハترون紙2,黒ペン書,A4洋紙2,青焼,ホッチキスどめ	常石造船株式会社用箋
364		計算書		浜本	A4ハترون紙2,黒ペン書,A4洋紙2,青焼,ホッチキスどめ	常石造船株式会社用箋
365		「15.Stability」	昭和42～53年		角形2号封筒1	
366		「Ship's Stabiliser Electronic Control System」	昭和42年6月		A4洋紙1	複製,「SAFETY OF SEA」1967年6月号30頁
367		株式会社神田造船所送付資料	昭和53年9月28日	株式会社神田造船所→浜本博登	角形2号封筒1	「浸水復原性計算表(運輸省)」ほか8点あり
368		「交叉曲線(平均船楼を含む場合)」			A4E洋紙1	
369		「GZ-曲線」			A4E洋紙1	
370		「交叉曲線(上甲板迄の場合)」			A4E洋紙1	
371		「交叉曲線(上甲板及び船楼を含む場合)」			A4E洋紙1	
372		「IMCO LPG」			A4洋紙1	

## 2. 書類

番号	所蔵	件名	作成年月日	作成(発信→受信)	形態	備考
373		「28.コークス」	昭和43年		角形2号封筒1	
374		「GENERAL ARRANGEMENT」	昭和43年6月4日		73.5×94cm洋紙1,コピー	船名黒塗りのため,不明
375		ベルトコンベヤー搭載船図面			61.5×90cm洋紙1,コピー	
376		計算式など書付			A4ハトロン紙2,B5罫紙1,黒ペン書	
377		「26.振動(2)」	昭和45～50年		角形2号封筒1	
378		「風による円柱の振動に関する二,三の考察」	昭和45年5月	巻幡敏秋	A4洋紙4,青焼,ホッチキスどめ	日立造船技報第31巻第2号掲載論文
379		「D.W5700K.T冷凍運搬船 起振機による振動実験計測結果」	昭和50年3月3日	HITACHI SHIP BUILDING & ENGINEERING CO.LTD INNOSHIMA SHIP YARD	A4洋紙12,青焼,ホッチキスどめ	
380		「振動源を有する甲板の防振対策の一例に就て」		西武造船会 正員 中村一郎 渡辺一	B4洋紙中折13,青焼,ホッチキスどめ	西武造船会会報第11号掲載論文
381		「船体局部振動について(甲板パネルに対する実験的研究)」		正員 藤田純夫 大高勝夫 永元隆一	B4洋紙中折10,青焼,ホッチキスどめ	西武造船会会報第14号掲載論文
382		「船体振動加速度の直接測定と振動感覚について」		正員 熊井豊二	B4洋紙中折3,青焼,ホッチキスどめ	同内容論文3点あり,西武造船会会報第14号掲載論文
383		「船の振動数の図表示と振動数に及ぼす甲板室の影響」		A.J.Johnson, P.W.Ayling	B4洋紙中折3,青焼,ホッチキスどめ	造船協会誌第353号掲載論文
384		「船尾外板の振動疲労き裂およびその防止対策」		田頭登	B4洋紙中折8,コピー,ホッチキスどめ	
385		「CALCULATION SHEET MEIN GENERATORの下部検討」			A4洋紙6,コピー,ホッチキスどめ	
386		「Energy method」			A4洋紙9,青焼,ホッチキスどめ	
387		「円環の振動」			A4洋紙2,青焼	
388		たわみに関する書付			A4洋紙4,青焼	
389		「23.抵抗(1)」	昭和48年		角形2号封筒1	
390		「POWER ESTIMATION (BY TAILOR CHART)」	昭和48年6月6日		A4洋紙2,青焼	「設計 松見」の印あり
391		洋紙綴			B5洋紙3,青焼,ホッチキスどめ	「RESISTANCE」「THE SPEED AND POWER OF SHIPS」とあり
392		「馬力計算 (山形図表による.)」			A4洋紙1,コピー	
393		「Taylor」			A4ハトロン紙8,黒ペン書,A4洋紙8,青焼,クリップどめ	
394		「山県」			A4ハトロン紙8,黒ペン書,A4洋紙7,コピー,A4洋紙15,青焼,クリップどめ	
395		「A.L.Ayreの方法(1948)」			A4ハトロン紙4,黒ペン書,A4洋紙4,コピー,A4洋紙10,青焼	
396		「17.1.最適速度 2.柱及びBeamの歪」	昭和54年		角形2号封筒1	
397		「最適速度計算」	昭和54年6月13日		A4洋紙4,青焼,ホッチキスどめ	
398		「航続距離」			A4ハトロン罫紙1,黒ペン書	
399		「最適速度 P.JAMIN」			A4ハトロン罫紙8,黒ペン書	
400		「最適速度 P.JAMIN」			A4洋紙8,青焼,ホッチキスどめ	
401		「連続梁 Continuous Beam」			A4洋紙17,青焼,クリップどめ	
402		「偏心荷重による柱の撓み」			A4洋紙2,青焼,ホッチキスどめ	ホッチキス除去
403		製図教育用洋紙ファイル			B5～A4変洋紙16	黒ペン書にて「10.製図教育用(広大.)」との後年整理封筒あり
404		「11.Free board 原紙」			B4洋紙19	無記入の乾舷計算表及び同裏焼
405		「13.設計原紙」			角形2号封筒1	
406		「CONTOURS OF RESIDUARY RESISTANCE IN POUNDS PER TON OF DISPLACEMENT」			84×68cm洋紙1	
407		「Weight equation」			A4洋紙1	
408		「BODY PLAN OF A STEAMER AS LAID DOWN ON SCRIVE BOARD」			B4E洋紙2	複製
409		「16.ビルジキール動揺周期」			角形2号封筒1	
410		「ビルジキール」		浜本	A4ハトロン紙8,黒ペン書,クリップどめ	

番号	所蔵	件名	作成年月日	作成(発信→受信)	形態	備考
411		揺れに関する計算書			A4用紙11,コピー,ホッチキスどめ	
412		「あまつかぜ丸」			B5罫紙5,黒鉛筆書,クリップどめ	
413		数値表			B5罫紙4,黒鉛筆書,クリップどめ	
414		「BANYA丸」			B5罫紙5,黒鉛筆書,クリップどめ	
415		数値表			B5罫紙5,黒鉛筆書,クリップどめ	
416		「金毘羅丸」			B5罫紙11,黒赤鉛筆書,クリップどめ	
417		WAKABA丸 BANYA丸			B5罫紙5,黒赤鉛筆書,クリップどめ	
418		「ToKuJo丸」			B5罫紙4,黒鉛筆書,クリップどめ	
419		「KoMPIRA」			B5罫紙4,黒赤鉛筆書,クリップどめ	
420		「真盛丸」			B5罫紙4,黒赤鉛筆書,クリップどめ	
421		「あまつかぜ丸」			A4方眼紙5,黒鉛筆書,クリップどめ	
422		金毘羅丸 第1～6回傾斜試験			29.7×46.1cm洋紙2,青焼	
423		第1～6回 a 金毘羅丸 グラフ			A4方眼紙6,黒鉛筆書,クリップどめ	
424		「BANYA丸」			A4方眼紙2,黒赤鉛筆書	
425		「60t TUG BOAT BANYA丸」			A4洋紙4,黒ペン・黒赤鉛筆書,クリップどめ	
426		第1～5回 グラフ			A4方眼紙5,黒赤鉛筆書,クリップどめ	
427		第1～6回 グラフ			A4方眼紙6,黒鉛筆書,クリップどめ	
428		第1～5回 b 第17真盛丸 グラフ			A4方眼紙5,黒鉛筆書,クリップどめ	
429		「19.Torsion 振り」			角形2号封筒1	
430		「振り(Torsion)」			A4洋紙14,青焼,ホッチキスどめ	
431		「振り(Torsion)」			A4洋紙5,青焼,ホッチキスどめ	赤ペンで数式書込あり
432		「扉計算書」		工学博士 浜本博登	A4洋紙10,青焼,ホッチキスどめ	赤ペンで書込あり
433		「20 1.縦強度 2.円筒の強度」			角形2号封筒1	
434		円筒に関する書付			A4原稿用紙1,A4ハトロン罫紙2,A4ハトロン紙2,黒ペン書	
435		「交叉曲線(上甲板及び船楼を含む場合)」			32×81.5cmハトロン紙1,黒鉛筆書	
436		「BONJEAN CURVE」			24.5×87.6cmハトロン紙1,黒鉛筆書	
437		「GZ曲線」			49.8×83cmハトロン紙1,黒鉛筆書	
438		グラフ			55.7×89.4cmハトロン紙1,黒鉛筆書	
439		「HOG COND.」			61×82cmハトロン紙1,黒鉛筆書	
440		「SAG COND.」			69.5×83cmハトロン紙1,黒鉛筆書	
441		「HOGGING CONDITION」			76.5×88cmハトロン紙1,黒鉛筆書	
442		「HOGGING CONDITION」			A4ハトロン紙1,黒ペン書	
443		「SAG COND.」			A4ハトロン紙1,黒ペン書	
444		「SAGGING CONDITION」			A4ハトロン紙1,黒ペン書	
445		「HOG.COND.」			A4ハトロン紙1,黒ペン書	
446		「第十四編 縦強度」			B4洋紙4,コピー	
447		「21.Strain meter etc.」			角形2号封筒1	
448		数値表			A4ハトロン罫紙9,黒ペン書	
449		「A534I 試験片形状及びSTARAIN GAUGE取付け位置」			A3方眼紙1,黒ペン書	
450		「A554I 試験片形状及びSTARAIN GAUGE取付け位置」			A3方眼紙1,黒ペン書	
451		「A556 試験片形状及びSTARAIN GAUGE取付け位置」			A3方眼紙1,黒ペン書	

## 2. 書類

番号	所蔵	件名	作成年月日	作成(発信→受信)	形態	備考
452		「A443 試験片形状及びSTARAIN GAUGE取付け位置」			A3方眼紙1,黒ペン書	
453		「A433 試験片形状及びSTARAIN GAUGE取付け位置」			A3方眼紙1,黒ペン書	
454		「A526 試験片形状及びSTARAIN GAUGE取付け位置」			A3方眼紙1,黒ペン書	
455		「P6 試験片形状及びSTARAIN GAUGE取付け位置」			A3方眼紙1,黒ペン書	
456		「A534 試験片形状及びSTARAIN GAUGE取付け位置」			A3方眼紙1,黒ペン書	
457		「A423 試験片形状及びSTARAIN GAUGE取付け位置」			A3方眼紙1,黒ペン書	
458		「RULEのBKT規格におけるa/t, a/bとSPECIMENのa/t,a/b」			A4ハترون紙1,黒ペン書	
459		「TYPICAL SPECIMEN」			A4ハترون紙1,黒ペン書	
460		記号規格表			A4ハترون罫紙1,黒ペン書	
461		「島津式万能試験機(200TONS型)」			A4ハترون紙1,黒ペン書	
462		「圧縮試験機 50TONS型」			A4ハترون紙1,黒ペン書	
463		DIAL GAGE測定値表			A4方眼紙1,A3方眼紙2,黒ペン書	
464		STRAINMETER測定値表			A3方眼紙9,黒ペン書	
465		各種グラフ綴			A4方眼紙71,黒鉛筆書	方眼紙台紙あり
466		「24.抵抗(2)」			角形2号封筒1	
467		「7.ドルフィン係留動的計算」			A4洋紙26,青焼,ホッチキスどめ	
468		プロペラの運動に関する書類			A4洋紙23,青焼,ホッチキスどめ	
469		「Cavitation(空洞現象)」			A4洋紙18,青焼,ホッチキスどめ	
470		「Cavitation かもめ」			A4原稿洋紙3,黒ペン書	
471		「可変ピッチネズプロペラ」			A4ハترون紙3,黒ペン書,A4洋紙3,青焼	
472		船舶各部性能計算書			A4洋紙8,A3洋紙1,青焼,ホッチキスどめ	
473		「神田」			角形2号日本船舶品質管理協会封筒1	プロペラ運動に関する書類など封入
474		「共鳴」			A4ハترون紙1,黒ペン書,A4洋紙1,青焼	
475		「付加水」			A4ハترون紙1,黒ペン書,A4洋紙1,青焼	
476		用語表・計算表			A4ハترون紙4,黒ペン書	
477		図・グラフ・計算書			A4ハترون紙6,A4原稿用紙1,黒ペン書,A4洋紙2,コピー,A4洋紙6,B4洋紙1,青焼	
478		「27.EHP」			角形2号封筒1	
479		「丸型底艇のEHP算定用図表について」		菊池義男 ミカドプロペラ株式会社	B5洋紙,冊子1,9頁,活版	船の科学Vol.20 No.1掲載論文
480		「山県」			A4洋紙18,青焼,ホッチキスどめ	
481		「A.L.Ayreの方法(1948)」			A4洋紙10,青焼,ホッチキスどめ	
482		「Taylor 1954」			A4洋紙26,黒ペン書,クリップどめ	
483		「Taylor 1954」			A4洋紙13,青焼,ホッチキスどめ	クリップあり
484		「Taylor」			A4洋紙8,青焼,ホッチキスどめ	
485		「Taylor」			A4洋紙29,青焼,ホッチキスどめ	
486		「馬力の種類」			A4ハترون紙12,黒ペン書,ホッチキスどめ,A4洋紙12,青焼,ホッチキスどめ	
487		「船速～馬力推定について」			A4洋紙8,青焼,ホッチキスどめ	
488		「馬力計算(山県図表による)」			A4洋紙2,コピー	
489		「平田氏」			A4洋紙1,青焼	
490		グラフ綴			A4洋紙6,青焼,ホッチキスどめ,A4洋紙4,青焼,ホッチキスどめ	
491		「32.Cant展開」			角形2号封筒1	

番号	所蔵	件名	作成年月日	作成(発信→受信)	形態	備考
492		「第3回特別講演会=溶接技術についての講演会」			B5洋紙1,孔版,B5洋紙2,青焼	
493		「実技講習資料[ I ] 原図作業の機械化」		三井造船株式会社玉野造船所造船工場 前田和雄 森口茂 目代昇	B4洋紙中折10,青焼,ホッチキスどめ	同伴2部あり
494		「現図」			B5洋紙中折5,青焼,ホッチキスどめ	
495		「基本工作図」			66.2×225.4cm洋紙1,青焼	
496		「H215 AFT BODY PLAN」			59.9×40cm洋紙1,青焼	
497		「H215 FORE BODY PLAN」			64×40cm洋紙1,青焼	
498		「5.修正基線展開法(長船式)」			A4洋紙7,青焼,A4洋紙1,コピー	三菱重工業株式会社用紙,制定者に「立川」「岩田」の印あり
499		製図計算書			A4ハトロン紙6,黒ペン書	
500		「34.構造原図(1) (重要?)」			角形2号封筒1	
501		BULKHEAD図面			A4ハトロン紙1,黒ペン書,27.7×20cmフィルムシート1,黒ペン書	
502		舵図面			A4ハトロン紙3,黒ペン書	
503		「MIDSHIP-SECTION」			70.2×54.4cmハトロン紙1,鉛筆書	船舶図面
504		船舶図面・図表			A4ハトロン紙26,25×16cmハトロン紙1,30.2×25.8cmハトロン紙1,黒ペン書	船舶図面,グラフ,数値表など,厚紙ケース入
505		第1～8表 各種形態鋼数値表			A4ハトロン紙7,孔版	
506		第1～8表 各種形態鋼数値表			B4洋紙8,コピー	
507		「表101 板付形鋼の断面係数および断面二次モーメント」			B4洋紙6,コピー,クリップどめ	
508		Blub Angle・Frangleの数値表			23.2×41.4cmフィルムシート中折17,黒ペン書	
509		「神戸造船より?」			角形2号封筒1	下記枝番号書類,「英訳」と記した株式会社神戸造船所封筒(破損あり,取扱注意)あり
510		「Section5-1 Rulesの適用」		浜本	A4洋紙10,青焼	
511		「Section5-2 縦ノ強度の基準」			A4洋紙9,青焼,A4洋紙9,青焼,ホッチキスどめ	同内容2点あり
512		メモ書			A4洋紙7,黒ペン書,ホッチキスどめ	
513		「第4編 溶接(Welding)」			B5洋紙,冊子3	同伴3部
514		section3～34			A4洋紙39	
515		「6.特許中村式操舵テレモーター(S.25年5月5日)図面」	昭和24年		角形2号封筒1	
516		「特許中村式操舵テレモーター取扱説明書」	昭和24年4月23日	株式会社浜田工場	56.9×90.3cm洋紙1,青焼	「御承認用図面」,「昭和廿五年五月五日」とあり
517		「操舵テレモーター」			37.8×79.5洋紙1,青焼	テレモーター構造図面
518		原稿「7.シャルピー衝撃試験機実験データ」	昭和40年		角形2号封筒1	
519		「DATE SHEET for the TESTING of MECHANICAL PROPERTIES MOLDING SAND」	昭和40年6月19日	浜本博登	A4ハトロン紙1,黒ペン書	
520		実験器具図面			A4ハトロン方眼紙1,黒鉛筆書	
521		シャルピー衝撃試験機実験結果数値表綴			B4洋紙17,青焼,ホッチキスどめ,B4洋紙17,青焼,ホッチキスどめ	赤鉛筆にて書込あり
522		「10.1.“Funnel Model Test”1966～67報告書(広大で行われたもの) 2.煙路ガスの資料」	昭和41～42年		角形2号封筒1	
523		Funnel Model Testの実験レポート	昭和41～42年		A4ハトロン紙15,タイプ印刷,41.5×37cmハトロン紙1,47.5×49cmハトロン紙1,黒鉛筆書	実験器具図面あり
524		「煙路ガスの資料」	昭和42年		A4洋紙綴1	煙路ガスに関する実験概要,実験器具図面,参考文献,実験結果グラフなど
525		「14.騒音計測」	昭和41～50年		角形2号封筒1	
526		「双胴船騒音計測」	昭和41年8月～9月	浜本博登	A4洋紙8,青焼,ホッチキスどめ	
527		「こじ丸騒音計測」	昭和41年8月30日	浜本博登	A4洋紙5,青焼,ホッチキスどめ	
528		「船内騒音」	昭和42年4月22日	浜本博登	A4ハトロン紙4,黒鉛筆書	原稿

## 2. 書類

番号	所蔵	件名	作成年月日	作成(発信→受信)	形態	備考
529		「Regulation for Permissible Noise Level aboard Seagoing ships」	昭和50年12月27日	浜本博登	A4洋紙10,コピー,ホッチキスどめ	
530		「小型旅客船騒音評価」		浜本博登	A4洋紙10,青焼,ホッチキスどめ	
531		写真ネガ			3.5×26.3cmネガ2,3.5×23cmネガ1	実験機材とオシログラフの写真ネガ
532		「8.船舶運用 広大関係書類」	昭和44年		角形2号封筒1	複製
533		「要救助海難統計(昭和42年(1967)海上保安の現況より)要救助海難(救助を必要とする海難)の推移」	昭和44年1月7日		A4洋紙2,青焼,ホッチキスどめ	
534		「SS2.船内職制」			A4洋紙5,青焼,ホッチキスどめ	
535		「SS4.船舶運用」			A4洋紙22,孔版,ホッチキスどめ	
536		「SS7.気象と海難」			A4洋紙19,孔版,ホッチキスどめ,A4洋紙17,青焼,ホッチキスどめ	同伴2点
537		海図・磁気コンパスについて			A4洋紙4,青焼,ホッチキスどめ,A4洋紙5,青焼,ホッチキスどめ	「航法」の連続した内容
538		「電波航法」			A4洋紙10,孔版,ホッチキスどめ	
539		「9.脆性破壊 テキスト原稿」	昭和46年4月8日		角形2号封筒1,A4ハトロン紙34,黒鉛筆書,クリップどめ	原稿,「脆性破壊」「浜本」と書かれた広島県封筒あり
540		「12.溶接 割れ防止 歪防止 テキスト原稿」	昭和46年		角形2号封筒1	
541		「歪防止とその対策」	昭和46年4月28日	浜本博登・吉田兎四郎	33.2×25.7cm袋1	件名に関する原稿と論文
542		「割れ」			角形2号封筒1	藤井商事株式会社封筒,件名に関する論文と原稿
543		「3.海洋汚染に関する防止 英文訳 Dec. 21. 1972」	昭和47～48年		角形2号封筒1	
544		水質汚染に関する文章	昭和47年10月18日		B4洋紙中折7,コピー,ホッチキスどめ	「①」と朱書あり
545		「Federal register Volume37 Number246 DEPARTMENT OF TRANSPORTATION Coast Guard Pollution Prevention Vessels and Oil Transfer Facilities」	昭和47年12月21日		A4洋紙15,コピー,ホッチキスどめ	「②1」と朱書あり
546		Federal register Volume37 Number246 DEPARTMENT OF TRANSPORTATION Coast Guard Pollution Preventionにおける運航船関係事項抜萃	昭和48年5月18日		A4洋紙11,コピー,ホッチキスどめ	「②2」と朱書あり,赤ペンで書込あり
547		「Federal register Dec.21.1972 Department of Transportation Coast Guard Pollution Prevention Vessels and Oil Transfer Facilities 抜萃」		浜本	A4ハトロン紙20,黒ペン書	浜本氏による雑誌抜萃の英訳原稿
548		アメリカ沿岸警備隊の制定した油汚染防止規則に関する書簡	昭和48年6月26日	S.Bonnick, SHELL INTERNATIONAL MARINE LIMITED	A4洋紙4,コピー,ホッチキスどめ	「③」と朱書あり
549		アメリカ沿岸警備隊の制定した油汚染防止規則に対応した自社用船への必要工事を願う書簡	昭和48年7月13日	シエル船舶株式会社業務部長高橋→太平洋海運(株)油槽船部長・日本郵船(株)油槽船部長・大阪商船三井船舶(株)油槽船部長・ジャパライン(株)油槽船部長・太平洋商船(株)営業部長	A4洋紙1,コピー	「④」と朱書あり
550		「“船舶による海洋汚染防止に関する国際条約会議”について」	昭和48年9月8日		A4洋紙10,青焼,ホッチキスどめ	「⑤」と朱書あり,表紙に「9/18三井造船より入手」とあり
551		「Ballast TKに関する情報」	昭和48年10月29日	玉木→常石 道浦部長	A4洋紙2,青焼,ホッチキスどめ	「⑥」と朱書あり
552		「海洋汚染に関する国際会議について」	昭和48年11月6日	運輸省	A4洋紙3,青焼,ホッチキスどめ	
553		「1.ステンレス溶接」			角形2号封筒1	
554		「Stainless鋼の溶接」		浜本博登	A4洋紙64,黒ペン書,コピー	日立造船技報封筒入
555		「stainlessの溶接」		浜本	A4ハトロン紙3,黒ペン書	
556		「2.溶接検査」			角形2号封筒1	

## 2. 書類

番号	所蔵	件名	作成年月日	作成(発信→受信)	形態	備考
557		「溶接の検査」			A4ハトロン紙94,黒ペン書	日立造船技報封筒入,封筒表紙に「浜本」「検査」とあり
558		鋼材・溶接に関する書類			A4ハトロン紙2,黒ペン書,クリップどめ,A4ハトロン紙1,黒ペン書	
559		「4.Deck Crane」			角形2号封筒1	以下枝番号を封入したRICOH封筒同封
560		「Deck crane について」			A4ハトロン紙4,黒鉛筆書,クリップどめ	
561		「U106 TYPE "Cecile Enichson"」			A4ハトロン紙1,黒鉛筆書	工作機図面
562		印刷原紙			A4洋紙56,A3洋紙4	
563		「5.Bollard」			角形2号封筒1	
564		「Bollard」			A4洋紙1,35.4×54.3cm洋紙1,青焼,ホッチキスどめ	
565		「ボラード応用分布図」			35.4×54.3cm洋紙1,青焼	
566		「Bollardの寸法」			A4洋紙6,青焼,ホッチキスどめ	
567		case1～3グラフ			A4ハトロン紙1,黒ペン書	
568		Tの値に関する計算・数値表・グラフ			A4方眼紙11,B5罫紙5,B4罫紙20,ペン・鉛筆書	数値表及びそれをもとにしたグラフ
569		「11.溶接機 溶接法 テキスト原稿」			角形2号封筒1	
570		「溶接機」			角形2号封筒1	ハブコック日立株式会社封筒,件名に関する原稿
571		「溶接法」			角形2号封筒1	株式会社産報封筒,件名に関する原稿
572		「スタッド溶接機種一覧(五十音順)」			16.5×39.6cm洋紙1,活版,テープどめ	
573		「13.溶接棒 テキスト原稿」			角形2号封筒1	
574		溶接棒企業別要目表			A3ハトロン紙1,A4ハトロン紙22,黒鉛筆書	
575		「みがきあげられる溶接棒」			B4洋紙1,コピー	神鋼溶接棒のチラシ
576		「八幡溶接棒」			A4洋紙1,コピー	性能・特徴を示したもの
577		「15.写真ネガ 船舶 千田町」			角形2号封筒1	
578		写真ネガ			3.5×22.8cmネガ6,ケース入,3.5×22.8cmネガ7,ケース入	集合写真及び表のネガ
579		実験器具図面及び写真		広島大学工学部船舶工学科	30×39cm洋紙1,黒鉛筆書	実験器具の図面と実際の実験器具の写真
580		「16.Shipping Regulations 商船法規(1948) テキストの原稿(?) 商船乗員設備法規(1953) 作成者不明」			角形2号封筒1	商船における規程を列挙した原稿,広島大学工学部封筒入,表紙に「船舶工学科」のペン書と「浜本」印あり
581		1.外的拘束・2.水素脆化に関する教材模造紙			109×79cm洋紙5	
582		溶接棒心線化学成分などに関する教材または学会発表模造紙			109×79cm洋紙4	
583		造船年譜・教材模造紙			109×79cm洋紙1	
584		「艦装(No.1)」			26×19cm洋紙,冊子1	紐綴じ,183・184頁に挟込あり
585		「艦装(No.2)」			26×19cm洋紙,冊子1	紐綴じ,「船用 gas turbine」解説6枚挟込あり
586		「造船技術の発展」		工学博士 浜本博登	A4ファイル1	クリアファイル一括
587		「艦装 ギソ1」			30.3×22.3cm冊子1	紐綴じ,湿式コピーを綴ったもの,メモ挟込あり
588		「ギ2」			31.3×22cm冊子1	リング綴じ(2穴),黒ペン書にて「戦後(教科書)広大用テキスト準備用 教科書準備資料」の後年整理洋紙あり
589		「ギ3」			31.3×22cm冊子1	リング綴じ(2穴)
590		「ギ4」			31.3×22cm冊子1	リング綴じ(2穴)
591		「抵」			31.3×22cm冊子1	リング綴じ(2穴)
592		「艦装」			30×22cm冊子1	リング綴じ(2穴),表紙の「融通材」を訂正して「艦装」と標記
593		「広島大学 テキスト 設計原稿」			34×24.6×3cm,袋入1,363頁,1	第24章は複製,全363枚のほか第24章中に1の小片メモあり
594		「1.揚貨装置」			27.2×18.5cm冊子1	紙紐綴じ,資料挟込あり
595		「2.揚錨装置」			27×19cm冊子1	紙紐綴じ,資料挟込あり

## 2. 書 類

番号	所蔵	件名	作成年月日	作成(発信→受信)	形態	備考
596		「3.繫船装置 4.曳船装置」			27.2×19.1cm冊子1	紙紐綴じ,資料挟込あり
597		「5.索類」			27.3×19.3cm冊子1	紙紐綴じ
598		「6.操舵装置」			27.3×19cm冊子1	紙紐綴じ
599		「7.救命設備」			27.3×19.4cm冊子1	紙紐綴じ
600		「8.天幕」			28×20cm冊子1	紙紐綴じ
601		「9.客室及船員室」			28×20cm冊子1	紙紐綴じ
602		「10.航海関係室 11.厨室及配膳室 12.洗濯室 13.彩光 14.倉庫 15.燃料」			28×20cm冊子1	紙紐綴じ
603		「16.冷蔵庫」			28×20cm冊子1	紙紐綴じ
604		「17.支水扉」			28×20cm冊子1	紙紐綴じ
605		「18.諸管装置」			28×20cm冊子1	紙紐綴じ
606		「19.防火消火装置」			28×20cm冊子1	紙紐綴じ
607		「20.通風装置」			28×20cm冊子1	紙紐綴じ,表挟込あり
608		21.暖房,冷房装置			28×20cm冊子1	紙紐綴じ
609		「22.船内通信装置 23.無線電信」			28×20cm冊子1	紙紐綴じ
610		「24.航海器具」			28×20cm冊子1	紙紐綴じ,黒ペン書にて「手製戦後(蔵と同じ)教科書(間に記入事項あり)」との後年整理洋紙あり
611	呉	造船工学大意(中)[教科書]		浜本博登	25×18cm冊子1,282頁	メモ挟込あり

### ④指導

番号	所蔵	件名	作成年月日	作成(発信→受信)	形態	備考
612		「昭和34年度 川崎重工夏期実習生感想文」	昭和34年8月7日	大阪府立大学4年生 神田修治・横浜国立大学4年 田中陽・大阪大学4年 井上容明ほか	角形1号封筒1	メモ5枚挟込
613		「昭和30年代(?) 学生提出資料」			角形1号封筒1	グラフ,数値表,無地茶封筒,島津製作所広島営業所封筒入
614		「昭和35年 学生提出レポート(在学中)」			角形1号封筒1	数値表,グラフ綴あり,日立製作所広島営業所封筒・日向造船株式会社向島工場封筒入
615		「1971年頃 学生提出レポート」			角形1号封筒1	番号616~620は広島大学教員養成所封筒入
616		「Section 5-1 APPLICABILITY OF THE RULES」			A4洋紙6,青焼,クリップどめ	「⑦」と朱書あり
617		「鋼船構造(Ⅱ)(浜本先生)レポート」		71162 トシ ホック セン	A4洋紙8,黒鉛筆書,ホッチキスどめ,A4洋紙12,青焼	「⑧」と朱書あり
618		「鋼船構造Ⅱリポート」		長崎造船大学船舶工学科71147 佐々木勉	B4洋紙7,黒ペン書,ホッチキスどめ	「⑨」と朱書あり
619		「鋼船構造Ⅱreport」		71166 中西直樹	A4洋紙22,黒ペン書,ホッチキスどめ	「⑨」と朱書あり
620		「鋼船構造Ⅱ(浜本)」		71173 布広 誠一	A4洋紙5,青焼,B4洋紙7,黒ペン書,ホッチキスどめ	「⑩」と朱書あり
621		日立造船技報封筒			角形2号封筒1	
622		「section8-1 一般規程」			A4洋紙17,黒ペン書,ホッチキスどめ	
623		「Chapter8 Oil tankers」			A4洋紙65,青焼,ホッチキスどめ	船舶3年 71156 タン.コン.メンの鋼船構造(Ⅱ)レポート挟込
624		英語論文			A4洋紙5,青焼,クリップどめ	「⑫」と朱書あり
625		「鋼船構造Ⅱ(浜本先生)レポート」		船舶工学科3年71119 遠藤護	B5洋紙13,青ペン書,ホッチキスどめ,A4洋紙6,青焼,ホッチキスどめ,クリップどめ	
626		「5.Rudder 圧力中心」			A4洋紙260	広島大学工学部封筒に一括
627		「6.Rudder 圧力中心」		3485017日野久志 3485018広川紀夫	A4洋紙101	「船体後流中に於ける舵の圧力中心に関する実験的研究」HH036000 「5. Rudder 圧力中心」の前半(本文)と思われる,広島大学工学部封筒に一括
628		「17.卒論(S.40年) 防熱実験(原紙)」	昭和40年		角形2号封筒1	
629		「防熱実験」	昭和40年		A4ハトロン紙134,黒ペン書	袋入,浜本先生に師事した学生の論文原稿

番号	所蔵	件名	作成年月日	作成(発信→受信)	形態	備考
630		防熱実験用各種図表			B4ハトロン紙2,A4ハトロン紙2,黒ペン書	「広島大学工学部船舶工学科」「浜本」の印あり
631		「20.溶接のテキスト 原稿」	昭和52年		角形0号封筒1	
632		「1 本梁」			A4ハトロン紙1,黒ペン書	
633		「組立梁」			A4ハトロン紙1,黒ペン書	
634		「アーク溶接の歴史」			A4ハトロン紙6,黒ペン書	
635		「目次 1. 2.」			A4ハトロン紙18,黒ペン書,クリップどめ	
636		「3 継手の種類(kinds of joints)」			A4ハトロン紙11,黒ペン書,クリップどめ	
637		「4 溶接記号」			A4ハトロン紙1,黒ペン書,A4ハトロン紙35,コピー,クリップどめ	
638		「5 溶接設計の基礎(Design for welding Welding Design)」			A4ハトロン紙5,黒ペン書	
639		スミ肉・連続溶接に関するコピー			B5洋紙5,コピー	
640		「6 溶接棒」			A4ハトロン紙43,黒ペン書,コピー	三菱重工株式会社封筒入
641		「7 作業性 8 溶接性 9 検定」			A4ハトロン紙18,黒ペン書,クリップどめ,A4ハトロン紙10,黒ペン書,クリップどめ,A4ハトロン紙23,黒ペン書,クリップどめ	株式会社産報封筒入
642		「11 施工法」			A4ハトロン紙20,黒ペン書,クリップどめ,A4ハトロン紙9,黒ペン書,コピー,A4洋紙5,青焼,A4洋紙8,青焼,ホッチキスどめ,A4洋紙15,青焼,ホッチキスどめ,A4洋紙2,青焼,ホッチキスどめ	広島大学工学部封筒入
643		「溶接部の各種非破壊試験法」	昭和52年6月	(財)工業開発研究所技術認定本部 富士岳	A4ハトロン紙16,黒ペン書,クリップどめ	
644		「溶接強度計算」			A4ハトロン紙21,黒ペン書,クリップどめ,A4ハトロン紙64,黒ペン書,クリップどめ	
645		「18.卒論(原紙) 通風実験」			角形2号封筒1	
646		「卒論 通風実験」			A4洋紙1,青焼,A4ハトロン紙360,黒鉛筆書	
647		「広大風洞,通風実験装置について」		浜本博登 永井欣一	B4洋紙5,コピー	
648		通風実験装置図面			28.9×58.3cmハトロン紙1,黒鉛筆書	
649		模型倉実験写真			11.5×16cm写真4,5.8×7.6cmネガ4	袋入
650		実験写真ネガ			3.5×23.5cmネガ2	ケース入
651		封筒			23.3×32×4.4cm袋1	昭和36年8月7日付浜本博登宛石川島播磨重工業株式会社船研部小包封筒
652		目録 [print page1~11]			29.9×21.5cm冊子1,25枚組	「①」と朱書あり
653		Regulation11~28 [print page12~24]			30×20.9cm冊子1,13枚組	「②」と朱書あり
654		25頁~37頁注釈 [print page25~]			29.9×21.5cm冊子1,24枚組	「③」と朱書あり
655		「APPENDIX A」			25.4×17.8cm冊子1,18枚組	「④」と朱書あり
656		「1953 No.1036 MERCHANT SHIPPING masters and seaman」			24.9×17.8cm冊子1,17枚組	「⑤1」と朱書あり
657		注釈書			30×21.1cm冊子1,15枚組	「⑤2」と朱書あり
658		「Recreation Spaces and Studies」		3385012 高井勝明	25×17.6cm冊子1,16枚組	「⑤3」と朱書あり
659		P31~42注釈書			30×21cm冊子1,15枚組	「⑤4」と朱書あり
660		(P7)-1~(P16)-3注釈書			29.9×21.5cm冊子1,20枚組	「⑦」と朱書あり
661		注釈書			25.4×17.8cm冊子1,25枚組	「⑧」と朱書あり
662		「商船規則」			25.4×17.8cm冊子1,15枚組	「⑨」と朱書あり
663		P1~9注釈書			25.4×18.1cm冊子1,10枚組	「⑩」と朱書あり
664		「Radiotelegraph and other Electrical Equipment in moter Lifeboats」			25×17.2cm冊子1,18枚組	「⑪」と朱書あり

## 2. 書 類

番号	所蔵	件 名	作成年月日	作成(発信→受信)	形 態	備 考
665		P29～39注釈書			25.4×17.8cm冊子1,25枚組	「㉔」と朱書あり
666		「STATUTORY INSTRUMENTS 1952 No1948」			29.9×21.5cm冊子1,20枚組	「㉕」と朱書あり
667		「英訳宿題第14号」		3385024 平田智明	25.1×17.7cm冊子1,20枚組	「㉖」と朱書あり
668		P22～32注釈書			29.9×21.5cm冊子1,17枚組	「㉗」と朱書あり
669		「Part V(A)」			25.1×17.7cm冊子1,19枚組	「㉘」と朱書あり
670		P44～55用語表			25.1×17.7cm冊子1,28枚組	「㉙」と朱書あり
671		No㉚1 艀装		30 和田義文	30.7×21.7cm冊子1,10枚組	「㉛」と朱書あり
672		Page70～80注釈表			25.2×17.8cm冊子1,11枚組	「㉜」と朱書あり

### ⑤試験

番号	所蔵	件 名	作成年月日	作成(発信→受信)	形 態	備 考
673		「試問」	昭和22～42年		31.3×22cm冊子1	広島工業専門学校・広島大学工学部定期試験問題(昭和24～33年の造船関連企業入社試験問題を含む)
674		広島大学工学部定期試験問題綴	昭和43～48年		30.3×22.6×5cm冊子1	昭和43～48年の広島大学工学部定期試験問題(昭和30～31年の造船関連企業入社試験問題を含む),表紙に「(広大)戦後就職問題含む資料」と黒ペン書のある封筒あり
675		「昭和37年・36年 大学院入試資料」	昭和36～37年		角形0号封筒1	
676		「[広島大学大学院工学研究科船舶工学専攻試験問題綴]」	昭和38～47年		30.7×21.6cm冊子1	厚紙リング綴じ(2穴)

### ⑥参考資料

番号	所蔵	件 名	作成年月日	作成(発信→受信)	形 態	備 考
677		「The Effective Breadth Concept in Ship-Structure Design」	昭和28年	Henry.A.Schade	A4洋紙,冊子1	複製『SNAME』Vol.1.61,1953年,410～430頁
678		「The Effective Breadth of Plating Attached to Rolled Sections.」	昭和30年10月	W.Muchle	A4洋紙,冊子1	複製『SHIPPPONG EORLD AND SHIPBUILDER』Vol.1.62, No.569,593～598頁
679		「日本工業規格 銅および銅合金用被覆アーク溶接棒」	昭和36年		A4洋紙5	
680		「山形材を使用した肘板の強度」	昭和37年9月	多賀谷六雄	A4洋紙,冊子1	『西部造船会会報』第24号別刷
681		「Zur Tragfähigkeit druckbeanspung unter orthotroper Platten」	昭和37年12月	H.G.Schultz	A4洋紙,冊子1	複製『Schiff und Hafen, Heft』14,1088～1091頁
682		「日本工業規格 硬化肉盛用被覆アーク溶接棒」	昭和37年		A4洋紙2	
683		「SYSTEMATICAL DETERMINATION OF THE GEOMETRIC PROPERTIES OF A BUILT GIRDER」	昭和38年5月	J.S.FOLKERS	A4洋紙冊子1	複製『Int. Shipbuilding Progress』Vol.10, No.105,159～169頁
684		「日本工業規格 ディグ溶接用タングステン電極棒」	昭和38年		A4洋紙3	
685		「三角形ブラケットの圧壊強さ」	昭和39年2月	西牧興・浦田昭典・原洋一	A4洋紙,冊子1,ホッチキスどめ	複製『日立造船技報』第25巻第1号,1～8頁
686		「Buckling and Post Buckling Behavior of a Transversely Stiffened Ship Hull Model」	昭和39年7月	H.G.Schultz	A4洋紙,冊子1	複製『Journal of Ship Research』1964年9月,7～21頁
687		「日本工業規格 アルミニウムおよびアルミニウム合金溶接棒ならびに電極線」	昭和39年		A4洋紙2	
688		「Experimentelle Beuluntersuchungen querversteifter Plattenfelder」	昭和40年2月	H.G.Schultz	A4洋紙,冊子1	複製『Schiff und Hafen, Heft』17,93～97頁
689		「操船用曳船標準設計図面目録」	昭和40年10月	日本造船工業会(操船用曳船標準設計作成委員会)	B5洋紙,冊子1	
690		「操船用曳船標準設計の要点について」	昭和40年11月1日	運輸省船舶局	B5洋紙,冊子1	

番号	所蔵	件名	作成年月日	作成(発信→受信)	形態	備考
691		「Zur Dimensionierung von Plattenfeldern bei Beanspruchung durch Einzellasten (Gabelstapler)」	昭和40年11月	M.Bockenbauer・ H.G.Schultz	A4洋紙,冊子1	複製『Schiff und Hafen, Heft』17,860～864頁
692		「日本工業規格 鋳鉄用被覆アーク溶接棒」	昭和40年		A4洋紙2	
693		「SELF-EQUILIBRATED RING LOADING OF A STIFFENED CIRCULAR CYLINDER」	昭和40年	E.M.Q.Roren	A4洋紙,冊子1,ホッチキス どめ	複製『European Shipbuilding』No.6,112～121頁
694		「マトリクス変位法による骨組の解析—その(1) 剛性行列の作成—」	昭和41年5月	川股重也	A4洋紙,冊子1,ホッチキス どめ	複製『生産研究』18巻5号,121～125頁
695		「マトリクス変位法による骨組の解析—その(1) 剛性行列の作成—」	昭和41年5月	川股重也	A4洋紙5,クリップどめ	複製『生産研究』18巻5号,1966年5月,121～125頁
696		「THE STRUCTURAL STRENGTH OF TRAWLER STERNFRAMES」	昭和41年5月	K.V.Taylor	A4洋紙,冊子1	複製『Shipping World & Shipbuilder』 Vol.158, No.3792, 235～241 頁
697		「STRESS CONCENTRATION IN WAY OF HATCH CORNERS」	昭和43年3月	A.O.Bell・ W.S.Richardson	A4洋紙,冊子1	複製『SHIPPONG EORLD AND SHIPBUILDER』 Vol.161, No.3818, 567～570 頁
698		「冷凍貨物倉の冷風吹出しグレーディングについて」	昭和43年5月	久家久志・鐘ヶ江官朗・ 多和聖文	A4洋紙,冊子1	複製『日立造船技報』第29巻第2号,35～41頁
699		「THE DEVELOPMENT AND DESIGN OF PASSIVE ROLL STABILISERS」	昭和43年7月18日	G.J.Goodrich	A4洋紙,冊子1	複製『SHIPPONG EORLD AND SHIPBUILDER』,1241～1244頁
700		「日本工業規格 モリブデン鋼およびクロムモリブデン鋼被覆アーク溶接棒」	昭和44年		A4洋紙3,青焼	複製『日本工業規格』 3223,1969年,1～3頁
701		「第9編 二重底構造(Double bottom・D・B・)」			B5洋紙,冊子3	同伴3部
702		「第8編 単底構造」			B5洋紙,冊子1	
703		「単底構造」			38×39cm洋紙1	竜骨・肋骨図面
704		強度に関する論文(部分複製)			A4洋紙,冊子1	複製『R・D』 Vol.18, No.1, 34～36頁
705		表紙			B5洋紙1	
706		「鉱石運搬船(Ore carrier)」			B4洋紙3	メモ書
707		「第13章 人孔(man hole),軽目穴(lightening hole)」			B4二つ折洋紙1	一部切取あり
708		第2章中心線桁数～第9章半桁板			B5洋紙,冊子1	一部切取あり
709		「第3編 リベット接合」			B5洋紙,冊子1	
710		「130GT型操船用標準曳船(ノズラダ付)の水槽試験(その1—推進性能)」		船型試験部 土田陽・ 森山茂男・長谷順弘・ 斉藤勇	B5洋紙,冊子1	抜刷
711		第2章～第5章メガネ形船尾骨材			B5洋紙,冊子1	切取多数あり
712		第5編 主要寸法(Principal dimensions)及び材料数(Scantling number)～第6編 キール,船首材,船尾材			B5洋紙,冊子1	129～166頁,切取多数あり
713		第2章不平衡舵～第8章舵止			B5洋紙,冊子1	167～195頁,切取多数あり
714		第7編 舵(Rudder)～第5章舵骨,舵板			B5洋紙,冊子1	167～195頁,切取多数あり
715		「Chapter5 General provisions applicable to hulls」			A4洋紙,冊子1	表紙に「船体に適用される一般規定」と朱書あり
716		第6章二重底構造～第27章対水構造に関するプリント			B4E洋紙33	166～196,283～315頁
717		紐綴じファイル後半部			B5洋紙,冊子1	船体各部に関する計算式・数値表,図面などを綴ったもの,239～313頁プリントを含む
718		「The Strength of Large Tankers (Part I)」	昭和26年	E.Abrahamson・ G.Vedeler	A4洋紙,冊子1	複製『European Shipbuilding』No.6,130～151頁
719		「The Strength of Dry Cargo Ships (Part I)」	昭和33年	E.Abrahamson	A4洋紙,冊子1	複製『European Shipbuilding』No.3,62～74頁
720		「The Strength of Dry Cargo Ships (Part II)」	昭和33年	E.Abrahamson	A4洋紙,冊子1	複製『European Shipbuilding』No.4,86～106頁
721		「The Torsional Rigidity of an all-hatch ship」	昭和36年8月	ROBERT SCOTT	B5洋紙,冊子1	複製『Int. Shipbuilding Progress』Vol.8, No.84
722		「Stress Concentration at Hatch Corners Effect of insent Plates and Shape of Coarnings」	昭和40年11月4日	W.S.Richardson・ W.Ossowski	A4洋紙,冊子1	複製『Shipping World & Shipbuilder』,297～2302 頁

## 2. 書 類

番号	所蔵	件 名	作成年月日	作成(発信→受信)	形 態	備 考
723		「船舶用波板」	昭和41年12月		A4洋紙,冊子1	複製 『製鉄研究』第257号,2~42頁
724		「Test on BKT less Knees」	昭和41~42年	Prof. S.C.Redshaw・H.Shakir-Khalil	A5洋紙,冊子1	複製
725		「Structural Problems in Ships with Large Hatch Openings」	昭和42年1月	WILDE	A4洋紙,冊子1	複製 『Int. Shipbuilding Progress』Vol.14, No.149,7~33頁
726		「Fatigue tests on Cross girder connections」	昭和42年2月	A.B.M.Braithwaite・T.R.Gurney	A4洋紙,冊子1	複製 『BRITISH WELDING JOURNAL』,71~81頁
727		「Reflections upon Permissible Longitudinal Stresses in Ships」	昭和42年4月	E.R.Steneroth	A4洋紙,冊子1	複製 『RINA』Vol.109, No.2,223~236頁
728		「STRESS CONCENTRATIONS AT HATCH CORNERS An Assessment of Parabolic Shapes」	昭和42年5月	M.Williams	A4洋紙,冊子1	複製 『Shipping World & Shipbuilder』,693~697頁
729		「STRESS CONCENTRATION IN WAY OF HATCH CORNERS」	昭和42年7月	A.O.Bell・W.S.Richardson	A4洋紙,冊子1	複製 『Shipping World & Shipbuilder』1967年4月,548~552頁
730		「STRESSES IN TRANSVERSE SHELL FRAMES MEASUREMENTS ON A 20,000-d.w.t. BULK CARRIER」	昭和42年7月	M.Williams	A4洋紙,冊子1	複製 『Shipping World & Shipbuilder』,43~47頁
731		「Stress Concentration in way of Hatch Corners」	昭和42年7月	A.O.Bell・W.S.Richardson	A4洋紙,冊子1	複製 『Shipping World & Shipbuilder』1967年4月,548~552頁
732		「波浪中にて船体中央部に働く変動水圧について」	昭和42年10月	郷田国夫	A4洋紙,冊子1	複製
733		「斜方向補剛ウェブのせん断座屈に関する研究」	昭和42年11月	京都大学 米沢博・橋梁水門設計課中原久・松下貞義・加治屋清史	A4洋紙,冊子1	複製 『呉造船技報』15,2~31頁
734		「Optimization Studies of Hull Constructions of Large Ships, with Different Steek Types Taken into Consideration (Part II)」	昭和42年	I.Johnsenほか	A4洋紙,冊子1	複製 『European Shipbuilding』No.1,10~26頁
735		「船体振動」	昭和42年		A4洋紙,冊子1	複製 『日本造船研究会資料』No.60-1,95~174頁
736		「耐圧強度」	昭和42年	住友金属工業㈱鋼管製造所 川野和男・高橋啓三	B5洋紙,冊子1	複製 「超高压装置用鋼管の耐圧強度について」『高压力』第5巻第2号,949~959頁,
737		「桁材フランジの塑性座屈実験」	昭和42年	林毅・浜中順一・川島矩郎	B5洋紙,冊子1	複製 『航空学会誌』第15巻第161号,1967年6月,195~200頁
738		「THE TORSIONAL BEHAVIOUR OF SHIPS WITH LARGE HATCH OPENINGS」	昭和43年1月	Ir.G.de Wilde	A4洋紙,冊子1	複製 『SHIPPONG EORLD AND SHIPBUILDER』,59~62頁
739		「LPGおよびLMGタンクとその支持構造の強度計算法」	昭和43年2月	井上武彦・原田耕次・関浜昌弘	A4洋紙,冊子1	複製 『日立造船技報』第29巻第1号,1~18頁
740		「A Proposed New Basis for the Design of Single-Screw Merchant Ship Forms and Standard Series Lines」			B5洋紙,冊子1	
741		「Lock gates and Caissons」			A4洋紙,冊子1	複製 『THE DESIGN OF DOCKS』250~308頁
742		「Development of Basis of Longitudinal Strength Standards for Merchant Ships」		J.M.Murray	A4洋紙,冊子1	複製 217~244頁
743		「Ship Design for Improved Cargo Handling」		E.Scott Dillon・G.Ebel・Andrew R.Goobeck	A5洋紙,冊子1	複製 634~722頁
744		「耐衝突実験」			A4洋紙,冊子1	複製 『日本造船研究会資料』No.65,5~65頁
745		「高力ボルト引張接合について Split tee接合に関する研究 高力ボルト引張接合部の設計における基本的問題」			A4洋紙,冊子1	複製 『JSSC』Vol.3. No.24,1967年,2~67頁
746		「土圧理論」			A4洋紙,冊子1	複製 『造船研究』73~75,108~112頁
747		The Orthogonally Stiffened Plate under Uniform Lateral Load. 筆記メモ		藤田譲・八木順吉	A4洋紙,冊子1	複製 『Journal of applied Mechanics』(1940年12月)に関するメモ
748		「耐衝突構造の強度試験」		酒井利夫・西牧興・塩田史郎	B5洋紙,冊子1	複製 45~61頁
749		「三菱VSG唧筒と変速装置」		三菱重工工業株式会社長崎造船所	28×21cm洋紙,冊子1	青焼図面3枚挟込あり
750		KANOMAX仕様書・関連グラフ			A4ファイル1	

番号	所蔵	件名	作成年月日	作成(発信→受信)	形態	備考
751		「1.The speed and power of ship の本のコピー(広島大学図書) 1.Appendix B コピー」			角形0号封筒1	D.W.Taylor『THE SPEED AND POWER OF SHIPS』のコピー とメモ書コピー
752		「推進計算 コピー 1955年 運技 研抵抗 1955年 コピー」			角形0号封筒1	
753		「推進計算」			角形2号封筒1	浜本博登宛日本船舶振興 会封筒,推進計算に関する 論文コピー一括封入
754		「運技研抵抗」			角形2号封筒1	浜本博登宛日本船舶振興 会封筒,『運輸技術研究所 報告』第5巻第1号～第2号 コピー一括封入
755		「Standards of stability of sea-going vessels and floating cranes 本のコピー」			角形2号封筒1	コピー原紙袋一括封入
756		斉藤実文書・呉海軍工廠明魂顕 現講習会会員感想文抄録	昭和8年10月26日	蓮沼門三	B4コピー用紙中折3	コピー,国立国会図書館,裏 表紙に分類番号4,247とあり
757		「日本海事新聞」	昭和32年4月22日		B4洋紙3,クリップどめ	全国各地の造船所の船 台・船渠能力一覧表,船用 主機関の生産実績表を切り 抜いたもの
758		「ヨーロッパおよびソ連における理 工教育」	昭和36年3月	末岡清市	B5洋紙,冊子1,34頁,ホッ チキスどめ	
759		「造船撓鉄ハンドブック」	昭和38年10月1日	社団法人日本造船工業 会編・発行	B5洋紙,冊子1,220頁,活 版	
760		「シリーズいんたびゅう 私と溶接」	昭和53年10月24日		38.5×41.5cmコピー用紙 1	溶接ニュース浜本博登イン タビュー記事
761		浜本博登が鑑定人を務めた船舶 沈没事故に関する新聞コピー	昭和54～55年		A3コピー用紙3	中国,毎日,朝日,読売,各紙 コピー
762		13-1 戦艦大和型 大和 大体配 置図 1/2 舷外平面 上部平面 船内側面 甲板平面			43.2×59.2cm洋紙1	番号762～767一括
763	呉	13-1 戦艦大和型 大和 大体配 置図 1/2 舷外平面 上部平面 船内側面 甲板平面			29.2×35.8cm洋紙1	
764	呉	第二船倉甲板平面・船倉平面			20×75.8cm洋紙1	
765	呉	13-1 戦艦大和型 大和 大体配 置図 1/2 船内側面・甲板平面			43×71.2cm洋紙1	
766	呉	13-1 戦艦大和型 大和 大体配 置図 1/2 船内側面・甲板・船倉 平面			29×38.7cm洋紙1	
767		12 戦艦大和型 大和 一般配置 図 舷外側面 上部平面			42×75.8cm洋紙1	
768		3500T FLOATING DOCK GENERAL ARRANGEMENT SCALE 1/200			53×79.8cmハترون紙1	図反転,コピー原紙,番号 768～770一括
769		3500T FLOATING DOCK SECTION SCALE 1/ 50			43.5×75cmハترون紙1	図反転,コピー原紙
770		1500TONS FLOATING DOCK 一般 配置図 1/200			39.7×55.5cmハترون紙1	図反転,コピー原紙
771	呉	線図			29.5×42cm冊子1,22頁	日本造船学会 編『昭和造 船史 別冊 日本海軍艦艇 図面集』(原書房明治百年 史叢書第242巻,1978年)の 複製
772	呉	線図			冊子1,11頁	日本造船学会 編『昭和造 船史 別冊 日本海軍艦艇 図面集』(原書房明治百年 史叢書第242巻,1978年)の 複製
773		封筒			B4変封筒1	表に黒ペン書にて昭和8年 10月26日 国会図書館よりと あり

## ⑦その他

番号	所蔵	件名	作成年月日	作成(発信→受信)	形態	備考
774		「新聞」	昭和25～54年		28×38cmフォルダ1	造船業・広島大学工学部・ 浜本氏の功績・溶接協会 などに関する記事,日本溶 接協会に関する帳簿,ステ ンレス鋼講習会に関する帳 簿などを挟込
775		夏期教養講座案内	昭和30年7月	広島県教育委員会	B5洋紙1	
776		領収書メモなど	昭和31～41年		袋1	グラフ図面など雑多に一括 封入

## 2. 書 類

番号	所蔵	件 名	作成年月日	作成(発信→受信)	形 態	備 考
777		「しぶき No.5」	昭和35年4月11日	皆川多郎編・広島大学ヨット部発行	B5用紙,冊子1,78頁,活版	
778		広島大学工学部封筒			長形4号封筒2	
779		「広島大学船舶工学科存続理由書」			B5洋紙,冊子1	広島大学工学部罫紙5枚綴,ホッチキスどめ,「8.広島大学船舶工学科存続理由書 重要 広大行」と黒ペン書・朱書の封筒あり
780		無題ファイル			32×24cm洋紙,冊子1	論文,メモ書,数値表など挟込
781		昭和34年溶接学会中国支部関係プリント			B4E洋紙66	広島大学工学部長発教官・教務員各位宛昭和34年7月3日付「教官待遇改善懇談会についての件」(B5洋紙1枚)の挟込あり
782		COMMISSION No.1~16の委員会内容案内			109×79cm洋紙1	
783		「講演記録 船の常識」		広島大学名誉教授 浜本博登	B4コピー用紙中折4,ホッチキスどめ	
784		「鑄造方案集」			封筒1	
785		「第3回鑄造品展示検討会資料 NO.1 鑄造調書一覧表(抜粋)」		日本鑄鋼会	B4E冊子1	
786		「第3回鑄造品展示検討会資料 NO.2 鑄造方案集」		日本鑄鋼会	A4冊子1	

### (3) 海難審判関係

番号	所蔵	件 名	作成年月日	作成(発信→受信)	形 態	備 考
787		封筒	昭和29~31年		37.8×28.5cm・33.2×25.5cm 広島大学工学部ひも付き封筒2,133×24cm 三菱重工業(株)封筒1	封筒のみ,表に黒ペンにて「1.昭和30年12月 ①共栄丸(GM計算書)②むらちどり,第七住吉丸 ③新栄丸 参考調書別袋」のメモ(15×10cm)添付封筒,「むらちどり 第七住吉丸衝突痕跡参考調書」と黒ペン書の封筒,「1.共栄丸GM計算書 2.むらちどり第七住吉丸衝突痕跡 3.新栄丸の擦過痕跡」と黒ペン書の封筒あり
788		「鑑定囑託書」	昭和29年2月19日	第六管区海上保安部	B4和紙,コピー用紙,2頁,「むらちどり」擦摺個所見取図添付	
789		「第七住吉丸に関する鑑定書」	昭和29年9月3日	愛媛大学教授 浅尾春海	B5わら半紙,31頁,活版	
790		「機船むらちどり漁船第七住吉丸衝突事件審判弁論要旨」	昭和29年9月25日	受審人 宮田大吉	B5わら半紙,70頁,孔版	
791		「機船むらちどり漁船第七住吉丸衝突事件審判弁論要旨」	昭和29年9月25日	むらちどり補佐人 都竹要次郎	B5わら半紙,22頁,孔版	
792		「機船むらちどり漁船第七住吉丸衝突事件審判弁論要旨」	昭和29年9月25日	補佐人 星野 基	B5わら半紙,48頁,孔版	
793		「裁決書 むらちどり第七住吉丸衝突事件」	昭和30年1月13日	神戸地方海難審判庁	B5わら半紙,16頁,活版	
794		「六警第二〇号,むらちどり第七住吉丸衝突事件第二審の請求について」	昭和30年1月27日	第六管区海上保安部警備救護部	B4洋紙,1頁,活版	
795		「共栄丸GM計算書」	昭和30年12月16日	広大 浜本博登	B5洋紙,3頁,孔版	
796		「機船むらちどり漁船第七住吉丸衝突事件審判弁論要旨」	昭和31年7月30日	弁護士 都竹要次郎	B5わら半紙,41頁,孔版	
797		「機船むらちどり漁船第七住吉丸衝突事件審判弁論要旨」	昭和31年7月30日	むらちどり補佐人 三浦静雄	B5わら半紙,29頁,孔版	
798		「六警々第七〇四号 海難審判裁決書の送付について」	昭和31年9月21日	第六管区海上保安部警備救護部	B5わら半紙,31頁,孔版,(むらちどり,第七住吉丸衝突事件)	
799		「機帆船「新栄丸」に関する鑑定書」		広大 浜本博登	B5洋紙,4頁,孔版	
800		事故船写真集			B5洋紙,9頁	
801		第七住吉丸事故写真集			B5洋紙,34頁	
802		「鑑定書」		鑑定人 笹島秀雄	B5洋紙,16頁,活版	むらちどり第七住吉丸衝突事件の鑑定書
803		「鑑定書 附録」		鑑定人 笹島秀雄	B5洋紙,24頁	むらちどり第七住吉丸衝突事件の事故船写真集
804		「破損箇所 明細図」			B5・B4変ハترون紙,3頁	

番号	所蔵	件名	作成年月日	作成(発信→受信)	形態	備考
805		「むらちどり対第七住吉丸の衝突事件に関する9月25日開延の海難審判における木村理事官の論告全文」		木村理事官	B5わら半紙,15頁,孔版	
806		「むらちどり 前部線図(1/20)」			30.5×24cm,1,青焼	「第1図」とあり
807		第七住吉丸後部外観(1/40)			35×30.3cm,1,青焼	「第3図」とあり
808		浸水傾斜角関係図(1/40)			25×18cm,1,青焼	「第5図」とあり
809		「CROSS CURVES」			20.4×25.3cm,1,青焼	「第6図」とあり
810		「BOTTOM OF FALSE KEEL」			14.5×39cm,1,青焼	グラフ断片
811		「第七住吉丸 後部線図 (1/20)」			17.6×42.5cm,1,青焼	
812		封筒	昭和31～32年		37.8×28.5cm封筒2	表に黒ペンにて昭和31年2月,恵比須丸鑑定書のメモ(15×10cm)添付封筒,「恵比須丸鑑定書」と黒ペン書の封筒あり
813		「広審書第82号 機船恵美須丸GMについての依頼」	昭和31年2月16日	神戸地方海難審判庁広島支部	B5便箋洋紙,3頁,活版,(神戸地方海難審判庁広島支部封筒添付)	
814		「“恵美須丸”鑑定書」	昭和32年5月23日	広島大学工学部教授 浜本博登	B3わら半紙,59頁,孔版(表紙裏に鑑定人選任書,鑑定事項等の書類挿入あり)	
815		鑑定のためのメモ			B5広島大学便箋用紙2,黒ペン書	
816		鑑定のためのメモ			B5広島大学便箋用紙5,黒ペン書	
817		「“恵美須丸”鑑定書」		広島大学工学部教授 浜本博登	B3わら半紙,30頁,孔版	表紙に「控」とあり
818		「“恵美須丸”鑑定書(其の二)」		広島大学工学部教授 浜本博登	B3わら半紙,12頁,孔版	表紙に「控」とあり
819		「“恵美須丸”鑑定書」		広島大学工学部教授 浜本博登	B3わら半紙,59頁,孔版	
820		「“恵美須丸”鑑定書」		広島大学工学部教授 浜本博登	B3わら半紙,59頁,孔版	表紙に「余」とあり
821		封筒	昭和32年		37.8×28.5cm封筒3	表に黒ペンにて昭和32年7月,第五北川丸①のメモ(15×10cm)添付の封筒,「第五北川丸鑑定書.1」と黒ペン書の封筒,「第五北川丸鑑定書 控 1.2」と黒ペン書の封筒あり
822		「第五北川丸鑑定書」	昭和32年7月1日	広島大学工学部教授 浜本博登	B5用紙,119頁,孔版	1頁目に訂正表の挿入あり
823		「回答 機船第五北川丸復原性事項について」	昭和32年7月25日	広島大学工学部教授 浜本博登	B5便箋(海難審判庁)1,活版	
824		「第五北川丸鑑定書(その二)」	昭和32年7月26日	広島大学工学部教授 浜本博登	B5用紙,15頁,孔版	表紙に「控」と黒ペン書あり
825		「第五北川丸鑑定書(その二)」		広島大学工学部教授 浜本博登	B5用紙,45頁,孔版(1頁目にB5便箋3枚の計算表メモ挿入あり)	表紙に「余」「控」とあり
826		「第五北川丸鑑定書(その三)」			B5洋紙,3頁,孔版	
827		「第五北川丸鑑定書(その四)」			B5洋紙,5頁,孔版	
828		旅客定員時吃水について			B5広島大学便箋用紙,18頁	表に「(其の二)」と青ペン書あり
829		乗船・積載重量に関する海審メモ		広島大学工学部教授 浜本博登	B5広島大学便箋用紙,5頁,青ペン手書	
830		外力による傾斜モーメントについての手書メモ		広島大学工学部教授 浜本博登	B5コピー用紙,4頁,青ペン手書	
831		「第五北川丸鑑定書正誤表及び一部訂正表」		広島大学工学部教授 浜本博登	B5洋紙,8頁,孔版	同伴2部あり
832		「第五北川丸鑑定書正誤表及び一部訂正」		広島大学工学部教授 浜本博登	B5洋紙,5頁,孔版	添付資料あり
833		「第13図搭載人員配置表 側面図 SCALE 1/50」			61.2×57.3cm青焼コピー用紙1	
834		「搭載すべき物品並びに重心位置計算表に対する訂正申出表」		(広島大学工学部教授 浜本博登)	25.6×36.2cm集計用紙1	
835		「第20表 搭載すべき物品並びに重心位置計算表」		(広島大学工学部教授 浜本博登)	B4コピー用紙1	
836		メモ		(広島大学工学部教授 浜本博登)	B5便箋用紙,2頁,青ペン手書	
837		「第五北川丸鑑定書写真」			B5洋紙,8頁	
838		第五北川丸写真集			B5洋紙,8頁	

## 2. 書類

番号	所蔵	件名	作成年月日	作成(発信→受信)	形態	備考
839		封筒	昭和32年		37.8×28.5cm封筒3	表に黒ペンにて昭和32年7月第五北川丸(川口船長の供述調書あり②)のメモ(15×10cm)添付封筒、「第五北川丸鑑定書3 控」と黒ペン書の封筒、「第五北川丸関係書類」と黒ペン書の封筒あり
840		「川口船長の供述調書」	昭和32年4月8～28日	広島地検尾道支部	B5洋紙,検察庁便箋,72頁,活版,手書,紐綴じ	
841		第五北川丸青焼図面・上甲板平面図	昭和32年4月19日		36.5×55.5cm青焼コピー用紙1	
842		「(参考記録),川口船長,日浦機関長供述調書」	昭和32年4月24日	広島地方検察庁尾道支部	B5洋紙,便箋,100頁,活版,紐綴じ	
843		「鑑定依頼について」	昭和32年4月26日	神戸地方海難審判事務所広島支所	B5コピー用紙,3頁,手書	
844		虎丸礁における事故痕図面	昭和32年4月30日		57.5×53.2cm方眼紙1,青ペン書	
845		「第五北川丸鑑定囑託について」	昭和32年5月1日	尾道海上保安部	B5便箋用紙,3頁,手書,(尾道海上保安部封筒添付)	
846		第五北川丸図面	昭和32年5月2日		54×93cm青焼コピー用紙1	
847		「事務連絡 第五北川丸実況見分調書等の送付について」	昭和32年5月12日	第六管区海上保安部警備課	B4便箋,洋紙,手書,2頁	
848		「寅丸礁の潮位について」	昭和32年6月6日	第六管区海上保安部水路部	B5コピー用紙,1頁,活版	
849		「第五北川丸鑑定書」	昭和32年7月4日	広島大学工学部教授 浜本博登	B5洋紙,96頁,孔版	表紙に「控」と黒ペン書あり
850		「機船第五北川丸沈没事件について」	昭和32年7月6日	神戸地方海難審判庁 広島支部→浜本博登	B5コピー用紙,2頁,活版	
851		第五北川丸沈没事件第四回審判開催の通知	昭和32年7月11日	神戸地方海難審判庁 広島支部審判長 審判官 藤井信男→浜本博登	B5コピー用紙,2頁,活版	
852		「証人尋問期日についての照会」	昭和32年7月16日	広島地方裁判所尾道支部裁判長裁判官 福永亮三→広島大学工学部造船科教授 浜本博登	B4コピー用紙,1頁,活版	
853		「第五北川丸 鑑定を求める事項」	昭和32年9月25日	広島地方裁判所尾道支部	B4コピー用紙,2頁,活版	
854		「第五北川丸鑑定書(その三)」	昭和33年1月25日	広島大学工学部教授 浜本博登	B5洋紙,46頁,孔版	表紙に「控」と朱書あり
855		「第五北川丸遭難者配置図」			48.3×71cm洋紙1	
856		「船舶復原性規則抜萃」			B5コピー用紙,3頁,活版	
857		第五北川丸中甲板平面図			26.7×55.8cm青焼コピー用紙1	
858		封筒	昭和34年		37.8×28.5cm封筒2	表に黒ペンにて(昭和34年7月31日,昭元丸,鳩丸,鑑定書図面原紙,3冊同じ)のメモ(15×10cm)添付封筒,「昭元丸鳩丸鑑定書」と黒ペン書の封筒あり
859		「鑑定囑託書」	昭和34年8月6日	鳥羽海上保安部→広島大学教授 浜本博登	B4便箋1,手書	
860		「任意承諾書」	昭和34年8月7日	汽船昭元丸船長 阿部進一→広島大学教授 浜本博登	B5洋紙1,手書	
861		昭元丸損傷図送付の連絡	昭和34年8月10日	向島船渠株式会社	B5コピー用紙1,活版	
862		「実況見分調書の送付について」	昭和34年8月24日	第六管区海上保安本部警備課→広島大学工学部浜本教授	B5便箋,コピー用紙,18頁,手書	
863		「汽船昭元丸と汽船鳩丸の衝突事件鑑定資料の送付について」	昭和34年9月5日	鳥羽海上保安部長→広島大学教授 浜本博登	B5便箋用紙1,手書	
864		「汽船鳩丸船体写真及び見取図の送付について」	昭和34年9月14日	鳥羽海上保安部長→広島大学教授 浜本博登	B5便箋用紙1,手書	
865		「昭元丸,鳩丸衝突事件に関する照会の件回答」	昭和34年10月16日	鳥羽海上保安部長→浜本博登	B5便箋用紙1,手書	
866		「昭元丸鳩丸衝突事件に関する照会の件回答(鳥保警第448号追加)」	昭和34年10月22日	鳥羽海上保安部長→浜本博登	B5便箋用紙1,手書	
867		「事務連絡 鳥保警第四四八号(昭元丸鳩丸衝突事件に関する照会の件回答)関連別途送付予定の関係写真の送付に就て」	昭和34年10月27日	鳥羽海上保安部警救課長→浜本博登	B5便箋用紙1,手書	
868		「事務連絡 鑑定資料写真の送付について」	昭和34年11月2日	鳥羽海上保安部	B5便箋用紙1,手書	

番号	所蔵	件名	作成年月日	作成(発信→受信)	形態	備考
869		「昭元丸,鳩丸 鑑定書」		広島大学工学部教授 浜本博登	A4青焼コピー用紙,24頁, 手書	同件3部あり,うち2部に 「余」と黒ペン書あり
870		昭元丸,鳩丸写真,ネガ,旋回記録 一括			写真28,ネガ2,旋回記録 2,一括袋入	
871		「別図(二) 昭元丸機関室見取 図」		第四管区海上保安本部	B5コピー用紙2,手書	
872		「昭元丸,鳩丸 鑑定書」		広島大学工学部教授 浜本博登	B5ハترون紙,24頁,黒ペン 書	
873		「昭元丸鳩丸鑑定書」		広島大学工学部教授 浜本博登	A4青焼コピー用紙,74頁, 手書	
874		封筒	昭和37~39年		37.8×28.5cm封筒1	表に黒ペンにて昭和36年 10月8日児島丸鑑定書原 紙,昭和38年12月第13みな と川丸鑑定書原紙の メモ (15×10cm)添付封筒あり
875		「児島丸鑑定書 控 原紙」	昭和36年10月17日~37 年2月7日	広島大学工学部教授 浜本博登	32×23.5cm,日立造船社 用袋入	鑑定書2部(黒ペン書,青 焼),写真,鑑定嘱託書など 封入
876		「児島丸鑑定書」	昭和37年2月1日	広島大学工学部教授 浜本博登	32×23cm,三菱重工業袋 入	鑑定書2部あり,うち1部表 紙に「控」と朱書あり,うち 1部表紙に「余」と黒ペン書 あり
877		「第13みなと川丸鑑定書」	昭和39年2月10日	広島大学工学部教授 浜本博登	32×23cm,袋入	
878		封筒	昭和38年		37.8×28.5cm封筒4	表に黒ペンにて(1,昭和43 年9月光徳丸原紙1,昭和 48年2月第八若吉丸1,昭 和38年11月6日第一恵浦 丸)の メモ(15×10cm)添付 封筒,「光徳丸鑑定書(外板 破口傷調査)」と黒ペン書 の封筒,「第八若吉丸鑑 定書(石膏積)」と黒ペン書 の封筒,「第一恵浦丸性能調 査 鑑定書 原紙」と黒ペ ン書の封筒あり
879		汽船第一恵浦丸転覆海難報告書	昭和38年	甲板長 山崎 正	B5・A4青焼コピー用紙,38 頁	
880		光徳丸鑑定書原紙		広島大学教授工学博士 浜本博登	A4ハترون紙,26頁,手書	
881		「光徳丸鑑定書」		広島大学教授工学博士 浜本博登	A4青焼コピー用紙,29頁, 手書	表紙に「控」とあり,1頁に鑑 定嘱託書の挿入あり
882		「第八若吉丸鑑定書」			A4青焼コピー用紙,57頁, 手書	
883		「第一恵浦丸性能調書」		広島大学教授工学博士 浜本博登	A4ハترون紙,11頁,手書	
884		「第一恵浦丸性能調書」		広島大学名誉教授工学 博士 浜本博登	A4青焼コピー用紙,11頁, 手書	
885		封筒	昭和38~40年		37.8×28.5cm封筒1	表に黒ペンにて(1,昭和39 年8月金静丸,南誠丸1,昭 和40年1月孝進丸,万吉丸 1,昭和39年2月大裕丸)の メモ(15×10cm)添付,「船 価 1.幸春丸 2.南誠丸 3.武 友丸」と黒ペン書封筒あり
886		「金静丸中央横断面図」	昭和38年9月19日	株式会社金指造船所設 計課	70×79cm青焼コピー用紙 1	鑑定書,正誤表,人員配置 実験図,メモ書,実測図など あり
887		「南誠丸中央切断図」	昭和39年3月28日	向島船渠株式会社	51.5×69.5cm青焼コピー 用紙1	
888		「南誠丸一般配置図」	昭和39年3月31日	向島船渠株式会社	65×81cm青焼コピー用紙 1	「土井正雄殿」とあり
889		「金静丸鋼材構造図」	昭和39年6月16日	(金指造船所設計課)	78×135cm青焼コピー用 紙1	
890		「金静丸一般配置図」	昭和39年8月3日	株式会社金指造船所設 計課	59×75cm青焼コピー用紙 1	
891		船舶評価の命令書	昭和40年7月22日	広島地方裁判所民事第 一部裁判官 清水利亮 →鑑定人 浜本博登	B5ハترون紙,5頁,孔版,1	
892		「SNO 568 金静丸」			A4ハترون紙1,手書	
893		「南誠丸(改装前)」			B5広島大学便箋,8頁,手 書	
894		評価書下書			B5便箋1	
895		幸春丸についてメモ			B5広島大学便箋1,手書	

## 2. 書類

番号	所蔵	件名	作成年月日	作成(発信→受信)	形態	備考
896		「幸進丸,万吉丸鑑定書」		広島大学教授工学博士 浜本博登	A4ハترون紙,14頁,手 書,31×22.5cm封筒入	封筒表紙に「幸進丸 万吉 丸鑑定書原紙」と黒ペン書 あり
897		「幸進丸,万吉丸鑑定書」		広島大学教授工学博士 浜本博登	A4青焼コピー用紙,35頁, 手書,33×24cm封筒入	封筒表紙に「孝進丸万吉 丸鑑定書 控原紙」と黒ペ ン書あり
898		「大裕丸,JEANNE-MARIE号鑑定 書」		広島大学教授工学博士 浜本博登	A4ハترون紙,青焼コピー 用紙,各45頁,手書,33× 24cm封筒入	封筒表紙に「大裕丸 JEANNE-MARIE号鑑定書 原紙」と黒ペン書あり
899		封筒	昭和42～45年		37.8×28.5cm封筒3	表に黒ペンにて(1,昭和40 年12月2日太陽丸1,昭和 45年11月16日福音丸)の メモ(15×10cm)添付封筒, 「福音丸鑑定書,原稿1,青 図1」と黒ペン書封筒,「太 陽丸鑑定書(控 原紙)」と 黒ペン書の封筒あり
900		福音丸図面 別図(一)			B4青焼コピー用紙1	
901		福音丸図面 別図(二)	昭和42年12月11日	岩国海上保安署	B4洋紙,4頁,手書	
902		「鑑定人選任書」	昭和45年5月23日	山口地方裁判所岩国支 部裁判長裁判官 田辺 博介	B5ハترون紙1,活版	
903		「鑑定人召喚状」	昭和45年5月25日	山口地方裁判所岩国支 部裁判長裁判官 田辺 博介→浜本博登	B5ハترون紙1,活版	
904		「記録借用証」	昭和45年6月18日	鑑定人浜本博登→山口 地方裁判所岩国支部	B5ハترون紙1,手書	
905		「証人召喚状」	昭和45年10月27日	山口地方裁判所岩国支 部裁判長裁判官 田辺 博介→浜本博登	B5ハترون紙1,活版	
906		「福音丸鑑定書」	昭和45年11月16日	広島大学工学部教授 浜本博登	A4青焼コピー用紙,19頁	表紙に「控」と朱書あり
907		「福音丸鑑定書」		広島大学教授工学博士 浜本博登	A4ハترون紙,19頁,手書	
908		「機船太陽丸鑑定書」		広島大学教授工学博士 浜本博登	A4ハترون紙,33頁,手書	
909		「機船太陽丸鑑定書」		広島大学教授工学博士 浜本博登	A4青焼コピー用紙,35頁, 手書	
910		封筒	昭和43年		37.8×28.5cm封筒2	表に黒ペンにて(砂受台船 鑑定書原紙2冊同じ)のメ モ(15×10cm)添付封筒, 「砂受台船鑑定書 控 原 紙」と黒ペン書の封筒あり
911		「砂受台船鑑定書」	昭和43年9月5日	広島大学工学部教授 浜本博登	A4ハترون紙53,黒ペン手 書	
912		「砂受台船鑑定書」		広島大学工学部教授 浜本博登	A4青焼コピー用紙,51頁, 手書	同伴2部あり,うち1部表紙 に「控」と朱書,1頁に鑑定 嘱託書の挿入あり,うち1部 に「余」と黒ペン書あり
913		砂受台船鑑定書に関するメモ		(広島大学工学部教授 浜本博登)	B5広島大学便箋5,手書	
914		封筒	昭和48～50年		37.8×28.5cm封筒3	表に黒ペンにて(1,昭和48 年8月第八若吉丸鑑定書 原稿,1,昭和50年5月第21 互洋丸鑑定書原紙)のメ モ(15×10cm)添付封筒, 「第21互洋丸鑑定書」と黒 ペン書の封筒,「第8若丸鑑 定書原稿」と黒ペン書の封 筒(昭和48年8月20日付)あ り
915		「第8若吉丸潜水調査結果」	昭和48年3月	深田サルベージほか	B4青焼コピー用紙,4頁, 手書	
916		「第八若吉丸鑑定書」	(昭和48年)	広島大学名誉教授工学 博士 浜本博登	A4ハترون紙,57頁,手書	
917		「第21互洋丸鑑定書」	昭和50年	広島大学名誉教授工学 博士 浜本博登	A4青焼コピー用紙,61頁	1頁に正誤表,鑑定依頼書 の挿入あり
918		「第21互洋丸鑑定書原紙」	昭和50年2月1日～6月 19日		広島地方海難審判理事 所封筒一括入1	第21互洋丸鑑定のための 各種資料綴
919		「第21互洋丸鑑定書正誤表」		浜本博登	A4ハترون紙1,手書	
920		「第21互洋丸鑑定書」		浜本博登	A4ハترون紙64,手書	スターコピー用箋厚紙あり, 表紙に「第21互洋丸鑑定 書原紙」と黒ペン書あり
921		第8若吉丸写真9葉			1	袋入

## 2. 書類

番号	所蔵	件名	作成年月日	作成(発信→受信)	形態	備考
922		封筒	昭和51年		37.8×28.5cm封筒1	表に黒ペンにて(昭和51年8月第三寿丸鑑定書原紙,青函面)のメモ(15×10cm)添付の封筒のみ
923		「第三寿丸」	昭和51年	広島大学名誉教授工学博士 浜本博登	32.5×23cm袋1,一括入	第三寿丸鑑定書4冊,下書,メモなど一括
924		「第三寿丸鑑定書 原紙青函1」		広島大学名誉教授工学博士 浜本博登	32.5×23cm袋1,一括入	鑑定書原紙 青焼など一括
925		封筒	昭和53年		37.8×28.5cm封筒1	表に黒ペンにて(1,昭和52年11月第五さくら丸鑑定書,原稿)のメモ(15×10cm)添付の封筒のみ
926		「第5さくら丸鑑定書 原稿 控」	昭和52～53年	広島大学名誉教授工学博士 浜本博登	32.5×23cm袋1,一括入	鑑定書原紙 青焼,下書,鑑定請負契約書など一括
927		封筒			33×24cm封筒1	表に黒ペンにて(海難審判他鑑定船記載資料S29.2むらちどり,第七住吉丸—S53,11,5第三秀栄丸)のメモ(15×10cm)添付
928		「浜本博登鑑定」		浜本博登	A4ハترون紙12,手書	メモ添付,浜本博登が鑑定を行った船舶,鑑定内容を列記したもの
929		「転覆現象」			A4ハترون紙4,手書	
930		「浜本博登鑑定」			A4青焼コピー用紙,6頁,手書	浜本博登が鑑定を行った船舶,鑑定内容を列記したものの青焼(写)
931		機関停止・旋回速度などに関する鑑定書の原紙			A4ハترون紙,10頁,手書	
932		機関停止・旋回速度などに関する鑑定書コピー			A4青焼コピー用紙,15頁,手書	
933		離礁時の潮の状況などに関する資料原紙			A4ハترون紙,2頁,手書	
934		離礁時の潮の状況などに関する資料コピー			A4青焼コピー用紙,9頁,手書	
935		鑑定書の一部コピー			A4青焼コピー用紙,2頁,手書	
936		鑑定書の一部メモ			B5広島大学便箋1,手書	
937		「附図3 昭元丸惰力試験成績」			29.8×48.8cm方眼紙1	
938		封筒			37.8×28.5cm封筒2	表に黒ペンにて(昭和38年5月名護屋丸鑑定書原紙 図面,宮照丸)のメモ(15×10cm)添付封筒,「宮輝丸鑑定書 原紙 控 一部」と黒ペン書の封筒あり
939		「宮照丸鑑定書正誤表」		浜本博登	A4ハترون紙,2頁,手書	
940		「宮照丸鑑定書正誤表」		浜本博登	A4青焼コピー用紙,2頁,手書	
941		「宮照丸鑑定書」		広島大学教授工学博士 浜本博登	A4ハترون紙,33頁,手書	
942		「宮照丸鑑定書」		広島大学教授工学博士 浜本博登	A4青焼コピー用紙,33頁	表紙に「控」と朱書あり
943		「名護屋丸鑑定書」			33×24cm封筒1	封筒のみ
944		「名護屋丸鑑定書」		広島大学教授 工博 浜本博登	A4ハترون紙,26頁,手書	
945		「名護屋丸鑑定書」		広島大学教授 工博 浜本博登	A4青焼コピー用紙,64頁	
946		「500GT セメントタンカー 一般配置図 完成図」		株式会社臼杵鉄工所佐伯造船所	63.8×72.7cm,1	
947		封筒			37.8×28.5cm封筒1	表に黒ペンにて(昭和51年2月16日向島一因島間海底管破損(写真など有)のメモ(15×10cm)添付の封筒のみ
948		「向島一因島間水道管破損原因鑑定書 控 原紙 写真 ネガ」		広島大学名誉教授工学博士 浜本博登	32.5×23cm袋1,一括入	
949		「9.海事法例集及び設計」			角形2号封筒1	
950		「海事法令集」			A4洋紙19	袋入
951		数式・英文メモ			A4洋紙14	
952		「さくら丸原紙」			厚紙1	
953		「FRAME BODY PLAN Scale1/40」			30.5×33cmハترون紙1	番号953～958一括
954		「Fig17.排水量等曲線(其の1)」			30×81.3cmハترون紙1	
955		「Fig20.排水量等曲線(其の2)」			29×65.5cmハترون紙1	
956		「Fig21 さくら丸線図」			51.5×87cmハترون紙1	

## 2. 書 類

番号	所蔵	件 名	作成年月日	作成(発信→受信)	形 態	備 考
957		「Fig23改造后一般配置図 Scale1/100」			66×55.3cmハトロン紙1	
958		「Fig22鷹取丸一般配置図 Scale1/100」			61.5×83cmハトロン紙1	
959		「Fig9 損傷部見取図(大裕丸) Scale:1/50」			33.4×76.3cmハトロン紙1	番号959～967一括
960		「Fig.8 外板 損傷部見取図(大裕丸)」			44×51cmハトロン紙1	
961		「Fig7 排水量等測線図(大裕丸)」			30.3×66.5cmハトロン紙1	
962		「Fig6 一般配置図及 損傷部見取図(大裕丸) Scale:1/100」			61.7×30.7cmハトロン紙1	
963		「FIG15 前部船体側面波形」			30.3×62.8cmハトロン紙1	
964		「Fig1 排水量等曲線」			42.5×165.8cmハトロン紙1	
965		「Fig2 外板損傷部見取図(右玄)」			45.3×30.7cmハトロン紙1	
966		「Fig3 線図(JEANNE—MARIE) Scale:1/50」			47.5×84cmハトロン紙1	
967		「Fig.5 BHD FRAME & LONG 損傷部 Scale:1/50」			58×105.8cmハトロン紙1	
968		「Fig2.5 CHANG WON外板 Scale1/50'(右玄)」			29.5×45.7cmハトロン紙1	番号968～1012一括
969		「Fig2.6 CHANG WON外板 Scale1/50'(左玄)」			29.8×42cmハトロン紙1	
970		「Fig2.7 CENTER LINE SECT Scale1/50」			30.1×37.2cmハトロン紙1	
971		「Fig2.9 FCLE DK Scale1/50」			29.5×39.1cmハトロン紙1	
972		「Fig2.8 BOW CHOCK PLAN」			29.7×21cmハトロン紙1	
973		「Fig2.10 UPPER DECK Scale1/50」			30.3×38.6cmハトロン紙1	
974		「Fig2.11 No.1 PANT STR Scale1/50」			28.4×35.8cmハトロン紙1	
975		「Fig2.12 No.2 PANT STR Scale1/50」			21×29.3cmハトロン紙1	
976		「Fig2.13 FR70 SECT Scale1/50」			29.6×32.3cmハトロン紙1	
977		「Fig2.14 FR71 SECT Scale1/50」			29.8×30.3cmハトロン紙1	
978		「Fig2.15 FR72 SECT Scale1/50」			29.5×31.3cmハトロン紙1	
979		「Fig2.16 FR73 SECT Scale1/50」			29.4×34.7cmハトロン紙1	
980		「Fig2.17 FR74 SECT Scale1/50」			29.6×31cmハトロン紙1	
981		「Fig2.18 FR75 SECT Scale1/50」			29.6×30cmハトロン紙1	
982		「Fig2.19 FR76 SECT Scale1/50」			39×33.8cmハトロン紙1	
983		「Fig2.20 FR77 SECT Scale1/50」			30×30cmハトロン紙1	
984		「Fig2.21 FR78 SECT Scale1/50」			29.6×28cmハトロン紙1	
985		「Fig2.22 FR79 SECT Scale1/50」			29.5×26cmハトロン紙1	
986		「Fig2.23 FR80 SECT Scale1/50」			29.6×25cmハトロン紙1	
987		「Fig2.24 FR81 SECT Scale1/50」			29.4×24.6cmハトロン紙1	
988		「Fig2.25 FR82 SECT Scale1/50」			29.4×22.8cmハトロン紙1	
989		「Fig2.26 FR83 SECT Scale1/50」			29.5×21cmハトロン紙1	
990		「Fig2.27 FR84 SECT Scale1/50」			29.5×24.3cmハトロン紙1	
991		「Fig2.28 FR85 SECT Scale1/50」			29.5×21cmハトロン紙1	
992		「Fig2.35. CHANG WON 水線面(BOW部)Scale 1/50」			30.8×34.5cmハトロン紙1	
993		「Fig2.36 CHANG WON トリム正面線図」 Scale 1/50」			29.5×21cmハトロン紙1	
994		「Fig1.3. 「さいどばる」損傷図」			29.6×30.2cmハトロン紙1	
995		「Fig1.4. 外板展開図」			29.4×21cmハトロン紙1	

番号	所蔵	件名	作成年月日	作成(発信→受信)	形態	備考
996		「Fig1.11 さいとばる破損時喫水」			29.7×41.8cmハترون紙1	
997		「Fig2.2 CHANG WON 損傷図(その1)」			59.3×38.5cmハترون紙1	
998		「Fig2.3 CHANG WON 損傷図(その2)」			67.8×27.2cmハترون紙1	
999		「Fig2.4 CHANG WON 損傷図(その3)」			28.6×29.7cmハترون紙1	
1000		「栈船さいとばるの復元性および衝突角度に関する鑑定書 一部訂正」			29.5×21cmハترون紙1	
1001		「(17)外板.甲板.P.S.隔壁及フレームごとの破損状況」			29.5×21cmハترون紙1	
1002		「Fig2.37 さいとばる線図破損状況Scale 1/50」			62.5×85.7cmハترون紙1	
1003		「傾斜モーメントと傾斜角」			29.5×21cmハترون紙1	
1004		「Fig2.38 「さいとばる」とCHANG WON との衝突角度」			59.2×21cmハترون紙1	
1005		「Fig さいとばる線図破損状況Scale 1/50」			61.5×72.5cmハترون紙1	
1006						欠番
1007		「Fig2.29 FR86 SECT Scale1/50」			29.5×21cmハترون紙1	
1008		「Fig2.30 FR87 SECT Scale1/50」			29.5×21cmハترون紙1	
1009		「Fig2.31 FR88 SECT Scale1/50」			29.5×21cmハترون紙1	
1010		「Fig2.32 CHANG WON 正面図Scale 1/50」			34.3×39.2cmハترون紙1	
1011		「Fig2.33 CHANG WON 正面線図Scale 1/50」			33×39.4cmハترون紙1	
1012		「Fig2.34 CHANG WON 側面図(破損圧壊部) Scale 1/50」			30.3×45.5cmハترون紙1	
1013		復元力計算表用紙一括			36.7×44.5cm青焼コピー用紙32	「4380509 金沢利昭」とあるグラフ用紙で一括
1014	呉	「Fig2.37 さいとばる線図 破損状況 Scale: 1/50」			62.6×86.3cm青焼コピー用紙5	

## (4) 技能検定・溶接技関係

番号	所蔵	件名	作成年月日	作成(発信→受信)	形態	備考
1015		「乙種航海科 海技試験問題集34年度版」	昭和33年9月8日	成山堂書店	A5洋紙,冊子1,58頁,活版	
1016		「乙種航海科 試験問題解答800題[乙種二等航海士]」	昭和34年1月18日	川上末弘編	A5洋紙,冊子1,218頁,活版	
1017		「乙種航海科 試験問題解答800題[乙種船長]」	昭和34年1月18日	川上末弘編	A5洋紙,冊子1,142頁,活版	
1018		「最新航海科テキスト(改訂増補版)」	昭和34年7月8日	福永博之	B5洋紙,冊子1,252頁,活版	
1019		「乙種航海科 試験問題解答800題[乙種一等航海士]」	昭和34年11月18日	川上末弘編	A5洋紙,冊子1,196頁,活版	初版昭和38年1月18日
1020		「ボイラ溶接士受験テキスト(溶接技術講習会)」	昭和34年11月27日	鳥取県	B5わら半紙,冊子1,37頁,活版	
1021		広島県溶接技術コンクール(第5回)資料	昭和36年		B5洋紙,冊子1	資料の挟込あり
1022		広島県溶接技術コンクール(第6回)資料	昭和36～37年		B5洋紙,冊子1	資料の挟込あり
1023		広島県溶接技術コンクール(第7回)・全国溶接技術競技会(第10回)資料	昭和38年		B5洋紙,冊子1	資料の挟込あり
1024		「昭和50年代 中国溶接検定(社会人教育)? 試験問題」	昭和39～55年		角形0号封筒1	
1025		溶接工学・鋼船構造試験問題集	昭和39～55年	浜本	B4綴1	
1026		商船設計試験問題集	昭和39～55年	浜本	B4綴1	
1027		「商船設計」	昭和55年1月22日	浜本	A4洋紙1,青焼	
1028		「昭和41年度 技術改善講習会テキスト 溶接業,呉地区」	昭和42年2月	広島県立呉工業試験場 呉商工会議所	B5わら半紙,冊子1,14頁,活版	
1029		「昭和42年度 技術改善講習会テキスト昭和42年度 船舶製造修理業,豊田地区」	昭和43年2月	広島県立呉工業試験場	B5わら半紙,冊子1,21頁,活版	
1030		「昭和43年度 技術改善講習会テキスト 船舶製造修理業,尾道・三原地区」	昭和43年11月	広島県立呉工業試験場	B5わら半紙,冊子1,14頁,活版	
1031		「19.溶接 技能検定(実技)関係資料 S51S49等」	昭和48～55年		角形0号封筒1	

## 2. 書類

番号	所蔵	件名	作成年月日	作成(発信→受信)	形態	備考
1032		「昭和48年度技能検定2級鉄工(構造物鉄工作业)実技試験問題」	昭和48年	中央技能検定協会編	B4洋紙4,コピー,ホッチキスどめ	
1033		昭和49年度技能検定関係資料	昭和49年	中央技能検定協会	B5洋紙,冊子1,42頁,B5洋紙,冊子1,33頁,B5洋紙,冊子1,30頁,孔版,B4洋紙3,孔版,ホッチキスどめ,B4洋紙2,孔版,ホッチキスどめ	試験実施要項,受験案内,技能検定の各実技試験問題などあり
1034		昭和50年度技能検定実技試験問題	昭和50年	中央技能検定協会編	B4洋紙3,孔版,ホッチキスどめ,B4洋紙3,孔版,ホッチキスどめ	
1035		昭和51年度技能検定関係資料	昭和51年	中央技能検定協会	B5洋紙,冊子1,8頁,B5洋紙,冊子1,40頁,孔版,B5洋紙3,孔版,ホッチキスどめ,B4洋紙5,孔版,ホッチキスどめ,B4洋紙5,孔版,ホッチキスどめ,B5洋紙5,B4洋紙2,孔版	職員就業規則,委員会規則,実技試験採点基準,技能検定の各実技試験問題などあり
1036		昭和53年度技能検定実技試験問題	昭和53年	中央技能検定協会編	B4洋紙3,孔版,ホッチキスどめ,B4洋紙4,孔版,ホッチキスどめ,B4洋紙4,孔版,ホッチキスどめ	
1037		昭和54年度技能検定関係資料	昭和54年	中央技能検定協会	B5洋紙,冊子1,23頁,孔版,B4洋紙5,孔版,ホッチキスどめ,B4洋紙4,孔版,ホッチキスどめ	試験事務手引,技能検定の各実技試験問題などあり
1038		昭和55年度技能検定実技試験問題	昭和55年	中央技能検定協会編	B4洋紙4,孔版,ホッチキスどめ,B4洋紙4,孔版,ホッチキスどめ	
1039		寸法・数値表			A4洋紙2,A5洋紙1,黒ペン書	
1040		各種図面			B4洋紙14,A4洋紙3	一部中国溶接工検定委員会封筒入
1041		「耳栓」			2.3cm耳栓2,5.7×4cmケース入	

### (5) その他

番号	所蔵	件名	作成年月日	作成(発信→受信)	形態	備考
1042		「12.パナマCanal Tonnage Certificate」			角形2号封筒1	
1043		「PANAMA CANAL TONNAGE CERTIFICATE」			B4リーフレット1	CHUEI-MARU
1044		「PANAMA CANAL TONNAGE CERTIFICATE」			B4洋紙4,コピー	複製
1045		「PANAMA CANAL TONNAGE CERTIFICATE」			B4洋紙4,冊子1,青焼	複製 ホッチキスどめ
1046		「SUEZ CANAL SPECIAL TONNAGE CERTIFICATE」			B3リーフレット1	CHUEI-MARU
1047		「SUEZ CANAL SPECIAL TONNAGE CERTIFICATE」			B4洋紙7,コピー	複製
1048		「SUEZ CANAL SPECIAL TONNAGE CERTIFICATE」			B4E洋紙7,冊子1,青焼	複製 ホッチキスどめ
1049		「船舶のトン数の測定に関する法律について」			B4E洋紙1	『船の科学』(V01.33,1980年8月)34-35頁の複製
1050		封筒			A4茶封筒1	表紙に「浜本」と黒ペン書の封筒あり,表紙に「38-5」～「38-12」と黒ペン書の封筒あり,表紙に「熔接実演展示会参加,御資料袋」の印のある封筒あり

### 3. 書籍等



### 3. 書籍等

番号	所蔵	件名	作成年月日	作成(発信→受信)	形態	備考
1051	呉	「GRAPHICAL DETERMINATION OF FORCES IN ENGINEERING SYRUCTURES」	明治24年3月	JAMES B.CHALMERS,CE	B5洋紙,冊子1,405頁,活版	表紙裏に海軍技手養成所書籍乃印とあり
1052		「STRENGTH OF MATERIALS」	昭和5年5月1日	S.TIMOSHENKO	B5洋紙,冊子1,368頁,活版	
1053	呉	「物理数学 第一巻」	昭和6年12月10日	小平吉男	B5洋紙,冊子1,467頁,活版	
1054	呉	「A TREATISE ON PHOTO—ELASTICITY」	昭和6年	E.G.COKER	B5変洋紙,冊子1,720頁,活版	
1055	呉	「実験工学講座 1」	昭和8年4月15日	東京,共立社	B5洋紙,活版,4冊組1箱入	
1056	呉	「SCIENTIFIC AND TECHNICAL PAPERS」	昭和9年1月25日	KYOJI SUEHIRO	A4変洋紙,冊子1,457頁,活版	箱入,末広恭二博士記念事業会
1057	呉	「実験工学講座 16」	昭和9年9月25日	東京,共立社	B5洋紙,活版,3冊組1箱入	
1058	呉	「実験工学講座 17」	昭和9年12月5日	東京,共立社	B5洋紙,活版,4冊組1箱入	
1059	呉	「実験工学講座 18」	昭和10年2月10日	東京,共立社	B5洋紙,活版,6冊組1箱入	
1060		「応用弾性学」	昭和10年7月18日	野口尚一	B5洋紙,冊子1,339頁,活版	箱入,裏表紙裏に浜本の印あり
1061		「内燃機船要目表」	昭和11年1月	造船協会	A4洋紙,冊子1,215頁,活版	最終頁に船舶要目表3枚,米国大型油槽船主要要目表あり
1062		「造船協会四十年史」	昭和12年4月1日	川尻政吾	B5洋紙,冊子1,150頁,活版	
1063		「高等微分積分学 下巻」	昭和16年1月25日	高須鶴三郎・加藤平左エ門	菊判,冊子1,333頁	
1064		「船舶学大意」	昭和19年2月25日	国民工業学院	B5洋紙,冊子1,102頁,活版	表紙裏に浜本の印あり
1065	呉	「計算図表の原理と実際」	昭和19年4月20日	森隆	A4変洋紙,冊子1,130頁,活版	山海堂出版部
1066		「造船工場読本」	昭和19年7月1日	厚生研究会	A5わら半紙,冊子1,182頁,活版	
1067		「電気工学大意」	昭和19年7月10日	大河内治	A5わら半紙,冊子1,133頁,活版	
1068		「船用品の解説と紹介」	昭和25年10月25日	天然社『船舶』編集部	B5洋紙,冊子1,174頁,活版	
1069	呉	「応用数学 第九巻 最小自乗法数値積分法 数値計算表」	昭和22年4月5日	芝亀吉	B5わら半紙,冊子1,495頁,活版	
1070	呉	「応用数学 第十巻 計算図表学 計算機械」	昭和22年4月25日	渡辺義勝	B5わら半紙,冊子1,397頁,活版	
1071	呉	「0.01%変形ベッセル函数表とその数値計算法」	昭和30年6月25日	柴垣和三雄	A4変洋紙,冊子1,129頁,活版	箱入,培風館
1072	呉	「応用数学講座 第1巻 マトリクスとその応用」	昭和31年6月30日	西垣久実	B5洋紙,冊子1,247頁,活版	箱入,応用数学講座1巻,コロナ社
1073	呉	「応用数学講座 第8巻 常微分方程式とその応用」	昭和31年8月31日	三木忠夫	B5洋紙,冊子1,341頁,活版	箱入,応用数学講座8巻,コロナ社
1074	呉	「応用数学講座 第6巻 計算図表・図式計算法」	昭和31年10月31日	本間仁・内田茂男	B5洋紙,冊子1,252頁,活版	箱入,応用数学講座6巻,コロナ社
1075	呉	「応用数学講座 第5巻 次元解析・最小2乗法と実験式」	昭和32年1月10日	本間仁・春日屋伸昌	B5洋紙,冊子1,327頁,活版	箱入,応用数学講座5巻,コロナ社
1076	呉	「応用数学講座 第11巻 確率および統計」	昭和32年6月15日	印東太郎	B5洋紙,冊子1,322頁,活版	箱入,応用数学講座11巻,コロナ社
1077	呉	「応用数学講座 第9巻 偏微分方程式とその応用」	昭和32年8月30日	犬井鉄郎	B5洋紙,冊子1,366頁,活版	箱入,応用数学講座9巻,コロナ社
1078		「万能数値表」	昭和32年10月25日	マルセル・ボル・弥永昌吉・矢野健太郎訳	B5洋紙,冊子1,878頁,活版	箱入,(株)白水社
1079	呉	「応用数学講座 第3巻 級数および直交関数系」	昭和32年11月30日	末岡清市	B5洋紙,冊子1,259頁,活版	箱入,応用数学講座第3巻,コロナ社
1080	呉	「応用数学講座 第4巻 関数論とその応用」	昭和33年8月25日	石津武彦・斎藤修	B5洋紙,冊子1,393頁,活版	箱入,応用数学講座4巻,コロナ社
1081	呉	「応用数学講座 第13巻 変分法」	昭和33年10月30日	林毅・村外志夫	B5洋紙,冊子1,186頁,活版	箱入,応用数学講座13巻,コロナ社
1082	呉	「力学緒論」	昭和34年4月25日	庄司彦六	B5洋紙,冊子1,326頁,活版	内田老鶴圃
1083	呉	「応用数学講座 第10巻 ラプラス変換・演算子法」	昭和34年6月10日	山田直平・国枝寿博	B5洋紙,冊子1,251頁,活版	箱入,応用数学講座10巻,コロナ社
1084	呉	「応用数学講座 第12巻 積分方程式とその応用」	昭和34年7月15日	近藤次郎	B5洋紙,冊子1,314頁,活版	箱入,応用数学講座12巻,コロナ社
1085	呉	「サンソネ微分方程式」	昭和34年11月25日	GIONANNI SANSONE・飯久保茂男訳	B5洋紙,冊子1,360頁,活版	箱入,広川書店

### 3. 書籍等

番号	所蔵	件名	作成年月日	作成(発信→受信)	形態	備考
1086		「REGISTER OF SHIPS 1959」	昭和34年12月1日	日本海事協会	22.5×30cm冊子1,337頁	
1087	呉	「溶接五十年史」	昭和37年6月15日	溶接五十年史編纂委員会	22.5×30cm冊子1,844頁	函付
1088	呉	「力学演習1」	昭和38年1月15日	清野節男	B5洋紙,冊子1,219頁,活版	箱入,東京図書(株)
1089	呉	「基礎力学」	昭和38年4月20日	杉山隆二	B5洋紙,冊子1,352頁,活版	裳華房
1090	呉	「力学演習2」	昭和38年4月30日	清野節男	B5洋紙,冊子1,401頁,活版	箱入,東京図書(株)
1091	呉	「力学」	昭和39年6月10日	原島鮮	B5洋紙,冊子1,303頁,活版	裳華房
1092	呉	「基礎力学演習」	昭和40年1月20日	杉山隆二	B5洋紙,冊子1,379頁,活版	培風館
1093	呉	「力学(改訂版)」	昭和41年5月10日	原島鮮	B5洋紙,冊子1,356頁,活版	
1094		「福田烈追悼集 造船技術は勝てり」	昭和43年3月25日	福田烈追悼集刊行委員会	26×19cm冊子1,433頁	函付
1095		「天橋の算額」	昭和46年4月24日	桑原秀夫	B5洋紙,冊子1,12頁,活版	
1096		「モーターシップ 六月号」	昭和5年6月1日	モータシップ雑誌社	B5洋紙,冊子1,56頁,活版	
1097		「モーターシップ 四月号」	昭和6年4月1日	モータシップ雑誌社	B5洋紙,冊子1,46頁,活版	
1098		モーターシップ 十一月号	昭和7年11月1日	モータシップ雑誌社	B5洋紙,冊子1,40頁,活版	
1099		「海軍グラフ 第三巻 第一号 新春特別号」	昭和10年1月1日	海軍研究社	B5変冊子1,84頁,活版	
1100		「船用JIS技報」	昭和35年12月29日	日本船舶工業標準協会	B5用紙,冊子1,49頁,活版	
1101		船舶 第19巻5～9月号,第19巻9～10月号	昭和21年5～9月,昭和22年9～10月	天然社	B5わら半紙,冊子1,7冊一括紐どめファイル入	昭和21年5～9月号,昭和22年9～10月号を綴ったもの
1102		「舵 14(1-4) 15(1-7)」	昭和23年11月～24年12月	財団法人舟艇協会	A4変,8冊一括ファイルどめ	雑誌「舵」第14巻第1～4号,第15巻第1～7号をまとめたもの
1103		「舵 16(1-6)」	昭和25年1～11月,昭和26年6月	財団法人舟艇協会	A4変,7冊一括ファイルどめ	雑誌「舵」昭和25年1～6号,昭和26年3号をまとめたもの
1104		「各星日割大鑑」	大正4年9月20日	秋山亦太郎	B6わら半紙,冊子1,60頁	
1105		「三体千字文 鳴雀仙史書 下」	大正7年6月10日	日下部東作	B5和紙,冊子1,64頁,和綴じ	
1106		「家相秘密奥伝」	大正8年1月25日	高島易断所神宮館	B6変わら半紙,折畳1,16頁	
1107		「日本海員掖済会要覧」	大正12年4月1日	日本海員掖済会本部	B6変わら半紙,冊子1,12頁,ホッチキスどめ	
1108		「宝生流式例小謡集 全」	大正15年3月1日	宝生重英	13×18.5cm和紙,冊子1,43頁,和綴じ	
1109		「ZEITSCHRIFT FÜR ANGEWANDTE MATHEMATIK UND MECHANIK」	昭和10年7月		B5青焼コピー用紙,冊子1,34頁,活版,紐綴じ	
1110		「構造用ドライブリベット計算規準案 構造用ドライブリベット施工規準案」	昭和35年11月18日	社団法人日本軽量鉄骨建築協会	B5洋紙,冊子1,6頁,活版	
1111		「軽量鉄骨建築指導規準 同解説」	昭和36年2月23日	社団法人日本軽量鉄骨建築協会	B5洋紙,冊子1,9頁,活版	
1112		「軽量鉄骨建築による学校建物の鋼材の厚さに関する指導基準」	昭和36年7月29日	文部省管理局教育施設部	B4洋紙中折1,活版	
1113		「軽量鉄骨建築一沿革から仕上げまで」	昭和36年7月31日	社団法人日本軽量鉄骨建築協会	B5洋紙,冊子1,43頁,活版	
1114		「軽量鉄骨建築の溶接—アーク溶接の要点」	昭和36年10月30日	社団法人日本軽量鉄骨建築協会	B5洋紙,冊子1,62頁,活版	
1115		「軽量鉄骨建築指導基準説明会 軽量鉄骨建築溶接技術講習会(中国地区)資料」	昭和36年11月11日	社団法人日本軽量鉄骨建築協会	A4茶封筒(軽量鉄骨建築指導規準説明会軽量鉄骨建築溶接技術講習会資料用封筒)1	封筒のみ
1116		「住友の軽量形鋼」	昭和39年9月15日	住友金属工業(株),住友鋼材工業(株)	A4洋紙,冊子1,16頁,活版	
1117		「軽量形鋼と木材との比較」	昭和34年9月	社団法人日本軽量鉄骨建築協会	B5洋紙,冊子1,14頁,活版	
1118		「軽量形鋼について」	昭和35年5月	社団法人日本軽量鉄骨建築協会	B5洋紙,冊子1,15頁,活版	
1119		「軽量形鋼による設計例 工場」	昭和35年6月	富士製鉄(株)	B5洋紙,冊子1,25頁,活版	
1120		「軽量鉄骨建築の施工」	昭和35年7月	社団法人日本軽量鉄骨建築協会	B5洋紙,冊子1,31頁,活版	
1121		「軽量形鋼の家,新しい住居」	昭和35年8月	富士製鉄(株)	B5洋紙,冊子1,17頁,活版	
1122		「正会員中の施工業者会員名簿」	昭和36年10月	社団法人日本軽量鉄骨建築協会	B5わら半紙,冊子1,7頁,活版,ホッチキスどめ	
1123		「富士製鉄の軽量形鋼による設計例」	昭和36年1月	富士製鉄(株)	B5洋紙,冊子1,24頁,活版	

番号	所蔵	件名	作成年月日	作成(発信→受信)	形態	備考
1124		「'61 神鋼溶接棒」	昭和36年3月	(株)神戸製鋼所	B6変洋紙,冊子1,175頁,活版	
1125		「軽量形鋼」	昭和36年6月	日本鋼管(株)	B5洋紙,冊子1,25頁,活版	
1126		「富士溶接棒 総合カタログ」	昭和36年8月	富士溶接棒(株)	B6用紙,冊子1,59頁,活版	
1127		「主婦のみた軽量鉄骨造住宅(増補版)」	昭和36年8月	社団法人日本軽量鉄骨建築協会	B5洋紙,冊子1,15頁,活版	
1128		「富士製鉄の軽量形鋼」	昭和36年8月	富士製鉄(株)	B5洋紙,冊子1,68頁,活版	
1129	呉	吉識雅夫先生文化功労者顕彰記念式典および記念講演要旨	昭和51年2月10日		B5洋紙,冊子1,21頁,活版	
1130		「軽量形鋼による設計例」	昭和36年9月	富士製鉄(株)	B5洋紙,冊子1,20頁,活版	
1131		「試験片形状ノ抗張力延伸度ニ及ボス影響」			B5青焼コピー用紙,冊子1,39頁,ホッチキスどめ	
1132		「軽量形鋼用被覆アーク溶接棒」		富士溶接棒(株)	B5変洋紙,冊子1,10頁,活版	
1133		「構造用角鋼管」		日本鋼管(株)	A4洋紙1,活版	
1134		「軽量鉄骨建築・構造計画と構造設計」		社団法人日本軽量鉄骨建築協会	B5洋紙,冊子1,4頁,活版	
1135		「薄板鋼構造設計施工基準(案)溶接工作規準(案)」		社団法人日本軽量鉄骨建築協会	B5洋紙,冊子1,17頁,活版	
1136		「建築基準法および同施工例・改正法の抜粋」		社団法人日本軽量鉄骨建築協会	B5洋紙,冊子1,12頁,活版	
1137		「軽量形鋼を用いた母屋,胴縁,間柱設計規準」		社団法人日本軽量鉄骨建築協会	B5洋紙,冊子1,7頁,活版	
1138		「電弧溶接棒」		富士溶接棒(株)	B4中折1,活版	
1139		インテグレーター・INTEGRATING WITH THE CORADI INTEGRAPH		DR.H.SCHILT	A4洋紙,冊子1,46頁,活版,ファイル綴	同伴2部あり,ほかに青焼図面,G・CORADIパンフ3種ほかファイルあり
1140		「自然科学者のための数学概論増訂版改版」	昭和58年5月18日	寺沢寛一著,岩波出版	22.2×15.2×4cm,730頁	
1141		浜本隆夫氏寄付資料目録[複製]			23.2×30.6cm,ファイル綴1	2穴紙ファイル綴じ,資料挟込あり
1142		大和ミュージアムへの資料一覧			B5ノート用紙1	黒ペン書でH22,4,3とあり
1143		三菱長崎造船工業青年学校関係目録(長浜在)袋入	平成22年4月5日	中村光子	B5集計用紙9,A4変封筒一括入	表に黒ペン書にて三菱青年学校,長浜在の目録,平成22年4月5日中村光子,広大へ とあり
1144		造船・溶接技術など目録				後年整理用の目録
1145		「茶封筒整理」				後年整理用の目録
1146		海難審判資料一覧			B5ノート用紙,2頁,黒ペン書	後年整理用の目録



## 4. 追補（平成31年度追加寄贈）



## 4. 追補（平成31年度追加寄贈）

番号	所属	件名	作成年月日	作成（発信→受信）	形態	備考
1147		「造船関係主要文献表題類別目録(一九三〇年末迄)海軍少将八代準」	昭和7年6月6日		34×22.5cm帙1,洋紙418,印刷,紙綴り	日独英米仏における造船工学及び傍系工学に関する文献目録の複製
1148		講義ノート「商船設計及艤装 浅川彰三」		浜本博登	24×20cm冊子1,黒ペン書	青図など貼付,試験用紙挟込
1149		講義ノート「軍艦構造及艤装 平賀譲」		浜本博登	25×20cm冊子1,黒ペン書	製本,青図など貼付,試験用紙挟込
1150		講義ノート「流体力学 山本武蔵」		浜本博登	24.5×20.5cm冊子1,黒ペン書	製本,青図など貼付
1151		講義ノート「造兵学 大越教授」		浜本博登	24.5×20.5cm冊子1,黒ペン書	製本,図面や写真など貼付,試験用紙挟込
1152		講義ノート「航空船 中村講師」		浜本博登	24.5×20.5cm冊子1,黒ペン書	製本,青図など貼付
1153		講義ノート「軍艦設計 平賀譲」		浜本博登	24.5×20.5cm冊子1,黒ペン書	製本,青図など貼付
1154		講義ノート「舶用機関大意 山内教授」		浜本博登	24.5×20.5cm冊子1,黒ペン書	製本,図面など貼付
1155		講義ノート「応用力学 末広泰二」		浜本博登	24.5×20.5cm冊子1,黒ペン書	製本,図面など貼付
1156		講義ノート「鋼船構造 浅川彰三」		浜本博登	24.5×20.5cm冊子1,黒ペン書	製本,図面など貼付
1157		講義ノート「船体復原性 高橋良之助」		浜本博登	24.5×20.5cm冊子1,黒ペン書	製本,青図など貼付
1158		講義ノート「船体構造理論 井口常雄」		浜本博登	24.5×20.5cm冊子1,黒ペン書	製本,青図など貼付
1159		講義ノート「船舶算法 高橋良之助」		浜本博登	24.5×20.5cm冊子1,黒ペン書	製本,青図など貼付
1160		講義ノート「船体振動及動揺 末広恭二 高橋良之助」		浜本博登	24×20.5cm冊子1,黒ペン書	製本,図面など貼付,試験用紙など挟込資料あり
1161		講義ノート「船体抵抗推進 山本武蔵」		浜本博登	24.5×20.5cm冊子1,黒ペン書	製本,青図など貼付
1162		「FITTINGS FOR A PASSENGER & CARGO STEAMER」		NAVAL ARCHITECTURE DEPARTMENT FACULTY OF ENGINEERING IMPERIAL UNIVERSITY OF TOKYO	36×27cm冊子1,14頁(目次)・404 PLATES,印刷	
1163		「建築学」			30×23cmスクラップブック1	東京帝国大学工学部建築学教室講義用の図録(写真・図面など)
1164		「家屋新築及び修理に関する耐震構造上の注意書」		震災予防評議会	22×15cm小冊子1,印刷	番号1163資料の後ろから4枚目に貼付
1165		講義ノート「谷助教授講義 一般物理学」1		浜本博登	21×17cm冊子1,黒ペン書	
1166		講義ノート「谷助教授講義 一般物理学」2		浜本博登	21×17cm冊子1,黒ペン書	
1167		講義ノート「谷助教授講義 一般物理学」3		浜本博登	21×17cm冊子1,黒ペン書	図表など貼付,図表の挟込
1168		講義ノート「一般物理」4		浜本博登	21×17cm冊子1,黒ペン書	
1169		講義ノート「稲川講師講義 機械設計大意」		浜本博登	21×17cm冊子1,黒ペン書	図表など挟込
1170		講義ノート「兼重助教授講義 熱機関大意」1		浜本博登	21×17cm冊子1,黒ペン書	図表など貼付
1171		講義ノート「兼重助教授講義 熱機関大意」2		浜本博登	21×17cm冊子1,黒ペン書	図表など貼付,挟込資料
1172		講義ノート「横山教授講義 機械工作法」1		浜本博登	21×17cm冊子1,黒ペン書	図表など貼付
1173		講義ノート「横山教授講義 機械工作法」2		浜本博登	21×17cm冊子1,黒ペン書	図表など貼付,挟込資料
1174		講義ノート「金属材料 室井講師」1		浜本博登	24×20cm冊子1,黒ペン書	図表など貼付,インデックスなど挟込
1175		講義ノート「金属材料 室井講師」2		浜本博登	24×20cm冊子1,黒ペン書	青図など貼付,挟込資料
1176		講義ノート「船舶法規 重光講師」		浜本博登	24×20cm冊子1,黒ペン書	
1177		講義ノート「魚船 春日講師」		浜本博登	24×20cm冊子1,黒ペン書	試験問題用紙の挟込
1178		講義ノート「加藤助教授講義 造船幾何学」		浜本博登	24×20cm冊子1,黒ペン書	図表など貼付,綴り破損
1179		講義ノート「商船設計及艤装第一 浅川教授」1		浜本博登	24×20cm冊子1,黒ペン書	
1180		講義ノート「商船設計及艤装第一 浅川教授」2		浜本博登	24×20cm冊子1,黒ペン書	

4. 追補（平成31年度追加寄贈）

番号	所属	件名	作成年月日	作成（発信→受信）	形態	備考
1181		講義ノート「商船設計及艀装第二 浅川教授」3		浜本博登	24×20cm冊子1,黒ペン書	
1182		講義ノート「商船設計及艀装第二 浅川教授」4		浜本博登	24×20cm冊子1,黒ペン書	図表など貼付,裏表紙欠
1183		講義ノート「舶用機関大意(B) 山内 教授」		浜本博登	24×20cm冊子1,黒ペン書	図表など貼付,インデックス (同名講義(A)・(B)について と思われる)の挟込
1184		実験ノート「物理実験 木曜日(K 組)」1	5月8日～11月27日	浜本博登	24×20cm冊子1,黒ペン書	共同者「林」,グラフなど貼 付
1185		実験ノート「物理実験 木曜日(K 組)」2	12月4日～2月19日	浜本博登	24×20cm冊子1,黒ペン書	共同者「林」,グラフなど貼 付,広告の挟込
1186		演習ノート「理論造船演習 第一 第二」		浜本博登	24×20cm冊子1,黒ペン書	青図など貼付,メモなど挟 込
1187		講義ノート「航空原動機構造及設 計 栖原教授」		浜本博登	24×20cm冊子1,黒ペン書	グラフなど貼付,挟込資料
1188		講義ノート「電気工学実験大要講 義 阪本講師」1		浜本博登	24×20cm冊子1,黒ペン書	グラフなど貼付,挟込資料
1189		講義ノート「電気工学実験大要講 義 阪本講師」2		浜本博登	24×20cm冊子1,黒ペン書	グラフなど貼付,挟込資料
1190		講義ノート「応用弾性学 山口教 授」		浜本博登	24×20cm冊子1,黒ペン書	
1191		講義ノート「工業経済 諸井講師」		浜本博登	24×20cm冊子1,黒ペン書	メモなど挟込
1192		講義ノート「数学力学特別講義 小 谷講師」		浜本博登	24×20cm冊子1,黒ペン書	プリントなど挟込
1193		演習ノート「数学力学特別講義 課題」		(浜本博登)	24×20cm冊子1,黒ペン書	プリントなど挟込
1194		講義ノート「電気工学大意 古賀教 授」		浜本博登	24×20cm冊子1,黒ペン書	図版など貼付,挟込資料
1195		講義ノート「実験機械工学 竹中助 教授」		浜本博登	24×20cm冊子1,黒ペン書	図版など貼付,弾性実験装 置のリーフレットほか挟込 資料あり
1196		講義ノート「特許法 広瀬講師」		浜本博登	24×20cm冊子1,黒ペン書	
1197		講義ノート「応用物理学 第一 真 島助教授」1		浜本博登	24×20cm冊子1,黒ペン書	図版など貼付,挟込資料あ り
1198		講義ノート「応用物理学 第一」2		浜本博登	24×20cm冊子1,黒ペン書	図版など貼付,真島(助)教 授の講義カ
1199		講義ノート「応用物理学 第一 真 島教授」3		浜本博登	24×20cm冊子1,黒ペン書	図版など貼付,挟込資料あ り
1200		講義ノート「潜水艦設計 徳川講 師カ」		浜本博登	24×20cm冊子1,黒ペン書	
1201		講義ノート「航空船 中村講師」1		浜本博登	24×20cm冊子1,黒ペン書	挟込資料,中村(龍)講師の 講義カ
1202		講義ノート「航空船 中村講師」2		浜本博登	24×20cm冊子1,黒ペン書	
1203		講義ノート「電気工学大意 古賀講 師」1		浜本博登	24×20cm冊子1,黒ペン書	図表など貼付
1204		講義ノート「電気工学大意」2		浜本博登	24×20cm冊子1,黒ペン書	図表など貼付,1-2共通のイ ンデックスの挟込,古賀講 師の講義カ
1205		講義ノート「水力学」		浜本博登	26.5×20.5cm冊子1,黒ペ ン書	
1206		講義ノート「航空学大意 守屋助教 授」1		浜本博登	24×20cm冊子1,黒ペン書	
1207		講義ノート「航空学大意 守屋助教 授」2		浜本博登	24×20cm冊子1,黒ペン書	バインダーノート23枚など 挟込
1208		講義ノート「金属組織学 三島教 授」1		浜本博登	24×20cm冊子1,黒ペン書	挟込資料
1209		講義ノート「金属組織学 三島助教 授」2		浜本博登	24×20cm冊子1,黒ペン書	挟込資料
1210		講義ノート「沖講師講義 水力学及 水力機」1		浜本博登	24×20cm冊子1,黒ペン書	図表など貼付,挟込資料
1211		講義ノート「沖講師講義 水力学及 水力機」2		浜本博登	24×20cm冊子1,黒ペン書	図表など貼付,挟込資料
1212		「物理学実験解説」	昭和5年度前期	東京帝国大学工学部物 理学実験室	22×15cm冊子1,100頁,印 刷	原本手書,訂正表1枚あり
1213		「物理学実験解説」	昭和5年度後期	東京帝国大学工学部物 理学実験室	22×15cm冊子1,94頁,印 刷	原本手書
1214		「特許法 特許法施行規則 実用新 案法 実用新案法施行規則」	昭和6年1月30日	東京帝国大学工学部	22.5×15cm冊子1,173頁, 印刷	
1215		「電気工学実験大要」	昭和7年5月20日	尾本義一著,オーム社発 行	19×13cm冊子1,89頁,印 刷	第5版
1216		演習ノート「応用力学演習」		浜本博登	21×17cm冊子1,黒ペン書	「応用力学問題集」(20.5× 16cm,印刷冊子)の挟込

## 4. 追補（平成31年度追加寄贈）

番号	所属	件名	作成年月日	作成（発信→受信）	形態	備考
1217		講義ノート		(浜本博登)	24×20cm冊子1,黒ペン書	図表など貼付,内容「1. Correct apportionment of accuracy 実験ノ中種々ノ量ヲ測定スル場合ニ…」などあり
1218		講義ノート		(浜本博登)	24×20cm冊子1,黒ペン書	図面など貼付あり,内容「1. Characteristic of submarine. Peculiar featureナルモ,水上ヲ航行スル時ニハ水上艦ト異ナラズ…」などあり
1219		「Transformer, ALTERNATER BY ogura」		(浜本博登)	21.5×18cm冊子1,黒ペン書	製本
1220		ノート紙片			24×19cm洋紙1,赤ペン書	上部に「井口」とあり
1221		講義ノート「寺沢教授講義 力学」1		浜本博登	21×17cm冊子1,黒ペン書	背表紙破損
1222		講義ノート「寺沢教授講義 力学」2		浜本博登	21×17cm冊子1,黒ペン書	
1223		演習ノート「力学演習」		浜本博登	21×17cm冊子1,黒ペン書	英文プリントなど挟込
1224		「応用力学」		浜本博登	21×17cm冊子1,黒ペン書	複数の講義などに関するメモ,海軍造船部門への採用願の下書
1225		演習ノート「数学演習」1		浜本博登	21×17cm冊子1,黒ペン書	試験問題の挟込
1226		演習ノート「数学演習」2		浜本博登	21×17cm冊子1,黒ペン書	広告の挟込
1227		「日本国旅券(公用)」	昭和38年		15×9cm冊子,1	浜本博登
1228		「木船構造学」	昭和4年2月15日	堀太一著,堀田航盛館発行	22×15.5cm冊子1,印刷	「昭和五年九月四日求之浜本博登」とあり



# 吳市海事歷史科学館長期貸借資料



# 1. 個人・履歴関係等



# 1. 個人・履歴関係等

## (1) 個人・履歴関係

番号	件名	作成年月日	作成(発信→受信)	形態	備考
1	「履歴書」	昭和20年7月	浜本博登	B4洋紙1,黒鉛筆書	裏面,「手持手配済要配給高及用途別所要高一覧表(A表)」(三菱重工株式会社広島造船所)
2	写真			7.7×11.1cm写真1,8.7×11.4cm写真1,15.1×10.9cm写真1,タウ入	最終講義のピラ写真,ポートレート
3	「御退官最終講義 造船の推移 浜本博登」	昭和48年4月	浜本博登先生退官記念事業会	A5冊子1,13頁,活版	
4	浜本博登 履歴書		浜本博登	B5洋紙2,コピー,ホッチキスどめ	
5	「東京帝国大学運動会歌」			15.7×23cm洋紙1,孔版	
6	「第四回改訂増補 製図便覧」	大正15年5月20日	松尾哲太郎著,博文館発行	22.3×10cm冊子1,166頁,活版	

## (2) 手帳

番号	件名	作成年月日	作成(発信→受信)	形態	備考
7	手帳		(浜本博登)	10.6×19.2cm冊子1,黒ペン書	「3D2建造承認願」名前・住所・出身校などの一覧ほか個人情報あり



## 2. 書 類



## 2. 書 類

### (1) 戦前

#### ①東京帝国大学工科大学船舶工学科時代

番号	件名	作成年月日	作成(発信→受信)	形態	備考
8	「商船設計及艀装 第一(商船設計) 浅川教授」			26.6×21cm冊子1,148頁,黒ペン書	第一章 序論「第二章 設計方法」「第三章 主寸法及船型」ほか,講義ノートカ
9	「商船設計及艀装 第二(商船艀装) 浅川教授」			26.5×21cm冊子1,107頁,黒ペン書	講義ノートカ
10	「軍艦構造及艀装 第一 本文」	昭和28年10月	松本喜太郎	25.7×21cm冊子1,224頁,青焼	「謹呈福井静夫殿 松本 喜太郎」とあり
11	「流体力学 山本教授」			26.6×21cm冊子1,164頁,黒ペン書	「第一編 序論1 加圧縮流体及不可圧縮流体」ほか,講義ノートカ
12	「鋼船構造 浅川教授」			26.5×21cm冊子1,218頁,黒ペン書	「第一編 総論 1.序」「2.商船ノ種類」「3.規程」ほか,講義ノートカ
13	「船体復原性 加藤助教授」			26.5×20.5cm冊子1,195頁,黒ペン書	「序 定義」「第一編 Statical Stability第一章 Min Stability」ほか,講義ノートカ
14	「船体構造理論 井口教授」			26.5×20.5cm冊子1,138頁,黒ペン書	「第一編 造船用材(1)M.S.」「(2)Iron」「(3)H.T.S.」ほか,講義ノートカ
15	「船舶算法 加藤助教授」			26.3×21cm冊子1,117頁,黒ペン書	「第一編 船舶理論 1.Properties of Water」「2.Archinetes pronaples」ほか,講義ノートカ
16	「船体振動及動揺 吉識助教授 加藤助教授」			26.5×21cm冊子1,200頁,黒ペン書	「第一編 一般振動論 第一章 抵抗ヲ受ケザル調和振動及ビ偽調和振動」ほか,講義ノートカ
17	「船体抵抗推進及旋回 山本教授」			26.5×21cm冊子1,187頁,黒ペン書	「序論 船体ノ抵抗」「第一章 緒論」「第二章 摩擦抵抗 1 手板ノ摩擦抵抗」ほか,講義ノートカ

#### ②呉海軍工廠時代

番号	件名	作成年月日	作成(発信→受信)	形態	備考
18	「改正増補 工学便覧」	昭和10年1月20日	佐世保海軍工廠編,原田印刷所発行	15.4×11.7cm冊子1,652頁,孔版	
19	「SHS艀装器具 戦標制式便覧」	昭和18年3月	造船統制会	A6冊子1,145頁,青焼	
20	「材料及構造強弱学」		呉海軍工廠造船部 製図工場	16×24cm冊子1,青焼	

#### ③三菱重工長崎造船所時代

番号	件名	作成年月日	作成(発信→受信)	形態	備考
21	「ブリッジ」	昭和16年12月5日		A6変冊子1,51頁,青焼	表紙に「浜本技師」と赤ペン書あり
22	「改AT型戦時標準船 鋼製単螺旋貨物汽船 船体部標準仕様書」		造船統制会	A6冊子1,54頁,孔版	表紙に昭和19年4月25日付「三菱重工工業株式会社広島造船所」印と「造船設計課弥木」の印あり,「造船設計課資材保御中」と鉛筆書あり
23	「SHS艀装器具 戦標制式便覧 其二」	昭和19年1月	造船統制会	A6冊子1,76頁,青焼	
24	「溶接教材」		三菱広島造船所船殻工場	A4バインダー1,70頁	

#### ④広島工業専門学校時代

番号	件名	作成年月日	作成(発信→受信)	形態	備考
25	「会議用」	昭和20年5月5日～11月12日	浜本(博登)	A4冊子1,52頁,鉛筆書	「5-5佐藤部長出張報告」「5-15高杉出張報告」ほか
26	「広島工業専門学校学術研究会(案)」			B4わら半紙1,孔版	番号25に挟込,「二十二年十月ヨリ開始予定」ほか
27	「船舶強力計算用参考表」		広島工業専門学校造船科	15×23cm冊子1,199頁,青焼	

## 2. 書類

### (2) 広島大学関連

#### ① 研究ノート

番号	件名	作成年月日	作成(発信→受信)	形態	備考
28	ノート			A4綴1,黒ペン書	「歪測定」「図表ニヨル解法」「縦揺及上下動」ほか
29	図表及びコピーファイル			A4綴1,黒ペン書	「第一章 リベットノ形状」「日本鋼船工作法精度標準」ほか,A4洋紙21枚,B5綴1点,「JSQS日本鋼船工作法制度基準 1964年版」B5冊子1冊,カードリング2点挟込
30	振動数に関するノート			A4綴1,黒ペン書	「周辺固定矩形板の基本振動数」「防振ゴム」ほか,A4洋紙4枚,B5洋紙3枚,B4洋紙中折20枚,「推進軸固有振動数の近似計算法」B5冊子1冊,カードリング2点挟込
31	ノート			A4綴1,黒ペン書	「直交異方性板曲げ理論」「柱」「偏心荷重」ほか,カードリング2点挟込
32	「雑」			A4綴1,鉛筆・黒ペン書	「dock」「山に乗るには先づ山の性質を知る」「のあ」の箱船」ほか,A4洋紙3枚,B5洋紙1枚,60.7×53cm洋紙1枚,59.8×43.7cm洋紙1点,カードリング2点挟込
33	「塑」			A4綴1,黒ペン書	「塑性変形」「塑性設計」「トラス」ほか,カードリング4点挟込
34	資料ファイル			A4ファイル1	番号35～53まで一括
35	「第7編 舵(Rudder)」			B4洋紙中折8,孔版,ホッチキスどめ	ホッチキス除去,B6洋紙1点挟込
36	「第5章 メガネ形船尾骨材(Spectacle [stern]frame)」			B4洋紙3,コピー	うち1枚,一部切取あり
37	「第一編 総論」			B5洋紙8,孔版,ホッチキスどめ	ホッチキス除去
38	鋼板など寸法表			B4洋紙7,孔版,ホッチキスどめ	ホッチキス除去
39	鋼寸法表			B4洋紙9,青焼,ホッチキスどめ	ホッチキス除去,B5サイズに折り畳み
40	鋼板・鋼管・銅管寸法表			B4洋紙1,孔版,B5洋紙2,青焼,のりどめ	
41	「第2編 材料」			B4洋紙中折16,孔版,30.6×21cm洋紙1,青焼,ホッチキスどめ	ホッチキス除去
42	「第3編 リベット接合」			B4洋紙中折8,B5洋紙1,孔版,ホッチキスどめ	ホッチキス除去
43	「第5編 主要寸法(Principal dimensions)及び材料数(Scantling number)」			B4洋紙中折9,B5洋紙1,孔版,ホッチキスどめ	ホッチキス除去
44	「第4編 溶接(Welding)」			B4洋紙中折12,孔版,ホッチキスどめ	ホッチキス除去,B5洋紙1枚挟込
45	「溶接の概要」	昭和50年4月17日	工学博士浜本博登,広島県中小企業団体中央会	B4洋紙中折5,孔版,ホッチキスどめ	ホッチキス除去
46	「第8編 単底構造」			B4洋紙中折3,孔版,ホッチキスどめ	ホッチキス除去
47	「第9編 二重底構造(Double bottom・D・B・)」			B4洋紙中折9,孔版,ホッチキスどめ	ホッチキス除去
48	「第10篇 船舶区画」			B4洋紙中折4,B5洋紙1,孔版,ホッチキスどめ	ホッチキス除去,B5洋紙2枚挟込
49	「可浸長」			B5洋紙4,黒ペン書	
50	板寸法表			19.9×52cm洋紙1,B4洋紙2,B5洋紙1,B6洋紙1,青焼,ホッチキスどめ	ホッチキス除去
51	図面及び表			28.4×18.2cm洋紙1,青焼	
52	「船の長さの決定法について」	昭和29年9月	浜本博登	B5冊子1,10頁,孔版	『広島大学工学部研究報告』第3巻第2冊抜刷
53	「溶接設計」			A4洋紙48,コピー,ホッチキスどめ	ホッチキス除去
54	ノート			A4綴1,黒ペン書	「水の比重 $\gamma$ 」「抵抗Resistance」ほか,カードリング2点挟込
55	ノート			A4綴1,黒ペン書	「日本海事協会鋼船規則」「安全法施行規則」ほか,カードリング2点挟込

番号	件名	作成年月日	作成(発信→受信)	形態	備考
56	ノート			A4綴1,黒ペン書	「電気溶接(法)」各社溶接棒(軟鋼用)銘柄一覧表」ほか、カードリング2点挟込
57	「特殊船」		浜本	B5冊子1,黒ペン書	B4洋紙17枚,B5洋紙メモ4枚挟込
58	ノート			A4綴1,黒ペン書	章立てメモ書「動揺」「波浪中の抵抗模揺」とあり、カードリング2点挟込
59	「推進関係希望内容」			B5原稿用紙1,黒ペン書	
60	「Ⅷ. 5.850 1.30」			B5原稿用紙1,黒ペン書	メモ書
61	授業時間構成のメモ			B5原稿用紙1,黒ペン書	
62	章立てメモ			B5原稿用紙1,黒ペン書	
63	「錨鎖の伸出量について」	昭和29年カ	西部造船会正員浜本博登	24.3×17.6cmわら半紙冊子1,23頁,孔版	西部造船会会報第8号の抜刷カ
64	「船の長さの決定法について」	昭和29年9月	浜本博登	B5冊子1,10頁,孔版	『広島大学工学部研究報告』第3巻第2冊抜刷,B4洋紙1枚あり
65	数値書付			B4わら半紙1	番号58と65は一括
66	「WEIGHING & TESTING MACHINES」		TOKYO KOKI SEIZOSHO	A4ファイル1	ファイルのみ
67	「救命艇、ボートダビット、Motor Boat」			A4ファイル1	
68	「デッキクレーン」		浜本博登	A4ファイル1,青焼	Deck Crane について、クレーン図面などあり
69	「騒音防止」	昭和43年7月22日	浜本博登	A4ファイル1,青焼	

## ②研究資料

番号	件名	作成年月日	作成(発信→受信)	形態	備考
70	「防熱」			A4フラットファイル1	ファイルのみ
71	「工業材料の温度伝播率の測定(第一報)」	昭和27年11月	浅尾晴海・越智隆冬	B5冊子1,8頁,活版	『愛媛大学紀要』第三部工学第二巻第二号別刷
72	「工業材料の温度伝播率の測定(第二報)」	昭和28年12月	浅尾晴海・越智隆冬	B5冊子1,9頁,活版	『愛媛大学紀要』第三部工学第一巻第四号別冊
73	「温度伝播率の測定(第一報)―正しい測定法および一、二の測定例―」		浅尾晴海・越智隆冬	B5洋紙2,活版	『精密機械』XIX.4所収
74	「空気調和法」		武藤重郎	B5冊子1,8頁,活版	『印刷工場の建築 特集2 印刷工場と空気調和法』所収
75	「高圧温水輻射暖房について」		新菱冷熱工業KK・常務取締役 工学博士 武藤重郎	B5冊子1,5頁,活版	
76	「暖房熱負荷略算図表」	昭和35年12月	新菱冷熱工業株式会社技師長 武藤重郎	B5冊子1,22頁,活版	『衛生工業協会誌』第34巻第11号所収
77	「真空下の熱移動」	昭和35年5月31日	河村祐治	B5冊子1,6頁,活版	『真空』第3巻第8号所収
78	「～真空冷凍乾燥特集～ 真空乾燥の理論」	昭和38年11月7日	河村祐治	B5冊子1,7頁,活版	『真空』第6巻第12号所収
79	「低温における断熱法」	昭和38年3月2日	中川洋・高橋和雄	B5コピー用紙12,活版,ホッチキスどめ	『真空』第6巻第7号総説,ホッチキス破損
80	「スタッド付水管附近炉材内の温度分布の実験」	昭和32年11月	渡辺常正・広沢徳三郎	B5コピー用紙5,活版,ホッチキスどめ	『火力発電』第8巻第6号コピー,ホッチキス破損
81	「断熱材料」	昭和37年	広沢徳三郎	B5冊子1,10頁,活版	『高圧ガス協会誌』第26巻第8号別刷
82	「非定常熱流による熱伝導率測定法について」	昭和38年5月1日	日本アスベスト株式会社研究所	A4洋紙,冊子1,17頁,青焼,ホッチキスどめ	ホッチキス破損
83	「The Numerical Solution of Heat-Conduction Problems」	昭和18年8月	H.W.Emmons	A4コピー用紙,冊子1,12頁,コピー	T.A.S.M.E.'vol165 no6
84	「パワートランジスタのパルスエネルギー破壊について」	昭和39年2月	久保理一・川本博久	A4洋紙12,青焼,ホッチキスどめ	『National Technical Report』第10巻第1号所収,ホッチキス破損
85	Journal of Heat Transferの一部コピー	昭和36年2月		A4コピー用紙2,コピー	
86	「Optimization of a Sandwiched Thermoelectric Device」	昭和36年2月	B.W.SWANSON・E.V.SOMERS・R.R.HEIKES	A4コピー用紙,冊子1,9頁,コピー	『Journal of Heat Transfer』抜刷
87	「第1章 防熱に関する研究」			B4洋紙中折13,青焼,ホッチキスどめ	『日本造船研究協会報告』第64号所収,ホッチキス除去
88	「熱伝導率の非定常測定法について」	昭和41年10月	柵沢一郎	B4洋紙中折3,青焼,ホッチキスどめ	『生産研究』18巻10号所収,ホッチキス除去
89	「木材及木材加工品の熱伝導率」			A4洋紙2,青焼,ホッチキスどめ	ホッチキス除去
90	「熱伝導データ(木材熱伝導率)」	昭和39年7～10月		A4冊子1,5頁,青焼	
91	「液化ガスの低温海上輸送」	昭和38年12月	Manfred Volger	B5洋紙16,青焼,ホッチキスどめ	『船舶』第36巻第12号所収,ホッチキス除去

## 2. 書 類

番号	件 名	作成年月日	作成（発信→受信）	形 態	備 考
92	「冷凍艙壁の防熱特性について」		長崎造船所造船事業部造船設計部総合設計課宮本新平	A4コピー用紙,冊子1,3頁,コピー	『三菱造船技報』所収
93	「熱電冷却装置設計上の問題点(第I報)補償棒の長さおよび密着圧力」	昭和37年10月	相原利雄・畑田賢造	B5洋紙7,青焼,ホッチキスどめ	『National Technical Report』第8巻第5号所収,ホッチキス除去
94	「熱電冷却装置設計上の問題点(第II報)接触熱抵抗および電気絶縁薄層」	昭和38年6月	相原利雄	B5洋紙8,青焼,ホッチキスどめ	『National Technical Report』第9巻第3号所収,ホッチキス除去
95	「水溶液からの単結晶育成」	昭和38年4月	佐々木宏・松尾嘉浩	B5洋紙7,青焼,ホッチキスどめ	『National Technical Report』第9巻第2号所収,ホッチキス除去
96	「恒温水槽の温度特性」			A4罫紙3,黒ペン書,A4洋紙12,青焼	
97	各種保温材・断熱材の熱伝導率			A4洋紙4,青焼,ホッチキスどめ	ホッチキス除去
98	「弊工場見学御申出の件」	昭和39年3月5日	日本硝子繊維株式会社社長大森四郎→広島大学工学部主任教授浜本博登	B5和紙1,孔版	
99	「PL材料」			A4フラットファイル1	
100	「FRPの船舶応用についての一考察」		竹鼻三雄	B4洋紙2,青焼	『造船業だより』所収
101	「Plastics Ship Construction System」	昭和42年1月6日		A4洋紙1,青焼	『THE ENGINEER』所収
102	「強化プラスチック製大型ボートについて」	昭和41年6月	戸田孝昭	B4洋紙中折6,青焼	『船舶』第39巻第6号所収
103	「ポリプロピレン繊維索について」	昭和40年9月	運輸者船舶技術研究所小池正衛	B5冊子1,10頁,青焼,B5洋紙1,黒ペン書(表題)	『船舶』第38巻第9号所収
104	「強化プラスチック諸試験」	昭和40年		A4横書原稿用紙1,黒ペン書	『船舶』第38巻第7号の戸田孝昭論文の要約カ
105	「コルトノズルつき3口可変ピッチプロペラの系統的試験」	昭和47年5月30日	矢崎	A4冊子1,34頁,コピー	うち1頁A3図面あり,かもめプロペラ株式会社技術部設計課の印あり
106	「社内報 あなぶき 第38号」	昭和48年5月10日	大平喜康編,穴吹工務店発行	A4冊子1,12頁,活版	
107	「造船年譜」		浜本博登	A4冊子1,34頁,青焼,B5洋紙1	「日本造船業界略史」の記事挟込,手書書込あり
108	損傷(船底)など書付			B5罫紙1,黒ペン書	
109	封筒		土佐造船鉄工所	A4封筒1	封筒のみ
110	数値など書付			B5罫紙5,黒ペン書	
111	「Evangelical Boat "FUKUIN" Maru」	昭和33年9月	Hiroto HAMAMOTO	B5冊子1,5頁,孔版	『広島大学工学部研究報告』第7巻第2冊抜刷
112	「小型漁船 総噸数三噸 一般配置図」	昭和39年9月14日		56×73.2cm洋紙1,青焼	船舶図面
113	「小型漁船 総噸数三噸 一般配置図」	昭和39年9月14日		57×73.4cm洋紙1,青焼	船舶図面
114	「一.〇〇〇坪型鋼製単螺旋油槽船 外板展開」	昭和35年10月22日	向島船渠株式会社	53.8×78.6cm洋紙1,青焼	船舶図面
115	「日本工業規格 溶接構造用圧延鋼材」			A4洋紙4,青焼,ホッチキスどめ,B5洋紙4	ホッチキス除去
116	「水中翼船」			A4フラットファイル1	
117	「船舶の自動化荷役の単一化」の部分コピー			B5洋紙6,青焼	
118	「HOVERCRAFT SRN5の実績について」	昭和39年9月	三菱重工業株式会社	A4洋紙11,活版,ホッチキスどめ	ホッチキス除去,A4洋紙「ホバークラフト」による航路所要時間」挟込
119	「HovercraftとHydrofoilの将来」	昭和39年10月1日	上野敬三	B5冊子1,22頁,孔版	
120	「Corrosion and Materials Selection Problems on Hydrofoil Craft」		A.E.Hohman・W.L.Kennedy	A4冊子1,8頁,活版	
121	「The Use of Aluminum for Hovering Craft Structures」		K.T.ROWLAND	A4冊子1,5頁,活版	
122	「浜本」			A4フラットファイル1	ファイルのみ
123	「有村産業株式会社D.W.1,700噸型貨物船 前檣及後檣 デリック装置強度計算書」	昭和40年1月6日	高知重工業株式会社生産管理部設計課	A4洋紙19,21×59.2cm洋紙1,青焼,ホッチキスどめ	船舶図面あり,ホッチキス除去
124	「タンカー」			A4フラットファイル1	ファイルのみ
125	「Approximate hull dimensions for 500,000 and 1,000,000 dwt tankers」	昭和42年6月	T.J.Parker	A4洋紙5,青焼,ホッチキスどめ	ホッチキス除去
126	「SOME THOUGHTS ON MAMMOTH TANKER DESIGN」		W.J.ROBERTS	A4洋紙18,青焼,ホッチキスどめ	ホッチキス除去

番号	件名	作成年月日	作成(発信→受信)	形態	備考
127	「Approximate hull dimensions for 500,000 and 1,000,000 dwt tankers」	昭和42年6月	T.J.Parker	A4洋紙3,青焼,ホッチキスどめ	『Shipping World & Shipbuilder』所収,ホッチキス除去
128	「400,000 ton d.w.tanker Mitsui project in advanced stage of planning」	昭和42年7月27日		A4洋紙2,青焼,ホッチキスどめ	『Shipbuilding and Shipping Record』所収,ホッチキス除去
129	「TANKERS OF 500,000 D.W.T. FEASIBILITY STUDY BY LLOYD'S REGISTER OF SHIPPING」	昭和42年1月19日		A4洋紙2,青焼,ホッチキスどめ	『Annual Review Issue』所収,ホッチキス除去
130	「鉾石船 Harry Beuford」			A4原稿用紙1,黒ペン書	メモ書
131	「Current Trends in the Design of Iron-Ore Ships」	昭和38年4月		A4洋紙6,青焼,ホッチキスどめ	『SB&M.E.』vol.70 No.667所収,ホッチキス除去
132	「TankerとDry cargo shipsのWt.Cost.&Design characteristics」			A4原稿用紙5,黒ペン書,A4洋紙1,青焼	
133	「Weight, Cost and Design characteristics of Tankers and Dry Cargo Ships」	昭和39年8月	Roger P.Johnson・Henry P.Rumble	A4冊子1,39頁,青焼	『I.S.P.』vol111所収
134	「Tanker Design」			A4原稿用紙1,黒ペン書	
135	「Tanker Design from the Operators Viewpoint」	昭和26年	Richard H.Tingey	27×21cm冊子1,16頁,青焼	『SNAME』vol.59
136	「great Lake Bulk Carriers 縦強度 Arex Vedeler」			A4原稿用紙7,黒青ペン書	件名論文の要約カ
137	「Longitudinal Strength of great Lakes Bulk Carriers」	昭和41年4月	alex vedeler	A4洋紙16,青焼,ホッチキスどめ	ホッチキス除去
138	「Large Bulk Carrier」		J.M.Murray	A4原稿用紙1,黒ペン書,A4洋紙1,青焼	件名論文の要約カ
139	「Large Bulk Carriers」		J.M.Murray	A4洋紙13,青焼,ホッチキスどめ	『L.R.S.』No.38所収,ホッチキス除去
140	「Tanker」		J.M.Murray	A4原稿用紙3,黒ペン書,A4洋紙4,青焼	『L.R.S.』No.39所収論文の抜粋と要約カ
141	「Further Notes on Strength of Tankers」	昭和41年9月15日	J.M.Murray	A4洋紙18,青焼,ホッチキスどめ	『L.R.S.』No.39所収,ホッチキス除去
142	数値メモ			A4洋紙2,黒ペン書	
143	「Optimum Performance screws for Large Tankers」	昭和41年5月5日	T.P.O'Brien	A4洋紙7,青焼,ホッチキスどめ	『SB&SR』所収,一部赤ペン手書あり,ホッチキス除去
144	「摩耗」			A4フラットファイル1	ファイルのみ
145	「車輪支圧底力」			B4タイプライター用紙1,黒ペン書	
146	「第7章 検査に関する雑則」			A4洋紙1,青焼	
147	「鋼の摩耗におよぼす加速度の影響」	昭和39年12月	香良光雄	B5変洋紙8,青焼,ホッチキスどめ	『海技大学校研究報告』第8号所収,ホッチキス除去
148	「耐摩耗」			A4原稿用紙10,黒ペン書,A4洋紙2,青焼	『特筆ニュース』2巻8号所収八木明論文の要約カ,論文内容の一部コピーあり
149	「10.3 鋼の炭素含有量及び合金元素と摩耗」			B4洋紙中折12,青焼	
150	『溶解』22号抜書			A4洋紙4,黒ペン書	
151	『個体の摩擦と潤滑』抜書			A4洋紙3,黒ペン書	
152	大蝶堅差出封筒		大蝶堅→浜本先生	9.9×19cm封筒1	封筒のみ
153	「通風(I)」			A4フラットファイル1	ファイルのみ
154	ファイル目次			A4原稿用紙1,黒赤ペン書	
155	「船倉内通風効率について」		広島大学工学部浜本博登	B4洋紙中折3,25.3×21cm洋紙1,青焼,ホッチキスどめ	
156	「船倉内通風効率について」		浜本博登	A4洋紙39,A3洋紙3,青焼,ホッチキスどめ	表紙右上に「控」とあり,図面,写真添付,ホッチキス除去
157	論文・船倉内通風効率についての一部抜粋			A4洋紙8,青焼	一部黒ペン手書あり
158	「船倉内通風」		浜本博登	A4洋紙8,A3洋紙3,青焼,ホッチキスどめ	表紙右上に「控」とあり,一部赤ペン修正あり
159	「室内の空気分布について」		京都大学研究生正員石原正雄	B5変洋紙5,青焼,ホッチキスどめ	『衛生工業協会誌』第23巻第11～12号所収,ホッチキス除去
160	論文・室内の空気分布についての要約			A4罫紙5,黒ペン書	
161	「屋内空気状態の衛生的研究第1報～第6報」	昭和25年1月～昭和26年9月	大阪大学教授工業博士正員新津靖	B5冊子1,78頁,青焼	『衛生工業協会誌』第24巻第1～2,11～12号,第25巻第3,7,9号所収論文の一括冊子
162	論文・室内空気状態の衛生的研究の要約			A4原稿用紙38,黒ペン書	
163	「内外温度差による通気の研究」	昭和22年6月	正会員工学博士佐藤鑑	B4洋紙中折3,青焼,ホッチキスどめ	『日本建築学会論文集』第32～36号所収,ホッチキス除去,表紙では通気を換気とする

## 2. 書類

番号	件名	作成年月日	作成(発信→受信)	形態	備考
164	「通気径路による換気効果の研究」	昭和22年6月	正会員工学博士佐藤鑑	B5洋紙1,B4洋紙中折2,青焼,ホッチキスどめ	『日本建築学会論文集』第32～36号所収,ホッチキス除去
165	「開口比の変化による内外温度差の変動」	昭和22年6月	正会員工学博士佐藤鑑	B5洋紙1,B4洋紙中折1,青焼,ホッチキスどめ	『日本建築学会論文集』第32～36号所収,ホッチキス除去
166	「高熱工場の側壁上部窓の通気機構に関する研究」	昭和22年6月	正会員工学博士佐藤鑑	B5洋紙1,B4洋紙中折2,青焼,ホッチキスどめ	『日本建築学会論文集』第32～36号所収,ホッチキス除去
167	「南方住居の断面型と通気径路」	昭和22年6月	正会員工学博士渡辺要 正会員勝田高司	B5洋紙1,B4洋紙中折2,青焼,ホッチキスどめ	『日本建築学会論文集』第32～36号所収,ホッチキス除去
168	「室内外の温度差に基づく自然換気量(第1報)」	昭和18年2月	正員工学博士平山嵩 准 員堀一郎	A4洋紙7,青焼,ホッチキスどめ	『建築学会論文集』第28号所収,ホッチキス除去
169	「吸排気孔の位置及び大きさが自然換気に及ぼす影響」	昭和18年2月	正員工学博士平山嵩 准 員堀一郎	A4洋紙5,青焼,ホッチキスどめ	『建築学会論文集』第28号所収,ホッチキス除去
170	「自然換気に関する実験的研究(第1報告)」	昭和18年2月	正員勝田高司	A4洋紙7,青焼,ホッチキスどめ	『建築学会論文集』第28号所収,ホッチキス除去
171	論文・自然換気に関する実験的研究の要約			A4洋紙6,黒ペン書	
172	「船用パンカールバーの通風特性について」		大阪支所長 田橋 達 吉田 紘二郎	B5変洋紙3,青焼,ホッチキスどめ	裏面にメモあり,ホッチキス除去
173	論文・船用パンカールバーの通風特性についてに関する計算書			A4原稿用紙1,黒ペン書	
174	「タンカーのガスフリーに関する実験的研究」		正員阪田正信 正員宮脇 直樹 正員永田建一	B4洋紙中折3,孔版	『日本造船学会論文集』第130号別刷
175	「台中丸」	昭和40年7月30日		角形2号封筒1	封筒のみ
176	「台中丸 線図」	昭和40年6月22日	沖縄汽船株式会社工務部 設計課	59.3×166.7cm洋紙1,青焼	船舶図面
177	「台中丸 中央切断図」	昭和40年5月30日	沖縄汽船株式会社工務部 設計課	68.5×75.5cm洋紙1,青焼	船舶図面
178	「台中丸 一般配置図」	昭和40年5月26日	沖縄汽船株式会社工務部 設計課	80.4×105.6cm洋紙1,青焼	船舶図面
179	「HYDROSTATIC CALCULATION」			A4洋紙11,青焼,クリップどめ	表紙端に「日本鋼管株式会社鶴見造船所造船設計課」とあり,クリップ除去
180	「満載状態に於る復原力交叉曲線」	昭和38年1月7日		53.5×75.7cm洋紙1,青焼	グラフ
181	「呉造船所封筒」	昭和29年11月29日	呉造船所技術部浜田次長 一広島大学工学部浜本教授	角形2号封筒1	裏面に「児島丸ギソー図」と赤鉛筆書あり
182	「こじま 気象観測船 前後部構造切断 完成図」	昭和27年12月24日		58.5×105.3cm洋紙1,青焼	船舶図面
183	「こじま 一般艀装図 完成図」	昭和29年9月17日	株式会社播磨造船所呉船 渠技術部造船設計課	75.3×100.7cm洋紙1,青焼	船舶図面
184	「軽荷及び満載状態に於る復原力曲線」	昭和38年1月7日		53.4×75.2cm洋紙1,青焼	グラフ
185	交叉曲線(上甲板及び船楼を含む場合)などグラフ一括			23.1×32cm洋紙8,29.7× 43.3cm洋紙1	グラフ
186	Water Lineなど数値表			36×100cm洋紙1,青焼	
187	グラフ			29.7×44cmハトロン紙1	グラフ
188	「3. 推進器の操船に及ぼす影響」			A4洋紙10,青焼,ホッチキスどめ	ホッチキス除去
189	「重量」			A4綴1,青焼,黒ペン書	「塗料の製造工程」(A5洋紙1枚),「船体保護上から見た塗装法」(B5洋紙冊子5頁),「宮島試験場浸漬試験概要」(B5洋紙冊子8頁),「NISSAN MARINE PAINT 船舶塗装案内 1960 増補版」(A4洋紙冊子39頁),カードリング2点挟込
190	「カシオトランジスタ√DD1型 排水量計算 マニュアル」		(株)フルガイチ→海上保安 大学校	A4洋紙5,青焼,ホッチキスどめ	ホッチキス除去
191	「交叉曲線」			52×76cm洋紙1,青焼,黒・赤・緑ペン書	グラフ
192	「海水流入角」			52×76cm洋紙1,青焼,黒・赤・緑ペン書	グラフ
193	「P11 排水量等曲線」			51.6×73cm洋紙1,青焼	グラフ
194	「P6 排水量等曲線」			51.6×73cm洋紙1,青焼	グラフ
195	ファイル台紙			A4台紙1	台紙のみ
196	「アクリライト」(三菱レイヨン製)			A4洋紙1,黒ペン書	雑誌記事に関するメモカ
197	「六〇〇〇馬力遠洋曳船 海上公試運転成績表(船体部)」	昭和50年12月22日	有限会社 松浦鉄工造船 所	A4洋紙12,青焼,ホッチキスどめ	ホッチキス除去
198	CALCULATION OF HULL RESPONSEの一部コピー			B4洋紙1,青焼	
199	「風ニヨル復原艇」			B4わら半紙1,孔版	
200	「HYDROSTATIC CALCULATION」			A4洋紙11,青焼,ホッチキスどめ	赤ペン・黒鉛筆書による修正,書込あり,ホッチキス除去

番号	件名	作成年月日	作成(発信→受信)	形態	備考
201	「三菱造船速報」		三菱造船株式会社広報課	A4冊子1,孔版	
202	「進水」			A4フラットファイル1	ファイルのみ
203	KB3-B2 5枚1箱 ¥25,850ほか物品価格表			B5茶罫紙1,青ペン書	
204	「第116番船 進水要領図」	昭和37年12月14日	尾道造船株式会社工務部造船設計課	43.7×85.5cm洋紙1,青焼	船舶図面
205	「第55番船 鶴春丸 進水要領図」		尾道造船株式会社工務部設計課	40.1×79.5cm洋紙1,青焼	船舶図面
206	「進水工事一般配置図」	昭和33年2月11日	尾道造船株式会社工務部設計課	55×76cm洋紙1,青焼	船舶図面
207	進水重量ほかについてのメモ			A4洋紙1,黒ペン書	
208	進水台用ローラ1組ほか図面			A4洋紙6,青焼	図面
209	円管のみdeflectionほか図・計算表			A4洋紙20,青焼	
210	「進水要目表」			A4洋紙1,青焼	赤ペンで書込あり
211	「H. F. CORNICK: Dock & Harbour Engineering」			A4洋紙2,孔版,A4洋紙2,青焼,ホッチキスどめ	一部のみ,同内容の書類が孔版と青焼の二種類あり,ホッチキス除去
212	実験レポート	昭和41年6月27日	担当者 橋本剛	A4洋紙4,青焼,ホッチキスどめ	A4ハトロン紙1枚挟込,写真付,ホッチキス除去
213	各種船舶表			B4綴1	
214	「舵」			A4フラットファイル1	ファイルのみ
215	「小型船の安定性について」		広島大学工学部教授工学博士浜本博登	A4冊子1,64頁,青焼,9×13cm白黒写真4	同一内容で2冊あり
216	メモ			B5縦罫紙1,青ペン書	
217	モーター・プロペラなどの写真			9×13cm写真21	「月光」の袋一括,白黒写真
218	「A Study rudder action with special reference to single-screw ship」	昭和34年1月	Magne Lolveit	B4わら半紙中折11,青焼,ホッチキスどめ	『NECI』Vol.75 part3所収
219	舵模型送付につき書簡	昭和36年8月24日	有限会社松浦鉄工造船所松浦弘→浜本博登	B5ハトロン紙1,黒ペン書	
220	Rudderの件などにつき書簡	昭和36年5月10日	有限会社松浦鉄工造船所取締役技術部長松浦弘→浜本博登	B5縦罫紙1,黒ペン書	
221	「第30回西部造船会技術研究会議装部会 議題審議内容」			A4洋紙3,孔版,ホッチキスどめ	ホッチキス除去
222	「高知」			A4フラットファイル1	ファイルのみ
223	「小型漁船 総噸数三噸 一般配置図」	昭和39年9月14日		55×73.7cm洋紙1,青焼	
224	「シンクロリフト、マリンエレベーター」に対する考察」		広島大学教授工学博士浜本博登	A4冊子1,4頁,青ペン書	
225	シンクロリフト、マリンエレベーターへの意見書依頼の書簡	昭和40年1月15日	高知重工業株式会社取締役社長野村好直→浜本博登	B5ハトロン紙1,孔版	
226	高知重工業株式会社顧問就任に関する書類	昭和39年	高知重工業株式会社代表取締役野村好直→浜本博登	B5洋紙2,青焼,ホッチキスどめ	ホッチキス除去
227	760T「シンクロリフト」に関する質問などのメモ			B4茶罫紙1,黒ペン書	
228	「土佐造船シンクロリフトノ件(広島店No.849関係)」	昭和39年8月18日	東京支社機械第5部船舶車輛課→大阪本社電機課,広島支店機械課	B5洋紙5,青焼,ホッチキスどめ	ホッチキス除去
229	「工場移設並に増資計画書」		株式会社土佐造船鉄工所	B5冊子1,19頁,孔版	
230	「画期的入渠方式「シンクロリフト」について」	昭和38年11月	丸紅飯田株式会社,機械第5部船舶車輛課	B5冊子1,7頁,孔版	『船の科学』16(11)所収
231	「新工場配置図」			52.5×77.8cm洋紙1,青焼	工場図面
232	「高経済性定期貨物船 荷役装置解説書」	昭和37年8月15日	社団法人 日本造船研究協会	A4綴1,青焼	クレーン図面あり
233	「高経済性定期貨物船 荷役装置図」	昭和37年8月15日	社団法人 日本造船研究協会	80.8×116.4cm洋紙1,青焼	船舶・クレーン図面
234	メモ書及び戦艦の各種比較グラフ青図			A4綴1,黒ペン書,青焼	「外板内底板「キール」及「ロンジ」「戦艦「ロンジ」ノ厚サ」ほか,カードリング2点挟込
235	「載貨重量 9350噸 単螺旋ターゼル貨物船 船体部要目表(計画)(表紙共七枚)」	昭和25年6月19日	西日本重工業株式会社広島造船所造船部造船設計課	A4洋紙6,青焼,ホッチキスどめ	ホッチキス除去
236	「Data Book」		浜本	A4冊子1,51頁,黒ペン書	B5洋紙5,A4洋紙3枚(「標準型貨物船要目表(案)」など),B4洋紙5枚挟込
237	「Bilge Keel Bossing」			B4フォルダー1	フォルダーのみ
238	「Structural Streigth of Bilge Keels」	昭和41年1月	A.O.Bell	A4ハトロン紙3,黒ペン書,A4洋紙5,コピー	『SW&SB』所収,手書グラフあり

## 2. 書類

番号	件名	作成年月日	作成(発信→受信)	形態	備考
239	「Propeller Bossing Vibration」	昭和40年1月	P.W.Ayling & P.W.Knaggs	A4変ハترون紙2,黒ペン書,A4変洋紙25,コピー	『S.T.R.I.N.A』vol1107No.1所収
240	「 $\theta^\circ$ と $\phi$ 2との関係」			A4ハترون紙1,黒ペン書	手書グラフ
241	「Rudder」			B4フォルダー1	フォルダーのみ
242	「(昭和34年11月造船協会秋季講演会において講演)模型試験による舵の研究」	昭和34年11月	正員 志波久光	B4洋紙5,コピー	
243	「模型試験による舵の研究 志波久光」			A4ハترون紙2	件名論文の要約,メモ書
244	「(昭和16年11月9日造船協会講演会に於て講演)舵の直圧力と其の中心に就て(第4報)」	昭和16年12月	正員 工学博士赤崎繁	B4洋紙中折4,コピー,ホッチキスどめ	『造船協会会報』第69号所収,ホッチキス除去
245	「(昭和34年5月造船協会春季講演会に於て講演)模型船による最適舵面積の研究」	昭和34年5月	正員 志波久光 正員 水野時雄 正員 富田哲治郎 正員 江田治三	B4洋紙中折7,コピー	『造船協会論文集』第105号所収
246	「(昭和34年11月造船協会秋季講演会において講演)模型試験による舵の研究」	昭和34年11月	正員 志波久光	B4洋紙中折5,コピー	『造船協会論文集』第106号所収
247	「(昭和41年5月西部造船会第32回例会において講演)操縦性より見た舵面積決定法」	昭和41年5月	正員 村橋達也 正員 山田孝三郎	B4洋紙中折12,コピー	『西部造船会会報』第32号所収
248	「大型船の操縦性判定と舵面積の決定」	昭和44年12月	正会員 山田孝三郎	B4洋紙中折5,コピー	『関西造船協会誌』第134号所収
249	「Rudders and Sternframes」		F.B.Last	A4ハترون紙1,黒ペン書,A4洋紙16,コピー	『L.R. of shipping』No.34所収
250	「rudder and stern frame」		浜本博登	A4罫紙4,黒鉛筆書	
251	「操縦性より見たかじ面積決定法」	昭和42年2月	村橋達也・山田孝三郎	A4洋紙6,コピー,クリップどめ	『日立造船技報』第28巻第1号,クリップ除去
252	「船底」			B4フォルダー1	フォルダーのみ
253	「THE STRENGTHENING OF BOTTOM FORWARD」	昭和40年6月17日	J.B.Parga	A4洋紙3,コピー	『Shipping World & Shipbuilder』所収
254	「波板」			B4フォルダー1	フォルダーのみ
255	「Optimum Design of Plates with Symmetrical Trapezoidal Corrugations subjected to Lateral Pressure」	昭和42年4月	A.K.Basu & J.C.Chapman	27.7×21cmハترون紙1,黒ペン書,A4洋紙13,コピー	『RNA』vol.109, No.2所収論文
256	「船舶用波板」	昭和41年12月	藤田譲・八木順吉	B4洋紙21,コピー	『製鉄研究』第257号所収論文
257	「船体」			B4フォルダー1	フォルダーのみ
258	「OPTIMUM STRUCTURAL DESIGN OF SHIP HULLS WITHIN THE RULES OF A CLASSIFICATION SOCIETY」	昭和39年	E.Abrahamsen	A4ハترون紙12,孔版	『European Shipbuilding』所収論文
259	「大型船 Hull」			B4フォルダー1	フォルダーのみ
260	「Optimization Studies of Hull Constructions of Large Ships with different Steel type taken into Consideration」	昭和41年	I.Johnsen & B.Øvrebo	A4ハترون紙1,黒ペン書,A4洋紙14,コピー	『European Shipbuilding』所収論文
261	「Optimization Studies of Hull Constructions of Large Ships,with different Steel types taken into Consideration(Part II)」	昭和42年	I.Johnsen & B.Øvrebo	A4ハترون紙1,黒ペン,A4洋紙17,コピー	『European Shipbuilding』所収論文
262	「Oil tanker」			B4フォルダー1	フォルダーのみ
263	「船の科学」			B5洋紙2,コピー	『船の科学』19巻1号の一部コピー
264	「30 SEAT CRAFT PERFORMANCE CURVES」			A4ハترون紙1,黒ペン書	グラフ
265	「100 PASSENGER HOVERMARINE VEHICLE PERFORMANCE CURVES(Bath Versions)」			A4ハترون紙1,黒ペン書	グラフ
266	「各規程の最小断面係数」			A4ハترون紙1,黒ペン書	グラフ
267	「O. T. Longt. Streugth」		浜本	A4罫紙5,黒鉛筆書	
268	「原子力船」			B4フォルダー1	フォルダーのみ
269	「技術短信 原子力第1船建造計画の概要」	昭和42年5月		A4洋紙1,コピー	『船の科学』20巻5号(223)所収
270	「原子力船の経済性検討例」			A4ハترون紙1,黒ペン書	一色尚次『舶用原子炉入門』所収のグラフの複写カ
271	「Classification Society Requirements for Nuclear Ships」	昭和41年3月	H.N.PEMBERTON(ほか)	A4洋紙2,コピー,クリップどめ	『THE MOTOR SHIP』所収論文,クリップ紛失
272	「The Structural Strength of Trawler Sternframes」	昭和41年5月	K.V.Taylor	A4ハترون紙1,黒ペン,A4洋紙7,コピー	『Shipping World & Shipbuilder』vol.158 No.3792所収論文
273	「Rule」			B4フォルダー1	フォルダーのみ

番号	件名	作成年月日	作成(発信→受信)	形態	備考
274	「1969年の船舶のトン数測定に関する国際条約」の改正			A4ハトロン紙1,黒ペン書	
275	Section3～Section34の原稿			A4ハトロン紙39,黒ペン書	「Section3 Z α KB(Cb+0.70)×10 <sup>3</sup> m <sup>2</sup> ft」ほか
276	「OIL TANKERS」			A4洋紙16,コピー	
277	Shipbuilding and Shipping Recordの一部コピー	昭和42年3月2日		A4洋紙1,コピー	DET NORSKE VERITAS,NIPPON KAIJI KYOUKAIなどの会社情報記載
278	「第三十編 船体構造及び艀装品材料」			B4洋紙11,コピー	
279	「第八編 肋骨 改正の解説(附録)」			B4洋紙11,コピー	表紙に「昭和43年版鋼船規則改正解説」とあり
280	「昭和43年鋼船規則および冷蔵装置規則改正解説」	昭和43年7月	日本海事協会	B5冊子1,27頁,孔版	
281	AB規則(1968) BV規則(1967)			A4ハトロン紙2,黒ペン書	
282	「Text」			B4フォルダー1	フォルダーのみ
283	「長円形せん溶接」			27×29.4cm洋紙1,コピー	図面
284	「船尾骨材及舵」			29.8×26.2cm洋紙1,コピー	図面
285	Water Lineほか表			21.4×49cm洋紙1,孔版	
286	「外板展開図」			20.7×42.7cm洋紙1,コピー	図面
287	船舶図面			21.4×50.7cm洋紙1,コピー	図面
288	起動筒、操舵テレモーターほか図面			21×42.2cm洋紙1,コピー	図面
289	「PRINCIPAL PARTICULARS」			21×104.9cm洋紙1,コピー	図面
290	「WATER SURFACE」			A4洋紙1,コピー	表
291	図面			A4洋紙1,黒ペン書	図面
292	NO. of Ord. など表			A4洋紙1,コピー	
293	「APENDAGE」			A4洋紙1,コピー	表
294	Displacement Fore・Displacement Aftほか表			A4洋紙1,コピー	
295	「船首材」			A4洋紙1,コピー	図面
296	「鋼材配置図」			A4洋紙1,コピー	図面
297	「SECTION AT CARGO TANKS」			A4洋紙1,コピー	図面
298	NO. of Ord. など表			A4洋紙1,コピー	
299	船舶図			A4洋紙1,コピー	図面
300	「船首材」			A4洋紙1,コピー	図面
301	「鋼材配置図」			A4洋紙1,コピー	図面
302	「中央横断面」			A4洋紙1,コピー	図面・表
303	吃水に関するグラフ			A4洋紙1,コピー	グラフ
304	NO. of Ord. など表			A4洋紙1,コピー	
305	TABLE OF STABILITYほかグラフ及び表			A4洋紙1,コピー	
306	「中央横断面」			A4洋紙1,コピー	図面・表
307	「TRANSVERSE METACENTER ABOVE C. B.」			A4洋紙1,コピー	表
308	「PANTING STRINGER」			A4洋紙1,コピー	図面
309	「LONGITUDINAL METACENTER ABOVE C. B.」			A4洋紙1,コピー	表
310	「舵軸受金物」			A4洋紙1,コピー	図面
311	「OFF SET TABLE」			A4洋紙1,コピー	表
312	吃水に関するグラフ			A4洋紙1,コピー	グラフ
313	「ベアリング詳細図」			A4洋紙1,コピー	図面
314	「中央部切断図」			A4洋紙1,コピー	「機関長室」「機械室」などの図面
315	「中央切断図」			A4洋紙1,コピー	「石炭庫」「機関室」「貨物艀」などの図面
316	「W.T. BULKHEAD」			A4洋紙1,コピー	図面
317	舵軸管・スカーフカップリング・底部ベアリング図面			A4洋紙1,コピー	図面
318	「コントラ ラダー」			A4洋紙1,コピー	図面
319	「単底構造」			A4洋紙1,コピー	図面
320	「COLLISION BULKHEAD」			A4洋紙1,コピー	図面
321	「艀、舵防撓構造図」			A4洋紙1,コピー	図面
322	「外板の張り方」			A4洋紙1,コピー	図面
323	「鋼船構造」			40.5×31cm袋1	袋のみ
324	「薄板寸法表」			25.4×45.3cmハトロン紙1,孔版	
325	「中板寸法表」			B5ハトロン紙1,孔版	
326	「厚板寸法表 その1」			25.7×45.3cmハトロン紙1,孔版	

## 2. 書類

番号	件名	作成年月日	作成(発信→受信)	形態	備考
327	「厚板寸法表 その2」			25×51.8cmハトロン紙1,孔版	
328	「縞鋼板寸法及び重量表」			B5ハトロン紙1,孔版	
329	「ゲージ比較表1」			25.4×29.8cmハトロン紙1,孔版	
330	「ゲージ比較表2」			25.4×29.7cmハトロン紙1,孔版	
331	「等辺山形鋼1」			26.2×31.1cmハトロン紙1,孔版	表
332	「等辺山形鋼2」			26×32cmハトロン紙1,孔版	表
333	「不等辺山形鋼1」			26×40.9cmハトロン紙1,孔版	表
334	「球山形鋼」			26.1×39.8cmハトロン紙1,孔版	表
335	「工形鋼」			B4ハトロン紙1,孔版	表
336	「溝形鋼」			26×35cmハトロン紙1,孔版	表
337	「不等辺山形鋼2」			26×40.2cmハトロン紙1,孔版	表
338	「不等辺山形鋼3」			B4ハトロン紙1,孔版	表
339	Z鋼・T鋼に関する表			26×41.8cmハトロン紙1,孔版	
340	「FIG 線図(マイヤー型)」			A4ハトロン紙1,黒ペン書	図面
341	「FIG 線図(普通型)」			A4ハトロン紙1,黒ペン書	図面
342	FIG 線図(球状船首)(アークホーム)			A4ハトロン紙1,黒ペン書	図面
343	船尾材後面から(Ls)船首材の前面までほか図			A4ハトロン紙1,黒ペン書	図面
344	舷側外板上面ほか図			A4ハトロン紙1,黒ペン書	図面
345	船の長さほか図			A4ハトロン紙1,黒ペン書	図面
346	L.RIほか書付			A4ハトロン紙3,黒ペン書	
347	「鑄鉄機械的性質及び化学成分」			A4ハトロン紙1,黒ペン書	表
348	「第一章 リベットの形状」			A4ハトロン紙1,黒ペン書	図面,番号348~387は一括で原稿の可能性あり
349	「第一章 リベットノ形状」			A4ハトロン紙1,黒ペン書	図面,表
350	皿及びリベットについて			A4ハトロン紙1,黒ペン書	「(2)皿掛ノ深サ」「(3)皿角度」「(4)リベットノ径」「(5)リベットノ材料及ビ用途」ほか図面
351	リベット図			A4ハトロン紙1,黒ペン書	「(a)丸リベット(SNAP HEAD RIVET)」「(b)丸皿リベット(COUNTER SUNK RAISED RIVET)」ほか図面
352	タップリベット図			A4ハトロン紙1,黒ペン書	図面
353	(6)カシメ代 押エ代・(7)立込リベットについて			A4ハトロン紙1,黒ペン書	
354	リベットほか図			A4ハトロン紙1,黒ペン書	図面
355	「山形鋼接手」			A4ハトロン紙1,黒ペン書	図面
356	「(6)SEAM及BUTTノ幅」			A4ハトロン紙1,黒ペン書	表
357	PITCH・主ナル部分・RIVET.表			A4ハトロン紙1,黒ペン書	表
358	Fig リベット接手記号・Fig リベットにかゝる力・ライナーの図面			A4ハトロン紙1,黒ペン書	図面
359	ライナー・Fig フランジ有効断面積の図面			A4ハトロン紙1,黒ペン書	図面
360	「Fig ブラケット固着」			A4ハトロン紙1,黒ペン書	図面
361	「Fig 方形キール」			A4ハトロン紙1,黒ペン書	グラフ
362	「方形キール」			A4ハトロン紙1,黒ペン書	グラフ
363	「平板キール」			A4ハトロン紙1,黒ペン書	グラフ
364	「Fig 平板キール」			A4ハトロン紙1,黒ペン書	グラフ
365	キールのBUTT LAPほかに関する図			A4ハトロン紙1,黒ペン書	図面
366	キールJOGGLEほかに関する図			A4ハトロン紙1,黒ペン書	図面
367	「船首材」			A4ハトロン紙1,黒ペン書	グラフ
368	船首・接合に関する図			A4ハトロン紙1,黒ペン書	図面
369	船尾舵・スクルー一部に関する図			A4ハトロン紙1,黒ペン書	図面
370	鋼板に関する図			A4ハトロン紙1,黒ペン書	図面
371	「ソールピース」			A4ハトロン紙1,黒ペン書	グラフ
372	船尾・舵に関する図			A4ハトロン紙1,黒ペン書	図面
373	STERN FRAMEに関する図			A4ハトロン紙1,黒ペン書	図面
374	船尾管ほか図			A4ハトロン紙1,黒ペン書	図面
375	スクルーほか図			A4ハトロン紙1,黒ペン書	図面
376	断面図			A4ハトロン紙1,黒ペン書	図面
377	Upper edge of the Lowest boltほかに関する図			A4ハトロン紙1,黒ペン書	図面

番号	件名	作成年月日	作成(発信→受信)	形態	備考
378	トランソンほかに関する図			A4ハトロン紙1,黒ペン書	図面
379	舵針ほかに関する図			A4ハトロン紙1,黒ペン書	図面
380	「A-A切断図」			A4ハトロン紙1,黒ペン書	図面
381	Keelson angleほかに関する図			A4ハトロン紙1,黒ペン書	図面
382	側内竜骨縦通山形に関する図			A4ハトロン紙1,黒ペン書	図面
383	CURVED FLOORほかに関する図			A4ハトロン紙1,黒ペン書	図面
384	船首材ほかに関する図			A4ハトロン紙1,黒ペン書	図面
385	肋骨ほかに関する図			A4ハトロン紙1,黒ペン書	図面
386	船体図			A4ハトロン紙1,黒ペン書	図面
387	「鋼船構造」		浜本教授	A4ハトロン紙6,黒ペン書	件名書籍の目次カ
388	「鋼船構造」		浜本博登	A4ハトロン紙128,黒ペン書	日立造船技報封筒入,件名書籍の第6～27章の原稿カ,図表あり
389	「Stem Frame Shaft BKT」			B4フォルダー1	フォルダーのみ
390	数式書付			A4ハトロン紙2,黒ペン書	
391	「shaft Bracket」			A4ハトロン紙15,黒ペン書	
392	「シャフトブラケットの強度計算に就て」		正員 工学士 岡部利正	B4洋紙5,コピー	『造船協会会報』第78号所収論文
393	「THE GLACIER-HERBERT STERNGEAR SYSTEM」	昭和42年5月		A4洋紙4,コピー	『THE MOTOR SHIP』所収論文
394	「船尾管軸受」	昭和42年3月カ		A4ハトロン紙1,黒ペン書,A4洋紙19,コピー	「日本造船研究会」第93研究部会の研究資料カ
395	「プロペラ・クリアランスについて」	昭和43年9月	関西造船協会ルール検討委員会	A4洋紙7,コピー	『関西造船協会誌』第129号所収論文
396	「一般」			B4フォルダー1	フォルダーのみ
397	「世界手持ち受注」			A4洋紙1,黒ペン書	
398	スペインカナリア諸島における日本製膨張式救命いかだなど調査関係資料	昭和49年11月11～28日	浜本	A4ハトロン紙28,黒ペン書,A4洋紙3,青焼	浜本博登氏を団長とする調査団の海外調査報告書の下書・参考資料カ
399	Valentine Posdunineなどに関する書付			A4ハトロン紙4,黒ペン書	
400	「第1表 和船の変遷」	昭和47年9月		B4洋紙2,コピー	『日本造船学会誌』第519号所収
401	「造船年譜」		浜本博登	A4ハトロン紙35,黒ペン書	
402	太平洋上での船舶沈没事故について			A4ハトロン紙1,黒ペン書	沈没した船の各種情報,沈没原因の分析など
403	「CHINA SEA AND JAPAN」			B4洋紙1,コピー	地図
404	「THE INDIAN OCEAN」			B4洋紙1,コピー	地図
405	「ソ連の船腹量(1970年7月1日現在)」			A4洋紙1,コピー	
406	「中小企業労働問題実態調査まとめ <中小企業庁>」	昭和45年9月		B4洋紙1,コピー	『造船業だより』所収
407	「三井造船株式会社玉野造船所平面図」	昭和46年1月		24.6×36.6cm洋紙1,活版	地図
408	「ご案内」			A5洋紙1,活版	追浜造船所までの案内
409	「追浜造船所案内図」			B5洋紙1,活版	メモあり
410	「追浜造船所」		住友重機械工業株式会社	B5洋紙リーフレット1,活版	パンフレット
411	「Reflection of progress The latest from our shipyards」		MITSUBISHI HEAVY INDUSTRIES,LTD	A4変冊子1,30頁,活版	パンフレット
412	「香焼」		三菱重工業株式会社 長崎造船所 香焼工場	A4変冊子1,10頁,活版	パンフレット
413	溶接ニュースなど新聞記事一括	昭和44年9月23日		ブランケット判新聞1,A4洋紙4,コピー	
414	「OPPAMA 追浜造船所」		住友重機械工業株式会社	A4変冊子1,6頁,活版	パンフレット
415	「船舶特報 第139号」	昭和47年12月31日	三菱重工業株式会社 船舶事業本部	A4洋紙リーフレット1,活版	
416	「世界の不定期の1/4が過剰」			A4ハトロン紙1,黒ペン書	
417	「JIS」			B4フォルダー1	フォルダーのみ
418	船用鋼板製デリックブーム解説などに関する資料			A4洋紙15,29.5×50.7cm洋紙1,コピー	
419	日本工業規格各種圧延鋼の概要			A4洋紙9,コピー	
420	「日本工業規格 アンカー」			A4洋紙9,29.7×37.1cm洋紙2,コピー	
421	「Floating Dock」			B4フォルダー1	フォルダーのみ
422	「FLOATING DOCK -ITS ADVANTAGES AND DESIGN ASPECTS」	昭和39年4月	J.P.KUNDU, B.E., B.Tech	A4洋紙11,コピー	『ISP』vol.11所収論文
423	「ローラ進水」			B4フォルダー1	フォルダーのみ
424	「ローラ進水台圧縮試験」		広島大学工博 浜本博登	A4洋紙80,黒ペン書	図表あり,標題論文の原稿カ
425	「ローラ進水台圧縮試験(続)」		広島大学教授工学博士 浜本博登	A4洋紙53,黒ペン書	図表あり,標題論文の原稿カ
426	「Launching rollerについて」		浜本博登	A4洋紙2,黒鉛筆書	

## 2. 書類

番号	件名	作成年月日	作成(発信→受信)	形態	備考
427	「Tino Theory of Elort.」			A4ハトロン罫紙13,黒ペン書	
428	円の中心におけるMax. enupussive stress(ほか)についての書付			A4ハトロン紙17,黒鉛筆・赤ペン書	
429	「launching roller圧縮試験について」		浜本博登	A4ハトロン罫紙15,黒鉛筆書,クリップどめ	クリップ除去
430	「Launching Roller圧縮試験について」		浜本博登	A4ハトロン紙24,黒ペン書	
431	「Machinery skates」	昭和41年12月1日		A4洋紙1,コピー	『Shipbuilding and Shipping Record』所収記事,件名の記事に赤鉛筆で囲み書あり
432	「爆破進水」			A4ハトロン罫紙1,黒ペン書	『造船工業』No.14掲載論文のまとめカ
433	「ローラ進水台圧縮試験」			41.9×26cm袋1	袋のみ
434	「工場配置 一般」			B4フォルダー1	フォルダーのみ
435	「来年から大型船建造へ 名村造船所 49年に新工場稼働 注目の群管理システムも登場」	昭和48年6月18日		A4新聞切抜1	『溶接新聞』記事
436	「特集 飛躍する在阪川筋造船所 各社新鋭造船所の建設へ 合理化・省力化の意欲も盛ん」	昭和47年12月26日		36.5×40.7cm新聞1	『溶接ニュース』記事,一部切取,二つ折
437	8.船台・9.乾船渠ほか表			B4洋紙1,青焼	
438	「金指造船所工場配置図」			23.4×24.9cm洋紙1,活版	
439	「金指造船所工場配置図」			B4洋紙2,コピー,B4洋紙2,青焼	
440	「工場一般配置図」			A4洋紙1,コピー,A4洋紙1,青焼	
441	観音工場・江波工場配置図			13×28.2cm洋紙1,活版,A4洋紙1,コピー,A4洋紙1,青焼	
442	日本鋼管福山製鉄所工場配置図			B4洋紙1,コピー	
443	「日本鋼管 新大型造船所 新設計画—最新のレイアウトで超大型船建造—」			B4洋紙3,コピー	
444	「FACILITIES」	昭和34年6月		A4洋紙1,コピー	NAMURA SHIPYARD CO.,LTDの造船施設図カ
445	岸壁・設備概要 工場平面図			A4洋紙1,コピー	
446	「川崎重工 坂出工場」			B5冊子1,6頁,活版	パンフレット
447	「工場配置」			A4ハトロン紙1,活版,黒鉛筆書,A4洋紙1,青焼	
448	工場配置図			B4洋紙1,コピー	番号449のパンフレットのコピー
449	「NEW DRY DOCK」		KASADO DOCKYARD CO.,LTD	28.8×21.1cm洋紙リーフレット1,活版	セロハンテープで別々のリーフレットを貼り付けたもの
450	設備概要 工場配置図			A4洋紙1,コピー	
451	「笠戸船渠」		笠戸船渠株式会社	A5洋紙リーフレット1,活版	
452	「設備の概要」			A4洋紙3,コピー,A4洋紙3,青焼	
453	「日本鋼管 新大型造船所 新設計画—最新のレイアウトで超大型船建造—」			B4洋紙中折3,青焼,ホッチキスどめ	ホッチキス除去
454	「材料」			B4フォルダー1	フォルダーのみ
455	「リグナムバイタ(Lignumvitae)」			A4ハトロン罫紙1,黒鉛筆書	
456	「銅管の厚さ」			A4ハトロン紙1,黒ペン書	表
457	「銅管の圧力別各種外径に対する厚さ」			A4ハトロン紙1,黒ペン書	グラフ
458	「スターライト プッシュ」		浜本博登	A4ハトロン紙1,黒鉛筆書	
459	「THE APPLICATION OF HIGHER TENSILE STEEL IN MERCHANT SHIP CONSTRUCTION」	昭和42年7月20日	G.Buchanan, B.sc.	A4洋紙3,コピー	『Shipping World & Shipbuilder』所収論文
460	「The application of higher-tensile steels in shipbuilding: materials,welding,design and economics」	昭和46年10月5日	Gunnar Kullberg, D.E.	A4洋紙4,コピー	『Shipbuilding and Shipping Record』所収論文
461	「第7章 検査に関する雑則」			9.7×17.8cm洋紙1,12.1×17.8cm洋紙1,コピー	セロテープによる接合跡あり
462	論文コピー	昭和43年2月		A4洋紙1,コピー	圧延鋼材に関する論文の一部コピー
463	「外板展開(電気計算)」			B4フォルダー1	フォルダーのみ
464	「第3章 現図」			A4洋紙5,コピー	
465	「submarine」			B4フォルダー1	フォルダーのみ
466	名刺		土佐貿易株式会社取締役 横山紀夫	5.4×9.1cm名刺1	

番号	件名	作成年月日	作成(発信→受信)	形態	備考
467	「水中スクーターKT-2」			A4洋紙1,コピー	図面,黒ペンメモ書あり
468	「VAST」		土佐貿易株式会社	A4洋紙1,コピー	
469	「青い 神秘の世界への挑戦!! 2人乗り超小型潜水艇 タイガーハイ号 西ドイツ・シルバースター社」	昭和45年	土佐貿易株式会社	B5洋紙リーフレット2,活版	うち1枚A4洋紙挟込
470	はがき		土佐貿易	15.1×11cmはがき1	西独シルバースター社小型潜水艇タイガーハイ号宣伝
471	「株式会社 名村造船所工場配置図」	昭和38年3月		32.5×45.5cm洋紙1,青焼	図面
472	広島大学工学部フラットファイル			A4フラットファイル1	ファイルのみ
473	速力馬力推定計算についての書簡コピー	昭和29年12月24日	井上博之→浜本先生	A4洋紙2,コピー,ホッチキスどめ	ホッチキス除去,赤ペン書あり
474	「Fig.89 模型船・実船間の伴流係数の尺度影響を推定する図表」			A4洋紙2,孔版	
475	「模型船による最適舵面積の研究」	昭和34年5月	正員 志波久光 正員 水野時雄 正員 富田哲治郎 正員 江田治三	B4洋紙中折7,コピー,ホッチキスどめ	『造船協会論文集』第105号所収論文,ホッチキス除去
476	「表81 実績船要目(タンカー)」			B5洋紙1,コピー	
477	「図82 (1-Ws)/(1-Wm)(満載状態)」			A4洋紙2,コピー	グラフ
478	「図79 Series60 模型試験における諸係数」ほか表			A4ハترون紙1,A4洋紙1,27×10.5cm洋紙1,27×10.9cm洋紙1,コピー	
479	「FEM FTC委員会 日溶鉄鋼部会」など書付			A4洋紙3,青焼	
480	「高速フェリーの船型要素と静水中推進性能について」	昭和46年12月	正会員 埜友雄	B4洋紙中折7,コピー,ホッチキスどめ	『関西造船協会誌』第142号所収論文,ホッチキス除去
481	「第3編 基本計画」			B4洋紙5,コピー,ホッチキスどめ	表に「関西造船協会」と朱書あり,ホッチキス除去
482	「スラスト減少係数」			A4洋紙22,青焼,20×17.3cm洋紙1,コピー,ホッチキスどめ	ホッチキス除去
483	「図78 伴流係数(1軸船)」			A4洋紙1,コピー	赤ペン書込あり
484	「図4.11 伴流係数w及びスラスト減少係数の推定図表(Harvaldによる)」			13.9×19.9cm洋紙1,コピー	
485	「図4.10 プロペラ単独性能曲線」			29.7×18.8cm洋紙1,コピー,23.3×14.5cmハترون紙1,孔版	
486	表一部			19.3×17.3cmハترون紙1,コピー	
487	「スラスト減少係数」			A4洋紙22,青焼,ホッチキスどめ	ホッチキス除去,赤ペン書込あり
488	「伴流係数」			A4ハترون罫紙8,A4洋紙1,青焼	
489	「スターコピー用箋」			A4台紙1	台紙のみ
490	「馬力の種類」			A4洋紙12,青焼,ホッチキスどめ	ホッチキス除去,赤ペン書込あり
491	「第3編 基本計画 6 抵抗及び推進」			A4洋紙12,コピー,ホッチキスどめ	ホッチキス除去
492	「スラスト減少係数」			A4ハترون罫紙11,黒ペン書,A4洋紙6,コピー	
493	「浅水影響」			A4ハترون紙5,A4洋紙4,青焼,クリップどめ	クリップ除去,ハترون紙に付箋あり
494	「A Re-Analysis of the Original Test Data for the Taylor Standard Series.」		Morton Genter	角形2号封筒1	件名論文と付録1～6,広島大学工学部封筒入
495	浜田工務店封筒			角形2号封筒1	封筒のみ,メモ書あり
496	「溶接ニュース」	昭和54年11月20日	産報出版株式会社	ブランケット判新聞2	
497	「防火 上部通風乱流」			A4フラットファイル1	ファイルのみ
498	乱流域に関する書付			A4原稿用紙1,黒ペン書,A4洋紙1,青焼	
499	建物の乱流域低減法		技術本部 笠口展宏 倉ヶ崎六夫 松本孝良	A4洋紙5,青焼,ホッチキスどめ	ホッチキス除去,『三菱重工技報』vol.3 No.4所収論文
500	Wind Tunnel Exp.煙突に関する書付			A4原稿用紙1,黒ペン書	
501	「Wind Tunnel Experiments on a model of the "Kungsholm"」	昭和41年4月	C.H.Burge, A.F.R.Ae.S., P.G.G.O'Neill	A4洋紙8,青焼,ホッチキスどめ	ホッチキス除去,『Shipping World & Shipbuilder』所収論文
502	Reserch in Fine Fighting and Fire Protection in Shipsに関する書付			A4洋紙2,黒ペン書	
503	「Reserch in Fine Fighting and Fire Protection in Ships」	昭和41年10月	P.Nash, L.A.ashton	A4洋紙26,青焼,ホッチキスどめ	ホッチキス除去,『The Royal Institution of Naval Architects』所収論文

## 2. 書類

番号	件名	作成年月日	作成(発信→受信)	形態	備考
504	「衝突」			A4フラットファイル1	ファイルのみ
505	「Morley Strength of Material Impact producing Flexure」			A4洋紙3,青焼,ホッチキスどめ	ホッチキス除去
506	「台車上の衝突荷重」		浜本	A4洋紙2,青焼,ホッチキスどめ	ホッチキス除去
507	数式書付		浜本	A4洋紙1,青焼	
508	「台車上の衝撃荷重の数値計算」		寺西	A4洋紙9,青焼,ホッチキスどめ	ホッチキス除去
509	「落下衝突」			A4原稿用紙1,黒ペン書	
510	「鍋および台車上面に働く衝突荷重」		浜本	A4洋紙1,青焼	
511	「鍋及び台車上面に働く衝撃荷重」	昭和41年3月31日		A4洋紙2,青焼,ホッチキスどめ	ホッチキス除去,赤ペン書込あり
512	「impact」			A4原稿用紙1,黒ペン書	
513	「Impact on Collision」			B5洋紙14,黒ペン書	
514	「直衝突」			A4原稿用紙8,黒ペン書	
515	「原子力船の衝突予防」			A4原稿用紙5,黒ペン書,青ペン書	『J.S.R.』所収のV.U.Minorsky論文(昭和34年10月)の要約カ
516	「Collision Barrier」		J.A.Dodd & McDonald	A4原稿用紙1,黒ペン書	『S.B.』vol.68No.641(昭和36年4月)所収J.A.Dodd & McDonald論文に関する書付
517	「耐衝突構造」			A4原稿用紙4,黒ペン書	『船科』16-7所収論文に関する書付
518	「衝突時速力」			A4原稿用紙3,黒ペン書	G.Woisin論文に関する書付
519	「原子力船の衝突」			A4原稿用紙2,黒ペン書	G.Woisin論文に関する書付
520	「An Analysis of Ship Collisions with Reference to Protection of Nuclear Power Plants」	昭和34年10月	V.U.Minorsky	A4冊子1,4頁,孔版	『Journal of Ship Research』所収論文,頁裏面に書込あり
521	「Eine Studie über Schiffskollisionen mit Bezug auf schiffbauliche Schutzmaßnahmen für Kernenergie-Antriebsanlagen」	昭和35年	V.U.Minorsky	A4冊子1,4頁,青焼	『SUH.』所収論文
522	「Abschätzung der durch Schiffskollision hervorgerufenen Beschleunigungen」	昭和37年	Von G.Woisin	A4冊子1,5頁,青焼	『SUH.』所収論文,頁裏面に書込あり
523	「Der Einfluß des Drehimpulses bei einer Schiffskollision besonders im Hinblick auf die Sicherheit von Atomschiffen」	昭和37年	Von G.Woisin	A4冊子1,5頁,青焼	『SUH.』所収論文,頁裏面に書込あり
524	「接岸衝突」			A4原稿用紙1,黒ペン書	
525	「接岸」			A4原稿用紙10,B5原稿用紙1,黒ペン書	
526	「荷油管」			A4フラットファイル1	ファイル名
527	「伸縮継手ペローズに関する研究」	昭和44年	ペローズ研究委員会	B4洋紙中折4,青焼,ホッチキスどめ	ホッチキス除去,『高压力』第7巻第1号所収論文
528	数式など書付			B5洋紙1,青ペン書	
529	「水管摩擦抵抗」			A4洋紙4,青焼	
530	「VI. APPLICATION STANDARDS」			A4変洋紙13,青焼,ホッチキスどめ	ホッチキス除去,『STANDARDS OF THE HYDRAULIC INSTITUTE』所収論文
531	「RESISTANCE OF VALVES AND FITTINGS TO FLOW OF FLUIDS」			A4洋紙2,青焼,ホッチキスどめ	ホッチキス除去,図,「因島」と朱書あり
532	「コルトラダー」			A4フラットファイル1	ファイルのみ
533	SCHIFFBAU SCHIFFFAHRT UND HAFENBAUに関する資料一件			A4洋紙4,青焼,ホッチキスどめ,A5洋紙2,A4洋紙9,黒ペン書,ホッチキスどめ	ホッチキス除去,件名論文,中川氏訳文,模型実験に関する書付,南潔に関する書付,藤川氏独文和訳レポートなど
534	Der Kort'sche Düsen Schlepperに関する資料一件			A4洋紙4,青焼,ホッチキスどめ,B5洋紙4,A5洋紙2,B4洋紙中折1,B6洋紙1,黒ペン書,ホッチキスどめ	ホッチキス除去,件名論文,Kortの「のずる曳船」宛「のずる曳船」実験結果に関する日立造船株式会社社内便箋,推進器に関する書付など
535	「SCHIFFBAU SCHIFFFAHRT UND HAFENBAU」			A4洋紙10,青焼,ホッチキスどめ	ホッチキス除去
536	「The Two-speed-geared 'Marton Cross」	昭和38年8月		A4変洋紙2,青焼,ホッチキスどめ	ホッチキス除去,『THE MOTOR SHIP』掲載記事
537	「TRANSVERSE PROPULSION」	昭和38年9月5日	E.C.Goldsworthy	A4変洋紙3,青焼,ホッチキスどめ	ホッチキス除去,『shipbuilding and Shipping Record』所収論文
538	「第22回 運輸技術研究所研究発表会 講演概要」	昭和36年10月20日	運輸技術研究所編・発行	B5冊子1,108頁,孔版	

番号	件名	作成年月日	作成(発信→受信)	形態	備考
539	「第266番船 コルトノズル・ラダー付曳船 一般配置図」	昭和38年12月24日	警固屋船渠株式会社→伊藤船舶商会	73.5×83.5cm洋紙1,青焼	図面
540	「ケーブストーン式 自動変速歯車操舵機」		有限会社 松村商店	26×18.5cm冊子1,6頁,活版	
541	「コルト・ノズル及舵 外形図」	昭和39年2月1日	警固屋船渠株式会社	42.2×58.5cm洋紙1,青焼	図面
542	「御承認図」		有限会社 松村商店	30.3×22.7cm洋紙リーフレット1,B4洋紙4,青焼	ケーブストーン式手動油圧操舵機・モーターの図面,表
543	「RECENT RESEARCH ON PROPELLERS IN NOZZLES」		J.D.VAN MANEN	A4洋紙30,青焼,ホッチキスどめ	ホッチキス除去
544	「EFFECT OF RADIAL LOAD DISTRIBUTION ON THE PERFORMANCE OF SHROUDED PROPELLERS」	昭和37年5月	J.D.VAN MANEN	A4洋紙12,青焼,ホッチキスどめ	ホッチキス除去,『Shipbuilding Progress』Vol.9.No.93所収論文
545	「THE DESIGN OF SCREW-PROPELLERS IN NOZZLES」	昭和34年5月	J.D.VAN MANEN(ほか)	A4洋紙18,青焼,ホッチキスどめ	ホッチキス除去,『Shipbuilding Progress』Vol.6.No.55所収論文,
546	「RESEACH PROGRAM OF THE NETHERLANDS SHIP MODEL BASIN」	昭和34年6月	J.D.VAN MANEN	A4洋紙16,青焼,ホッチキスどめ	ホッチキス除去,『Shipbuilding Progress』Vol.6.No.58所収論文
547	論文リスト			A4洋紙1,孔版	
548	「コルトノズル付可変ピッチプロペラ」	昭和43年11月～44年1月	かもめプロペラ株式会社	B4洋紙中折10,青焼,ホッチキスどめ	ホッチキス除去,『作業船』第60～61号所収論文をまとめたもの
549	「Kort nozzle」			A4洋紙6,黒ペン書,ホッチキスどめ	ホッチキス除去,『作業船』第60号の論文の要約カ
550	「船研水槽試験結果の再解析による TUG BOATの速力及び曳舷力のめやすのたて方」		(造船設計)菊地信之	A4洋紙7,青焼,ホッチキスどめ	ホッチキス除去,「Kort Rudder」と朱書あり
551	「Model Tests with Nozzles and Steering Nozzles for Trawlers」	昭和40年12月	J.J.Muntiewerf	A4洋紙10,青焼,ホッチキスどめ	ホッチキス除去,『I.S.P.』Vol112 No.136所収論文,頁裏面に青ペンで書込あり
552	図面			A4ハترون紙1,青ペン書,15×25.7cmハترون紙1,黒鉛筆書	
553	「警固屋船渠Kort Rudder付曳船の舵軸Torgue」			A4原稿用紙3,黒ペン書	
554	「Kort Nozzle Propulsion」			A4原稿用紙7,黒ペン書	
555	「コルトラダーの研究」	昭和36年	船舶性能部 辻豊治 西村寅吉	A4洋紙3,青焼,ホッチキスどめ	ホッチキス除去,『運研資料』所収論文
556	「ノズル長さの影響」ほか図一件			A4洋紙8,青焼,ホッチキスどめ	ホッチキス除去
557	「神戸市コルトラダー付曳船の舵軸トルクの推定」	昭和38年6月12日	大阪大学工学部造船学教室	A4洋紙3,青焼,ホッチキスどめ	ホッチキス除去
558	「95T型鋼製双螺旋コルトラダー曳船 千葉丸,武蔵丸 舵トルク計測結果」		大阪大学工学部造船学教室	A4洋紙15,青焼,ホッチキスどめ	ホッチキス除去
559	「200噸積鋼製自航給水船 “コルト・ラダー”強度計算書 真清水丸」	昭和38年8月25日	OSAKA SHIPBUILDONG CO.,LTD→大阪市港湾局	A4洋紙9,青焼,ホッチキスどめ	ホッチキス除去
560	「200噸積鋼製自航給水船 真清水丸 海上試運転成績書」	昭和39年1月27日	OSAKA SHIPBUILDONG CO.,LTD→大阪市港湾局	A4洋紙11,A3洋紙1,青焼,ホッチキスどめ	ホッチキス除去
561	「自航給水船 一般配置図(第一回変更)」	昭和38年8月6日	OSAKA SHIPBUILDONG CO.,LTD→大阪市港湾局	42.9×57.5cm洋紙1,青焼	図面
562	「コルトノズルラダー構造図」	昭和38年8月31日	OSAKA SHIPBUILDONG CO.,LTD→大阪市港湾局	80.5×113.4cm洋紙1,青焼	図面
563	水槽関係資料一件	昭和55年9月17日	長崎総合科学大学船舶工学教室→浜本博登	A4洋紙3,コピーA4洋紙1,青焼,長形3号封筒	図面あり,封筒は長崎総合科学大学のもの
564	「第3秀栄丸」			A4洋紙26,青焼,ホッチキスどめ	ホッチキス除去,裏面に書込あり
565	「USSR JG」など書付一件			B5洋紙6,コピー,ホッチキスどめ	ホッチキス除去
566	NO. OF SHIP 4～14のグラフ一件			A4洋紙22,コピー,ホッチキスどめ	ホッチキス除去
567	「船の安全航行に関する二、三の問題」	昭和40年7月	東京大学生産技術研究所 田宮真	B5洋紙2,黒ペン書,B4洋紙中折3,コピー,ホッチキスどめ	ホッチキス除去,『船の科学』第18巻第7号所収論文
568	メモ			A4ハترون紙1,黒ペン書,A4洋紙1,青焼	2枚とも同文
569	一覧表メモ			A4洋紙1,黒ペン・赤青鉛筆書	
570	出港状態などに関する表ほか一件			B4洋紙三つ折5,コピー,ホッチキスどめ	ホッチキス除去
571	「舵端部水平フィンの効果」	昭和41年9月	正員 岡本洋 正員 玉井浩正	B5洋紙3,B4洋紙中折5,コピー,ホッチキスどめ	ホッチキス除去,『関西造船協会誌』122号所収論文,同一論文のコピーが2点あり
572	「操舵船の旋回性」	昭和41年9月	正会員 赤崎繁	B4洋紙中折2,B5洋紙1,コピー,ホッチキスどめ	ホッチキス除去,『関西造船協会誌』122号所収論文

## 2. 書 類

番号	件 名	作成年月日	作成（発信→受信）	形 態	備 考
573	出港状態ほか表一件			B4洋紙2,B5洋紙2,コピー, ホッチキスどめ	ホッチキス除去
574	「肥大タンカー船型の操縦性について(進路安定性の向上)」	昭和40年7月	川崎重工業株式会社造船設計部	B4洋紙中折5,コピー,ホッチキスどめ	ホッチキス除去,『船の科学』第18巻第7号所収論文
575	「サロン 設計者のよろこび」	昭和55年7月	正員 間野正己	B4洋紙中折4,コピー,ホッチキスどめ	ホッチキス除去,『日本造船学会誌』第613号所収論文
576	「制流板対舵性能的影響」	昭和55年3月	朱文蔚ほか	B4洋紙中折5,コピー,ホッチキスどめ	ホッチキス除去,『船舶工程』所収論文,中国語
577	フィン付舵に関する文献の送付状	昭和55年8月6日	広大工学部 仲渡道夫→浜本博登先生	B5広大工学船舶教室罫紙1,黒ペン書	
578	「船の横回転半径の近似計算法について」	昭和55年7月	加藤弘	B4洋紙中折4,コピー,ホッチキスどめ	ホッチキス除去,『船の科学』Vol.33所収論文
579	「船舶設計の理論と実際」	昭和55年7～9月	Prof.Dr.-Ing. C.G.allin	B5洋紙4,B4洋紙中折7,コピー,ホッチキスどめ	ホッチキス除去,『船の科学』Vol.33所収論文
580	第5部機械工学全国区候補者横堀武夫東北大学工学部教授略歴・推薦の葉書	昭和55年9月10日	第5部機械工学全国区候補者 横堀武夫→浜本博登先生	14.8×10cm葉書1,孔版,黒ペン書	
581	「開孔板の屈座と補強効果について」	昭和54年11月	横強度小委員会WG	B4洋紙中折5,B5洋紙1,コピー,ホッチキスどめ	ホッチキス除去,『日本造船学会誌』第605号所収論文
582	「報告 籐装溶接設計指針(脚長基準)(4)」	昭和55年9月	造船設計委員会P49小委員会	B4洋紙中折5,コピー,ホッチキスどめ	ホッチキス除去,『日本造船学会誌』第615号所収論文
583	番号などのメモ			11.8×15.5cm洋紙1,10.5×14.8cm洋紙1枚	
584	日本学術会議第12期会員選挙全国区・造船学立候補につき葉書	昭和55年9月	東京大学教授 金沢武、吉識雅夫→浜本博登	14.8×10cm葉書1,活版,黒ペン書	
585	「日本学術会議 第十二期会員選挙立候補のご挨拶」	昭和55年10月16日	玉川大学教授 東京大学名誉教授 日本学術会議会員 乾崇夫→浜本博登	14.8×10cm葉書1,活版,黒ペン書	
586	浸水に関する表			21.3×40.5cm洋紙1,黒ペン書	
587	「Fig1.2「さいどばーる」一般配置図(その2)」			29.5×79.8cm洋紙1,青焼	図面
588	各caseの成績表ほか			A4洋紙4,青焼,黒・赤ペン書,A4洋紙6,青焼,コピー,黒・赤ペン書,ホッチキスどめ	ホッチキス除去
589	グラフ			A4ハترون紙1,黒ペン・黒鉛筆書	
590	「AL 溶接」			A4フラットファイル1	ファイルのみ
591	「アルミニウム溶接技術検定(JIS Z 3811)の改正」	昭和43年8月	軽金属溶接技術会	B5洋紙リーフレット1,孔版	『軽金属溶接』No.68所収
592	「JIS アルミニウム溶接部の放射線透過試験方法および透過写真の等級分類方法」	昭和43年9月30日	伊藤鉦太郎編、日本規格協会発行	A4冊子1,9頁,活版	日本工業標準調査会 審議
593	「アルミニウム合金のミグパルスアーク溶接」	昭和43年12月	脇野喜彦	B4洋紙中折5,孔版,ホッチキスどめ	『軽金属溶接』No.72所収
594	「パルスアーク溶接」	昭和43年2月	大阪変圧器㈱ 長谷川光雄	B5冊子1,6頁,孔版	『溶接技術』1968年2月号所収
595	「パルクアーク溶接機 PG-41形」		大阪変圧器株式会社 溶接機事業部	A4洋紙1,孔版	パンフレット
596	「Pcm-4形プラズマアーク切断装置」		大阪変圧器株式会社 溶接機事業部	A4洋紙1,孔版	パンフレット
597	「アルミニウム合金展伸材の記号、標準成分、用途」			A4洋紙4,青焼,ホッチキスどめ	ホッチキス除去
598	「アルミニウム合金の溶接について」		神戸製鋼	A4冊子1,65頁,活版	
599	「アルミニウム合金とその合金」		神戸製鋼	A4冊子1,43頁,活版	
600	「参考」			B5洋紙4,コピー	「手計算例題」など様々な計算式・図形の書付
601	「AB表」			A4綴1,黒ペン書	「A Dictionary of Ship and Shipbuilding Forms」とあり
602	自由表面の影響ほかについて資料一件			A4洋紙21,コピー,クリップどめ	クリップ除去,内訳は「自由表面の影響」(11枚),「電算報告書1」(4枚),「電算報告書2」(3枚),「Damaged Stabirityのmoment移動及びプログラム処理」(3枚)
603	「メモ」	昭和55年3月18日	浜本	A4ハترون罫紙1,黒ペン書,A4洋紙1,青焼	2枚とも同文
604	「医療手当支給申請書 認定医療証明書」			B4洋紙4,活版	未使用の同伴4枚,原爆被爆者を対象としたもの
605	昭和52年度学術研究に関する調査関係資料一件	昭和55年1月28日	日本学術振興会理事長 天城勲一名誉教授	B5冊子1,8頁,活版,B4洋紙2,活版,B5洋紙1,活版,長形40号封筒1	角形3号浜本博登宛封筒入

番号	件名	作成年月日	作成(発信→受信)	形態	備考
606	「西部造船会第60回例会・第35回総会開催通知」	昭和55年3月25日	西部造船会	B4洋紙リーフレット1,孔版	
607	「西部造船会第60回例会(昭和55.5月)参加申込」		佐世保重工業(株)佐世保造船所造船設計部長 伊藤哲	14.8×10cm葉書1,孔版	
608	レストラン観光杯・呉二河峡ゴルフセンター杯・岡野繊維杯参加申込書		レストラン観光内呉ゴルフ同好会	14.8×10cm葉書1,孔版	記入あり
609	メモ			11.5×8cm洋紙1,青ペン書	
610	「連続講座 中速艇の一設計法(9)」	昭和55年2月	大隅三彦	B4洋紙1,B5洋紙1,コピー	『船の科学』Vol.1.33所収
611	「通算退職金請求手続きについて」	昭和55年3月12日	学校法人長崎総合科学大学総務課→浜本博登先生	B5洋紙2,コピー,ホッチキスどめ	ホッチキス除去
612	書籍申込書	昭和55年1月24日	産報出版株式会社販売事務課→日本溶接協会広島県支部	14.8×10cm葉書1,孔版,黒ペン書	
613	「Final Presentation of data 表現法」			A4洋紙1,青焼	
614	グラフ一件			B5変綴1,青焼	
615	「Optimized Trawler Forms」	昭和37年12月7日	D.J.Doust	A4冊子1,41頁,活版	『NECI』vol179Part3所収論文
616	「炭酸ガス半自動溶接機の得な使い方」		(株)神戸製鋼所溶接棒事業部技術本部 福島純夫	A4洋紙10,コピー,ホッチキスどめ	ホッチキス除去
617	「ソ連におけるCO2+O2溶接の研究—1974年以後—」	昭和54年9月	名古屋大学工学部 益本功	A4冊子1,16頁,活版	
618	「浜本」			36.3×23.9cm封筒1	(財)日本規格協会広島支部封筒,封筒のみ
619	計算式など書付			A4原稿用紙6,黒ペン書	
620	「FORCE DIAGRAM」			A4洋紙13,青焼,ホッチキスどめ	ホッチキス除去,図あり,表紙に「控」と朱書あり
621	BOOM IN FORE & AFT POSITION INCLINED 15° TO HORIZONTALなど図表資料			A4洋紙6,青焼,ホッチキスどめ	ホッチキス除去,図あり,
622	浜本博登宛封筒			35.3×24cm封筒1	日本科学技術情報センター封筒,封筒のみ
623	「The Effective Breadth of Stiffened Plating Under Bending Loads」	昭和26年	Commodore Henry A.Schade	A4洋紙28,青焼,ホッチキスどめ	ホッチキス除去,『SNAME』vol.59所収論文
624	「有効幅」			A4原稿用紙18,黒ペン書	番号623の要約カ
625	「thrust wake shallow water」			B4フォルダー1	フォルダーのみ
626	「鋼材」			A4フラットファイル1	ファイルのみ
627	「□の新エキストラ価格 判定に伴ない8月から実施」			B4洋紙1,青焼	
628	船体など書付			A4原稿用紙1,黒ペン書	
629	鋼材に関する法規			A4洋紙2,青焼	
630	「資料 船体用圧延鋼板の統一規格と溶接施工上の諸問題」		賀来信一	A4洋紙6,青焼,ホッチキスどめ	表紙に「中分類番号R-318 昭和39年5月30日 船殻工場」とあり
631	「オーソホーミング鋼Ausforming Steel」			A4原稿用紙1,黒ペン書	
632	「西部造船会・金属学会鉄鋼協会九州支部合同講演会題目案」	昭和39年3月31日	中村	A4洋紙1,青焼	
633	「鉄鋼協会九州支部金属学会九州支部西部造船会 合同講演会資料[造船用鋼材としての高張力鋼]」	昭和39年10月30日	八幡製鉄株式会社 権藤永	B5洋紙10,コピー,ホッチキスどめ	ホッチキス除去
634	「厚板におけるセミキルド鋼の問題」		株式会社呉造船所	A4洋紙6,青焼,ホッチキスどめ	ホッチキス除去
635	「高張力鋼(50HT)及びE級鋼の問題点について」		三菱重工業株式会社社長崎造船所 永元隆一	A4洋紙34,A3洋紙6,青焼,ホッチキスどめ	ホッチキス除去
636	「耐食鋼に関する問題点」	昭和39年10月25日	日立造船株式会社造船設計部 中村一郎	A4洋紙4,青焼,ホッチキスどめ	ホッチキス除去
637	「低温用鋼材の問題点について」	昭和39年7月31日	日立造船株式会社造船設計部 中村一郎	A4洋紙5,青焼,ホッチキスどめ	ホッチキス除去
638	船舶の抵抗及び推進 第一篇馬力計算法・図			30×21.2×1.3cm函1	函のみ
639	封筒	昭和51年11月19日	宮首素文→浜本博登	36.7×24cm封筒1	封筒のみ
640	封筒			36.5×24.1cm封筒1	「A1 TIS」と表書あり,封筒のみ
641	封筒	昭和51年10月8日	株式会社名村造船所→浜本博登	35×24.9cm封筒1	封筒のみ
642	封筒	昭和51年10月8日	Ishikawajima-arima Heavy Industries Co.,Ltd マリンコンサルタント室 高橋→浜本博登	26.8×35cm封筒1	封筒のみ
643	「縦強度」			A4フラットファイル1	ファイルのみ
644	「縦強度」			A4原稿用紙4,黒ペン書	

## 2. 書類

番号	件名	作成年月日	作成(発信→受信)	形態	備考
645	「Ultimate Longitudinal Strength」	昭和40年7月	J.B.Caldwell	A4洋紙22,青焼,ホッチキスどめ	ホッチキス除去,『Q.T. of RINA』vol.107No.3所収論文
646	「波浪中におけるBuoyancy」			A4原稿用紙4,黒ペン書	
647	「A Note on the Buoyancy of a ship Amongst waves」	昭和40年12月2日	W.Muchle	A4洋紙6,青焼,ホッチキスどめ	『S.W&S.B.』所収論文
648	「板」			A4フラットファイル1	ファイルのみ
649	「船舶用波板」	昭和41年12月	藤田讓 八木順吉	B4洋紙中折21,青焼,ホッチキスどめ	ホッチキス除去,『製鉄研究』257号所収論文
650	「Small Scale Grillage Tests」	昭和42年4月	J.Clarkson	A4洋紙12,青焼,ホッチキスどめ	『RANA』vol.1.109, No.2所収論文
651	数式表			B4洋紙1,青焼	
652	「Grillage Beaws」			A4原稿用紙28,黒ペン書	
653	「縦横二桁板ヲ組合セテ構造」			A4洋紙3,黒ペン書	
654	「Elastic Analysis of the Deep Grider Elliptical Grillage」		C.T.F.Ross	A4原稿用紙4,黒ペン書,A4洋紙1,青焼	『S.B.MG』vol.70, No.673所収の件名論文の要約カ
655	「撮要 一様な分布荷重を受ける縦横に防撓材を有する板」	昭和16年8月		B4洋紙1,青焼	『造船協会雑纂』第233号所収撮要記事
656	「縦横に防撓材を有する矩形薄板の強さ及固有振動数」	昭和11年4月5日	正員工学博士 奥田克己 准員工学士 有馬孝	B5冊子1,20頁,青焼	『造船協会会報』第58号所収論文
657	「Elastic Analysis of a Hatch Cover Grill」		C.T.F.Ross B.Sc. Ph.D. A.M.R.I.N.A.	A4洋紙3,青焼,ホッチキスどめ	ホッチキス除去
658	論文メモ			A4洋紙1,青焼	
659	「日立造船技報」			33.2×24cm封筒1	封筒のみ
660	A編・C編など書付			A4ハترون罫紙13,黒ペン書	手書
661	「2章 船材及艫材」			A4ハترون罫紙9,黒ペン書	手書,図あり
662	「第5章 単底構造(single bottom)(S.B)」			A4ハترون罫紙7,黒ペン書	手書,図あり
663	「6章 二重底構造(Double Bottom)(D.B)」			A4ハترون罫紙32,黒ペン書	手書,図あり
664	「第7章 肋骨」			A4ハترون罫紙21,黒ペン書	手書,図あり
665	「8章 船首尾防撓構造」			A4ハترون罫紙10,黒ペン書	手書,図あり
666	「9章 特設肋骨及び船側縦通桁」			A4ハترون罫紙6,黒ペン書	手書,図あり
667	「10 梁 10.1 横置梁」			A4ハترون罫紙6,黒ペン書	手書,図表あり
668	10.2.6・10.2縦通梁など書付			A4ハترون罫紙2,黒ペン書	手書,図あり
669	「11章 梁柱」			A4ハترون罫紙4,黒ペン書	手書,図あり
670	「12章 甲板下縦桁及び倉口端梁」			A4ハترون罫紙3,黒ペン書	手書,図あり
671	「13章 W.T.BHD」			A4ハترون罫紙14,黒ペン書	手書,図表あり
672	「14章 深水タンク」			A4ハترون罫紙7,黒ペン書	手書,図表あり
673	「15章 縦強度」			A4ハترون罫紙7,黒ペン書	手書,図表あり
674	「16章 平板竜骨及外板」			A4ハترون罫紙8,黒ペン書	手書,図あり
675	「17章 甲板」			A4ハترون罫紙7,黒ペン書	手書,図あり
676	「18章 船楼」			A4ハترون罫紙3,黒ペン書	手書,図表あり
677	「19章 甲板室」			A4ハترون罫紙2,黒ペン書	手書,図表あり
678	「船級規則」			A4洋紙35,コピー	「一般規程」「機械試験方法」など
679	舵の形状に関する資料・書付			A4洋紙3,青焼,A4ハترون罫紙26,黒ペン書	「スターコピー用箋」厚紙同封
680	「N大学院 原紙」			33.1×24.1cm封筒1	三菱重工工業株式会社長崎造船所封筒,封筒のみ
681	「面 面積 歪力 力」			A4ハترون紙26,黒ペン書	手書,図表あり
682	「鋼船」			38×25.8cm封筒1	封筒のみ
683	「A編 総則 2章定義」			A4洋紙12,青焼,ホッチキスどめ	ホッチキス除去
684	「2章 船材及艫材」			A4洋紙9,青焼,ホッチキスどめ	ホッチキス除去
685	「舵(Rudder) 第1章 面積、形状」			A4洋紙23,青焼,ホッチキスどめ	ホッチキス除去
686	「第5章 単底構造(single bottom)(S.B)」			A4洋紙7,青焼,ホッチキスどめ	ホッチキス除去
687	「6章 二重底構造(Double Bottom)(D.B)」			A4洋紙27,青焼,ホッチキスどめ	ホッチキス除去
688	「第7章 肋骨」			A4洋紙21,青焼,ホッチキスどめ	ホッチキス除去
689	「8章 船首尾防撓構造」			A4洋紙10,コピー,ホッチキスどめ	ホッチキス除去
690	「9章 特設肋骨及び船側縦通桁」			A4洋紙6,コピー,ホッチキスどめ	ホッチキス除去
691	「第二章 船首材及び船尾材」			A4洋紙54,青焼,ホッチキスどめ	ホッチキス除去,表紙に「第四編」を「第二章」に訂正する朱書あり
692	「10章 梁」			B4洋紙中折8,コピー	

番号	件名	作成年月日	作成(発信→受信)	形態	備考
693	「10 梁」			A4洋紙8,青焼,ホッチキスどめ	ホッチキス除去
694	「11章 梁柱」			A4洋紙4,青焼,ホッチキスどめ	ホッチキス除去
695	「12章 甲板下縦桁及び倉口端梁」			A4洋紙3,青焼,ホッチキスどめ	ホッチキス除去
696	「13章 W.T.BHD」			A4洋紙14,青焼,ホッチキスどめ	ホッチキス除去
697	「14章 深水タンク」			A4洋紙7,青焼,ホッチキスどめ	ホッチキス除去
698	「15章 縦強度」			A4洋紙7,青焼,ホッチキスどめ	ホッチキス除去
699	「16章 平板竜骨及外板」			A4洋紙8,青焼,ホッチキスどめ	ホッチキス除去
700	「17章 甲板」			A4洋紙7,青焼,ホッチキスどめ	ホッチキス除去
701	「18章 船楼」			A4洋紙3,青焼,ホッチキスどめ	ホッチキス除去
702	「19章 甲板室」			A4洋紙2,青焼,ホッチキスどめ	ホッチキス除去
703	「A編 総則 2章 定義」			A4洋紙12,青焼,ホッチキスどめ	ホッチキス除去,表紙に「残」と朱書あり
704	赤色ファイル			A4フラットファイル1	ファイルのみ
705	「港湾計画のための船舶主要寸法の変遷」	昭和55年1月	運輸省港湾技術研究所 寺内潔	B4洋紙中折7,B5洋紙1,コピー,ホッチキスどめ	ホッチキス除去,『船の科学』Vol.33No.1所収論文
706	「第4章 速力と馬力」			B5洋紙6,コピー,ホッチキスどめ	ホッチキス除去,表紙に「中造工 基本計画指導書」と黒ペン書あり
707	「第3編 基本計画 6.4 軸馬力」			B5洋紙5,コピー,ホッチキスどめ	ホッチキス除去
708	「中造工”馬力推定図表”について(GULDHAMMERとの比較)」	昭和54年11月17日		A4洋紙12,青焼,ホッチキスどめ	ホッチキス除去,裏面にメモ書あり,訂正の朱書あり
709	「速力馬力推定計算」	昭和54年10月1日		A4洋紙29,コピー,ホッチキスどめ	ホッチキス除去
710	γR概算表について	昭和54年11月11日		A4洋紙9,青焼,ホッチキスどめ	ホッチキス除去
711	「浅水影響」			A4洋紙5,青焼,ホッチキスどめ	ホッチキス除去
712	「スラスト減少係数」			A4洋紙22,青焼,ホッチキスどめ	ホッチキス除去
713	グラフ			A4洋紙1,コピー	ホッチキス除去
714	「馬力」			A4フラットファイル1	ファイルのみ
715	「小型旅客船の伝達馬力推定略算法」		藤井巖	B4洋紙中折6,青焼,ホッチキスどめ	ホッチキス除去,『運輸技研資料』No.59所収論文
716	「小型旅客船の馬力略算法」			B4洋紙中折1,B4洋紙2,A4洋紙2,青焼,ホッチキスどめ	ホッチキス除去
717	「ノイマン式」			A4ハトロン紙5,黒ペン書,A4フラットファイル	
718	「MULTHDRAWING PAD 4F」			33.1×26cmスケッチブック1	記述なし
719	「"SYNCROLIFT" eine moderne Schiffshebebthne」			A4洋紙4,青焼,ホッチキスどめ	ホッチキス除去,同文2組あり
720	封筒		高知重工株式会社→浜本博登	角形2号封筒1	
721	レーダーマストの件に関する教諭のお礼と設計の変更を伝える書簡		設計平戸→浜本先生	B5高知重工工業株式会社野紙2,青ペン書	一枚は礼紙
722	数式・数値などの書付			B5高知重工工業株式会社野紙2,B4広島大学野紙1,黒ペン書	
723	「第一図面(御検討用) 後檣」	昭和40年4月17日	高知重工工業株式会社生産管理部設計課	B4洋紙1,青焼	図面
724	「後檣 変更図」	昭和40年4月18日	高知重工工業株式会社生産管理部設計課	A3洋紙1,青焼	図面
725	「振動」			A4フラットファイル1	ファイルのみ
726	「縦横に防撓材を有する矩形薄板の強さ及固有振動数」	昭和11年4月5日	正員工学博士 奥田克己 准員工学士 有馬孝	B4洋紙中折11,青焼,ホッチキスどめ	ホッチキス除去,『造船協会会報』第58号所収論文
727	数式書付			A4洋紙1,黒ペン書	裏面に青焼あり
728	「排水量の変化による影響」			A4洋紙1,青焼	
729	「Dieudonné」			A4洋紙1,青焼	
730	振れ振動など振動に関する数式・グラフ			A4洋紙48,B5洋紙2,青焼	
731	「レーダー・マストの振動」			A4洋紙3,コピー	
732	「発電機下部補強計算書」	昭和51年10月15日	植田	A4洋紙6,青焼,ホッチキスどめ	

## 2. 書類

番号	件名	作成年月日	作成(発信→受信)	形態	備考
733	「振動Vibration」			A4洋紙52,青焼,ホッチキスどめ	
734	「Richards 2mode & 3mode」			A4洋紙1,青焼	
735	「CALCULATION OF HULL RESPONSE」			A3洋紙1,コピー	
736	freg/min、不愉快な振幅の表ほか			A4洋紙1,青焼	
737	「STRENGTH CALCULATION OF HATCH SIDE CONSTRUCTION」	昭和52年1月28日	K.Ueda	A4洋紙35,青焼,ホッチキスどめ	ホッチキス除去
738	「波浪打込みに対する補強要領」			A4洋紙5,コピー,ホッチキスどめ	ホッチキス除去
739	「Bossingの振動数」			A4洋紙1,青焼,ホッチキスどめ	ホッチキス除去
740	封筒	昭和36年9月29日	ISHIHARA MFG WORKS LTD.→浜本博登	角形2号封筒1	表紙に「型録.見積書在中」とあり
741	「加藤式動揺記録器」		株式会社石原製作所	B5変洋紙4,青焼,ホッチキスどめ	ホッチキス除去
742	「加藤式丸型傾斜計」		株式会社石原製作所	B5変冊子1,6頁,青焼	
743	「加藤式GM計測器」		株式会社石原製作所	A4洋紙リーフレット1,活版	パンフレット
744	「GSバッテリー」		日本電池株式会社	A4洋紙1,活版	ビラ
745	「PATENT」			A4フラットファイル1	ファイルのみ
746	「Exclusive listing: IDENTIFICATION & RECORDING CAMERA」	昭和38年	U.S.EUROPEAN GROWTH, INC.	A4変洋紙1,孔版,A4変洋紙3,青焼	4枚とも同文
747	DOXICIDEの広告・紹介	昭和38年	INTERNATIONAL DIOXIDE, INC., U.S.EUROPEAN GROWTH, INC.	A4洋紙1,活版,A4ハトロン紙2,孔版,A4ハトロン紙1,コピー,A4洋紙6,青焼	製品のチラシとその紹介文,それらのコピー,同文3組あり
748	「CELLOMATIC BATTERIES First and Only with REPLACEABLE CELLS」			A4洋紙リーフレット1,26.7×7.8cm洋紙1,活版,A4ハトロン紙4,29.5×10.3cmハトロン紙2,コピー,A3洋紙3,A4洋紙6,28.6×9.5cm洋紙5,青焼	製品のチラシ2種,そのコピー同文4組あり
749	商品紹介につき書簡	昭和38年12月1日	藤井実→PROF.HAMAMOTO	A4変洋紙1,青ペン書	番号746～748のチラシの商品紹介を行う書簡
750	類分機、洗浄機売り込みにつき書簡	昭和38年10月23日	藤井実→PROF.HAMAMOTO	A4変洋紙1,青ペン書	
751	sand and cement mixture patentに関する書簡	昭和38年10月23日	RolandG.Benner→Mr.Minoru Fujii	A4変洋紙1,青ペン書	
752	「United States Patent Office」	昭和33年5月20日		A4変洋紙2,青焼,ホッチキスどめ	ホッチキス除去,RolandG.Bennerのセメントミキサーの特許に関する記事
753	「EGG CLEANERS,GRADERS」		NATIONAL POULTRY EQUIPMENT CO.	A4冊子1,6頁,活版	パンフレット
754	BARDAHLの件につき書簡	昭和33年9月20日	藤井実→PROF.HAMAMOTO	A4変洋紙1,青ペン書	
755	契約書につき書簡	昭和33年8月26日	藤井実→PROF.HAMAMOTO	A4変洋紙2,青ペン書	
756	「米国coast guard」			A4原稿用紙1,黒ペン書	
757	「PRINCIPAL PARTICULARS」			150×34.6cm洋紙1,青焼	
758	「銅管の厚さ」			A4洋紙1,青焼	表
759	「銅管の圧力別各種外径に対する厚さ」			A4洋紙1,青焼	グラフ
760	等辺山形鋼1ほか表一件			26.1×31.2cm洋紙2,B4洋紙7,青焼,クリップどめ	クリップ除去
761	「自動車航送船 排水量等曲線」	昭和34年11月4日	四国ドック株式会社	43.5×73.6cm洋紙1,青焼	グラフ
762	「排水量等曲線図」	昭和36年3月29日	株式会社中村造船鉄工所 東本町造船工場	40.4×64cm洋紙1,青焼	グラフ・表
763	「Curve of statical stability(No.2)」			48×54.6cm洋紙1,青焼	グラフ
764	「Cross curve Hatch」			A3洋紙1,青焼	グラフ
765	「Cross curve F'cle」			A4洋紙1,青焼	グラフ
766	「Cross curves Poop」			35.7×36.7cm洋紙1,青焼	グラフ
767	「STATICAL STABILITY CURVES」			25.5×51.6cm洋紙1,青焼	グラフ
768	「STABILITY CURVE」			22.3×52.7cm洋紙1,青焼	グラフ
769	「CROSS CURVE OF STATICAL STABILITY」			29.8×51.4cm洋紙1,青焼	グラフ
770	「Curve of statical stability(No.1)」			39.9×50.1cm洋紙1,青焼	グラフ
771	「Laying off」			A4綴1,黒ペン書	「第一章 船体線図」「第二章 艀部及艀部ノ順整」ほか,図表あり,カードリング2点挟込
772	「抵抗」			A4洋紙51,B4洋紙1,青焼,ホッチキスどめ	ホッチキス除去,図表グラフあり
773	グラフ			A4洋紙2,青焼	
774	「除外、控除表(開放場所を除く。)」			B5洋紙3,青焼,ホッチキスどめ	ホッチキス除去

番号	件名	作成年月日	作成(発信→受信)	形態	備考
775	「◎二重内底板の標準高さ」			B5洋紙1,B4洋紙中折2,ホッチキスどめ	ホッチキス除去
776	「船舶積量測定法」			B4洋紙中折9,青焼,ホッチキスどめ	ホッチキス除去
777	「DESIRABLE RELATION」	昭和51年7月9日	平田	A4洋紙1,コピー	グラフ,朱書メモあり
778	「 $d/d_r$ の変化によるDW/DW <sub>r</sub> の減少」		浜本	A4洋紙7,青焼,黒鉛筆・黒ペン書	グラフあり
779	厚紙ファイル			A4厚紙1	ファイルのみ,カードリング2点挟込
780	各国の民俗船			A4洋紙1,コピー貼付	
781	「新明和 水中翼船」		新明和工業株式会社航空機製作所 伊藤忠商事株式会社	A4洋紙1,活版	ビラ
782	暑中見舞い	昭和36年8月9日	日立造船株式会社常務取締役岡村正家ほか→浜本博登	21.6×13.6cm葉書1,活版,青ペン書	日立造船水中翼船の絵葉書
783	「海事年譜」		浜本博登	A4変洋紙16,青焼,ホッチキスどめ	ホッチキス除去,裏面に古代からの船舶関係史の書付あり
784	「16 完成図書」			B5洋紙1,孔版	破損あり
785	御城米廻船の規定に関する書付			B4洋紙中折1,黒ペン書	
786	厚紙ファイル			A4厚紙3	ファイルのみ,カードリング2点挟込
787	1st stage～4 stageに関する数式書付			A4洋紙2,青ペン書	船の進水前後の力の数値を表したもののカ
788	年ごとの船舶規模の変遷・数式表など書付			A4洋紙2,青焼,赤ペン書	
789	「関釜フェリ(株) 進水計算書 第四面改正(1)」	昭和45年2月16日	太平工業株式会社安芸津造船所工務部設計課	A4洋紙8,A3洋紙1,29.9×70.3cm洋紙1,青焼,ホッチキスどめ	ホッチキス除去,グラフ,図面あり
790	「Mc Neilleの式」			A4ハترون罫紙3,黒ペン書	
791	「進水計算参考資料 入推定曲線(藤永田による)」			A4洋紙1,青焼	グラフ
792	船舶進水に関するノート			A4綴1,黒ペン書	「進水中の吃水」「進水速度」など,一部図表あり
793	「進水時に於けるFore Poppet圧縮量の測定」		西日本重工業株式会社広島造船所造船部造船設計課	A4洋紙7,青焼,ホッチキスどめ	グラフあり
794	「ボール式進水装置に就いて」	昭和26年2月	正員 工学士 平尾広治	B4洋紙中折5,青焼,ホッチキスどめ	ホッチキス除去,『造船協会論文集』第83号所収論文
795	「艀装(1) 揚貨 揚錨 係船 曳船 索具 操船 救命 天幕」			26.5×19.1cm綴1,青焼,黒ペン書	A4洋紙挟込多数,綴紐破損
796	「艀装(2) 客室 航海 厨室 洗濯場 彩光 倉庫 燃料 冷蔵庫 支水扉 諸管 通風 暖冷房 通信 無線 航海」			26.5×19.1cm綴1,青焼,黒ペン書	A4洋紙挟込多数,綴紐破損
797	「16P ベローズ管」			A4綴1,青焼	文献紹介,論文まとめなどを一括したもの,グラフ,図表あり
798	「商船設計(6)」			A4冊子1,67頁,青焼	「第二十四章 船体抵抗(Resistance)1.全抵抗(Total resistance)」ほか
799	アルバム			B4冊子1,27頁,写真貼付,黒ペン書	浅間丸写真,S型・L型模型倉写真など
800	「25F グースネック部」			A4綴1,青焼	論文まとめ,呉造船所提出参考資料などを一括したもの,グラフ,図表あり
801	「49F」			A4綴1,青焼	論文,報告書概要などを一括したもの,グラフ,図表あり
802	「商船設計No.1」		浜本博登	A4冊子1,63頁,青焼	「第1章 緒論～第6章 フリーボード」を記載
803	「商船設計No.2」		浜本博登	A4冊子1,19頁,青焼	「昭和54年度 後期試験時間割」などの挟込資料あり,「第7章 復原力」を記載
804	「商船設計No.3」		浜本博登	A4冊子1,47頁,青焼	グラフ挟込あり,「第8章 主要寸法の比～第11章 諸係数」を記載
805	「商船設計No.4」		浜本博登	A4冊子1,73頁,青焼	グラフなど挟込資料あり,「第12章 載貨容積～第20章 船型および船形」を記載
806	「商船設計No.5」		浜本博登	A4冊子1,33頁,青焼	グラフ挟込あり,「第21章 トン数」を記載
807	「HYDROSTATIC CALCULATION」			A4冊子1,10頁,青焼	
808	「22p(I)冷蔵庫」			A4綴1,青焼	冷蔵庫に関する論文まとめや研究会資料などを一括したもの,グラフ図表あり

## 2. 書類

番号	件名	作成年月日	作成(発信→受信)	形態	備考
809	「22p(II)冷蔵庫」			A4綴1,青焼	冷蔵庫に関する論文まとめや論文などを一括したもの,グラフ図表あり
810	黄色ファイル			A4フラットファイル1	ファイルのみ
811	「A423 試験片形状及びSTRAIN GAUGE 取付け位置」			A3洋紙9,青焼	9枚とも全て同一,図面
812	A423(web)撓線図ほかグラフ一件			A4洋紙71,青焼	グラフ
813	「Sketch of Loading」			31×27.5cm洋紙1,青焼	図面
814	山形状種類及び寸法などの表			29.4×25.6cm洋紙1,青焼	図面,表
815	「降伏荷重の表1」			A3洋紙1,青焼	表
816	「降伏荷重の表2」			A4洋紙1,青焼	表
817	「STRESS-[STAIN] <sup>2</sup> CURVE」			A3変洋紙1,青焼	グラフ
818	「STRESS-[STAIN] <sup>2</sup> CURVE」			A3変洋紙1,青焼	グラフ
819	「DEFLECTION CURVE by D <sub>1</sub> 」			A3変洋紙1,青焼	グラフ
820	「[A423]STRESS-STRAIN CURVE」			A3変洋紙1,青焼	グラフ
821	「[A433]STRESS-STRAIN CURVE」			A3変洋紙1,青焼	グラフ
822	「[A423]STRESS-STRAIN CURVE」			30.4×35.6cm洋紙1,青焼	グラフ
823	「[A423]STRESS-STRAIN CURVE」			30.2×34.6cm洋紙1,青焼	グラフ
824	「[A423]DEFLECTION CURVE」			A3洋紙1,青焼	グラフ
825	「[A433]STRESS-STRAIN CURVE」			30.3×33cm洋紙1,青焼	グラフ
826	「[A433]STRESS-STRAIN CURVE」			29.9×32.9cm洋紙1,青焼	グラフ
827	「[A433]DEFLECTION CURVE」			A3洋紙1,青焼	グラフ
828	「[A443]STRESS-STRAIN CURVE」			A3変洋紙1,青焼	グラフ
829	「[A443]STRESS-STRAIN CURVE」			A3変洋紙1,青焼	グラフ
830	「[A443]STRESS-STRAIN CURVE」			A3変洋紙2,青焼	グラフ,2枚とも同内容
831	「[A443]DEFLECTION CURVE」			A3洋紙1,青焼	グラフ
832	「[A534]STRESS-STRAIN CURVE」			A3変洋紙1,青焼	グラフ
833	「[A534]STRESS-STRAIN CURVE」			A3変洋紙1,青焼	グラフ
834	「[A534]STRESS-STRAIN CURVE」			A3変洋紙1,青焼	グラフ
835	「[A534]DEFLECTION CURVE」			A3洋紙1,青焼	グラフ
836	「[A534 I ]DEFLECTION CURVE」			A3洋紙1,青焼	グラフ
837	「[A554 I ]STRESS-STRAIN CURVE」			A3変洋紙1,青焼	グラフ
838	「[A554 I ]STRESS-STRAIN CURVE」			A3変洋紙1,青焼	グラフ
839	「[A554 I ]STRESS-STRAIN CURVE」			A3変洋紙1,青焼	グラフ
840	「[A526]STRESS-STRAIN CURVE」			A3変洋紙1,青焼	グラフ
841	「[A526]STRESS-STRAIN CURVE」			A3変洋紙1,青焼	グラフ
842	「[A526]STRESS-STRAIN CURVE」			A3変洋紙1,青焼	グラフ
843	「[A526]DEFLECTION CURVE」			30.7×32.8cm洋紙1,青焼	グラフ
844	「[A534 I ]STRESS-STRAIN CURVE」			A3洋紙1,青焼	グラフ
845	「[A534 I ]STRESS-STRAIN CURVE」			A3変洋紙1,青焼	グラフ
846	「[A534 I ]STRESS-STRAIN CURVE」			A3洋紙1,青焼	グラフ
847	「[A554 I ]DEFLECTION CURVE」			A3洋紙1,青焼	グラフ
848	「[A556]STRESS-STRAIN CURVE」			A3洋紙1,青焼	グラフ
849	「[A556]STRESS-STRAIN CURVE」			A3洋紙1,青焼	グラフ
850	「[A556]DEFLECTION CURVE」			A3洋紙1,青焼	グラフ
851	「[P6]LOAD-STRAIN CURVE」			A3変洋紙1,青焼	グラフ
852	「[P6]LOAD-STRAIN CURVE」			A3変洋紙1,青焼	グラフ
853	「[P6]LOAD-STRAIN CURVE」			A3洋紙1,青焼	グラフ
854	「[P6]DEFLECTION CURVE」			A3変洋紙1,青焼	グラフ
855	表一件			A4洋紙9,青焼,ホッチキスどめ	ホッチキス除去
856	表一件			A4洋紙9,青焼,ホッチキスどめ	ホッチキス除去,赤ペン・黒ペンにて修正,書込あり
857	表一件			A4洋紙9,青焼,ホッチキスどめ	ホッチキス除去
858	位置・荷重など一覧表			A3洋紙29,青焼,黒ペン・赤ペン・黒鉛筆書	
859	「LIST OF DIAGRAMS AND ILLUSTRATIONS」			33×42.4cm綴1,青焼	船舶各部の図面
860	造船所名,船名など一覧表			B5冊子1,40頁,黒ペン書	
861	「THE SPEED AND POWER OF SHIPS」	昭和8年	D.W.TAYLOR	B4変洋紙174,コピー,34.4×28.2cm封筒1	封筒は中国溶接工検定委員会のもの
862	「47 48P」			A4綴1,青焼	船研式油水分離器の公開運転ほかの論文まとめ,論文を一括したもの
863	「Strength Theory of the Ship Body.」			B5冊子1,182頁,青焼	表紙に「浜本教官」とあり

番号	件名	作成年月日	作成(発信→受信)	形態	備考
864	「ブーム」			A4綴1,青焼	飯野重工業株式会社株式会社舞鶴造船所用紙,提案議題を一括したもの
865	「肘板参考」			A4フラットファイル1	ファイルのみ
866	「Calculation of Beams」	昭和25年	Prof.Georg Vedeler	B4洋紙中折14,ホッチキスどめ	ホッチキス除去
867	「I エネルギー法による近似計算」			A4洋紙7,青焼,ホッチキスどめ	ホッチキス除去
868	「肘板の強さに就いて(肘板の挫屈)」			A4洋紙7,青焼,ホッチキスどめ	ホッチキス除去
869	「An Investigation of Welded Rigid Connections for Portal Frames」	昭和29年1月	A.A.Toprac	A4冊子1,17頁,コピー	
870	「Connections for Welded Continuous Portal Frames」	昭和26年7月	A.A.Topractsoglou, Lynn S.Beedle, Bruce G.Johnston	A4冊子1,202頁,コピー	
871	「荷重方向の差異による肘板の応力分布(光弾性実験による研究)」	昭和31年7月	浜本博登	B5冊子1,5頁,孔版	『広島大学工学部研究報告』第5巻第2冊抜刷
872	「肘板を有する梁の曲げ剛性および応力集中について(第1報)」	昭和34年3月	正員 浜本博登 永井欣一 橋本剛	B5冊子1,8頁,孔版	『西部造船会報』第17号別刷
873	「肘板を有する梁の曲げ剛性および応力集中について(第2報)」		浜本博登 永井欣一 橋本剛	B5冊子1,12頁,孔版	同文2部あり,『広島大学工学部研究報告』第8巻第1冊別刷
874	「鋸接,溶接肘板の比較実験」	昭和32年2月	浜本博登 為広正起	B5冊子1,8頁,孔版	『広島大学工学部研究報告』第6巻第1冊抜刷
875	「八角形孔を有する板の孔縁応力」	昭和15年12月	正員工学士 熊井豊二	B5わら半紙冊子1,11頁,孔版	表紙に「謹呈 浜本様」とあり,『日本航空学会誌』第7巻第68号論文抜刷
876	「壓縮を受ける矩形平板の挫屈限界の決定法の一試案」		吉識雅夫	B5洋紙7,青焼,ホッチキスどめ	ホッチキス除去,『応用力学』第1巻第9号所収論文
877	「肘板の強さについて(肘板の挫屈)」			A4洋紙10,青焼,ホッチキスどめ	ホッチキス除去
878	「I 「エネルギー」法による近似計算」			A4洋紙7,青焼,ホッチキスどめ	ホッチキス除去
879	「肘板に関する一考察」		山越道郎	A4洋紙25,青焼,ホッチキスどめ	ホッチキス除去
880	「Calculation of Beams」	昭和25年	Prof.Georg Vedeler	B4洋紙中折14,青焼,黒ペン・赤鉛筆書,ホッチキスどめ	ホッチキス除去
881	「CALCULATIONS OF BEAMS」			A4洋紙28,青焼,ホッチキスどめ	ホッチキス除去
882	「BENDING MOMENTS IN BRACKETED BEAMS」	昭和32年4月	J.McCALLUM	A4洋紙28,青焼,ホッチキスどめ	ホッチキス除去
883	「AN INVESTIGATION INTO THE BEHAVIOUR AND INFLUENCE OF WELDED BRACKETED CONNECTIONS IN ALUMINIUM ALLOY STRUCTURAL MEMBERS」		B.P.OPIEほか	A4洋紙22,青焼,ホッチキスどめ	ホッチキス除去
884	「肘板付梁の曲げ剛性」			A4洋紙3,青焼,ホッチキスどめ	ホッチキス除去
885	「肘板の拘束度及び応力集中度」			A4洋紙5,青焼,ホッチキスどめ	ホッチキス除去
886	「肘板強度比較試験」			A4洋紙4,青焼,ホッチキスどめ	ホッチキス除去
887	「Bracket Toe部の強度」			A4わら半紙3,孔版,ホッチキスどめ	ホッチキス除去
888	「鋸接及び溶接肘板」			A4洋紙2,青焼,黒ペン書,ホッチキスどめ	ホッチキス除去
889	「Bracketの強度」			A4洋紙3,青焼,ホッチキスどめ	ホッチキス除去
890	「Bracketの強度について」			A4わら半紙4,青焼,ホッチキスどめ	ホッチキス除去
891	「光弾性実験」			A5冊子1,青焼	
892	「旅客船 復原性能」	(昭和28年8月～32年6月)		A4綴1	「旅客船復原性能基準試案」ほか冊子5冊一括綴

## 2. 書 類

### ③教材

番号	件 名	作成年月日	作成（発信→受信）	形 態	備 考
893	スクラップブック			B4変綴1,コピー貼付	「霞ヶ浦遊覧船」「別府航路客船に志き丸」ほか船舶写真切抜
894	スクラップブック			B4変綴1,新聞紙,貼付	「三菱造船(長崎)存置八幡製鉄二五四萬トン撤去」ほか新聞記事切抜
895	「実習」			B5冊子1,17頁,青焼	三井造船・玉工場 工場配置並に通路の運搬密度ほか

### ④指導

番号	件 名	作成年月日	作成（発信→受信）	形 態	備 考
896	「本科第三学年名簿」			B4わら半紙1,孔版	個人情報あり
897	「N修」			A4フラットファイル1	ファイルのみ
898	グラフ図			A4洋紙26,青焼,ホッチキスどめ	ホッチキス除去,「面 面積 歪力 力」など
899	「V底プレーニング型高速艇の船底衝撃についてのメモ」			B5洋紙2,B4洋紙中折3,コピー,ホッチキスどめ	ホッチキス除去,『船の科学』所収論文
900	「第四類 類基礎工学科目(その2)」			A5洋紙1,活版	
901	座標軸の変換など表・グラフ			A4洋紙4,青焼,ホッチキスどめ	ホッチキス除去
902	グラフ図			A4洋紙3,青焼	「面 面積 歪力 力」など番号898の表紙と同文3枚
903	座標軸の変換など表・グラフ			A4洋紙4,青焼,ホッチキスどめ	ホッチキス除去,番号901と同文
904	数式書付			A4洋紙9,青焼,ホッチキスどめ	同文3組あり,ホッチキス除去
905	グラフ図			A4洋紙3,青焼,ホッチキスどめ	ホッチキス除去
906	グラフ図			A4洋紙4,青焼,ホッチキスどめ	ホッチキス除去,「面 面積 歪力 力」など番号898の1~4枚目と同文
907	数式書付			A4洋紙3,青焼	
908	グラフ図			A4洋紙5,青焼	裏面に数式メモあり
909	メモ書			A4洋紙1,黒ペン書	「B 空気調和ハンドブック 井上宇市著 丸善 S53 ¥1100」ほか書籍名や数式のメモ書
910	POOP DECKからFORECASTLE DECKの各部名称図面			26.4×109.5cm洋紙1,黒鉛筆書	船舶の図面を切ったものカ
911	「GENERAL ARRENGEMENT」			26.7×109.6cm洋紙1,黒鉛筆書	船舶の図面を切ったものカ
912	「GENERAL ARRENGEMENT」			25.6×109.4cm洋紙1,黒鉛筆書	船舶の図面を切ったものカ
913	船舶のDECK図面			26.9×109.5cm洋紙1,黒鉛筆書	船舶の図面を切ったものカ
914	船舶MAIN FLAME図面			26.7×109.5cm洋紙1,黒鉛筆書	船舶の図面を切ったものカ
915	船舶図面			26.8×109.6cm洋紙1,黒鉛筆書	船舶の図面を切ったものカ
916	船舶図面			26.9×109.6cm洋紙1,黒鉛筆書	船舶の図面を切ったものカ,番号915と切断面が一致,あわせて「SHELL EXP」とあり
917	「HIGH SPEED CARGO CONSTRUCTION PROFILE」		4480501 伊東国晴	26.6×109.5cm洋紙1,黒鉛筆書	船舶の図面を切ったものカ
918	「SHELL EXPANSION」	昭和47年8月10日	広工工学部船舶工学科 4480511 佐々木隆司	26.1×109.5cm洋紙1,黒鉛筆書	船舶の図面を切ったものカ
919	「GENERAL ARRENGEMENT」	昭和47年8月4日	広工工学部船舶工学科 4480511 佐々木隆司	26.1×109.4cm洋紙1,黒鉛筆書	船舶の図面を切ったものカ
920	「船舶の煙害防止に関する実験」		3980501 池田敏雄 3980505 片島勲	A4冊子1,118頁,2,青焼	同文冊子2点,A4洋紙挟込あり,背表紙にそれぞれ「煙害防止」「61P以上 煙害防止」とあり
921	「船倉内の通風効率に関する実験的研究」		4080523 辻田耕作 4080530 森下豊久生	A4冊子1,142頁,青焼	背表紙に「船倉内通風効率」とあり
922	「卒業論文 ～空気伝播音に対する遮音材について～」		工学部船舶工学科 3885010 後藤洋一郎	A4ハトロン紙60,黒ペン書,A4厚紙2	「HATA COPY PAPER」台紙あり
923	「保温材」			A4冊子1,青焼	
924	「船舶用資材の音響透過損失に関する実験」	昭和44年	広島大学工学部船舶工学科 4080510 加藤美志彦 4080526 野中邦次	A4冊子1,178頁,青焼	背表紙に「音響透過損失実験 S44」とあり
925	「船倉内の換気に関する実験的研究」		4380506 小椋定男 4380533 三井哲夫	A4冊子1,175頁,青焼	背表紙に「艙内換気」とあり

番号	件名	作成年月日	作成(発信→受信)	形態	備考
926	「船倉内の流線、流速についての実験的研究」		広島大学工学部船舶工学科4380502 秋山 照夫	A4冊子1,83頁,青焼	背表紙に「船倉内流線」とあり
927	「船倉内の通風換気に関する実験的研究」		広島大学大学院工学研究科船舶工学専攻M450504 宮宏之	A4冊子1,97頁,青焼	背表紙に「50F 船倉通風換気」とあり
928	「防熱材の低温実験」		3685010 柴田健次 3685019 西田滋	A4綴1,161頁,青焼,黒ペン書	表紙に「2.20受付 浜本」とあり
929	「船倉内の通風換気に関する実験的研究」	昭和47年	宮宏之	A4冊子1,青焼	修士論文と思われる
930	「船舶の煙害防止に関する実験」	昭和46年	阿野拓夫,堂本憲彦	A4冊子1,青焼	卒業論文と思われる

## ⑤試験

番号	件名	作成年月日	作成(発信→受信)	形態	備考
931	「海技試験問題」		浜本	B5野紙23,黒ペン書,ホッチキスどめ	ホッチキス除去
932	ファイル			28.2×20cm厚紙2	ファイルのみ,カードリング2点あり
933	「船舶計算」			6.5×25.5cm洋紙1,孔版	
934	「船舶強度」			12.2×25.5cm洋紙1,孔版	
935	ノート			28.3×20.1cm綴1,黒ペン書	「一端固定梁と一端支持梁」ほか,裏面は青焼のグラフ
936	試験採点帳			16×9.6cm冊子1,67頁,黒ペン書	個人情報あり

## ⑥参考資料

番号	件名	作成年月日	作成(発信→受信)	形態	備考
937	「教授要目」	昭和31年	広島大学工学部	B5冊子1,71頁,孔版	昭和31年度のもの
938	「THE ROYAL INSTITUTE OF TECHNOLOGY」	昭和37年12月	E.Stenroth L.Lindau B.Önnermark	A4冊子1,30頁,青焼	
939	「中小型鋼船造船所溶接技術指導書」	昭和44年11月	社団法人日本中型造船工業会	B5冊子1,59頁,活版	
940	「船」			32.3×28cmアルバム1,写真貼付	小島丸ほかの船舶写真のアルバム
941	「造船関係主要文献表題類別目録第二輯(仏蘭西)造船協会試験水槽成績表現法調査委員会調査造船協会雑纂第百二十八号附録」	昭和7年11月30日	川尻政吾編・造船協会発行	B5冊子1,38頁,孔版	
942	目録			33×21.3cmハトロン紙冊子1,385頁,孔版	「GUN BOATS」「HYDRAULICS」ほか項目ごとの目録
943	目録			32.7×21.3cmハトロン紙冊子1,383頁,孔版	「REFRIGERATING SHIPS」ほか項目ごとの目録
944	「SHS艀装器具 船標制式便覧 其ノ一」	昭和22年12月	立野製作所横浜工場技術部	A6冊子1,145頁,青焼	船舶各部署器具の図面

## ⑦その他

番号	件名	作成年月日	作成(発信→受信)	形態	備考
945	「SPECIAL SURVEY BY THE MOTOR SHIP WORLD WIDE SHIPREPAIR DOCKS」		The Motor Ship	83.5×121cm洋紙1,コピー	
946	「講演」			A4フラットファイル1	ファイルのみ
947	「1976末 世界手持ち受注(ソ連、ルーマニア、中国を除く)」			A4ハトロン紙1,黒ペン書	
948	戦争と兵器輸入に関するメモ			A4ハトロン紙1,黒ペン書,A4洋紙1,コピー	同文2枚,うち1枚がコピー
949	「インスタント・スマイル」			B5野紙2,黒ペン書	
950	人口増加についてのメモ			B5野紙1,黒ペン書	
951	「中国文字」			B5野紙1,黒ペン書	中国語の略字の対応を書いたメモ
952	中国溶接工検定委員会創立15周年記念講演会原稿	昭和45年5月8日		B5野紙2,黒ペン書	
953	「めざましく普及する プラスチック溶接加工」	昭和45年3月31日		26.1×40.5cm新聞切抜1,活版	『溶接ニュース』記事
954	「ビールの注ぎ足しは禁物」		毎日サービス取締役旅行部長 桑島健一	17.2×9.8cm新聞切抜1,活版	
955	船名についてのメモ			B5野紙3,黒ペン書	世界各国,日本の時代ごとの船名に関してまとめたもの
956	「伸び」「熱応力」など数式メモ			B5野紙1,黒ペン書	
957	「図2 一般配置図」			B4洋紙1,青焼	
958	「世界最大の規模で 超大型造船所完成へ」			B4洋紙1,青焼	

## 2. 書類

番号	件名	作成年月日	作成(発信→受信)	形態	備考
959	新幹線速度などメモ			B5罫紙1,黒ペン書	
960	船舶速度などスピーチ原稿メモ			B5罫紙1,青ペン・赤ペン書	
961	「新年」			B6洋紙3,活版	雑誌切抜カ
962	工場などメモ			B5罫紙4,活版	
963	月の岩石などメモ			A4原稿用紙1,黒ペン書	
964	C.E.E.Bに関するメモ			A4原稿用紙1,黒ペン書	
965	全国溶接技術競技大会スピーチ原稿			B5罫紙3,黒ペン書	
966	専用船・船型などメモ			B5罫紙1,青ペン書	
967	西暦国名など書付			A4原稿用紙1,黒ペン書	
968	新幹線の速度などメモ			A4原稿用紙1,黒ペン書	
969	1965の世界商船状況など表			A3洋紙1,写真貼付	
970	「日本船舶船腹構成表 昭和40年7月1日現在 (1,000総トン以上)」	昭和40年7月1日		B4洋紙中折2,孔版,ホッチキスどめ	ホッチキス除去
971	年月・受注量など書付			A4原稿用紙1,黒ペン書	
972	戦前保有量など書付			A4原稿用紙1,黒ペン書	
973	「これからの造船」	昭和41年9月22日		A4洋紙2,青焼,ホッチキスどめ	ホッチキス除去
974	昭和40年輸出船国内船表			A4原稿用紙1,黒ペン書	
975	日章丸・東京丸ほか表			A4洋紙1,青焼	黒ペン・赤ペンで補足書あり
976	「機関室配置図」			A4洋紙1,青焼	
977	ふねへの漢字など原稿			A4原稿用紙6,黒ペン書	
978	専用船に関するメモ			A4原稿用紙1,黒ペン書	
979	愛ほかに関するメモ			A4原稿用紙1,黒ペン書	
980	日本溶接協会山口県支部発会式スピーチ原稿	昭和41年2月22日		B5罫紙5,黒ペン書	
981	呉溶友会発足5周年記念スピーチ原稿			B5罫紙1,黒ペン書	
982	「発会式祝詞」	昭和35年4月24日		B5罫紙4,黒ペン書	呉溶友会発会式の祝辞原稿
983	日本溶接協会島根県支部発会式スピーチ原稿	昭和35年10月23日		B5罫紙3,黒ペン書	
984	金のなる木・金の失せる木のメモ			A4原稿用紙1,黒ペン書	
985	「第15回大崎造船懇談会 議事録」	昭和39年10月24日		B5洋紙6,青焼,ホッチキスどめ	ホッチキス除去
986	「櫻監査課長殿説明要旨 補足訂正」			B5洋紙2,青焼,ホッチキスどめ	ホッチキス除去
987	「造船所における設計の役割と業務」		工博 浜本博登	A4原稿用紙8,黒ペン書	
988	「1963年IIW国際溶接会議に出席して」		浜本博登	A4原稿用紙29,B5罫紙1,黒ペン書,A4洋紙4,青焼	「AKERS VERFT造船所見学」などもあり
989	「船舶雑感」			B4原稿用紙,中折4,黒ペン書	「中国新聞掲載」と朱書あり
990	「産学提携は何うすべきか」	昭和38年9月17日	広島大学教授 浜本博登	B5洋紙2,B4洋紙中折6,ホッチキスどめ	ホッチキス除去
991	産学提携に関するスピーチ原稿		広島大学教授 浜本博登	A4原稿用紙8,黒ペン書,ホッチキスどめ	ホッチキス除去
992	「祝辞」			B5洋紙2,黒ペン書	日本溶接協会広島県支部発会式の祝詞
993	「社団法人 日本溶接協会広島県支部規約」		社団法人 日本溶接協会 広島県支部	B5洋紙1	
994	「溶接学会中国支部規約(昭和28年7月制定)」		溶接学会中国支部	B5洋紙1	
995	「社団法人 日本溶接協会広島県支部規約 昭和31年3月1日制定 昭和55年4月1日一部変更」		社団法人 日本溶接協会 広島県支部	B5洋紙2	
996	「Hawaii Times」	昭和38年8月16日	ハワイタイムズ社	ブランケット判新聞2,活版	「世界の造船工学視察 広島の浜本博士寄港」の記事に赤ペン囲みあり
997	「SDS 造船設計基準」	昭和36年2月25日	造船協会造船設計法基準制定委員会 編,社団法人造船協会 発行	B5ファイル1	
998	「中小型の幅広船に関する推進・操縦性能について」	昭和46年12月	中小型船研究会幅広船小委員会	A4冊子1,99頁	
999	「ローラ進水台圧縮試験(続)」		浜本博登	A4冊子1,59頁	
1000	「中小型の幅広船に関する推進・操縦性能について」	昭和46年12月	中小型船研究会幅広船小委員会	A4冊子1,99頁	
1001	「Rules and Regulations for the Construction and Classification of Steel Ships, 1966. Notice No.5」	昭和41年6月16日	LLOYD'S REGISTER OF SHIPPING	A4冊子1,73頁	

## (3) 海難審判関連

番号	件名	作成年月日	作成(発信→受信)	形態	備考
1002	「機船さいとぼるの復原性および衝突角度に関する鑑定書」		浜本博登	A4冊子2,171頁,青焼	2冊とも表紙に「控」,1冊に「改訂前」の朱書あり
1003	「機船さいとぼるの復原性および衝突角度に関する鑑定書 一部訂正」		浜本博登	A4冊子1,36頁	
1004	「評価書」			A4フラットファイル1	ファイルのみ
1005	「鑑定見積書」	昭和53年12月25日	浜本博登→広島地方海難審判事務所 広島海難審判庁→浜本博登	B4厚紙中折1,B5罫紙5,黒ペン書,B5洋紙2,25.7×27.8cm洋紙1,B5冊子2,4頁,コピー,B5ハترون紙1,孔版,ホッチキスどめ	ホッチキス除去,衝突角度及び機船「さいとぼる」の浸水等による船体の安定性に関する鑑定についての見積もり,費用見積もり,艦艇の契約書2点をまとめたもの
1006	「見積書」	昭和53年12月7日	浜本博登→広島地方海難審判事務所	B5洋紙2,コピー,ホッチキスどめ	ホッチキス除去,機船さいとぼる機船チャンウォン衝突事件の鑑定経費の見積書
1007	「見積書」		浜本博登→広島地方海難審判事務所	B5洋紙1,コピー	機船第三秀栄丸転覆事件鑑定経費見積書
1008	「テンコ評価書」		広島大学名誉教授工学博士 浜本博登	B5洋紙1,コピー	裏面に絵図あり,黒ペンにて修正書あり
1009	「命令」	昭和53年8月31日	広島県地方裁判所尾道支部裁判官 生熊正子→浜本博登	B5ハترون紙1,孔版	船舶評価命令
1010	「物件目録」			B4洋紙中折1,コピー,B5洋紙1,青焼,ホッチキスどめ	ホッチキス除去,汽船ノースアトランティック丸に関する目録
1011	「SNo.815 完成予想」			A4洋紙1,青焼	赤ペンにて修正書あり
1012	「汽船「テンコ」係船準備工事落成明細書」			A4洋紙8,青焼,ホッチキスどめ	ホッチキス除去
1013	「汽船「テンコ」係船期間中の監守保存費用明細書 2月分(2月21日より2月28日迄)」			A4洋紙2,青焼,ホッチキスどめ	ホッチキス除去
1014	「450,000m <sup>3</sup> 冷凍船」			B5罫紙1,黒ペン書	
1015	「450,000m <sup>3</sup> 冷凍船見積」			B5罫紙1,黒ペン書	
1016	「恵幸丸」			B5罫紙1,黒ペン・赤ペン書	恵幸丸の値段に関するメモ
1017	「第二幸陽」			B5罫紙1,黒ペン・赤ペン書	第二幸陽丸の値段に関するメモ
1018	「第五幸陽」			B5罫紙1,黒ペン・赤ペン書	第五幸陽丸の値段に関するメモ
1019	「第八幸陽」			B5罫紙1,黒ペン書	第八幸陽丸の値段に関するメモ
1020	船名数値書付			B5ハترون罫紙1,黒ペン書	番号1016～1019の船舶の値段をまとめたものカ
1021	「North Atlantic」			B5罫紙1,黒ペン書	North Atlanticの値段評価をまとめたメモカ
1022	「North Atlantic」			B5罫紙1,黒ペン書	North Atlanticの値段評価をまとめたメモカ
1023	「汽船ノースアトランティック丸評価書」	昭和53年9月25日	広島大学名誉教授工学博士 浜本博登→広島地方裁判所尾道支部裁判官 生熊正子	B5ハترون紙2,B5洋紙1,コピー	
1024	「Enterprise」			B5罫紙1,黒ペン書	Enterpriseの値段評価に関するメモ
1025	「enterprise」			B5罫紙1,黒ペン書	Enterpriseの値段評価に関するメモ
1026	「汽船エンタープライズ評価書」	昭和53年7月20日	広島大学名誉教授工学博士 浜本博登→広島地方裁判所尾道支部 八東和広	B5ハترون紙1,孔版,B5ハترون罫紙1,黒ペン書,B5洋紙4,コピー	うち一枚に「控」と朱書あり
1027	「物件目録」			B5洋紙1,孔版	汽船エンタープライズの船籍情報目録
1028	「命令」	昭和53年6月22日	広島地方裁判所尾道支部裁判官八東和広	B5ハترون紙1,B4洋紙中折1,孔版,黒ペン書	汽船エンタープライズの船舶評価命令と船籍情報目録
1029	「汽船テンコ評価書」		広島大学名誉教授工学博士 浜本博登	B5洋紙1,コピー	
1030	「命令」	昭和53年3月29日	広島地方裁判所尾道支部裁判官生熊正子→浜本博登	B5ハترون紙2,孔版,黒ペン書	汽船テンコの船舶評価命令と船籍情報目録
1031	「汽船テンコ評価書」	昭和53年4月6日	広島大学名誉教授工学博士 浜本博登→広島地方裁判所尾道支部裁判官 生熊正子	B5ハترون紙2,孔版,B5ハترون罫紙1,黒ペン書,B5洋紙1,コピー	
1032	「汽船テンコ係船準備工事落成明細書」		広島大学名誉教授工学博士 浜本博登	B5ハترون紙1,黒ペン書,B5洋紙2,コピー	
1033	「テンコ評価書 旧」		広島大学名誉教授工学博士 浜本博登	B5ハترون罫紙1,黒ペン書	

## 2. 書類

番号	件名	作成年月日	作成(発信→受信)	形態	備考
1034	「テンコ」			B5罫紙1,黒ペン書	汽船テンコの値段に関するメモ
1035	「事務連絡」	昭和53年4月5日	広島地方裁判所民事執行係横田→浜本博登	B5洋紙1,コピー	漁船松栄丸の評価書受理の連絡と請求書同封の報告について
1036	「命令」	昭和53年3月20日	広島地方裁判所裁判官大谷禎男→浜本博登	B5洋紙ハトロ紙1,B4ハトロ紙1,孔版,黒ペン書	松本啓介所有船舶・松栄丸の評価命令と船籍情報
1037	「松栄丸評価書」		広島大学名誉教授工学博士 浜本博登	B5ハトロ紙罫紙1,黒ペン書	
1038	「漁船松栄丸評価書」	昭和53年3月30日	広島大学名誉教授工学博士 浜本博登→広島地方裁判所裁判官大谷禎男	B5ハトロ紙3,孔版,B5洋紙2,コピー	
1039	「松栄丸」			B5罫紙1,黒ペン・赤ペン書	松栄丸の値段に関するメモ
1040	「碇泊証明願」	昭和51年7月14日	西日本相互銀行広島支店内債権者代理人中田修三→船舶監守人 中本政行	B4洋紙1,青焼	汽船大生丸の広島市西運河岸壁での碇泊証明願とその許可書
1041	「命令」	昭和51年7月19日	広島地方裁判所裁判官山口幸雄→浜本博登	B5ハトロ紙1,B4ハトロ紙1,孔版	新宅治重ほか所有の汽船大生丸の評価命令と船籍情報
1042	「大生丸評価書」	昭和51年8月19日	広島大学名誉教授工学博士 浜本博登→広島地方裁判所裁判官 山口幸雄	B5ハトロ紙1,孔版,B5ハトロ紙2,黒ペン書,B5洋紙2,青焼	
1043	「大生丸」			B5罫紙3,黒ペン書	大生丸の値段評価に関するメモ
1044	「競売すべき船舶の表示」	昭和50年8月18日	広島地方裁判所裁判所書記官 砂岡正記	B4洋紙1,コピー,B5ハトロ紙1,孔版	競売にかけられる汽船武友丸の船籍情報など
1045	「武友丸評価書」	昭和50年10月15日	広島大学名誉教授工学博士 浜本博登→広島地方裁判所裁判官 平湯真人	B5ハトロ紙1,孔版,B5ハトロ紙罫紙1,黒ペン書,B5洋紙1,青焼	
1046	「武友丸←金静丸」			B5罫紙3,黒ペン・赤ペン書	武友丸の値段評価に関するメモ
1047	「第三大洋丸評価書」		浜本	B5洋紙1,青焼	
1048	「命令」	昭和47年7月5日	広島地方裁判所裁判官安次嶺真一→浜本博登	B5ハトロ紙3,孔版,黒ペン書	山洋海運有限公司所有の第三大洋丸の評価に関する命令と船籍情報の目録
1049	「第三大洋丸」			B5罫紙3,黒ペン書	第三大洋丸の値段に関するメモ
1050	「第三大洋丸評価書」	昭和47年7月27日	広島大学教授工学博士 浜本博登→広島地方裁判所民事第三部裁判官 安次嶺真一	B5ハトロ紙3,孔版,B5ハトロ紙2,黒ペン書,B5洋紙7,青焼	
1051	「命令」	昭和47年4月11日	広島地方裁判所民事第三部裁判官野田武明	B5ハトロ紙2,孔版,B5洋紙1,コピー	興津海運有限公司所有の第五大宣丸の船舶評価命令と船籍情報の目録
1052	「第五大宣丸評価書」	昭和47年5月10日	広島大学教授工学博士 浜本博登→広島地方裁判所民事第三部裁判官 野田武明	B5ハトロ紙1,孔版,B5ハトロ紙1,黒ペン書,B5洋紙3,青焼	
1053	「第五大宣丸←第二松豊丸」			B5罫紙3,黒ペン・青ペン書	第五大宣丸の値段評価に関するメモ
1054	「命令」	昭和46年12月27日	広島地方裁判所民事第三部裁判官 稲沢勝彦→浜本博登	B5ハトロ紙2,孔版,黒ペン書,B5洋紙1,青焼	山田征一ほか所有の汽船大洋丸の評価に関する命令と船籍情報目録
1055	「大洋丸評価書」	昭和47年1月20日	広島大学教授工学博士 浜本博登→広島地方裁判所民事第三部裁判官稲沢勝彦	B5ハトロ紙2,孔版	送付状のみ,評価書そのものはなし
1056	「大洋丸」			B5罫紙3,黒ペン書	大洋丸の値段評価に関するメモ
1057	「大洋丸評価書」	昭和47年1月20日	広島大学教授工学博士 浜本博登	B5ハトロ紙1,黒ペン書,B5洋紙1,青焼	
1058	「大洋丸起重機評価書」	昭和47年1月20日	広島大学教授工学博士 浜本博登	B5ハトロ紙罫紙1,黒ペン書,B5洋紙1,青焼	
1059	「命令」	昭和44年8月7日	広島地方裁判所民事第二部裁判官喜久本朝正→浜本博登	B5ハトロ紙2,孔版,黒ペン書,B4洋紙中折1,青焼,ホッチキスどめ	ホッチキス除去,東邦海運産業株式会社所有の第二長栄丸の評価命令と船籍情報目録
1060	「第三長栄丸」			B5罫紙3,黒ペン書	第二長栄丸の値段評価に関するメモ
1061	「第三長栄丸評価書」	昭和44年9月10日	広島大学教授工学博士 浜本博登	A4ハトロ紙罫紙1,黒ペン書,A4洋紙1,青焼	
1062	「命令」	昭和37年6月6日	広島地方裁判所民事第二部裁判官 宮本増→浜本博登	B5ハトロ紙2,孔版,黒ペン書,ホッチキスどめ	ホッチキス除去,桑田汽船株式会社所有の船舶評価命令
1063	「第三九嶺丸評価書」	昭和38年11月22日	広島大学教授 浜本博登	B5罫紙1,青ペン書	
1064	「宝栄丸評価書」	昭和38年11月22日	広島大学教授 浜本博登	B5罫紙1,青ペン書	

番号	件名	作成年月日	作成(発信→受信)	形態	備考
1065	「宝栄丸」			B5罫紙1,黒ペン・赤ペン・青ペン書	宝栄丸の値段評価に関するメモ
1066	「第三九嶺丸」			B5罫紙1,黒ペン・赤ペン・青ペン書	第三九嶺丸の値段評価に関するメモ
1067	「第三九嶺丸評価参考資料」			A4変洋紙1,青焼	日本海事検定協会と財務局の評価概算額を記載した表
1068	「宝栄丸評価参考資料」			A4変洋紙1,青焼	日本海事検定協会と財務局の評価概算額を記載した表
1069	「新造船工事経歴書(自昭和32年至昭和43年)」	昭和43年1月20日		B4洋紙中折2,B5洋紙2,青焼,ホッチキスどめ	ホッチキス除去,新造船の起工・浸水・竣工日と船価の表
1070	建造費グラフ			A4ハترون紙1,黒ペン書,A4洋紙1,青焼	
1071	「木造貨物船等(油送船を含む)船令比率」			A4洋紙1,黒ペン書	グラフ
1072	さいとばる転覆事件関係資料一件			A3洋紙2,A4洋紙2,青焼,クリップどめ	クリップ除去,事件被害と衝突角度の考察をまとめたもの

## (4) 技能検定・溶接技関係

番号	件名	作成年月日	作成(発信→受信)	形態	備考
1073	日本溶接協会広島支部宛封筒			角形2号封筒1	封筒のみ,「検」と朱書あり
1074	「溶研工作所支払い明細」			B5洋紙1,青焼	
1075	「月例報告提出依頼の件」	昭和56年4月4日	溶接技術検定委員会本部→各地区委員会	B5洋紙1,青焼	「溶接技術検定月例総括表」(番号1076カ)への記入及び本部への提出願
1076	「溶接技術検定月例総括表」		社団法人日本溶接協会溶接技術検定委員会	A4洋紙5,青焼,ホッチキスどめ	ホッチキス除去
1077	「第24回広島県溶接技術競技会(昭和55年度)入賞者名簿」	昭和55年	(社)日本溶接協会広島支部	B4洋紙1,青焼	
1078	「第23回広島県溶接技術競技会(昭和54年度)入賞者名簿」	昭和54年	日本溶接協会広島支部	B4洋紙1,青焼	
1079	「溶接技術検定試験資格継続通知について」		社団法人日本溶接協会広島支部支部長 浜本博登→各位	B5洋紙1,青焼	
1080	収入支出一覧草稿			B5罫紙1,黒ペン書,黒鉛筆書	
1081	「職員就業規則等職員に関する諸規則の改正について」	昭和56年3月16日	社団法人日本溶接協会専務理事 平山悦朗→溶接技術検定委員会中国地区溶接技術検定委員会委員長 浜本博登	B5洋紙1,青焼	
1082	「職員就業規則」			B5洋紙16,青焼,ホッチキスどめ	ホッチキス除去
1083	日本溶接協会広島支部関係書類一件			B4洋紙1,B5洋紙1,活版,クリップどめ	クリップ除去,日本溶接協会広島支部評議員候補者名簿(得点付)の原本あり
1084	「昭和55年度 事業ならびに会計中間報告(S55. 4. 1～9. 30)」	昭和55年	社団法人日本溶接協会広島支部	B5洋紙10,青焼,ホッチキスどめ	ホッチキス除去
1085	収支報告に関する資料一件			A4洋紙5,B5洋紙2,青焼,A4洋紙1,コピー,B5洋紙1,黒ペン書,ホッチキスどめ	ホッチキス除去,赤ペンで書込あり
1086	「昭和55年度 事業ならびに会計中間報告(S55.4.1～9.30)」	昭和55年	社団法人日本溶接協会広島支部	B5洋紙10,ホッチキスどめ	ホッチキス除去,表紙に「控」と朱書あり
1087	「昭和55年度(第26回)全国溶接技術競技会名簿」		社団法人日本溶接協会	A4洋紙3,青焼,黒鉛筆書,ホッチキスどめ	ホッチキス除去
1088	「収支決算書 中国地区溶接技術検定委員会(昭和55年4月1日～昭和56年3月31日)」	昭和56年4月11日		B5洋紙8,青焼,B5洋紙1,コピー,ホッチキスどめ	ホッチキス除去,「日本溶接協会広島支部規約」挟込
1089	「溶接技術検定試験受験料金及び認定料金」			22.2×21.2cm洋紙1,青焼	表
1090	試験費用表			18.2×20.2cm洋紙1,青焼	
1091	「溶接技術検定試験材料費および加工費(55-6)」		中国地区溶接技術検定委員会	B5洋紙1,青焼	
1092	「職員就業規則」			B5洋紙16,コピー,ホッチキスどめ	ホッチキス除去
1093	「溶接技術検定試験受験料金及び認定料金一覧表」	昭和55年4月1日		B4洋紙1,活版	
1094	中国地区溶接技術検定委員会事務所新築工事見積り要項・図面		渡辺建築士事務所	B4洋紙3,青焼	図面あり
1095	「御見積書」	昭和56年3月26日	株式会社浜田工務店→(社)日本溶接協会	B5綴1,ホッチキスどめ	ホッチキス除去,中国地区溶接技術検定委員会事務所新築工事の料金見積書
1096	工事金額など一覧表		株式会社浜田工務店	B5洋紙2,コピー,ホッチキスどめ	ホッチキス除去

## 2. 書類

番号	件名	作成年月日	作成(発信→受信)	形態	備考
1097	「御見積書」	昭和56年3月26日	株式会社浜田工務店 →(社)日本溶接協会中国 地区溶接技術検定委員会	B5綴り1, ホッチキスどめ	ホッチキス除去, 中国地区溶 接技術検定委員会事務所新 築工事の料金見積書
1098	「工程表(工場棟)」		株式会社浜田工務店	A3洋紙3, コピー	中国溶接技術検定委員会新 築工事の工程表
1099	昭和53年度決算書及び昭和54年 予算書			B5中国溶接工検定委員会 野紙4, 黒ペン・黒鉛筆書	
1100	「昭和54年10月10日実施の溶接技 術者資格試験における筆記試験問 題と解答例」	昭和55年2月	編集部	A4洋紙1, A3洋紙3, コピー	『溶接技術』1980年2月号所 収

### (5) その他

番号	件名	作成年月日	作成(発信→受信)	形態	備考
1101	「別送小荷物証明書」		浜本博登	A5変洋紙3, 黒ペン書	
1102	「ゴルフ」			A4フラットファイル1, 黒ペン 書	ゴルフスコア表ファイル
1103	「消火器の種類と使用法」		株式会社初田製作所	35.6×38.8cm洋紙1, 孔版	
1104	広島県総務部長・広島県商工労働 部長の拝命挨拶の葉書	昭和49年6月19日	田中稔、田中国義→浜本 博登	15.4×10.2cm厚紙中折1, 活 版, 洋形2号封筒1, 青ペン書	日本の神の名前に関するメモ あり
1105	「駐車契約書 浜本ガレージ」		浜本博登	B4洋紙1	車輦登録番号, 日付など未記 入
1106	「金銭出納帳」			A5変冊子1	1~7頁破損, 書込無
1107	「Chapter 8 Oil tankers」			袋1	A4洋紙65枚(青焼)
1108	ドイツ語発音ノート			A5変冊子1	紐で製本
1109	メモ書(書翰下書、用語メモなど)			A5ノート1	表紙破損
1110	挨拶文下書(日溶島根県支部20周 年祝辞)			B5洋紙1	
1111	結婚式の挨拶メモ			B5洋紙2	
1112	メモ書(幹部錬成会、長学雑感など)			B6綴り1	
1113	「慣性モーメント表」			14×16cm綴り1	
1114	「The Twentieth Andrew Laing Lecture Shortcoming of Structural Analysis」の翻訳ノート		(井本)	A5ノート1, 手書	
1115	呉市役所の封筒	(昭和26、27年)	(呉市)	B5封筒1	封筒内に「呉港案内 昭和26 年」ほか冊子2, リーフレット1, 用紙2あり
1116	「Über schwingende Körper an der Oberfläche des Wassers. 」	昭和9年1月15日	August Dimpker	A5冊子1	
1117	「「モーターボート競走法の交付金 による(財)日本船舶振興会の補助事 業」新測度による中小型船の調査 研究」	昭和53年3月	社団法人 日本中型造船 工業会	A4冊子1	
1118	「PINJACK ホウコク」		(豊国工業)	B5パンフレット1	
1119	「下松製油所案内」		日本石油精製	A4パンフレット1	
1120	「大阪電気株式会社 会社概況」		大阪電気	A4冊子1	
1121	「ダイデンメルト G1型 全自動アー ク溶接機」		大阪電気株式会社	A4パンフレット1	
1122	「鉄 文明は鉄がつくる」		日本鉄鋼連盟ほか	30×10cmリーフレット1	
1123	「VINYTOP/塩化ビニール鋼板」		東洋鋼板	B5パンフレット1	
1124	「高張力鋼板」		日本製鋼所	A4洋紙1	
1125	「日鋼エクストルーダー」		日新製鋼所	A4洋紙1	

### 3. 書籍等



### 3. 書籍等

番号	件名	作成年月日	作成(発信→受信)	形態	備考
1126	「実験工学講座11」	昭和9年2月18日	吉川晴十 ほか3名 著, 大河内正敏 ほか2名 監修, 共立社 発行	A5函1	冊子4冊
1127	「実験工学講座10」	昭和9年1月20日	木下隆博 ほか2名 著, 大河内正敏 ほか2名 監修, 共立社 発行	A5函1	冊子3冊
1128	「実験工学講座9」	昭和8年12月16日	山口珪次 ほか2名 著, 大河内正敏 ほか2名 監修, 共立社 発行	A5函1	冊子3冊
1129	「実験工学講座8」	昭和8年11月16日	木谷要一 ほか2名 著, 大河内正敏 ほか2名 監修, 共立社 発行	A5函1	冊子3冊
1130	「実験工学講座7」	昭和8年10月16日	辻二郎 ほか2名 著, 大河内正敏 ほか2名 監修, 共立社 発行	A5函1	冊子2冊,3冊のうち「弾性実験法」欠
1131	「実験工学講座6」	昭和8年9月16日	黒田正夫 ほか2名 著, 大河内正敏 ほか2名 監修, 共立社 発行	A5函1	冊子3冊
1132	「実験工学講座3」	昭和8年6月16日	真島正市 ほか2名 著, 大河内正敏 ほか2名 監修, 共立社 発行	A5函1	冊子3冊
1133	「実験工学講座5」	昭和8年8月15日	内田正次郎 ほか2名 著, 大河内正敏 ほか2名 監修, 共立社 発行	A5函1	冊子3冊
1134	「定性分析実験法 修訂版」	昭和24年4月15日	石橋雅義 著, 富山房 発行	A5冊子1	函入
1135	「溶接力学とその応用」	昭和40年12月10日	渡辺正紀・佐藤邦彦 著, 朝倉書店 発行	A5変冊子1	函入
1136	「溶接技術入門」	昭和55年4月1日	溶接学会 編, 産報出版 発行	A5冊子1	初版昭和52年4月1日
1137	「溶接全書4 溶接構造物の設計と基準」	昭和53年12月10日	太田省三郎・妹島五彦 著, 産報出版 発行	A5冊子1	函入
1138	「溶接叢書 第17巻 ガス熔断機器」	昭和31年10月25日	三上博・中西実 著, 社団法人 日本溶接協会出版局 発行	A5冊子1	函入
1139	「溶接叢書 第16巻 溶接部の検査」	昭和32年8月5日	橋本宇一・手塚敬三 著, 溶接ニュース出版局 発行	A5冊子1	函入
1140	「溶接叢書 第15巻 溶接施工法」	昭和29年11月25日	福田烈・吉田兎四郎 著, 社団法人 日本溶接協会出版局 発行	A5冊子1	函入
1141	「溶接叢書 第14巻 非鉄金属の溶接」	昭和31年9月5日	大西巖・榎易 著, 社団法人 日本溶接協会出版局 発行	A5冊子1	函入
1142	「溶接叢書 第19巻 溶接規格と記号(上)」	昭和30年6月25日	仲威雄・稲垣良徳 著, 社団法人 日本溶接協会出版局 発行	A5冊子1	函入
1143	「溶接叢書 第20巻 溶接規格と記号(下)」	昭和30年6月25日	仲威雄・稲垣良徳 著, 社団法人 日本溶接協会出版局 発行	A5冊子1	函入
1144	「溶接叢書 第18巻 溶接工の養成と技量検定」	昭和29年12月25日	木下秀雄・鶴田明 著, 社団法人 日本溶接協会出版局 発行	A5冊子1	函入
1145	「溶接叢書 第11巻 電気溶接機器(下)」	昭和33年1月15日	中村孝 著, 溶接ニュース出版局 発行	A5冊子1	函入
1146	「溶接叢書 第12巻 鋳物の溶接」	昭和31年1月20日	柴田晴彦・田村元 著, 社団法人 日本溶接協会出版局 発行	A5冊子1	函入
1147	「溶接叢書 第13巻 鋸接と低温溶接」	昭和33年2月20日	木下秀雄 著, 溶接ニュース出版局 発行	A5冊子1	函入
1148	「溶接叢書 第8巻 アルゴン・アーク溶接」	昭和30年4月10日	中村孝・清原道也 著, 社団法人 日本溶接協会出版局 発行	A5冊子1	函入
1149	「溶接叢書 第9巻 自動アーク溶接」	昭和31年4月15日	吉田俊夫 ほか2名 著, 社団法人 日本溶接協会出版局 発行	A5冊子1	函入
1150	「溶接叢書 第10巻 電気溶接機器(上)」	昭和32年12月5日	安達弘平・中村孝 著, 溶接ニュース出版局 発行	A5冊子1	函入
1151	「鋼構造 溶接工作法通論」	昭和54年7月15日	社団法人 日本溶接協会 監修, 産報出版 発行	A5冊子1	初版昭和50年8月20日
1152	「鋼構造溶接施工・管理教本 受験の手引と問題集」	昭和53年4月20日	社団法人 日本溶接協会 監修, 産報出版 発行	A5冊子1	初版昭和53年4月20日

### 3. 書籍等

番号	件名	作成年月日	作成(発信→受信)	形態	備考
1153	「溶接用語活用事典」	昭和47年11月10日	応和俊雄・浜崎正信 著, 産報 発行	B6冊子1	函入
1154	「溶接設計・施工管理技術者教本 2・3級受験のための問題集」	昭和49年6月10日	社団法人 日本溶接協会 監修, 産報 発行	A5冊子1	初版昭和48年6月20日
1155	「エンジニアリング アナリシス 工学問題の解き方」	昭和33年6月20日	D. W. VER PLANCK・B. R. TEARE, Jr 著, 野村正二郎 訳, 丸善 発行	A5変冊子1	
1156	「極限設計法」	昭和34年2月10日	倉西正嗣 著, オーム社 発行	B6冊子1	初版昭和29年6月25日
1157	「船」	昭和18年5月15日	和辻春樹 著, 明治書房 発行	B6冊子1	初版昭和15年12月20日
1158	「新工業道徳」	昭和16年5月1日	宮城敏夫 著, 天野貞祐 監修, 教育図書 発行	A5冊子1	初版昭和16年4月25日
1159	「民主主義教育の理論と実際 ―特に社会科について―」	昭和24年1月1日	ポーリンヤイディ 著, 日米教育図書研究会 編, 銀の鈴広島図書 発行	B6冊子1	
1160	「JIS F規格集 機関(1968)」	昭和43年3月31日	JIS規格集編集委員会 編, 社団法人 船舶JIS工業会 発行	11×15cm冊子1	
1161	「JIS F規格集 船体(1968)」	昭和43年3月31日	JIS規格集編集委員会 編, 社団法人 船舶JIS工業会 発行	11×15cm冊子1	
1162	「日本鋼線鋼索株式会社」		(日本鋼線鋼索株式会社)	12×9cm冊子1	表紙,裏表紙欠
1163	「日本鉄道連絡船史」	昭和23年3月25日	山本熙 著, 財団法人 交通協力会 発行	B6冊子1	
1164	「JIS 最新 金属寸法・重量・成分表 非鉄金属 1952」	昭和27年5月31日	財団法人 日本規格協会 編・発行	11×15cm冊子1	
1165	「JIS 最新 金属寸法・重量・成分表 鉄鋼 1951」	昭和26年10月25日	財団法人 日本規格協会 編・発行	11×15cm冊子1	
1166	「造船要覧 1958年版」	昭和32年10月1日	財団法人 舟艇協会 編・発行	B6冊子1	
1167	「JIS 船用アルミニウム合金展伸材」	昭和27年3月30日	財団法人 日本規格協会 編, 発行	A5冊子1	
1168	「教育の新理想」	昭和20年12月25日	毎日新聞社 発行	B6冊子1	
1169	「昭和36年 学生便覧」	昭和36年	広島大学工学部	B6冊子1	
1170	「船は生きてる」	昭和22年9月15日	須川邦彦 著, 天然社 発行	B6冊子1	
1171	「STEAMSHIP COEFFICIENTS, SPEEDS AND POWERS」	大正9年	CHARLES F. A. FYFE 著, SPON 発行	17×12cm冊子1	英文
1172	「ラジオの話 銀の鈴文庫 社会・科学編10」	昭和24年4月1日	根岸巖 著, 広島図書 発行	B6冊子1	
1173	「溶接学会誌 第43巻 第8号」	昭和49年8月5日	社団法人 溶接学会 発行	B5冊子1	
1174	「溶接学会誌 第43巻 第9号」	昭和49年9月5日	社団法人 溶接学会 発行	B5冊子1	
1175	「溶接学会誌 第43巻 第12号」	昭和49年12月5日	社団法人 溶接学会 発行	B5冊子1	
1176	「溶接学会誌 第43巻 第10号」	昭和49年10月5日	社団法人 溶接学会 発行	B5冊子1	
1177	「溶接学会誌 第43巻 第11号」	昭和49年11月5日	社団法人 溶接学会 発行	B5冊子1	
1178	「溶接学会誌 第43巻 第1号」	昭和49年1月25日	社団法人 溶接学会 発行	B5冊子1	
1179	「溶接学会誌 第43巻 第2号」	昭和49年2月25日	社団法人 溶接学会 発行	B5冊子1	
1180	「溶接学会誌 第43巻 第3号」	昭和49年3月25日	社団法人 溶接学会 発行	B5冊子1	
1181	「溶接学会誌 第43巻 第4号」	昭和49年4月25日	社団法人 溶接学会 発行	B5冊子1	
1182	「溶接学会誌 第43巻 第5号」	昭和49年5月25日	社団法人 溶接学会 発行	B5冊子1	
1183	「溶接学会誌 第43巻 第6号」	昭和49年6月25日	社団法人 溶接学会 発行	B5冊子1	
1184	「溶接学会誌 第43巻 第7号」	昭和49年7月5日	社団法人 溶接学会 発行	B5冊子1	
1185	「溶接学会誌 48」	昭和54年	社団法人 溶接学会 発行	B5冊子1	
1186	「溶接学会誌 47」	昭和53年	社団法人 溶接学会 発行	B5冊子1	
1187	「溶接学会全国大会講演概要 19-20」	昭和51年, 昭和52年	立木敬二 編, 社団法人 溶接学会 発行	B5冊子1	
1188	「溶接学会誌 45」	昭和51年	社団法人 溶接学会 発行	B5冊子1	

番号	件名	作成年月日	作成(発信→受信)	形態	備考
1189	「溶接学会誌 44」	昭和50年	社団法人 溶接学会 発行	B5冊子1	
1190	「熱伝達論・熱伝導論 応用力学講座 20」	昭和31年12月15日	橘藤雄・甲藤好郎 著, 共立出版 発行	A5冊子1	
1191	「溶接工学講座 V」	昭和12年6月20日	岡本越 ほか3名 著, 太陽閣 発行	A5函1	冊子3冊
1192	「SERIES SYMPOSIUM 压力容器の構造強度と技術基準に関するシンポジウム」		社団法人 日本高圧力技術協会	B5冊子1	
1193	「神戸製鋼技報 VOLUME22 NO.4 24NO.3-4」	昭和47年, 昭和49年	神戸製鋼所 発行	A4冊子1	
1194	「R&D 神戸製鋼技報 VOLUME25 NO.4」	昭和50年10月1日	神戸製鋼所 発行	A4冊子1	
1195	「R&D 神戸製鋼技報 VOLUME25 NO.1」	昭和50年1月1日	神戸製鋼所 発行	A4冊子1	
1196	「R&D 神戸製鋼技報 VOLUME25 NO.3」	昭和50年7月1日	神戸製鋼所 発行	A4冊子1	
1197	「R&D 神戸製鋼技報 VOLUME25 NO.2」	昭和50年4月1日	神戸製鋼所 発行	A4冊子1	
1198	「溶接学会全国大会講演概要 21-22」	昭和52年, 昭和53年	立木敬二 編, 社団法人 溶接学会 発行	B5冊子1	
1199	「日立造船技報 第35巻 第2号」	昭和49年6月30日	日立造船株式会社技術研究所 編・発行	A4冊子2	
1200	「日立造船技報 第35巻 第3号」	昭和49年9月30日	日立造船株式会社技術研究所 編・発行	A4冊子2	
1201	「日立造船技報 第35巻 第4号」	昭和49年12月25日	日立造船株式会社技術研究所 編・発行	A4冊子2	
1202	「日立造船技報 第35巻 第1号」	昭和49年3月30日	日立造船株式会社技術研究所 編・発行	A4冊子2	
1203	「水力学II 応用力学講座 14」	昭和34年8月1日	神元五郎 著, 共立出版 発行	A5冊子1	初版昭和32年5月30日
1204	「水力学I 応用力学講座 14」	昭和34年8月1日	神元五郎 著, 共立出版 発行	A5冊子1	初版昭和32年4月10日
1205	「流体力学II 圧縮性流体および粘性流体の力学 応用力学講座 16」	昭和34年8月1日	玉木章夫 著, 共立出版 発行	A5冊子1	初版昭和32年12月30日
1206	「流体力学I 完全流体の力学 応用力学講座 15」	昭和34年8月1日	阿阪三郎 著, 共立出版 発行	A5冊子1	初版昭和32年9月10日
1207	「溶接叢書 第5巻 溶接接手の強度」	昭和31年6月15日	中根金作・大谷碧 著, 社団法人 日本溶接協会出版局 発行	A5冊子1	
1208	「溶接叢書 第6巻 抵抗溶接」	昭和33年6月23日	沢井善三郎 ほか2名 著, 溶接ニュース出版局 発行	A5冊子1	
1209	「溶接叢書 第7巻 ガス切断およびガス加工」	昭和30年11月20日	大西巖・水野政夫 著, 社団法人 日本溶接協会出版局 発行	A5冊子1	
1210	「溶接叢書 第21巻 高張力鋼の溶接」	昭和33年3月25日	木原博・鈴木春義 著, 溶接ニュース出版局 発行	A5冊子1	
1211	「溶接叢書 第2巻 溶接変形と残留応力」	昭和30年8月20日	木原博・増淵興一 著, 社団法人 日本溶接協会出版局 発行	A5冊子1	
1212	「溶接叢書 第3巻 溶接設計」	昭和30年12月20日	渡辺正紀・中村孝 著, 社団法人 日本溶接協会出版局 発行	A5冊子1	
1213	「溶接叢書 第4巻 溶接冶金」	昭和30年12月20日	岡田実・鈴木春義 著, 社団法人 日本溶接協会出版局 発行	A5冊子1	
1214	「東北大学 工学報告 第二十四巻 第二号」	昭和35年3月30日	東北大学工学部 編, 東北大学 発行	B5冊子1	
1215	「物理学通論 増訂改刻版」	大正15年10月15日	本多光太郎 著, 内田老鶴圃 発行	B5冊子1	函入
1216	「精密測定及計測機器 増訂版」	昭和17年6月15日	青木保 著, 丸善 発行	A5冊子1	初版昭和12年12月25日
1217	「JES 日本標準規格(縮版)機械工業規格」	昭和15年4月5日	商工省 編, 工業調査協会 発行	A5冊子1	初版昭和12年11月25日
1218	「有機化学講義(改訂版)」	昭和2年12月8日	松井元興 著, 裳華房 発行	A5冊子1	
1219	「理論船舶工学(下巻)」	昭和33年8月25日	大串雅信 著, 海文堂 発行	B5冊子1	函入
1220	「小型船の設計と製図」	昭和39年2月26日	池田勝 著, 海文堂 発行	B5冊子1	
1221	「小型鋼船の計画の実際 基本設計の手引」	昭和35年11月	能美耕一郎 著	25×18cm冊子1	
1222	「非線型振動論(英文)」		林千博 著, 日本印刷出版 発行	B5函1	函のみ

### 3. 書籍等

番号	件名	作成年月日	作成(発信→受信)	形態	備考
1223	「THE DESIGN OF MERCHANT SHIPS AND COST ESTIMATING」	昭和2年	ALEXANDER KARI 著, CROSBY LOCKWOOD AND SON 発行	26×17cm冊子1	
1224	「船舶法規」	昭和13年1月20日	生島莊三 著, 工業図書 発行	A5冊子1	
1225	「Losses of Small Ships」	昭和33年7月	C.V.Manley 著	A4変冊子1	
1226	「第2回国際船体構造会議出席および欧州の関連機関視察報告書1964」	昭和39年	造船技術国際会議連絡委員会 構造分科会	A4冊子1	
1227	「実用船舶推進論」	(昭和51年)	伊藤一男 著	B5冊子1	「船の科学」記事のコピーを製本したもの
1228	「経済学綱要」	明治35年4月10日	天野為之 著, 東洋経済新報社 発行	A5変冊子1	
1229	「刀剣要覧」	昭和42年6月20日	飯村嘉章 著, 刀剣美術工芸社 発行	B6変冊子1	
1230	「船舶計算の誤差に関する研究」	昭和28年10月	浪速大学工学部船舶工学科 編	B5冊子1	
1231	「昭和三十五年度 研究報告 第二部」	昭和36年3月31日	海上保安大学校	B5冊子1	
1232	「昭和三十五年度 研究報告 第一部」	昭和36年3月31日	海上保安大学校	B5冊子1	
1233	「基本造船学(船体編)」	昭和38年5月28日	上野喜一郎 著, 成山堂書店 発行	A5冊子1	
1234	「船舶法規の解説-登録測度等編-」	昭和41年6月28日	上野喜一郎 著, 成山堂書店 発行	A5冊子1	
1235	「弾性学」	昭和46年6月30日	樋口盛一 著, 岩波書店 発行	A5冊子1	
1236	「有限要素法による応力解析入門 理工学海外名著シリーズ15」	昭和49年10月3日	G.N.スミス 著, 瀬川富士 訳, プレイン図書出版 発行	A5冊子1	
1237	「土圧計算新法」	昭和40年10月25日	原田干三 訳編, 産業図書 発行	A5冊子1	
1238	「新制 材料力学」	昭和34年8月31日	太田友弥 著, 山海堂 発行	A5冊子1	
1239	「鋳業工学」	昭和11年3月7日	吉川岩喜 ほか6名 著, 修教社書院 発行	A5冊子1	初版昭和11年1月21日
1240	「材料強度学」	昭和32年6月30日	横堀武夫 著, 技報堂 発行	A5冊子1	初版昭和30年10月5日
1241	「舵と旋回」	昭和46年2月8日	志波久光 著, 成山堂書店 発行	A5冊子1	函入
1242	「船の常識」	昭和32年5月5日	山口増人 著, 海文堂 発行	A5冊子1	初版昭和25年6月25日
1243	「構造及艤装 3」	昭和22年2月20日	実業教育振興中央会 著, 実業教科書 発行	B6冊子1	
1244	「原動機 2」	昭和22年1月6日	実業教育振興中央会 著, 実業教科書 発行	B6冊子1	
1245	「初等船舶算法」	昭和23年8月15日	高木淳 著, 天然社 発行	A5冊子1	
1246	「吉識雅夫先生還暦退官記念 船体構造強度要覧」	昭和45年12月20日	秋田好雄 ほか12名 著, 吉識雅夫先生還暦退官記念事業会 発行	A5変冊子1	函入
1247	「中小型鋼船設計法基準(基本計画)」	昭和42年3月	日本造船工業会 発行	A5冊子1	
1248	「中小型鋼船造船設備基準」	昭和45年3月	(日本造船工業会 発行)	A5冊子1	
1249	「内航タンカー安全必携(新訂版)」	昭和47年8月18日	西本尹 著, 成山堂 発行	A5冊子1	
1250	「弾性・塑性論」	昭和49年8月15日	H.H.ベズーホッフ 著, 佐藤常三 訳, 現代工学社 発行	A5冊子1	初版昭和31年12月15日
1251	「造船艤装(第五巻) 仕上工作法」	昭和37年5月25日	造船協会鋼船工作法研究委員会 編, 海文堂 発行	A5冊子2	
1252	「航海士必携(改訂版)」	昭和22年11月25日	神戸高等商船学校航海学部 編, 天然社 発行	A5冊子1	初版昭和21年6月20日
1253	「THE PLATES AND DIAGRAMS FOR NAVIGATION CLASS」	昭和19年5月25日	神戸高等商船学校 編, 海事教育振興会 発行	B5冊子1	初版昭和10年5月30日
1254	「社団法人 日本溶接協会 溶接工検定委員会20年史」	昭和45年7月1日	社団法人 日本溶接協会 溶接工検定委員会 編, 発行	B5冊子1	
1255	「JIS Z3811によるアルミニウム溶接技術検定受験の手引き(第2回改訂版)」	昭和43年9月16日	軽金属溶接技術会	A5冊子1	
1256	「溶接規格要覧」	昭和36年6月30日	社団法人 日本溶接協会 規格委員会 編, 溶接ニュース出版局 発行	A5冊子1	
1257	「海上自衛隊 自衛艦と航空機ハンドブック 1965年版」	昭和40年4月15日	開明堂編集部 編, 開明堂 発行	A6冊子1	

番号	件名	作成年月日	作成(発信→受信)	形態	備考
1258	「SCIENTIFIC AND TECHNICAL PAPERS 横田成年論文集」	昭和29年1月	横田成年博士記念事業委員会 編	B5冊子1	
1259	「新海上衝突予防法」	昭和28年9月10日	藤崎道好 著, 白泉社 発行	A5冊子1	
1260	「艤装と船用品」	昭和22年11月20日	関川武 著, 天然社 発行	B6冊子1	
1261	「航海計器の実用と理論(上巻) 第1編 磁気羅針儀」	昭和23年7月15日	波多野浩 著, 天然社 発行	A5冊子1	
1262	「舶用焼玉機関」	昭和23年5月15日	中谷勝紀 著, 天然社 発行	A5冊子1	
1263	「舶用機関工学」	昭和20年4月30日	小林俊次郎 著, 誠文堂新光社 発行	A5冊子1	初版昭和12年9月15日
1264	「THE DYNAMICAL THEORY OF SOUND SECOND EDITION」	大正14年	HORACE LAMB 著, EDWARD ARNOLD & CO. 発行	A5変冊子1	
1265	「光弾性実験法」	昭和32年8月10日	辻二郎・河田幸三 著, 理研計器 発行	A5冊子1	
1266	「弾性実験法」	昭和8年10月16日	辻二郎 著, 南條初五郎 編, 共立社 発行	A5冊子1	
1267	「船体構造作図の棗」	昭和4年10月25日	野村省吾 著・発行	A5冊子1	裏表紙外れ
1268	「溶接作業マニュアル」	昭和44年12月31日	手塚敬三 監修, 妹島五彦 ほか3名 著, 山海堂 発行	B6冊子1	函入, 初版昭和44年11月20日
1269	「溶接棒の研究 No.11 昭和44年度 昭和45年度 昭和46年度 研究経過報告」		社団法人 日本溶接協会 溶接棒部会技術委員会	B5冊子1	
1270	「溶接学会第20回講習会テキスト 溶接構造物の強度と破壊」		社団法人 溶接学会	B5冊子1	
1271	「現場に役立つ薄板溶接生産技術講習会テキスト」		工業技術院 監修, 財団法人 日本輸出雑貨センター・社団法人 日本溶接協会 編	B5冊子1	
1272	「財団法人 日本輸出雑貨センター 生産技術講習会資料 アーク溶接(手)による技術習得方法」		工業技術院 機械試験所 石山菊三	B5冊子1	
1273	「財団法人 日本輸出雑貨センター 生産技術講習会資料 輸出金属製品溶接技術 溶接作業のやさしい機械化」	昭和38年11月	中村孝 著	B5冊子1	
1274	「財団法人 日本輸出雑貨センター 生産技術講習会資料 輸出金属製品溶接技術」		社団法人 日本溶接協会 理事 手塚敬三	B5冊子1	
1275	「溶着金属の亀裂伝播について」	昭和35年9月	浜本博登 著	B5冊子1	「溶接学会中国支部会報第4号」抜刷
1276	「溶接学会中国支部会報 第4号」	昭和35年9月	溶接学会中国支部	B5冊子1	
1277	「INTEGRATING WITH THE CORADI INTEGRAPH INVENTED BY ABDANK-ABAKANOWICZ PRACTICAL TECHNICAL PROBLEMS WITH EXAMPLES OF SOLUTIONS」		H.SCHILT 著, G.CORADI, ZURICH, SWITZERLAND 発行	A4冊子1	
1278	「造船工業における労働集約性脱皮による高能率化の研究 —ROTAS SYSTEMの開発—」	昭和51年12月21日	前田和雄 著	A4冊子1	
1279	「渡辺恵弘先生遺稿集」	昭和47年12月20日	故渡辺恵弘先生遺稿集出版事業会 編・発行	B5冊子1	函入, 昭和48年1月付のB5挨拶文1枚挟込
1280	「塗装便覧」	昭和32年11月15日	児島修二 ほか4名 編, 産業図書 発行	B5冊子1	函入
1281	「TEXT-BOOK ON PRACTICAL SOLID OR DESCRIPTIVE GEOMETRY PART I」	大正15年	DAVID ALLAN LOW 著, LONGMANS, GREEN AND CO. LTD. 発行	B6冊子1	
1282	「TEXT-BOOK ON PRACTICAL SOLID OR DESCRIPTIVE GEOMETRY PART II」	大正14年	DAVID ALLAN LOW 著, LONGMANS, GREEN AND CO. LTD. 発行	B6冊子1	
1283	「鋼船工作法基準 第十三章 瓦斯」	昭和28年10月5日	造船協会鋼船工作法研究委員会 編, 造船協会 発行	A5冊子1	
1284	「基本造船学(下巻)」	昭和18年11月20日	米国造船造機学会 編, 菅四郎 訳, 天然社 発行	A5冊子1	
1285	「Recent Advancement of CO <sub>2</sub> -O <sub>2</sub> ARC WELDING PROCESS in Japan」	昭和37年4月	H.SEKIGUCHI 著, Nagoya Industrial Science Research Institute 発行	B5冊子2	2冊の内1冊に昭和37年5月5日付のA5挨拶文1枚とポストカード1枚挟込
1286	「改正 船舶安全法及び同施工規則 昭和38年10月1日現在」	昭和38年10月28日	運輸省船舶局 監修, 成山堂 発行	A5冊子1	
1287	「溶接学会誌 46」	昭和52年	社団法人 溶接学会 発行	B5冊子1	
1288	「溶接学会誌 第22巻 第10、11、12号」	昭和28年12月1日	社団法人 溶接学会 発行	B5冊子1	

### 3. 書籍等

番号	件名	作成年月日	作成(発信→受信)	形態	備考
1289	「溶接学会誌 第22巻 第9号」	昭和28年9月1日	社団法人 溶接学会 発行	B5冊子1	
1290	「小型鋼船構造規準 昭和二十七年四月」	昭和27年5月1日	磯部藤平 編, 関西造船協会 小型貨客船構造規準作成委員会 発行	B5冊子1	
1291	「船舶職員法及び関係法令」	昭和26年11月25日	岡田一雄 編, 海文堂 発行	A5冊子1	
1292	「(昭和32年版鋼船規則参考資料) 板付形鋼の断面係数及び断面二次モーメント」	昭和32年	日本海事協会	B5冊子1	
1293	「RESEARCH AND APPLICATION OF WELDING IN JAPAN (UP TO 1958)」	昭和34年	THE JAPAN WELDING SOCIETY	A4変冊子1	
1294	「RULES FOR BUILDING AND CLASSING STEEL VESSELS, 1971. NOTICE NO.2」	昭和47年5月9日	American Bureau of Shipping	A5変冊子1	
1295	「RULES FOR BUILDING AND CLASSING STEEL VESSELS, 1971, NOTICE NO.1」	昭和46年9月10日	American Bureau of Shipping	A5変冊子1	
1296	「弾性学」		樋口盛一 著, 岩波書店 発行	A5函1	函のみ
1297	「船用機械工学 (第1分冊)」		西島清一郎 編著, 海文堂 発行	A4函1	函の内にビニール製ブックカバーと封筒(巻末付図・付表)あり, 中身欠
1298	「造船用語辞典」	昭和32年1月5日	山口増人 編, 海文堂 発行	B6冊子1	初版昭和28年11月5日
1299	「沸騰水型原子力油槽船 60,000LTDW, 28,000SHP」	昭和34年6月19日	日東商船原子力油槽船研究会 発行	A4冊子1	
1300	「弾性学 応用力学講座 9」	昭和34年8月1日	鶴戸口英善 著, 共立出版 発行	A5冊子1	初版昭和32年9月10日
1301	「大学演習 材料力学 改訂版」	昭和39年10月5日	大学演習材料力学編集会 編, 裳華房 発行	A5冊子1	初版昭和39年3月10日
1302	「VIBRATION PROBLEMS IN ENGINEERING」	昭和4年9月	TIMOSHENKO 著, D.VAN NOSTRAND COMPANY 発行	A5変冊子1	初版昭和3年10月
1303	「基本造船学 (上巻)」	昭和19年9月20日	米国造船造機学会 編, 上野喜一郎 訳, 天然社 発行	A5冊子1	初版昭和18年11月20日
1304	「木船現図法」、「木船現図法附図」	昭和32年2月1日	橋本徳寿 著, 海文堂 発行	A5冊子2	初版昭和29年7月15日
1305	「THE DESIGN AND CONSTRUCTION OF SHIPS VOL. II」	大正12年	SIR J.H.BILES 著, C.CRIFFIN & Co.LTD. 発行	A5変冊子1	
1306	「THE DESIGN AND CONSTRUCTION OF SHIPS VOL. I」	大正12年	SIR J.H.BILES 著, C.CRIFFIN & Co.LTD. 発行	A5変冊子1	
1307	「タンカー艀装と運航実務」	昭和27年10月5日	竹田盛和 著, 海文堂 発行	A5冊子1	
1308	「船舶の速力と馬力の概算法」	昭和33年9月18日	橋本徳寿 著, 成山堂書店 発行	A5冊子1	函入
1309	「1948年の海上に於ける人命の安全のための条約」			B5冊子1	1冊は日本文, もう1冊は英文と仏文を紐で製本
1310	「溶接棒の研究 No.2 (昭和32年度研究経過報告)」	昭和33年9月	社団法人 日本溶接協会 溶接棒部会技術委員会	B5冊子1	
1311	「技指-1 溶接技術 (アーク溶接)」	昭和33年2月	中小企業庁	B5冊子1	
1312	「第4回 溶接工学夏季大学教材」	昭和30年7月	溶接学会関西支部	B5冊子1	
1313	「溶接棒の研究 No.4 (昭和34年度研究経過報告)」	昭和35年12月	社団法人 日本溶接協会 溶接棒部会技術委員会	B5冊子1	
1314	「溶接棒の研究 No.3 (昭和33年度経過報告)」	昭和34年9月	社団法人 日本溶接協会 溶接棒部会技術委員会	B5冊子1	
1315	「溶接棒の研究 No.5 (昭和35年度研究経過報告)」	昭和36年12月	社団法人 日本溶接協会 溶接棒部会技術委員会	B5冊子1	
1316	「溶接棒の研究 No.6 (昭和37年度研究経過報告)」	昭和38年10月	社団法人 日本溶接協会 溶接棒部会技術委員会	B5冊子1	
1317	「錨鎖の伸出量について」		浜本博登 著	B5冊子4	
1318	「広島工業誌 52号」	昭和33年5月17日	矢野保雄 発行	A5冊子1	
1319	「-溶接学会第7回講習会テキスト-最新の溶接法と問題点」	昭和40年3月	社団法人 溶接学会	B5冊子1	
1320	「第9回溶接シンポジウムテキストとき: 昭和40年2月9日(火) ところ: 日本化学会講堂」	(昭和40年)	日本学術会議溶接研究連絡委員会・社団法人 溶接学会・日本溶接会議(J.I.W)	B5冊子1	
1321	「西部造船会々報 第43号」	昭和47年3月31日	西部造船会 発行	B5冊子1	
1322	「西部造船会々報 第44号」	昭和47年8月31日	西部造船会 発行	B5冊子1	
1323	「西部造船会々報 第41号」	昭和46年3月31日	西部造船会 発行	B5冊子1	
1324	「西部造船会々報 第42号」	昭和46年7月31日	西部造船会 発行	B5冊子1	
1325	「西部造船会々報 第38号」	昭和44年7月30日	西部造船会 発行	B5冊子1	

番号	件名	作成年月日	作成(発信→受信)	形態	備考
1326	「西部造船会々報 第39号 名誉員渡辺恵弘博士追悼並に西部造船会創立20周年記念号」	昭和45年4月31日	西部造船会 発行	B5冊子1	
1327	「西部造船会々報 第40号」	昭和45年7月31日	西部造船会 発行	B5冊子1	
1328	「西部造船会々報 第35号」	昭和43年2月29日	西部造船会 発行	B5冊子1	
1329	「西部造船会々報 第36号」	昭和43年7月29日	西部造船会 発行	B5冊子1	
1330	「西部造船会々報 第37号」	昭和44年2月28日	西部造船会 発行	B5冊子1	
1331	「西部造船会々報 第33号」	昭和42年2月28日	西部造船会 発行	B5冊子1	
1332	「西部造船会々報 第34号」	昭和42年7月30日	西部造船会 発行	B5冊子1	
1333	「西部造船会会報 第2号」	昭和25年9月	西部造船会 発行	B5変冊子2	
1334	「西部造船会会報 第3号」	昭和26年9月	西部造船会 発行	B5変冊子1	
1335	「西部造船会々報 第32号」	昭和41年7月28日	西部造船会 発行	B5冊子1	
1336	「西部造船会々報 第31号」	昭和41年2月28日	西部造船会 発行	B5冊子1	
1337	「西部造船会々報 第29号」	昭和40年2月25日	西部造船会 発行	B5冊子1	
1338	「西部造船会々報 第30号」	昭和40年8月31日	西部造船会 発行	B5冊子1	
1339	「西部造船会々報 第26号」	昭和38年9月1日	西部造船会 発行	B5冊子1	
1340	「西部造船会々報 第27号」	昭和39年3月30日	西部造船会 発行	B5冊子1	
1341	「西部造船会々報 第28号」	昭和39年9月30日	西部造船会 発行	B5冊子1	
1342	「西部造船会々報 第24号」	昭和37年9月20日	西部造船会 発行	B5冊子1	
1343	「西部造船会々報 第25号」	昭和38年3月30日	西部造船会 発行	B5冊子1	
1344	「西部造船会々報 第23号」	昭和37年3月30日	西部造船会 発行	B5冊子1	
1345	「西部造船会々報 第19号」	昭和35年3月25日	西部造船会 発行	B5冊子1	
1346	「西部造船会々報 第20号」	昭和35年11月5日	西部造船会 発行	B5冊子1	
1347	「西部造船会々報 第21号」	昭和36年3月30日	西部造船会 発行	B5冊子1	
1348	「西部造船会々報 第22号」	昭和36年10月30日	西部造船会 発行	B5冊子1	
1349	「西部造船会々報 第14号」	昭和32年10月	西部造船会 発行	B5冊子1	
1350	「西部造船会々報 第15号」	昭和33年6月5日	西部造船会 発行	B5冊子1	
1351	「西部造船会々報 第16号」	昭和33年10月25日	西部造船会 発行	B5冊子1	
1352	「西部造船会々報 第17号」	昭和34年3月25日	西部造船会 発行	B5冊子1	
1353	「西部造船会々報 第18号」	昭和34年8月25日	西部造船会 発行	B5冊子1	
1354	「西部造船会会報 第2号」	昭和25年9月	西部造船会 発行	B5変冊子1	間部信保「多度津丸油タンク内の損傷に就て」記事の抜粋
1355	「西部造船会々報 第10号」	昭和30年10月	西部造船会 発行	B5冊子1	
1356	「西部造船会々報 第13号」	昭和32年2月	西部造船会 発行	B5冊子1	
1357	「西部造船会会報 第9号」	昭和30年5月	西部造船会 発行	B5冊子1	
1358	「西部造船会会報 第7号」	昭和28年12月	西部造船会 発行	B5冊子1	
1359	「西部造船会会報 第8号」	昭和29年8月	西部造船会 発行	B5冊子1	
1360	「西部造船会会報 第4号」	昭和27年6月	西部造船会 発行	B5冊子1	
1361	「西部造船会会報 第5号」	昭和28年2月	西部造船会 発行	B5冊子1	
1362	「西部造船会々報 第12号」	昭和31年11月	西部造船会 発行	B5冊子1	
1363	「西部造船会会報 第1号」	昭和24年12月25日	上野敬三 編, 西部造船会 発行	B5冊子1	
1364	「西部造船会会報 第6号」	昭和28年7月	西部造船会 発行	B5冊子1	
1365	「西部造船会々報 第11号」	昭和31年6月	西部造船会 発行	B5冊子1	
1366	「溶接学会誌 34」	昭和40年	社団法人 溶接学会 発行	B5冊子1	
1367	「溶接技術 17」	昭和44年	産報 発行	B5冊子1	
1368	「溶接技術 11」	昭和38年	産報 発行	B5冊子1	
1369	「溶接技術 6」	昭和33年	社団法人 日本溶接協会 編, 溶接ニュース出版局 発行	B5冊子1	
1370	「溶接技術 19 No1~6」	昭和46年	産報 発行	A4冊子1	
1371	「Structural Design of Warships」	昭和15年	WILLIAM HOVGAARD 著, THE UNITED STATES NAVAL INSTITUTE 発行	B5冊子1	英文
1372	「溶接学会誌 27」	昭和33年	社団法人 溶接学会 発行	B5冊子1	
1373	「溶接技術 19 No7~12」	昭和46年	産報 発行	A4冊子1	
1374	「溶接技術 14」	昭和41年	産報 発行	B5冊子1	
1375	「溶接技術 15」	昭和42年	産報 発行	B5冊子1	
1376	「溶接学会誌 28」	昭和34年	社団法人 溶接学会 発行	B5冊子1	
1377	「溶接学会誌 41」	昭和47年	社団法人 溶接学会 発行	B5冊子1	
1378	「PRINCIPLES OF NAVAL ARCHITECTURE VOLUME I」	昭和14年	a Group of Authorities HENRY E. ROSSELL 編, THE SOCIETY OF NAVAL ARCHITECTS AND MARINE ENGINEERS 発行	B5冊子1	カバー破損

### 3. 書籍等

番号	件名	作成年月日	作成(発信→受信)	形態	備考
1379	「PRINCIPLES OF NAVAL ARCHITECTURE VOLUME II」	昭和14年	a Group of Authorities HENRY E. ROSSELL 編, THE SOCIETY OF NAVAL ARCHITECTS AND MARINE ENGINEERS 発行	B5冊子1	カバー破損
1380	「モーターボート競走法の交付金による財団法人船舶振興会の補助事業カーフェリー建造のための技術指導書」	昭和51年5月	社団法人 日本中型造船工業会	B5冊子1	
1381	「モーターボート競走法の交付金による財団法人船舶振興会の補助事業カーフェリー建造マニュアル」	昭和50年3月	社団法人 日本中型造船工業会	B5冊子1	
1382	「圧力容器・ペンストック 一溶接施工(II)一 溶接技術講座 8」	昭和38年7月30日	高木乙麿・池上輝夫 著, 日刊工業新聞社 発行	A5冊子1	函入
1383	「施工法一般 一溶接施工(I)一 溶接技術講座 7」	昭和38年9月25日	大谷碧・吉田俊夫 著, 日刊工業新聞社 発行	A5冊子1	函入
1384	「溶接設計 溶接技術講座 6」	昭和38年8月25日	吉田兎四郎・上野誠 著, 日刊工業新聞社 発行	A5冊子1	函入
1385	「非鉄金属・非金属の溶接 溶接技術講座 5」	昭和38年10月31日	岡田実 ほか3名 著, 日刊工業新聞社 発行	A5冊子1	函入
1386	「鉄鋼の溶接 溶接技術講座 4」	昭和38年11月30日	中根金作 ほか3名 著, 日刊工業新聞社 発行	A5冊子1	函入
1387	「溶接冶金 溶接技術講座 3」	昭和38年6月15日	鈴木春義 ほか4名 著, 日刊工業新聞社 発行	A5冊子1	函入
1388	「圧接とろう接 溶接技術講座 2」	昭和39年2月29日	中村孝 ほか3名 著, 日刊工業新聞社 発行	A5冊子1	函入
1389	「融接と融断 溶接技術講座 1」	昭和38年5月25日	稲垣道夫 ほか2名 著, 日刊工業新聞社 発行	A5冊子1	函入
1390	SAS 改訂新版 ステンレス鋼溶接施工基準	昭和54年4月1日	佐藤博 編, ステンレス協会 発行	A5冊子1	函入
1391	「溶接叢書 第3巻 溶接設計」	昭和50年6月20日	渡辺正紀・中村孝 著, 産報 発行	A5冊子1	函入, 初版昭和30年12月20日
1392	「熊峯暮色 芦畔帰牛」	昭和54年4月20日	中村敏之 著, 発行	A5冊子1	
1393	「全機全托 伊藤是の想いで」	昭和55年12月	伊藤隆明・伊藤信明 発行	A5冊子1	
1394	「広船船殻設計史」	昭和56年3月21日	岩西哲郎 ほか数十名 著	A5冊子1	昭和56年3月付の小冊子「広船の歩み 私は船台!!」挟込
1395	「60TH ANNIVERSARY SERIES VOLUME 10」	昭和40年	Masao YOSHIKI ほか2名 著, The Society of Naval Architects of Japan 発行	B5冊子1	初版昭和32年
1396	「PROCEEDINGS OF IAHR-SYMPIOSIUM, SENDAI, JAPAN, 1962 COMPTES RENDUS DE L'AIRH-SYMPIOSIUM, SENDAI, JAPON, 1962 CAVITATION AND HYDRAULIC MACHINERY LA CAVITATION ET LES MACHINES HYDRAULIQUES」	昭和38年	F.NUMACHI 編	B5冊子1	
1397	「溶接工学講座 I」	昭和11年6月20日	福田烈 ほか2名 著, 太陽閣 発行	A5函1	冊子3冊, 函の中に「溶接工学月報 第1号」あり
1398	「溶接工学講座 III」	昭和11年9月15日	柴田晴彦 ほか2名 著, 太陽閣 発行	A5函1	冊子3冊
1399	「溶接工学講座 IV」	昭和12年2月20日	氏家竹次郎 ほか4名 著, 太陽閣 発行	A5函1	冊子4冊
1400	「溶接工学講座 VI」	昭和12年9月15日	岡本尠 ほか3名 著, 太陽閣 発行	A5函1	冊子3冊
1401	「溶接工学講座 II」	昭和11年7月25日	岡本尠・福田烈 著, 太陽閣 発行	A5函1	冊子2冊, 函の中に「溶接工学月報 第2号」あり
1402	「熱力学 応用力学講座 19」	昭和34年8月1日	原島鮮 著, 共立出版 発行	A5冊子1	初版昭和31年12月15日
1403	「空力弾性学 応用力学講座 18」	昭和34年8月1日	鷺津久一郎 著, 共立出版 発行	A5冊子1	初版昭和32年11月15日
1404	「日海防シリーズ① VLCCに関する十章 一操船のポイント」	昭和52年3月28日	VLCC研究会 著, 成山堂書店 発行	B5冊子1	
1405	「挫屈理論」	昭和16年7月30日	ディモシエンコ 著, 仲威雄 ほか2名 訳, コロナ社 発行	B5冊子1	初版昭和14年2月20日
1406	「鋼船規則集」	昭和51年7月1日	財団法人 日本海事協会 発行	B5冊子1	
1407	「DIFFERENTIAL AND INTEGRAL CALCULUS (REVISED EDITION)」		WILLIAM ANTHONY GRANVILLE 著, GINN AND COMPANY 発行	A5変冊子1	
1408	「造船協会会報 第68-69号」	昭和16年	造船協会 発行	B5冊子1	
1409	「Ship Hull Vibration」	昭和36年	F.H.TODD 著, EDWARD ARNOLD (PUBLISHERS) LTD 発行	A5変冊子1	

番号	件名	作成年月日	作成(発信→受信)	形態	備考
1410	「天皇論 日本国々の道」	昭和49年4月29日	戸松慶議 著, 総合文化協会 発行	B6冊子1	
1411	「アーク溶接棒による溶接部の標準写真(付)溶接技術検定試験の判定基準写真」	昭和42年6月1日	社団法人 日本溶接協会 溶接棒部会技術委員会 編, 産報 発行	B5冊子1	
1412	「国際溶接学会第22回年次大会特別講演 溶接の物理学的ならびに冶金学的な姿 Professor J.Cabelka」	昭和44年	斎藤彝人 訳, 国際溶接学会第22回年次大会組織委員会	B5冊子1	
1413	「Current Situation of Welding Materials in Japan Document Number of IIW. II-495-69」	昭和44年	Document Sub-commission, Commission No.2 of Japan Institute of Welding	B5冊子1	
1414	「Welding in Japan」	昭和44年	Japanese Organizing Committee 1969 Annual Assembly of the International Institute of Welding	A4変冊子1	
1415	「INTERNATIONAL INSTITUTE OF WELDING 1948 1958 INSTITUT INTERNATIONAL DE LA SOUDURE」		INTERNATIONAL INSTITUTE OF WELDING	B5冊子1	
1416	「溶接工技量資格検定 曲げ試験および破面試験判定基準 写真集」	昭和47年6月20日	(株)日本溶接協会 溶接工検定委員会 編, 産報 発行	B5冊子3	函入,1冊は函欠
1417	「写真溶接 電弧溶接法」	昭和30年10月5日	横田清義 編, 日本文化興業 発行	B5冊子1	
1418	「改訂増補 万能数値表」	昭和43年4月30日	マルセル・ボル 著, 弥永昌吉・矢野健太郎 訳, 白水社 発行	A5冊子1	初版昭和27年2月25日
1419	「技術者のための力学入門」	昭和37年7月15日	井上安之助 ほか2名 著, 産業図書 発行	A5冊子1	函入
1420	「改訂増補 構造力学」	昭和38年11月10日	近藤泰夫 ほか3名 著, 国民科学社 発行	A5冊子1	函入
1421	「航海力学とその応用」	昭和35年3月18日	高城勇造 著, 成山堂書店 発行	A5冊子1	函入
1422	「60TH ANNIVERSARY SERIES VOL. 3」	昭和32年	Gen-ichiro AKASHI ほか8名 著, The Society of Naval Architects of Japan 発行	B5冊子1	
1423	「60TH ANNIVERSARY SERIES VOL. 2」	昭和32年	Takao INUI ほか7名 著, The Society of Naval Architects of Japan 発行	B5冊子1	
1424	「60TH ANNIVERSARY SERIES VOL. 1」	昭和32年	Hiroshi KIHARA ほか2名 著, The Society of Naval Architects of Japan 発行	B5冊子1	
1425	「60TH ANNIVERSARY SERIES VOL. 6」	昭和35年	Shin TAYAMA ほか8名 著, The Society of Naval Architects of Japan 発行	B5冊子1	
1426	「60TH ANNIVERSARY SERIES VOL. 5」	昭和36年	Hiroshi KIHARA ほか21名 著, The Society of Naval Architects of Japan 発行	B5冊子1	
1427	「60TH ANNIVERSARY SERIES VOL. 4」	昭和34年	Hiroshi KIHARA ほか3名 著, The Society of Naval Architects of Japan 発行	B5冊子1	
1428	「舶用機関の振動と破壊」	昭和36年9月18日	中野正 著, 成山堂書店 発行	A5冊子1	初版昭和33年1月8日
1429	「材料力学および演習」	昭和34年10月15日	福田秀雄 著, 広川書店 発行	A5冊子1	メモ書挟込
1430	「60TH ANNIVERSARY SERIES VOL. 7」	昭和35年	Hiroshi KIHARA ほか3名 著, The Society of Naval Architects of Japan 発行	B5冊子1	
1431	「60TH ANNIVERSARY SERIES VOL. 8」	昭和38年	Tatsuro HANAOKA ほか10名 著, The Society of Naval Architects of Japan 発行	B5冊子1	函入,函に「Seakeeping Qualities Vol.8」の書込あり
1432	「60TH ANNIVERSARY SERIES VOL. 9」	昭和39年	Kazuo TERAZAWA ほか3名 著, The Society of Naval Architects of Japan 発行	B5冊子1	函入,函に「9 STRENGTH OF SHIP 強度」の書込あり

### 3. 書籍等

番号	件名	作成年月日	作成(発信→受信)	形態	備考
1433	「60TH ANNIVERSARY SERIES VOL. 11」	昭和41年	Shosuke INOUE (ほか5名著, The Society of Naval Architects of Japan 発行)	B5冊子1	
1434	「60TH ANNIVERSARY SERIES VOL. 12」	昭和41年	Masao YOSHIKI (ほか3名著, The Society of Naval Architects of Japan 発行)	B5冊子1	
1435	「60TH ANNIVERSARY SERIES VOL. 13」	昭和42年	Masao YOSHIKI・Takeshi KANAZAWA 著, The Society of Naval Architects of Japan 発行	B5冊子1	
1436	「三菱石油水島製油所タンク事故原因調査 報告書および付属書復刻版」		社団法人 日本高圧力技術協会 発行	A4冊子1	
1437	「石川島播磨技報1970年度記念号 原子力第一船“むつ” 船体部計画・建造の記録」	昭和45年8月15日	石川島播磨重工業 編・発行	A4冊子1	函入
1438	「原子力船」	昭和33年12月10日	田中兵衛 著, 天然社 発行	B5冊子1	
1439	「SELECTED PAPERS FROM THE JOURNAL OF THE SOCIETY OF NAVAL ARCHITECTS OF JAPAN VOL.2」	昭和44年	THE SOCIETY OF NAVAL ARCHITECTS OF JAPAN 発行	B5冊子1	
1440	「船体各部名称図」	昭和34年12月20日	池田勝 著, 海文堂 発行	B5冊子1	
1441	「SELECTED PAPERS FROM THE JOURNAL OF THE SOCIETY OF NAVAL ARCHITECTS OF JAPAN VOL.3」	昭和44年	THE SOCIETY OF NAVAL ARCHITECTS OF JAPAN 発行	B5冊子1	
1442	「溶接界 16」	昭和39年	小林積造 編, 日本印刷出版 発行	B5冊子1	
1443	「溶接界 15」	昭和38年	小林積造 編, 日本印刷出版 発行	B5冊子1	
1444	「溶接界 10」	昭和33年	小林積造 編, 日本印刷出版 発行	B5冊子1	
1445	「高圧力 7」	昭和44年	社団法人 日本高圧力技術協会 編, 産報 発行	B5冊子1	
1446	「高圧力 5」	昭和42年	社団法人 日本高圧力技術協会 編, 産報 発行	B5冊子1	
1447	「高圧力 6」	昭和43年	社団法人 日本高圧力技術協会 編, 産報 発行	B5冊子1	
1448	「高圧力 3」	昭和40年	社団法人 日本高圧力技術協会 編, 産報 発行	B5冊子1	
1449	「高圧力 4」	昭和41年	社団法人 日本高圧力技術協会 編, 産報 発行	B5冊子1	
1450	「日本海事年鑑 1972年版」	昭和46年10月10日	日本海事新聞社 発行	B5冊子1	
1451	「圧力技術 10」	昭和47年	社団法人 日本高圧力技術協会 編, 産報 発行	B5冊子1	
1452	「溶接界 19」	昭和42年	小林積造 編, 日本印刷出版 発行	B5冊子1	
1453	「溶接界 18」	昭和41年	小林積造 編, 日本印刷出版 発行	B5冊子1	
1454	「溶接界 17」	昭和40年	小林積造 編, 日本印刷出版 発行	B5冊子1	
1455	「高圧力 8」	昭和45年	社団法人 日本高圧力技術協会 編, 産報 発行	B5冊子1	
1456	「高圧力 9」	昭和46年	社団法人 日本高圧力技術協会 編, 産報 発行	B5冊子1	
1457	「RULES for Building and Classing STEEL VESSELS 1971」	昭和46年	American Bureau of Shipping	B5変冊子1	
1458	「With Compliments Vibration Measurements of 32,000 ton D.W. Super Tanker」	昭和30年	Toshimasa OKABE (ほか2名 著)	B5冊子1	
1459	「造波抵抗シンポジウム 船舶振興会々議室・東京芝罘平町 昭和40年6月1,2日」	昭和40年	造船協会	B5冊子1	
1460	「専用船の構造強度上の問題点に関するシンポジウム 三菱重工神戸造船所・和田クラブ 昭和42年9月29日」	昭和42年	造船協会	B5冊子1	
1461	「塑性設計シンポジウム 日本化学会講堂・東京駿河台 昭和41年7月5日」	昭和41年	造船協会	B5冊子1	
1462	「脆性破壊と疲労に関するシンポジウム 日立造船株式会社日立造船会館・大阪 昭和41年9月13,14日」	昭和41年	造船協会	B5冊子1	

番号	件名	作成年月日	作成(発信→受信)	形態	備考
1463	「船体軽量設計に関するシンポジウム 船舶振興会会議室・東京芝罘平町 昭和40年10月25,26日」	昭和40年	造船協会	B5冊子3	
1464	「RULES FOR BUILDING AND CLASSING STEEL VESSELS FOR SERVICE ON RIVERS AND INTRACOASTAL WATERWAYS 1963」	昭和38年	American Bureau of Shipping	B5変冊子1	
1465	「RULES FOR BUILDING AND CLASSING STEEL VESSELS 1965 METRIC UNITS」	昭和40年	American Bureau of Shipping	B5変冊子1	
1466	「造船要覧 1960」	昭和35年3月30日	運輸省船舶局 監修,海運新聞社 発行	B5冊子1	
1467	「船級登録および構造検査等に関する規則集」	昭和47年7月5日	財団法人 日本海事協会 発行	B5冊子1	
1468	「船舶工学便覧(第4分冊)」	昭和27年7月20日	造船協会 編,コロナ社 発行	A5冊子1	
1469	「船舶工学便覧(第3分冊)」	昭和25年11月30日	造船協会 編,コロナ社 発行	A5冊子2	1冊は初版,もう1冊は三版
1470	「船舶工学便覧(第1分冊)」	昭和28年6月30日	造船協会 編,コロナ社 発行	A5冊子1	
1471	「船舶工学便覧(第2分冊)」	昭和28年9月15日	造船協会 編,コロナ社 発行	A5冊子1	初版昭和25年4月30日
1472	「建築・橋梁・船舶 一溶接施工(Ⅲ)一 溶接技術講座 9」	昭和39年1月30日	鶴田明 ほか5名 著,日刊工業新聞社 発行	A5冊子1	
1473	「機械・原子炉 一溶接施工(Ⅳ)一 溶接技術講座 10」	昭和38年4月25日	稲垣道夫 ほか2名 著,日刊工業新聞社 発行	A5冊子1	
1474	「車両・電機製品 一溶接施工(Ⅴ)一 溶接技術講座 11」	昭和38年12月30日	小林徳夫 ほか4名 著,日刊工業新聞社 発行	A5冊子1	
1475	「溶接部の試験と検査 溶接技術講座 12」	昭和39年6月5日	鈴木春義・石井勇五郎 著,日刊工業新聞社 発行	A5冊子1	函入
1476	「溶接学会誌 創立50周年記念号 第45巻 第9号」	昭和51年9月5日	社団法人 溶接学会 発行	B5冊子1	
1477	「船舶工学便覧 索引」	昭和29年8月30日	造船協会 編,コロナ社 発行	A5冊子1	
1478	「BUREAU OF SHIPS RELIABILITY AND MAINTAINABILITY TRAINING HANDBOOK」	昭和39年12月11日	GENERAL DYNAMICS/ASTRONAUTICS	A4変冊子1	
1479	「レオロジー 応用力学講座 13」	昭和34年8月1日	森芳郎 著,共立出版 発行	A5冊子1	初版昭和32年12月30日
1480	「土質力学 応用力学講座 12」	昭和34年8月1日	最上武雄 ほか2名 著,共立出版 発行	A5冊子1	初版昭和32年7月30日
1481	「塑性力学 応用力学講座 11」	昭和34年8月1日	吉村慶丸 著,共立出版 発行	A5冊子1	初版昭和32年5月30日
1482	「弾性安定論 応用力学講座 10」	昭和34年8月1日	吉識雅夫・山本善之 著,共立出版 発行	A5冊子1	初版昭和33年11月25日
1483	「船体運動力学 応用力学講座 17」	昭和34年8月1日	元良誠三 著,共立出版 発行	A5冊子1	初版昭和32年2月10日
1484	「非線型振動論 応用力学講座 8」	昭和34年8月1日	樺木義一 著,共立出版 発行	A5冊子1	初版昭和33年3月20日
1485	「振動学 応用力学講座 7」	昭和34年8月1日	山本善之 著,共立出版 発行	A5冊子1	初版昭和32年2月10日
1486	「機械力学 応用力学講座 6」	昭和34年8月1日	藤井澄二 著,共立出版 発行	A5冊子1	初版昭和32年2月10日
1487	「橋梁力学 応用力学講座 5」	昭和34年8月1日	安宅勝 著,共立出版 発行	A5冊子1	初版昭和32年7月30日
1488	「建築構造力学 応用力学講座 4」	昭和34年8月1日	梅村魁・杉山英男 著,共立出版 発行	A5冊子1	初版昭和32年11月15日
1489	「一般構造力学 応用力学講座 3」	昭和34年8月1日	倉西正嗣 著,共立出版 発行	A5冊子1	初版昭和33年3月20日
1490	「材料力学 応用力学講座 2」	昭和34年8月1日	津村利光・児玉正雄 著,共立出版 発行	A5冊子1	初版昭和31年12月15日
1491	「剛体力学 応用力学講座 1」	昭和34年8月1日	山内恭彦 著,共立出版 発行	A5冊子1	初版昭和32年9月10日
1492	「船舶工学便覧(第5分冊)」	昭和26年10月20日	造船協会 編,コロナ社 発行	A5冊子1	
1493	「実験工学講座 15」	昭和9年8月18日	厚木勝基 ほか3名 著,大河内正敏 ほか2名 監修,共立社 発行	A5函1	冊子4冊
1494	「実験工学講座 14」	昭和9年6月15日	抜山四郎 ほか3名 著,大河内正敏 ほか2名 監修,共立社 発行	A5函1	冊子4冊
1495	「実験工学講座 13」	昭和9年5月10日	青木保 ほか2名 著,大河内正敏 ほか2名 監修,共立社 発行	A5函1	冊子3冊

### 3. 書籍等

番号	件名	作成年月日	作成(発信→受信)	形態	備考
1496	「実験工学講座 12」	昭和9年3月22日	石本己四雄 ほか3名 著, 大河内正敏 ほか3名 監修, 共立社 発行	A5函1	冊子4冊
1497	「造船協会雑纂 第83-89号 第93号」	昭和4年	造船協会	B5冊子1	造船協会(背表紙)誤植カ
1498	「造船協会雑纂 第73号 第75-77号 第80-81号」	昭和3年	造船協会	B5冊子1	造船協会(背表紙)誤植カ
1499	「造船協会雑纂 第166号(2)」	昭和11年3月19日	造船協会	B5冊子1	
1500	「造船協会会報 第66-67号」	昭和15年	横山一 編, 造船協会 発行	B5冊子1	
1501	「造船協会会報 第55-56号」	昭和9年	川尻政吾 編, 造船協会 発行	B5冊子1	
1502	「造船協会会報 第60-61号」	昭和12年	横山一 編, 造船協会 発行	B5冊子1	
1503	「溶接叢書 第1巻 溶接棒」	昭和30年4月5日	関口春次郎・安藤精一 著, 社団法人 日本溶接協会出版局 発行	A5冊子1	函入
1504	「北方への門」	昭和37年10月20日	山中一郎 著, 椿本チェイン製作所 発行	A5冊子1	函入
1505	「石油時代をリードする-日本石油- 企業の現代史7」	昭和37年1月1日	福本邦雄 編, フジ. インターナショナル. コンサルタント出版部 発行	B6変冊子1	
1506	「英語会話一週間 すぐ役立ち自信がつく本」	昭和38年3月31日	竹村健一 著, 講談社 発行	B6変冊子1	第1刷昭和38年2月15日
1507	「鋼索と麻索 1951年版」	昭和26年7月	帝国産業 発行	B7冊子1	
1508	「鋼索」	昭和25年12月1日	東京製綱 発行	B7冊子3	内1冊は表紙, 裏表紙欠
1509	「外国商船写真集 船舶写真文庫(1) 大型客船60隻集」	昭和30年4月5日	財団法人 舟艇協会出版部 発行	B6冊子1	
1510	「英和船舶工学術語集」	昭和7年1月25日	造船協会 編, 巖松堂書店 発行	A6変冊子1	
1511	「三十カ国の旅」	昭和33年9月1日	筒井密義 著, 西日本図書 発行	B6冊子1	
1512	「実験工学講座 4」	昭和8年7月16日	西村秀雄 ほか2名 著, 大河内正敏 ほか2名 監修, 共立社 発行	A5函1	冊子3冊
1513	「実験工学講座 2」	昭和8年5月15日	小幡重一 ほか3名 著, 大河内正敏 ほか2名 監修, 共立社 発行	A5函1	冊子4冊
1514	「独逸語新階梯 増訂第七版」	大正14年7月10日	佐久間政一 編, 南山堂書店 発行	B6冊子1	裏表紙に黒ペンで「理甲三 浜本博登」の書込あり, 初版大正5年9月25日
1515	「LEITFADEN DER DEUTSCHEN GRAMMATIK BAND I. 新選独逸文典」	昭和2年4月10日	谷口秀太郎・山口小太郎 著, 日独書院 発行	B6冊子1	初版大正2年10月30日
1516	「船舶計算 1」	昭和21年5月18日	実業教育振興中央会 著, 実業教科書 発行	B6冊子1	
1517	「船舶強弱 1」	昭和21年3月25日	実業教育振興中央会 著, 実業教科書 発行	B6冊子1	
1518	「船舶計算 2」	昭和21年6月22日	実業教育振興中央会 著, 実業教科書 発行	B6冊子1	
1519	「FATIGUE STRENGTH OF MARINE SHAFTING」	昭和36年2月24日	G.P. SMEDLEY・B.K. BATTEN 著	A5冊子1	表紙手書
1520	「A Mathieu Equation for Ships Rolling Among Waves I」	昭和24年10月6日	GEORG VEDELER 著	A5冊子1	表紙手書
1521	「民主主義と警察」		矢部貞治	A5冊子1	
1522	「TESTS ON LIGHT ALLOY STIFFENER SECTIONS」	昭和33年11月28日	M.N. PARKER・K.V. TAYLOR 著	A5冊子1	表紙手書
1523	「THE EFFECT OF VARIOUS FACTORS ON WAVE BENDING MOMENTS」	昭和35年12月5日	J.F.C. CONN・N.S. MILLER 著	A5冊子1	表紙手書
1524	「DYNAMIC MEASUREMENTS ON PROPELLER MODELS」	昭和34年11月	J.D. VAN MANEN・R. WERELDSMA 著	A5冊子1	表紙手書
1525	「MODEL TESTS FOR DETERMINING CRITICAL VIBRATIONS OF THE RUDDERPOST OF A "MARINER" RUDDER」	昭和34年5月	R. WERELDSMA 著	A5冊子1	表紙手書
1526	「WIND TUNNEL TESTS ON MODELS OF MERCHANT SHIPS」	昭和35年2月12日	K.D.A. SHEARER・W.M. LYNN 著	A5冊子1	表紙手書
1527	「Modern Tug Design with Particular Emphasis on Propeller Design, Maneuverability, and Endurance」	昭和32年	DOROS A. ARGYRIADIS 著	A5冊子1	表紙手書
1528	「A STUDY OF RUDDER ACTION WITH SPECIAL REFERENCE TO SINGLE-SCREW SHIPS」		MAGNE LÖTVEIT 著	A5冊子1	表紙手書

番号	件名	作成年月日	作成(発信→受信)	形態	備考
1529	「鋼船工作法基準 第一章 現図」	昭和24年11月30日	造船協会鋼船工作法研究委員会編, 社団法人造船協会 発行	A5冊子1	
1530	「鋼船工作法基準 第三章 鉄機」	昭和24年11月30日	造船協会鋼船工作法研究委員会編, 社団法人造船協会 発行	A5冊子1	
1531	「鋼船工作法基準 第四章 水圧」	昭和24年8月10日	造船協会鋼船工作法研究委員会編, 社団法人造船協会 発行	A5冊子1	
1532	「鋼船工作法基準 第五章 第一部 撓鉄 第二部 鍛冶」	昭和24年8月10日	造船協会鋼船工作法研究委員会編, 社団法人造船協会 発行	A5冊子1	
1533	「鋼船工作法基準 第六章 取付」	昭和24年8月10日	造船協会鋼船工作法研究委員会編, 社団法人造船協会 発行	A5冊子1	
1534	「鋼船工作法基準 第七章 船台木工」	昭和25年9月20日	造船協会鋼船工作法研究委員会編, 社団法人造船協会 発行	A5冊子1	
1535	「鋼船工作法基準 第八章 進水」	昭和25年9月20日	造船協会鋼船工作法研究委員会編, 社団法人造船協会 発行	A5冊子1	
1536	「鋼船工作法基準 第十一章 填隙」	昭和29年10月1日	造船協会鋼船工作法研究委員会編, 社団法人造船協会 発行	A5冊子1	
1537	「NAVAL TERMS DICTIONARY」	昭和32年12月	JOHN V. NOEL, Jr. 著, D. VAN NOSTRAND COMPANY, INC 発行	B5変冊子1	初版昭和27年8月
1538	「改訂 船舶工学便覧 第2分冊」	昭和37年2月25日	造船協会編, コロナ社 発行	A5冊子1	函入
1539	「造船統計要覧 1976」	昭和51年11月30日	運輸省船舶局 監修, 造船統計要覧編集委員会編著, 成山堂書店 発行	A6冊子1	
1540	「強度設計データブック」	昭和37年11月15日	強度設計データブック編集委員会編, 裳華房 発行	A5冊子1	函入
1541	「航海造船学」	昭和49年4月15日	野原威男 著, 海文堂出版 発行	A5冊子1	
1542	「船の種類と用途」	昭和26年5月5日	上野喜一郎 著, 海文堂 発行	A5冊子1	
1543	「金属学ハンドブック」	昭和33年4月15日	橋口隆吉 編, 朝倉書店 発行	A5冊子1	函入
1544	「学術用語集 船舶工学編」	昭和30年12月5日	文部省編, 社団法人造船協会 発行	B6冊子1	
1545	「溶接用語活用事典」	昭和47年11月10日	応和俊雄・浜崎正信 著, 産報 発行	B6冊子1	函入
1546	「石油と油槽船」	昭和33年8月1日	タンカー研究会編, 海文堂 発行	A5冊子1	初版昭和30年4月15日
1547	「DIE STATIK DES EISENBAUES」		W.L. ANDRÉE 著	B5冊子1	
1548	「木造船とその艀装 上巻」	昭和31年5月15日	橋本徳寿 著, 海文堂 発行	A5冊子1	
1549	「木造船とその艀装 下巻」	昭和31年6月1日	橋本徳寿 著, 海文堂 発行	A5冊子1	
1550	「船舶機関艀装法」	昭和28年10月1日	栗波栄之助 著, 財団法人舟艇協会出版部 発行	B5冊子1	
1551	「溶接技術ハンドブック」	昭和32年6月15日	岡田実 編, 朝倉書店 発行	A5冊子1	函入
1552	「最新 溶接ハンドブック」	昭和35年3月15日	鈴木春義 著, 山海堂 発行	A5冊子1	函入
1553	「船舶の理論と実際」	昭和18年9月15日	立川春重 著, 有象堂出版部 発行	A5冊子1	初版昭和17年2月20日
1554	「艀装」	昭和30年8月3日	立川春重 著, 海文堂 発行	A5冊子1	函入
1555	「海工学特論」	昭和32年4月30日	新田亮 著, 理工図書 発行	A5冊子1	
1556	「実用船舶算法」	昭和31年11月15日	岩佐英介 著, 海文堂 発行	A5冊子1	初版昭和26年4月10日
1557	「海運白書 昭和38年版」	昭和38年7月20日	運輸省編, 大蔵省印刷局 発行	A5冊子1	
1558	「THE STABILITY OF SHIPS」		SIR. EDWARD J. REED 著, CHARLES GRIFFIN AND COMPANY 発行	B5変冊子1	
1559	「非線型振動論 一漸近的方法一」	昭和36年12月5日	エヌ. エヌ. ボゴリューボフ・ユー. ア. ミロポリスキー 著, 益子正教 訳, 共立出版 発行	A5冊子1	

### 3. 書籍等

番号	件名	作成年月日	作成(発信→受信)	形態	備考
1560	「FORCED OSCILLATIONS IN NON-LINEAR SYSTEMS」	昭和28年	CHIHIRO HAYASHI 著, NIPPON PRINTING AND PUBLISHING COMPANY, LTD. 発行	B5冊子1	メモ書のある広島大学用箋2枚挟込
1561	「1978年議定書 1974年海上人命安全条約の1978年議定書 1973年海洋汚染防止条約の1978年議定書」	昭和53年9月25日	運輸省大臣官房, 船舶局 監修, 海文堂 発行	A5冊子1	函入
1562	「理論船舶工学」	昭和28年12月5日	大串雅信 著, 海文堂 発行	B5冊子1	函入
1563	「理論船舶工学(中巻)」	昭和33年6月5日	大串雅信 著, 海文堂 発行	B5冊子1	函入
1564	「弾性安定要覧 改訂増補」	昭和36年8月30日	長柱研究委員会 編, コロナ社 発行	B5冊子1	函入, 初版昭和26年10月10日
1565	「応用弾性学」	昭和17年5月20日	プレスコット 著, 山岡包郎 訳, コロナ社 発行	B5冊子1	初版昭和10年9月10日
1566	「STRENGTH OF MATERIALS」	大正9年	ARTHUR MORLEY 著, LONGMANS, GREEN AND CO. 発行	A5冊子1	
1567	「御退官最終講義 造船の推移 浜本博登」	昭和48年4月	浜本博登先生退官記念事業会	A5冊子1	
1568	「半自動溶接機一覽表」	昭和43年7月	社団法人 日本溶接協会 溶接工技量検定委員会	B5冊子1	
1569	「小型鋼船構造基準案」		運輸省船舶局 首席船舶検査官	B5冊子1	
1570	「小型貨客船構造規準作成委員会報告(第二報)」	昭和27年4月15日	磯部藤平 編, 関西造船協会 発行	B5冊子1	
1571	「THE STRENGTH OF SHAFTS IN VIBRATION」	昭和4年	J. MORRIS 著, CROSBY LOCKWOOD AND SON 発行	B5冊子1	
1572	「SHIP STABILITY AND TRIM」	大正8年	PERCY A. HILLHOUSE 著, JOHN HOGG 発行	A5冊子1	
1573	「STABILITY IN NONLINEAR CONTROL SYSTEMS」	昭和36年	Alexander M. Letov 著, PRINCETON UNIVERSITY PRESS 発行	B5冊子1	
1574	「HEATING VENTILATING AIR CONDITIONING GUIDE 1955」	昭和30年	AMERICAN SOCIETY OF HEATING AND AIR CONDITIONING ENGINEERS, INC. 発行	A5変冊子1	
1575	「小型鋼船の強度 船舶安全法関係法令改正準備室 鋼船構造班報告」	昭和34年3月20日	運輸省船舶局	B5冊子2	
1576	「商船基本設計の一考察 第1編」	昭和33年10月5日	渡瀬正麿 著, 船舶技術協会 発行	B5冊子1	
1577	「曳船」	昭和35年9月20日	日本作業船協会 編・発行	B5冊子1	
1578	「小型船の設計と製図」	昭和39年2月26日	池田勝 著, 海文堂 発行	B5冊子1	
1579	「船舶の通風と暖房 The Ventilation and Heating of Ships」	昭和34年4月25日	F.L. Bullen 著, 永村清 訳, 行政経営協会 発行	B5冊子1	
1580	「省力化溶接ハンドブック」	昭和51年12月10日	手塚敬三・応和俊雄 監修, 山海堂 発行	A5冊子1	函入
1581	「日本鋼線鋼索株式会社」		日本鋼線鋼索株式会社	B7冊子1	
1582	「溶接学会誌 40」	昭和46年	社団法人 溶接学会 発行	B5冊子1	
1583	「溶接学会誌 39」	昭和45年	社団法人 溶接学会 発行	B5冊子1	
1584	「溶接学会誌 38」	昭和44年	社団法人 溶接学会 発行	B5冊子1	
1585	「溶接学会誌 37」	昭和43年	社団法人 溶接学会 発行	B5冊子1	
1586	「溶接学会誌 29」	昭和35年	社団法人 溶接学会 発行	B5冊子1	
1587	「溶接学会誌 33」	昭和39年	社団法人 溶接学会 発行	B5冊子1	
1588	「溶接学会誌 36」	昭和42年	社団法人 溶接学会 発行	B5冊子1	
1589	「溶接学会誌 35」	昭和41年	社団法人 溶接学会 発行	B5冊子1	
1590	「溶接学会誌 32」	昭和38年	社団法人 溶接学会 発行	B5冊子1	
1591	「溶接学会誌 31」	昭和37年	社団法人 溶接学会 発行	B5冊子1	
1592	「溶接学会誌 30」	昭和36年	社団法人 溶接学会 発行	B5冊子1	
1593	「現代溶接技術大系 別巻2 溶接規格ハンドブック」	昭和55年6月25日	日本溶接協会規格委員会 編, 産報 発行	B5冊子1	函入

番号	件名	作成年月日	作成(発信→受信)	形態	備考
1594	「ESTIMATING PRELIMINARY DIMENSIONS IN SHIP DESIGN」	昭和37年1月16日	D.G.M. WATSON 著, Alexander Stephen & Sons, Ltd. 発行	16×12cm冊子1	表紙手書
1595	「ステンレス溶接士のための溶接作業教本」	昭和51年3月1日	渡辺正紀 監修, ステンレス協会 編, 産報 発行	A5冊子1	初版昭和47年3月15日
1596	「数表 新数学シリーズ9」	昭和33年1月30日	吉田洋一・吉田正夫 編, 培風館 発行	B6冊子1	
1597	「公益法人会計基準の解説」	昭和53年6月30日	内閣総理大臣官房管理室 編, 財団法人 公益法人協会 発行	A5冊子1	初版昭和52年8月10日
1598	「簡約積分表 A Short Table of Integrals」	昭和39年9月1日	B.O. ピアース 著, プレイン図書出版株式会社教育指導部 訳, プレイン図書出版 発行	B6冊子1	
1599	「改訂3版 溶接便覧」	昭和52年3月31日	社団法人 溶接学会 編, 丸善 発行	A5冊子1	
1600	「灯光 (三・四月号)」	昭和29年6月5日	三浦千代二 編, 社団法人 灯光会 発行	A5冊子1	
1601	「鋼索」	昭和15年4月10日	川崎久勝 編, 東洋製鋼 発行	B6冊子1	
1602	「鋼索の常識 製造法並に取扱い方」	昭和26年6月1日	東京製鋼 著・発行	A5冊子1	初版昭和25年10月15日
1603	「化学実験の方法と基礎理論」	昭和38年12月10日	新海勝良 著, 東洋館出版社 発行	A5冊子1	函入
1604	「SHIPBUILDING AND MARINE ENGINEERING MONTHLY」	昭和34年11月		A5冊子1	ページ順不同
1605	「碇泊期間と荷役能率の諸問題」, 「碇泊期間と荷役能率の諸問題 (附図表)」	昭和32年6月18日	柴田誠一 著, 成山堂書店 発行	B5函1	冊子2冊
1606	「船用機関工学 第四分冊(下巻 第四章～第七章)」	昭和29年1月20日	米国造船造機学会 編, 米原令敏 訳, 天然社 発行	B5冊子1	
1607	「新版 材料力学」	昭和41年1月10日	太田友弥 著, 山海堂 発行	A5冊子1	
1608	「チエンコンベヤ [コンベヤ・シリーズ2]」	昭和35年5月20日	青井静夫 著, 八雲書店 発行	B5冊子1	初版昭和33年7月20日
1609	「貨物船の設計」	昭和23年11月20日	小野暢三 著, 天然社 発行	B5冊子1	
1610	「欧州造船事情調査団報告書」	昭和37年8月	社団法人 日本中小型造船工業会	B5冊子1	
1611	「理工学のための数学ハンドブック」	昭和35年7月25日	数学ハンドブック編集委員会 編, 丸善 発行	A5冊子1	
1612	「2次元弾性論」	昭和50年9月5日	森口繁一 著, 生産技術センター 発行	A5冊子1	
1613	「材料力学 上巻」	昭和51年6月20日	中原一郎 著, 養賢堂 発行	A5冊子1	函入, 初版昭和40年5月1日
1614	「材料力学 下巻」	昭和51年6月20日	中原一郎 著, 養賢堂 発行	A5冊子1	函入, 初版昭和41年1月20日
1615	「Merchant Ship Design」	昭和39年	R. MUNRO-SMITH 著, HUTCHINSON 発行	A5冊子1	メモ書多数挟込
1616	「増補再訂版 マリン・プロペラ」	昭和40年4月1日	中島鑄工業 編, 発行	B5冊子1	初版昭和35年9月30日
1617	「造船設計便覧 (第3版)」	昭和51年3月10日	関西造船協会 編, 海文堂出版 発行	A5冊子1	函入
1618	「中小型船舶 プロペラ設計法と参考図表集」	昭和48年8月18日	横尾幸一・矢崎敦生 著, 成山堂書店 発行	B5冊子2	「第I編 プロペラ設計法」, 「第II編 参考図表集」の2冊組
1619	「船用機械工学 (第1分冊)」	昭和37年9月30日	西島清一郎 編著, 海文堂 発行	B5冊子1	函入, 付図・付表(封筒入)
1620	「改訂新版 防振ゴム」	昭和50年8月15日	戸原春彦 編, 社団法人 日本鉄道車両工業会 発行	B5冊子1	函入, 初版昭和30年8月
1621	「米国政府研究文献シリーズ Report No. AD-608876 STUDY OF AIRBORNE NOISE FROM SHIPBOARD MACHINERY」	昭和44年6月19日	コウケン技術	B5冊子1	
1622	「塑性設計法」	昭和35年3月30日	藤田譲 ほか2名 著, 森北出版 発行	A5冊子1	
1623	「骨組の塑性力学 建築構造講座 第5巻」	昭和38年6月30日	田中尚 著, コロナ社 発行	A5冊子1	
1624	「可変ピッチプロペラの知識」	昭和39年1月15日	かもめプロペラ設計室 編, 鬼頭史城 監修, かもめプロペラ 発行	A5冊子1	初版昭和37年6月15日
1625	「船用主機関のねじり振動」	昭和38年6月1日	赤堀昇 著, 海文堂 発行	A5冊子1	
1626	「圧力技術 第15巻第5号」	昭和52年9月25日	社団法人 日本高圧力技術協会 発行	B5冊子1	

### 3. 書籍等

番号	件名	作成年月日	作成(発信→受信)	形態	備考
1627	「圧力技術 第17巻第2号」	昭和54年3月25日	社団法人 日本高圧力技術協会 発行	B5冊子1	
1628	「圧力技術 第17巻第3号」	昭和54年5月25日	社団法人 日本高圧力技術協会 発行	B5冊子1	
1629	「圧力技術 第17巻第4号」	昭和54年7月25日	社団法人 日本高圧力技術協会 発行	B5冊子1	
1630	「圧力技術 第17巻第5号」	昭和54年9月25日	社団法人 日本高圧力技術協会 発行	B5冊子1	
1631	「圧力技術 第17巻第6号」	昭和54年11月25日	社団法人 日本高圧力技術協会 発行	B5冊子1	
1632	「圧力技術 第14巻第1号」	昭和51年1月25日	社団法人 日本高圧力技術協会 発行	B5冊子1	
1633	「圧力技術 第14巻第2号」	昭和51年3月25日	社団法人 日本高圧力技術協会 発行	B5冊子1	
1634	「圧力技術 第14巻第3号」	昭和51年5月25日	社団法人 日本高圧力技術協会 発行	B5冊子1	
1635	「圧力技術 第14巻第4号」	昭和51年7月25日	社団法人 日本高圧力技術協会 発行	B5冊子1	
1636	「圧力技術 第14巻第5号」	昭和51年9月25日	社団法人 日本高圧力技術協会 発行	B5冊子1	
1637	「圧力技術 第14巻第6号」	昭和51年11月25日	社団法人 日本高圧力技術協会 発行	B5冊子1	
1638	「圧力技術 第15巻第1号」	昭和52年1月25日	社団法人 日本高圧力技術協会 発行	B5冊子1	
1639	「圧力技術 第15巻第2号」	昭和52年3月25日	社団法人 日本高圧力技術協会 発行	B5冊子1	
1640	「圧力技術 第15巻第3号」	昭和52年5月25日	社団法人 日本高圧力技術協会 発行	B5冊子1	
1641	「圧力技術 第15巻第4号」	昭和52年7月25日	社団法人 日本高圧力技術協会 発行	B5冊子1	
1642	「<やさしい溶接シリーズ>1 溶接技量検定試験受験のためのやさしいアーク溶接 《付:試験問題並びに解答》」	昭和46年6月1日	産報 発行	B6冊子1	初版昭和30年11月1日
1643	「アーク溶接技能者教本 <労働省認定教科書>」	昭和50年6月1日	社団法人 日本溶接協会 監修,産報 発行	A5冊子2	初版昭和47年12月15日
1644	「<やさしい溶接シリーズ>5 やさしい溶接設計」	昭和47年6月15日	溶接シリーズ編集委員会 編,産報 発行	B6冊子1	初版昭和43年2月15日
1645	「圧力技術 第18巻第1号」	昭和55年1月25日	社団法人 日本高圧力技術協会 発行	B5冊子1	
1646	「圧力技術 第18巻第2号」	昭和55年3月25日	社団法人 日本高圧力技術協会 発行	B5冊子1	
1647	「圧力技術 第17巻第1号」	昭和54年1月25日	社団法人 日本高圧力技術協会 発行	B5冊子1	
1648	「溶接への道 回顧録」	昭和52年4月13日	関口春次郎 著,産報アイデアセンター 発行	B5冊子1	函入
1649	「現代の溶接 附・佐々木新太郎著 日本溶接技術発達史」	昭和29年12月20日	岡田実 監修,日刊工業新聞社 発行	B5冊子1	函入
1650	「SNAME Vol.65 1957 Notes on the Primary Strength Calculation」	昭和32年	H.A. SCHADE 著	A4冊子1	表紙手書
1651	「SNAME Vol.65 1957 Plastic Design Methods—Advantages and Limitations」	昭和32年	D.C. DRUCKER 著	A4冊子1	表紙手書
1652	「Ins. Shipping Progress Vol.8 No.77 BEAM KNEES AND OTHER BRACKETED CONNECTIONS」	昭和36年1月	H.E. JAEGER・J.J.W. NIBBERING 著	A4冊子1	表紙手書
1653	「Systematische Ruderversuche mit einem Schleppkahn und einem Binnenselbstfahrer vom Typ “Gustav Koenigs” mit Kort-Düse」	昭和35年7月	Kurt Herm・H. Heuser 著	A4冊子1	表紙手書
1654	「S.B & M.E. THE APPLICATION OF PLASTIC DESIGN TO GRILLAGES」	昭和36年6月	J. Keelty 著	A4冊子1	表紙手書
1655	「SUH Jahrgang 12. Das Wendel-Schnellschiff」	昭和35年7月	Friedrich Herm. Wendel 著	A4冊子1	表紙手書
1656	「SNAME Vol 59. A Theoretical Study of the Stopping of Ships」	昭和26年	H.J. CHASE・A.L. RUIZ 著	A4冊子1	表紙手書
1657	「S.P. Vol.6 No.59 THE EFFECT OF A KEEL ON THE ROLLING CHARACTERISTICS OF A SHIP」	昭和34年7月	J. GERRITSMA 著	A4冊子1	表紙手書,翻訳メモの挟込
1658	「CREWS' ACCOMMODATION IN TRAMP SHIPS」		E.H. WATTS 著	A4冊子1	表紙手書
1659	「A Mathieu Equation for Ships Rolling Among Waves I」		GEORG VEDELER 著	A5冊子1	

番号	件名	作成年月日	作成(発信→受信)	形態	備考
1660	「Determination of Principal Dimension and GM of Smaller Coaster」	昭和35年12月7日	Hiroto HAMAMOTO・Hiroshi MATSUURA 著	B5冊子1	
1661	「機船さいとぼる機船チャンウオン衝突事件 裁決書」			B5冊子1	
1662	「Marine Watertube Boiler Surveys No.30」		J.H. MILTON 著	A4変冊子1	
1663	「Lloyd's Register of Shipping Rules and Nuclear Ships」	昭和36年2月28日	J.M. MURRAY・H.N. PEMBERTON 著	A4変冊子1	
1664	「Some Factors influencing the Life of Marine Crankshafts Discussion and Author's Replies No.22a」		S. ARCHER 著	A4変冊子1	
1665	「Marine Propulsion with special reference to Transmission of Power No.23」	昭和39年1月22日	S. ARCHER 著	A4変冊子1	
1666	「Marine machinery breakdowns」	昭和32年4月12日	J.H. MILTON 著	A4変冊子1	
1667	「昭和二十六年鋼船規則改正について」		日本海事協会	B5冊子2	
1668	「木鉄交造船研究報告」	昭和34年1月25日	九州木鉄交造船研究会事務局 編, 社団法人 日本海難防止協会 発行	B5冊子1	
1669	「木鉄交造船研究報告資料編(木鉄交造船研究報告附録)」	(昭和34年1月25日)	日本海難防止協会 発行	B5冊子1	
1670	「ステンレス溶接士のための溶接作業教本」	昭和43年	渡辺正紀 監修, ステンレス協会規格委員会溶接分科会 編, ステンレス協会 発行	A5冊子1	
1671	「ステンレス溶接士のための溶接作業教本」	昭和48年7月15日	渡辺正紀 監修, ステンレス協会 編, 産報 発行	A5冊子2	初版昭和47年3月15日
1672	「JIS Z3861による放射線透過試験技術検定 受験の手引き」	昭和47年12月8日	軽金属溶接技術会 発行	A5冊子1	
1673	「LIS WZ1によるアルミニウム構造物の溶接施工管理技術者資格認定受験のための手引きと例題」	昭和47年11月13日	軽金属溶接技術会 発行	A5冊子1	
1674	「溶接工学 機械工学講座 11」	昭和37年3月15日	柴田晴彦 著, 共立出版 発行	A5冊子1	初版昭和32年7月5日
1675	「ガス溶接技能者教本」	昭和42年8月10日	手塚敬三 著, 産報 発行	A5冊子2	
1676	「溶接棒の選び方・使い方」	昭和42年5月15日	社団法人 日本溶接協会溶接棒部会技術委員会 編, 産報 発行	A5冊子1	初版昭和39年4月10日
1677	「溶接工作規準IV・同解説 サブマージーク自動溶接」	昭和43年4月10日	社団法人 日本建築学会 編, 発行	A5冊子1	
1678	「<溶接技術シリーズ>8 低温用鋼溶接のかんどころ」	昭和48年7月10日	溶接シリーズ編集委員会 編, 産報 発行	A5冊子1	初版昭和43年11月10日
1679	「にんにく健康法 なぜ効く、何に効く、どう食べる」	昭和48年9月30日	渡辺正 著, 光文社 発行	A6変冊子1	初版昭和48年8月20日
1680	「溶接工技量資格検定試験 受験の手引 改訂新版《付:試験問題並びに解答》」	昭和49年9月15日	社団法人 日本溶接協会溶接工検定委員会 監修, 産報 発行	B6冊子1	初版昭和36年9月1日
1681	「原爆から二十五年悲願に生きた信仰体験記」	昭和45年	本山雲彬 著, 倭右考堂 発行	B6冊子1	
1682	「空気調和法 改訂増補版」	昭和38年5月1日	武藤重郎 訳, 丸善 発行	B5冊子1	函入, 初版昭和30年9月20日
1683	「世界の魚雷艇」	昭和28年11月15日	丹羽誠一 著, 財団法人舟艇協会 発行	B5冊子1	
1684	「溶接技量検定試験 受験の手引き」	昭和30年10月1日	社団法人 日本溶接協会溶接ニュース編集局 編・発行	A5冊子1	
1685	「改訂 船舶工学便覧 第1分冊」	昭和35年10月25日	造船協会 編, コロナ社 発行	A5冊子1	
1686	「Rules and Regulations for the Construction and Classification of Steel Ships, 1967. Notice No.3」	昭和42年7月27日	LLOYD'S REGISTER OF SHIPPING	A4冊子1	
1687	「Rules and Regulations for the Construction and Classification of Steel Ships, 1966. Notice No.5」	昭和41年	LLOYD'S REGISTER OF SHIPPING	A4冊子1	
1688	「RULES AND REGULATIONS FOR THE CONSTRUCTION AND CLASSIFICATION OF STEEL SHIPS 1971」	昭和46年	LLOYD'S REGISTER OF SHIPPING	29×25cm冊子1	冊子挟込
1689	「高度集中制御化船舶の試設計総合報告書」	昭和46年3月	運輸省船舶局	A4冊子1	

### 3. 書籍等

番号	件名	作成年月日	作成(発信→受信)	形態	備考
1690	「Rules and Regulations FOR THE CONSTRUCTION AND CLASSIFICATION OF Steel Vessels」	昭和48年	Bureau Veritas	A4冊子1	
1691	「日本船舶振興会昭和50年度補助事業“船舶関係諸標準に関する調査研究”研究資料No.47R 第4基準研究会 トン数と船舶設計との関連に関する調査研究報告書(別冊) 条約方式によるトン数算定プログラムの概要(改訂版)」	昭和51年3月	社団法人 日本造船研究協会	A4冊子1	
1692	「日本船舶振興会昭和51年度補助事業“船舶関係諸標準に関する調査研究”研究資料No.60R 第4基準研究会 トン数と船舶設計との関連に関する調査研究報告書」	昭和52年3月	社団法人 日本造船研究協会	A4冊子1	
1693	「TRANSACTIONS OF THE JAPAN WELDING SOCIETY Vol.9 No.1」	昭和53年4月	立木敬二 編, 社団法人 溶接学会 発行	A4冊子1	
1694	「TRANSACTIONS OF THE JAPAN WELDING SOCIETY Vol.9 No.2」	昭和53年9月	立木敬二 編, 社団法人 溶接学会 発行	A4冊子1	
1695	「TRANSACTIONS OF THE JAPAN WELDING SOCIETY Vol.10 No.1」	昭和54年4月1日	立木敬二 編, 社団法人 溶接学会 発行	A4冊子1	
1696	「TRANSACTIONS OF THE JAPAN WELDING SOCIETY Vol.10 No.2」	昭和54年10月1日	立木敬二 編, 社団法人 溶接学会 発行	A4冊子1	
1697	「(モーターボート競走法の交付金による) 日本船舶振興会の補助事業) 条約測度方式による中小型船の設計指針」	昭和51年12月	社団法人 日本中型造船工業会	B5冊子1	
1698	「最新漁船資料集 第3編」	昭和46年10月1日	編集委員会 編, 社団法人 漁船協会 発行	B5冊子1	
1699	「1963年 溶接文献リスト」	昭和39年7月	溶接学会編集委員会	B5冊子1	
1700	「N.S.S. Library News 日本船舶振興会図書室月報 6月号 3巻 6号」	昭和43年6月20日	財団法人 日本船舶振興会 発行	B5冊子1	
1701	「船舶工学 海洋工学 技術文献集報 N.S.S. Library News 第7巻第1号」	昭和47年6月30日	財団法人 日本船舶振興会図書室 発行	B5冊子1	
1702	「船舶工学 海洋工学 技術文献集報 N.S.S. Library News 第7巻第2号」	昭和47年8月20日	財団法人 日本船舶振興会図書室 発行	B5冊子1	
1703	「船舶工学 海洋工学 技術文献集報 N.S.S. Library News 第7巻第11・12号」	昭和48年3月30日	財団法人 日本船舶振興会図書室 発行	B5冊子1	
1704	「船舶工学 海洋工学 技術文献集報 N.S.S. Library News 第7巻第7・8号」	昭和48年1月30日	財団法人 日本船舶振興会図書室 発行	B5冊子1	
1705	「船舶工学 海洋工学 技術文献集報 N.S.S. Library News 第7巻第9・10号」	昭和48年2月30日	財団法人 日本船舶振興会図書室 発行	B5冊子1	
1706	「船舶工学 海洋工学 技術文献集報 N.S.S. Library News 第8巻第1・2号」	昭和48年6月30日	財団法人 日本船舶振興会図書室 発行	B5冊子1	
1707	「船舶工学 海洋工学 技術文献集報 N.S.S. Library News 第7巻第6号」	昭和47年12月20日	財団法人 日本船舶振興会図書室 発行	B5冊子1	
1708	「船舶工学 海洋工学 技術文献集報 N.S.S. Library News 2/3月合併号 第6巻 2/3号」	昭和46年2月20日	財団法人 日本船舶振興会図書室 発行	B5冊子1	
1709	「船の溶接工作法」	昭和30年3月15日	造船協会鋼船工作法研究委員会 編, 天然社 発行	A5冊子1	
1710	「新しい溶接工学」	昭和42年6月5日	木原博 著, オーム社 発行	A5冊子1	初版昭和41年9月30日
1711	「溶接棒各論」	昭和34年5月1日	永井信雄 編	A5冊子1	
1712	「溶接工学概論」	昭和43年2月5日	石井勇五郎・田村博 著, 共立出版 発行	A5冊子1	
1713	「新版 溶接作業読本」	昭和44年8月10日	渡辺正紀 編, 日刊工業新聞社 発行	A5冊子1	初版昭和38年3月25日
1714	「日本木船図集」	昭和31年10月5日	橋本徳寿編, 海文堂発行	B4冊子1, 123頁, 孔版	
1715	「日本漁船図集 1952」	昭和27年4月10日	水産庁編, 日本応用印刷株式会社発行	B4冊子1, 312頁, 孔版	標題紙に「船舶工学科」の印あり
1716	「日本の軍歌」	昭和50年12月8日	八巻明彦編, 新興楽譜出版社発行	A6冊子1, 307頁, 活版	
1717	「(やさしい溶接シリーズ)5 やさしい溶接設計」	昭和47年6月15日	溶接シリーズ編集委員会 監修, 産報発行	B6冊子1, 210頁, 活版	初版昭和43年2月15日

番号	件名	作成年月日	作成(発信→受信)	形態	備考
1718	「溶接学会誌 第33巻 第7号」	昭和39年7月25日	社団法人 溶接学会 発行	B5冊子1	
1719	「溶接学会誌 第33巻 第8号」	昭和39年8月25日	社団法人 溶接学会 発行	B5冊子1	
1720	「溶接学会誌 第33巻 第11号」	昭和39年11月25日	社団法人 溶接学会 発行	B5冊子1	
1721	「溶接学会誌 第33巻 第12号」	昭和39年12月25日	社団法人 溶接学会 発行	B5冊子1	
1722	「溶接学会誌 第35巻 第1号」	昭和41年1月25日	社団法人 溶接学会 発行	B5冊子1	
1723	「溶接学会誌 第35巻 第2号」	昭和41年2月25日	社団法人 溶接学会 発行	B5冊子1	
1724	「溶接学会誌 第35巻 第3号」	昭和41年3月25日	社団法人 溶接学会 発行	B5冊子1	
1725	「溶接学会誌 第35巻 第4号」	昭和41年4月25日	社団法人 溶接学会 発行	B5冊子1	
1726	「溶接学会誌 第35巻 第5号」	昭和41年5月25日	社団法人 溶接学会 発行	B5冊子1	
1727	「溶接学会誌 第35巻 第6号」	昭和41年6月25日	社団法人 溶接学会 発行	B5冊子1	
1728	「溶接学会誌 第35巻 第7号」	昭和41年7月25日	社団法人 溶接学会 発行	B5冊子1	
1729	「溶接学会誌 第35巻 第8号」	昭和41年8月25日	社団法人 溶接学会 発行	B5冊子1	
1730	「溶接学会誌 第35巻 第9号」	昭和41年9月25日	社団法人 溶接学会 発行	B5冊子1	
1731	「溶接学会誌 第35巻 第10号」	昭和41年10月25日	社団法人 溶接学会 発行	B5冊子1	
1732	「溶接学会誌 第35巻 第11号」	昭和41年11月25日	社団法人 溶接学会 発行	B5冊子1	
1733	「溶接学会誌 第35巻 第12号」	昭和41年12月25日	社団法人 溶接学会 発行	B5冊子1	
1734	「溶接学会誌 第36巻 第1号」	昭和42年1月25日	社団法人 溶接学会 発行	B5冊子1	
1735	「溶接学会誌 第36巻 第2号」	昭和42年2月25日	社団法人 溶接学会 発行	B5冊子1	
1736	「溶接学会誌 第36巻 第3号」	昭和42年3月25日	社団法人 溶接学会 発行	B5冊子1	
1737	「溶接学会誌 第36巻 第4号」	昭和42年4月25日	社団法人 溶接学会 発行	B5冊子1	
1738	「溶接学会誌 第36巻 第5号」	昭和42年5月25日	社団法人 溶接学会 発行	B5冊子1	
1739	「溶接学会誌 第36巻 第6号」	昭和42年6月25日	社団法人 溶接学会 発行	B5冊子1	
1740	「溶接学会誌 第36巻 第7号」	昭和42年7月25日	社団法人 溶接学会 発行	B5冊子1	
1741	「溶接学会誌 第36巻 第8号」	昭和42年8月25日	社団法人 溶接学会 発行	B5冊子1	
1742	「溶接学会誌 第36巻 第9号」	昭和42年9月25日	社団法人 溶接学会 発行	B5冊子1	
1743	「溶接学会誌 第36巻 第11号」	昭和42年11月25日	社団法人 溶接学会 発行	B5冊子1	
1744	「溶接学会誌 第36巻 第12号」	昭和42年12月25日	社団法人 溶接学会 発行	B5冊子1	
1745	「溶接学会誌 第37巻 第1号」	昭和43年1月25日	社団法人 溶接学会 発行	B5冊子1	
1746	「溶接学会誌 第37巻 第2号」	昭和43年2月25日	社団法人 溶接学会 発行	B5冊子1	
1747	「溶接学会誌 第37巻 第3号」	昭和43年3月25日	社団法人 溶接学会 発行	B5冊子1	
1748	「溶接学会誌 第37巻 第4号」	昭和43年4月25日	社団法人 溶接学会 発行	B5冊子1	
1749	「溶接学会誌 第37巻 第5号」	昭和43年5月25日	社団法人 溶接学会 発行	B5冊子1	
1750	「溶接学会誌 第37巻 第6号」	昭和43年6月25日	社団法人 溶接学会 発行	B5冊子1	
1751	「溶接学会誌 第37巻 第7号」	昭和43年7月25日	社団法人 溶接学会 発行	B5冊子1	
1752	「溶接学会誌 第37巻 第8号」	昭和43年8月25日	社団法人 溶接学会 発行	B5冊子1	
1753	「溶接学会誌 第37巻 第9号」	昭和43年9月25日	社団法人 溶接学会 発行	B5冊子1	
1754	「溶接学会誌 第37巻 第10号」	昭和43年10月25日	社団法人 溶接学会 発行	B5冊子1	

### 3. 書籍等

番号	件名	作成年月日	作成(発信→受信)	形態	備考
1755	「溶接学会誌 第37巻 第11号」	昭和43年11月25日	社団法人 溶接学会 発行	B5冊子1	
1756	「溶接学会誌 第37巻 第12号」	昭和43年12月25日	社団法人 溶接学会 発行	B5冊子1	
1757	「溶接学会全国大会講演概要 第3集」	昭和43年10月1日	社団法人 溶接学会 発行	B5冊子1	
1758	「溶接学会誌 第38巻 第1号」	昭和44年1月25日	社団法人 溶接学会 発行	B5冊子1	
1759	「溶接学会誌 第38巻 第2号」	昭和44年2月25日	社団法人 溶接学会 発行	B5冊子1	
1760	「溶接学会誌 第38巻 第3号」	昭和44年3月25日	社団法人 溶接学会 発行	B5冊子1	
1761	「溶接学会誌 第38巻 第4号」	昭和44年4月25日	社団法人 溶接学会 発行	B5冊子1	
1762	「溶接学会誌 第38巻 第5号」	昭和44年5月25日	社団法人 溶接学会 発行	B5冊子1	
1763	「溶接学会誌 第38巻 第6号」	昭和44年6月25日	社団法人 溶接学会 発行	B5冊子1	
1764	「溶接学会誌 第38巻 第7号」	昭和44年7月25日	社団法人 溶接学会 発行	B5冊子1	
1765	「溶接学会誌 第38巻 第8号」	昭和44年8月25日	社団法人 溶接学会 発行	B5冊子1	
1766	「溶接学会誌 第38巻 第9号」	昭和44年9月25日	社団法人 溶接学会 発行	B5冊子1	
1767	「溶接学会誌 第38巻 第10号」	昭和44年10月25日	社団法人 溶接学会 発行	B5冊子1	
1768	「溶接学会誌 第38巻 第11号」	昭和44年11月25日	社団法人 溶接学会 発行	B5冊子1	
1769	「溶接学会誌 第38巻 第12号」	昭和44年12月25日	社団法人 溶接学会 発行	B5冊子1	
1770	「溶接学会誌 第40巻 第1号」	昭和46年1月25日	社団法人 溶接学会 発行	B5冊子1	
1771	「溶接学会誌 第40巻 第2号」	昭和46年2月25日	社団法人 溶接学会 発行	B5冊子1	
1772	「溶接学会誌 第40巻 第3号」	昭和46年3月25日	社団法人 溶接学会 発行	B5冊子1	
1773	「溶接学会誌 第40巻 第4号」	昭和46年4月25日	社団法人 溶接学会 発行	B5冊子1	
1774	「溶接学会誌 第40巻 第5号」	昭和46年5月25日	社団法人 溶接学会 発行	B5冊子1	
1775	「溶接学会誌 第40巻 第6号」	昭和46年6月25日	社団法人 溶接学会 発行	B5冊子1	
1776	「溶接学会誌 第40巻 第7号」	昭和46年7月25日	社団法人 溶接学会 発行	B5冊子1	
1777	「溶接学会誌 第40巻 第8号」	昭和46年8月26日	社団法人 溶接学会 発行	B5冊子1	
1778	「溶接学会誌 第40巻 第9号」	昭和46年9月25日	社団法人 溶接学会 発行	B5冊子1	
1779	「溶接学会誌 第40巻 第12号」	昭和46年12月25日	社団法人 溶接学会 発行	B5冊子1	
1780	「溶接学会誌 第41巻 第1号」	昭和47年1月25日	社団法人 溶接学会 発行	B5冊子1	
1781	「溶接学会誌 第41巻 第2号」	昭和47年2月25日	社団法人 溶接学会 発行	B5冊子1	
1782	「溶接学会誌 第41巻 第3号」	昭和47年3月25日	社団法人 溶接学会 発行	B5冊子1	
1783	「溶接学会誌 第41巻 第4号」	昭和47年4月25日	社団法人 溶接学会 発行	B5冊子1	
1784	「溶接学会誌 第41巻 第5号」	昭和47年5月25日	社団法人 溶接学会 発行	B5冊子1	
1785	「溶接学会誌 第41巻 第6号」	昭和47年6月25日	社団法人 溶接学会 発行	B5冊子1	
1786	「溶接学会誌 第41巻 第7号」	昭和47年7月25日	社団法人 溶接学会 発行	B5冊子1	
1787	「溶接学会誌 第41巻 第8号」	昭和47年8月25日	社団法人 溶接学会 発行	B5冊子1	
1788	「溶接学会誌 第41巻 第9号」	昭和47年9月25日	社団法人 溶接学会 発行	B5冊子1	
1789	「溶接学会誌 第41巻 第10号」	昭和47年10月25日	社団法人 溶接学会 発行	B5冊子1	
1790	「溶接学会誌 第41巻 第11号」	昭和47年11月25日	社団法人 溶接学会 発行	B5冊子1	
1791	「溶接学会誌 第41巻 第12号」	昭和47年12月25日	社団法人 溶接学会 発行	B5冊子1	

番号	件名	作成年月日	作成(発信→受信)	形態	備考
1792	「溶接学会誌 42」	昭和48年	社団法人 溶接学会 発行	B5冊子1	
1793	「溶接学会誌 43」	昭和49年	社団法人 溶接学会 発行	B5冊子1	
1794	「日立造船技報 第21巻 第2号」	昭和35年5月30日	日立造船株式会社技術研究所 編・発行	A4冊子1	
1795	「日立造船技報 第23巻 第1号」	昭和37年2月25日	日立造船株式会社技術研究所 編・発行	A4冊子1	
1796	「日立造船技報 第23巻 第2号」	昭和37年5月30日	日立造船株式会社技術研究所 編・発行	A4冊子1	
1797	「日立造船技報 第23巻 第3号」	昭和37年8月30日	日立造船株式会社技術研究所 編・発行	A4冊子1	
1798	「日立造船技報 第23巻 第4号」	昭和37年11月30日	日立造船株式会社技術研究所 編・発行	A4冊子1	
1799	「日立造船技報 第24巻 第1号」	昭和38年2月25日	日立造船株式会社技術研究所 編・発行	A4冊子1	
1800	「日立造船技報 第24巻 第2号」	昭和38年5月30日	日立造船株式会社技術研究所 編・発行	A4冊子1	
1801	「日立造船技報 第24巻 第3号」	昭和38年8月30日	日立造船株式会社技術研究所 編・発行	A4冊子1	
1802	「日立造船技報 第24巻 第4号」	昭和38年11月30日	日立造船株式会社技術研究所 編・発行	A4冊子1	
1803	「日立造船技報 第25巻 第1号」	昭和39年2月25日	日立造船株式会社技術研究所 編・発行	A4冊子1	
1804	「日立造船技報 第25巻 第2号」	昭和39年5月30日	日立造船株式会社技術研究所 編・発行	A4冊子2	
1805	「日立造船技報 第22巻 第2号」	昭和36年5月30日	日立造船株式会社技術研究所 編・発行	A4冊子1	
1806	「日立造船技報 第22巻 第3号」	昭和36年8月30日	日立造船株式会社技術研究所 編・発行	A4冊子1	
1807	「日立造船技報 第25巻 第4号」	昭和39年11月30日	日立造船株式会社技術研究所 編・発行	A4冊子1	
1808	「日立造船技報 第25巻 第3号」	昭和39年8月30日	日立造船株式会社技術研究所 編・発行	A4冊子1	
1809	「日立造船技報 第22巻 第4号」	昭和36年11月30日	日立造船株式会社技術研究所 編・発行	A4冊子1	
1810	「日立造船技報 3-5 1964-70」	昭和39~45年	日立造船株式会社技術研究所 編・発行	A4冊子1	
1811	「日立造船技報 第26巻 第1・2号」	昭和40年5月30日	日立造船株式会社技術研究所 編・発行	A4冊子1	
1812	「日立造船技報 第26巻 第3・4号」	昭和40年11月30日	日立造船株式会社技術研究所 編・発行	A4冊子1	
1813	「日立造船技報 第29巻 第1号」	昭和43年2月20日	日立造船株式会社技術研究所 編・発行	A4冊子1	
1814	「日立造船技報 第29巻 第2号」	昭和43年5月20日	日立造船株式会社技術研究所 編・発行	A4冊子1	
1815	「日立造船技報 第29巻 第3号」	昭和43年8月20日	日立造船株式会社技術研究所 編・発行	A4冊子1	
1816	「日立造船技報 第29巻 第4号」	昭和43年11月20日	日立造船株式会社技術研究所 編・発行	A4冊子1	
1817	「日立造船技報 第30巻 第1号」	昭和44年2月20日	日立造船株式会社技術研究所 編・発行	A4冊子1	
1818	「日立造船技報 第30巻 第2号」	昭和44年5月20日	日立造船株式会社技術研究所 編・発行	A4冊子1	
1819	「日立造船技報 第30巻 第3号」	昭和44年8月20日	日立造船株式会社技術研究所 編・発行	A4冊子1	
1820	「日立造船技報 第30巻 第4号」	昭和44年11月20日	日立造船株式会社技術研究所 編・発行	A4冊子1	
1821	「船の科学 14 No.1-6」	昭和36年	船舶技術協会 発行	B5冊子1	
1822	「船の科学 14 No.7-12」	昭和36年	船舶技術協会 発行	B5冊子1	
1823	三菱造船 1 Vol.2 No.5」	昭和29年1月25日	三菱造船 発行	A4冊子1	
1824	三菱造船 5 Vol.2 No.9」	昭和29年9月10日	三菱造船 発行	A4冊子1	
1825	三菱造船 6 Vol.2 No.10」	昭和29年12月5日	三菱造船 発行	A4冊子1	
1826	三菱造船 11 Vol.3」	昭和30年2月15日	三菱造船 発行	A4冊子1	
1827	三菱造船 12 Vol.3」	昭和30年4月30日	三菱造船 発行	A4冊子1	
1828	三菱造船 14 Vol.3」	昭和30年9月5日	三菱造船 発行	A4冊子1	
1829	三菱造船 15 Vol.3」	昭和30年10月31日	三菱造船 発行	A4冊子1	
1830	三菱造船 17 Vol.3」	昭和31年2月28日	三菱造船 発行	A4冊子1	
1831	三菱造船 22 Vol.5」	昭和32年3月5日	三菱造船 発行	A4冊子1	
1832	三菱造船 23 Vol.5」	昭和32年5月20日	三菱造船 発行	A4冊子1	
1833	三菱造船 24 Vol.5」	昭和32年7月20日	三菱造船 発行	A4冊子1	
1834	三菱造船 27 Vol.5」	昭和33年3月1日	三菱造船 発行	A4冊子1	

### 3. 書籍等

番号	件名	作成年月日	作成(発信→受信)	形態	備考
1835	三菱造船 28 Vol.6]	昭和33年6月10日	三菱造船 発行	A4冊子1	
1836	三菱造船 33 Vol.7]	昭和34年9月25日	三菱造船 発行	A4冊子1	
1837	三菱造船 36 Vol.8]	昭和35年12月5日	三菱造船 発行	A4冊子1	
1838	「船の科学 12 No.1-6」	昭和34年	船舶技術協会 発行	B5冊子1	
1839	「船の科学 12 No.7-12」	昭和34年	船舶技術協会 発行	B5冊子1	
1840	「会社概要」		日本石油精製	A4冊子1	
1841	「川崎技報① 7月 1954」	昭和29年7月1日	川崎重工業株式会社 編・発行	A4冊子1	
1842	「川崎技報② 10月 1954」	昭和29年10月31日	川崎重工業株式会社 編・発行	A4冊子1	
1843	「川崎技報④ 4月 1955」	昭和30年4月30日	川崎重工業株式会社 編・発行	A4冊子1	
1844	「川崎技報⑤ 7月 1955」	昭和30年7月31日	川崎重工業株式会社 編・発行	A4冊子1	
1845	「川崎技報⑥ 10月 1955」	昭和30年10月31日	川崎重工業株式会社 編・発行	A4冊子1	
1846	「呉造船技報 第10号」	昭和38年3月25日	川崎重工業株式会社 編・発行	A4冊子1	
1847	「広島工業会誌 第62号」	昭和38年5月10日	広島工業会 発行	B5冊子1	
1848	「共和技報 NO.35」	昭和36年1月1日	秀島敏 編, 共和無線研究所 発行	A4冊子1	
1849	「共和技報 NO.38」	昭和36年4月1日	秀島敏 編, 共和無線研究所 発行	A4冊子1	
1850	「共和技報 NO.39」	昭和36年5月1日	秀島敏 編, 共和無線研究所 発行	A4冊子1	
1851	「共和技報 NO.40」	昭和36年6月1日	秀島敏 編, 共和無線研究所 発行	A4冊子1	
1852	「共和技報 NO.41」	昭和36年7月1日	秀島敏 編, 共和無線研究所 発行	A4冊子1	
1853	「共和技報 NO.42」	昭和36年8月1日	秀島敏 編, 共和無線研究所 発行	A4冊子1	
1854	「共和技報 NO.43」	昭和36年9月1日	秀島敏 編, 共和無線研究所 発行	A4冊子1	
1855	「共和技報 NO.44」	昭和36年10月1日	秀島敏 編, 共和無線研究所 発行	A4冊子1	
1856	「共和技報 NO.45」	昭和36年11月1日	秀島敏 編, 共和電業 発行	A4冊子1	
1857	「共和技報 NO.47」	昭和37年1月1日	秀島敏 編, 共和電業 発行	A4冊子1	
1858	「共和技報 NO.46」	昭和36年12月1日	秀島敏 編, 共和電業 発行	A4冊子1	
1859	「共和技報 NO.48」	昭和37年2月1日	秀島敏 編, 共和電業 発行	A4冊子1	
1860	「共和技報 NO.49」	昭和37年3月1日	秀島敏 編, 共和電業 発行	A4冊子1	
1861	「共和技報 NO.50」	昭和37年4月1日	秀島敏 編, 共和電業 発行	A4冊子1	
1862	「共和技報 NO.51」	昭和37年5月1日	秀島敏 編, 共和電業 発行	A4冊子1	
1863	「共和技報 NO.52」	昭和37年6月1日	秀島敏 編, 共和電業 発行	A4冊子1	
1864	「共和技報 NO.53」	昭和37年7月1日	秀島敏 編, 共和電業 発行	A4冊子1	
1865	「共和技報 NO.54」	昭和37年8月1日	秀島敏 編, 共和電業 発行	A4冊子1	
1866	「共和技報 NO.55」	昭和37年9月1日	秀島敏 編, 共和電業 発行	A4冊子1	
1867	「共和技報 NO.56」	昭和37年10月1日	秀島敏 編, 共和電業 発行	A4冊子1	
1868	「共和技報 NO.57」	昭和37年11月1日	秀島敏 編, 共和電業 発行	A4冊子1	
1869	「共和技報 NO.59」	昭和38年1月1日	秀島敏 編, 共和電業 発行	A4冊子1	
1870	「共和技報 NO.60」	昭和38年2月1日	秀島敏 編, 共和電業 発行	A4冊子1	
1871	「共和技報 NO.62」	昭和38年4月1日	秀島敏 編, 共和電業 発行	A4冊子1	
1872	「共和技報 NO.63」	昭和38年5月1日	秀島敏 編, 共和電業 発行	A4冊子1	
1873	「共和技報 NO.64」	昭和38年6月1日	秀島敏 編, 共和電業 発行	A4冊子1	
1874	「共和技報 NO.65」	昭和38年7月1日	秀島敏 編, 共和電業 発行	A4冊子1	

番号	件名	作成年月日	作成(発信→受信)	形態	備考
1875	「共和技報 NO.66」	昭和38年8月1日	秀島敏 編, 共和電業 発行	A4冊子1	
1876	「共和技報 NO.67」	昭和38年9月1日	秀島敏 編, 共和電業 発行	A4冊子1	
1877	「共和技報 NO.68」	昭和38年10月1日	秀島敏 編, 共和電業 発行	A4冊子1	
1878	「共和技報 NO.69」	昭和38年11月1日	秀島敏 編, 共和電業 発行	A4冊子1	
1879	「共和技報 NO.70」	昭和38年12月1日	秀島敏 編, 共和電業 発行	A4冊子1	
1880	「ウェルディング エンジニア 第1巻 第2号」	昭和46年11月1日	産報 発行	B5冊子1	
1881	「ウェルディング エンジニア 第1巻 第3号」	昭和46年12月1日	産報 発行	B5冊子1	
1882	「溶接界 20」	昭和43年	小林積造 編, 日本印刷出版 発行	B5冊子1	
1883	「船舶 第50巻 第9号」	昭和52年9月1日	天然社 発行	B5冊子1	
1884	「船舶 第50巻 第10号」	昭和52年10月1日	天然社 発行	B5冊子1	
1885	「広島工業会誌 第78号」	昭和46年9月10日	社団法人 広島工業会 発行	B5冊子1	
1886	「広島工業会誌 第82号」	昭和48年8月1日	社団法人 広島工業会 発行	B5冊子1	
1887	「広島工業会誌 第84号」	昭和50年3月1日	社団法人 広島工業会 発行	B5冊子1	
1888	「工業教育 第20巻 第2号」	昭和48年3月25日	社団法人 日本工業教育会 発行	B5冊子1	
1889	「工業教育 第20巻 第3号」	昭和48年4月5日	社団法人 日本工業教育会 発行	B5冊子1	
1890	「近畿大学工学研究会誌 VOL.2」	昭和38年3月20日	近畿大学工学研究会 発行	B5冊子1	
1891	「近畿大学工学研究会誌 VOL.3」	昭和39年3月5日	近畿大学工学研究会 発行	B5冊子1	
1892	「しぶき 第十三号」	昭和46年4月18日	広島大学体育会ヨット部 発行	B5冊子1	
1893	「会誌 第7号」	昭和46年7月20日	全国造船教育研究会	B5冊子1	
1894	「海事と情報 創刊号」	昭和46年4月1日	成山堂書店 発行	B5冊子1	
1895	「ウェルディング エンジニア 第2巻 第1号」	昭和47年1月1日	産報 発行	B5冊子1	
1896	「ウェルディング エンジニア 第2巻 第2号」	昭和47年2月1日	産報 発行	B5冊子1	
1897	「ウェルディング エンジニア 第2巻 第3号」	昭和47年3月1日	産報 発行	B5冊子1	
1898	「ウェルディング エンジニア 第2巻 第4号」	昭和47年4月1日	産報 発行	B5冊子1	
1899	「ウェルディング エンジニア 第2巻 第5号」	昭和47年5月1日	産報 発行	B5冊子1	
1900	「ウェルディング エンジニア 第2巻 第6号」	昭和47年6月1日	産報 発行	B5冊子1	
1901	「ウェルディング エンジニア 第2巻 第7号」	昭和47年7月1日	産報 発行	B5冊子1	
1902	「ウェルディング エンジニア 第2巻 第8号」	昭和47年8月1日	産報 発行	B5冊子1	
1903	「ウェルディング エンジニア 第2巻 第9号」	昭和47年9月1日	産報 発行	B5冊子1	
1904	「ウェルディング エンジニア 第2巻 第12号」	昭和47年12月1日	産報 発行	B5冊子1	
1905	「ウェルディング エンジニア 第3巻 第2号」	昭和48年2月1日	産報 発行	B5冊子1	
1906	「ウェルディング エンジニア 第3巻 第4号」	昭和48年4月1日	産報 発行	B5冊子1	
1907	「ウェルディング エンジニア 第3巻 第6号」	昭和48年6月1日	産報 発行	B5冊子1	
1908	「ウェルディング エンジニア 第3巻 第8号」	昭和48年8月1日	産報 発行	B5冊子1	
1909	「溶接学会誌 第28巻 第2号」	昭和34年2月25日	社団法人 日本溶接学会 編	B5冊子1	
1910	「溶接学会誌 第28巻 第3号」	昭和34年3月25日	社団法人 日本溶接学会 編	B5冊子1	
1911	「溶接学会誌 第31巻 第6号」	昭和37年6月25日	社団法人 日本溶接学会 編	B5冊子1	
1912	「溶接学会誌 第31巻 第7号」	昭和37年7月25日	社団法人 日本溶接学会 編	B5冊子1	

### 3. 書籍等

番号	件名	作成年月日	作成(発信→受信)	形態	備考
1913	「溶接学会誌 第31巻 第12号」	昭和37年12月25日	社団法人 日本溶接学会編	B5冊子1	
1914	「溶接学会誌 第32巻 第2号」	昭和38年2月25日	社団法人 日本溶接学会編	B5冊子1	
1915	「溶接学会誌 第32巻 第4号」	昭和38年4月25日	社団法人 日本溶接学会編	B5冊子1	
1916	「溶接学会誌 第32巻 第5号」	昭和38年5月25日	社団法人 日本溶接学会編	B5冊子1	
1917	「溶接学会誌 第32巻 第6号」	昭和38年6月25日	社団法人 日本溶接学会編	B5冊子1	
1918	「溶接学会誌 第32巻 第7号」	昭和38年7月25日	社団法人 日本溶接学会編	B5冊子1	
1919	「溶接学会誌 第33巻 第4号」	昭和39年4月25日	社団法人 日本溶接学会編	B5冊子1	
1920	「溶接学会誌 第33巻 第5号」	昭和39年5月25日	社団法人 日本溶接学会編	B5冊子1	
1921	「溶接学会誌 第33巻 第6号」	昭和39年6月25日	社団法人 日本溶接学会編	B5冊子1	
1922	「溶接学会誌 第33巻 第9号」	昭和39年9月25日	社団法人 日本溶接学会編	B5冊子1	
1923	「溶接学会誌 第33巻 第10号」	昭和39年10月25日	社団法人 日本溶接学会編	B5冊子1	
1924	「溶接学会誌 第34巻 第2号」	昭和40年2月25日	社団法人 日本溶接学会編	B5冊子1	
1925	「溶接学会誌 第34巻 第3号」	昭和40年3月25日	社団法人 日本溶接学会編	B5冊子1	
1926	「溶接学会誌 第34巻 第4号」	昭和40年4月25日	社団法人 日本溶接学会編	B5冊子1	
1927	「溶接学会誌 第34巻 第5号」	昭和40年5月25日	社団法人 日本溶接学会編	B5冊子1	
1928	「溶接学会誌 第34巻 第6号」	昭和40年6月25日	社団法人 日本溶接学会編	B5冊子1	
1929	「溶接学会誌 第34巻 第7号」	昭和40年7月25日	社団法人 日本溶接学会編	B5冊子1	
1930	「溶接学会誌 第34巻 第8号」	昭和40年8月25日	社団法人 日本溶接学会編	B5冊子1	
1931	「溶接学会誌 第34巻 第9号」	昭和40年9月25日	社団法人 日本溶接学会編	B5冊子1	
1932	「溶接学会誌 第34巻 第10号」	昭和40年10月25日	社団法人 日本溶接学会編	B5冊子1	
1933	「溶接学会誌 第34巻 第11号」	昭和40年11月25日	社団法人 日本溶接学会編	B5冊子1	
1934	「溶接学会誌 第34巻 第12号」	昭和40年12月25日	社団法人 日本溶接学会編	B5冊子1	
1935	「溶接技術 第9号 第6号」	昭和36年6月1日	社団法人 日本溶接協会編, 溶接ニュース出版局発行	B5冊子1	
1936	「溶接技術 第9号 第7号」	昭和36年7月1日	社団法人 日本溶接協会編, 溶接ニュース出版局発行	B5冊子1	
1937	「溶接技術 第9号 第8号」	昭和36年8月1日	社団法人 日本溶接協会編, 溶接ニュース出版局発行	B5冊子1	
1938	「溶接技術 第10号 第12号」	昭和37年12月1日	社団法人 日本溶接協会編, 産報発行	B5冊子1	
1939	「溶接技術 第11号 第1号」	昭和38年1月1日	社団法人 日本溶接協会編, 産報発行	B5冊子1	
1940	「溶接技術 第11号 第2号」	昭和38年2月1日	社団法人 日本溶接協会編, 産報発行	B5冊子1	
1941	「溶接技術 第11号 第3号」	昭和38年3月1日	社団法人 日本溶接協会編, 産報発行	B5冊子1	
1942	「溶接技術 第11号 第4号」	昭和38年4月1日	社団法人 日本溶接協会編, 産報発行	B5冊子1	
1943	「溶接技術 第11号 第5号」	昭和38年5月1日	社団法人 日本溶接協会編, 産報発行	B5冊子1	
1944	「溶接技術 第16号 第1号」	昭和43年1月1日	社団法人 日本溶接協会編, 産報発行	B5冊子1	
1945	「溶接技術 第16号 第2号」	昭和43年2月1日	社団法人 日本溶接協会編, 産報発行	B5冊子1	
1946	「溶接技術 第16号 第3号」	昭和43年3月1日	社団法人 日本溶接協会編, 産報発行	B5冊子1	
1947	「溶接技術 第16号 第6号」	昭和43年6月1日	社団法人 日本溶接協会編, 産報発行	B5冊子1	

番号	件名	作成年月日	作成(発信→受信)	形態	備考
1948	「溶接技術 第16号 第7号」	昭和43年7月1日	社団法人 日本溶接協会 編,産報 発行	B5冊子1	
1949	「溶接技術 第16号 第8号」	昭和43年8月1日	社団法人 日本溶接協会 編,産報 発行	B5冊子1	
1950	「溶接技術 第16号 第9号」	昭和43年9月1日	社団法人 日本溶接協会 編,産報 発行	B5冊子1	
1951	「溶接技術 第16号 第10号」	昭和43年10月1日	社団法人 日本溶接協会 編,産報 発行	B5冊子1	
1952	「溶接技術 第16号 第11号」	昭和43年11月1日	社団法人 日本溶接協会 編,産報 発行	B5冊子1	
1953	「溶接技術 第16号 第12号」	昭和43年12月1日	社団法人 日本溶接協会 編,産報 発行	B5冊子1	
1954	「溶接技術 第18号 第1号」	昭和45年1月1日	社団法人 日本溶接協会 編,産報 発行	B5冊子1	
1955	「溶接技術 第18号 第2号」	昭和45年2月1日	社団法人 日本溶接協会 編,産報 発行	B5冊子1	
1956	「溶接技術 第18号 第3号」	昭和45年3月1日	社団法人 日本溶接協会 編,産報 発行	B5冊子1	
1957	「溶接技術 第18号 第4号」	昭和45年4月1日	社団法人 日本溶接協会 編,産報 発行	A4変冊子1	
1958	「溶接技術 第18号 第5号」	昭和45年5月1日	社団法人 日本溶接協会 編,産報 発行	A4変冊子1	
1959	「溶接技術 第18号 第6号」	昭和45年6月1日	社団法人 日本溶接協会 編,産報 発行	A4変冊子1	
1960	「溶接技術 第18号 第7号」	昭和45年7月1日	社団法人 日本溶接協会 編,産報 発行	A4変冊子1	
1961	「溶接技術 第18号 第8号」	昭和45年8月1日	社団法人 日本溶接協会 編,産報 発行	A4変冊子1	
1962	「溶接技術 第18号 第9号」	昭和45年9月1日	社団法人 日本溶接協会 編,産報 発行	A4変冊子1	
1963	「溶接技術 第18号 第10号」	昭和45年10月1日	社団法人 日本溶接協会 編,産報 発行	A4変冊子1	
1964	「溶接技術 第18号 第11号」	昭和45年11月1日	社団法人 日本溶接協会 編,産報 発行	A4変冊子1	
1965	「溶接技術 第18号 第12号」	昭和45年12月1日	社団法人 日本溶接協会 編,産報 発行	A4変冊子1	
1966	「溶接技術 第20号 第1号」	昭和47年1月1日	社団法人 日本溶接協会 編,産報 発行	A4変冊子1	
1967	「溶接技術 第20号 第2号」	昭和47年2月1日	社団法人 日本溶接協会 編,産報 発行	A4変冊子1	
1968	「溶接技術 第20号 第3号」	昭和47年3月1日	社団法人 日本溶接協会 編,産報 発行	A4変冊子1	
1969	「溶接技術 第20号 第4号」	昭和47年4月1日	社団法人 日本溶接協会 編,産報 発行	A4変冊子1	
1970	「溶接技術 第20号 第5号」	昭和47年5月1日	社団法人 日本溶接協会 編,産報 発行	A4変冊子1	
1971	「溶接技術 第20号 第6号」	昭和47年6月1日	社団法人 日本溶接協会 編,産報 発行	A4変冊子1	
1972	「溶接技術 第20号 第7号」	昭和47年7月1日	社団法人 日本溶接協会 編,産報 発行	A4変冊子1	
1973	「溶接技術 第20号 第8号」	昭和47年8月1日	社団法人 日本溶接協会 編,産報 発行	A4変冊子1	
1974	「溶接技術 第20号 第9号」	昭和47年9月1日	社団法人 日本溶接協会 編,産報 発行	A4変冊子1	
1975	「溶接技術 第20号 第10号」	昭和47年10月1日	社団法人 日本溶接協会 編,産報 発行	A4変冊子1	
1976	「溶接技術 第20号 第11号」	昭和47年11月1日	社団法人 日本溶接協会 編,産報 発行	A4変冊子1	
1977	「溶接技術 第20号 第12号」	昭和47年12月1日	社団法人 日本溶接協会 編,産報 発行	A4変冊子1	
1978	「共和技報 NO.5」	昭和33年7月1日	秀島敏編,共和無線研究 所発行	A4洋紙6	青焼コピー
1979	「共和技報 NO.6」	昭和33年8月1日	秀島敏編,共和無線研究 所発行	A4冊子1	
1980	「共和技報 NO.7」	昭和33年9月1日	秀島敏編,共和無線研究 所発行	A4冊子1	
1981	「共和技報 NO.8」	昭和33年10月1日	秀島敏編,共和無線研究 所発行	A4冊子1	
1982	「共和技報 NO.9」	昭和33年11月1日	秀島敏編,共和無線研究 所発行	A4冊子1	
1983	「共和技報 NO.10」	昭和33年12月1日	秀島敏編,共和無線研究 所発行	A4冊子1	
1984	「共和技報 NO.11」	昭和34年1月1日	秀島敏編,共和無線研究 所発行	A4冊子1	

### 3. 書籍等

番号	件名	作成年月日	作成(発信→受信)	形態	備考
1985	「共和技報 NO.12」	昭和34年2月1日	秀島敏編,共和無線研究所発行	A4冊子1	
1986	「共和技報 NO.13」	昭和34年3月1日	秀島敏編,共和無線研究所発行	A4冊子1	
1987	「共和技報 NO.14」	昭和34年4月1日	秀島敏編,共和無線研究所発行	A4冊子1	
1988	「共和技報 NO.15」	昭和34年5月1日	秀島敏編,共和無線研究所発行	A4冊子1	
1989	「共和技報 NO.16」	昭和34年6月1日	秀島敏編,共和無線研究所発行	A4冊子1	
1990	「共和技報 NO.17」	昭和34年7月1日	秀島敏編,共和無線研究所発行	A4冊子1	
1991	「共和技報 NO.18」	昭和34年8月1日	秀島敏編,共和無線研究所発行	A4冊子1	
1992	「共和技報 NO.19」	昭和34年9月1日	秀島敏編,共和無線研究所発行	A4冊子1	
1993	「共和技報 NO.20」	昭和34年10月1日	秀島敏編,共和無線研究所発行	A4冊子1	
1994	「共和技報 NO.21」	昭和34年11月1日	秀島敏編,共和無線研究所発行	A4冊子1	
1995	「共和技報 NO.22」	昭和34年12月1日	秀島敏編,共和無線研究所発行	A4冊子1	
1996	「共和技報 NO.23」	昭和35年1月1日	秀島敏編,共和無線研究所発行	A4冊子1	
1997	「共和技報 NO.24」	昭和35年2月1日	秀島敏編,共和無線研究所発行	A4冊子1	
1998	「共和技報 NO.26」	昭和35年4月1日	秀島敏編,共和無線研究所発行	A4冊子1	
1999	「共和技報 NO.27」	昭和35年5月1日	秀島敏編,共和無線研究所発行	A4冊子1	
2000	「共和技報 NO.28」	昭和35年6月1日	秀島敏編,共和無線研究所発行	A4冊子1	
2001	「共和技報 NO.29」	昭和35年7月1日	秀島敏編,共和無線研究所発行	A4冊子1	
2002	「共和技報 NO.30」	昭和35年8月1日	秀島敏編,共和無線研究所発行	A4冊子1	
2003	「共和技報 NO.31」	昭和35年9月1日	秀島敏編,共和無線研究所発行	A4冊子1	
2004	「共和技報 NO.32」	昭和35年10月1日	秀島敏編,共和無線研究所発行	A4冊子1	
2005	「共和技報 NO.33」	昭和35年11月1日	秀島敏編,共和無線研究所発行	A4冊子1	
2006	「共和技報 NO.34」	昭和35年12月1日	秀島敏編,共和無線研究所発行	A4冊子1	
2007	「日立造船技報 第21巻 第3号」	昭和35年8月30日	日立造船株式会社技術研究所 編・発行	A4冊子1	
2008	「日立造船技報 第21巻 第4号」	昭和35年11月30日	日立造船株式会社技術研究所 編・発行	A4冊子1	
2009	「日立造船技報 第22巻 第1号」	昭和36年2月25日	日立造船株式会社技術研究所 編・発行	A4冊子1	
2010	「中小型鋼造船と大崎島」	昭和38年10月1日	松浦弘 著,松浦鉄工造船所技術部 発行	B5冊子1	
2011	「日立造船技報 第20巻 第1号」	昭和34年2月1日	日立造船株式会社技術研究所 編・発行	B5冊子1	
2012	「溶接技術管理」	昭和38年3月	社団法人日本溶接協会造船溶接施工委員会 編	A4冊子1	
2013	「計測と制御 第1巻 第2号」	昭和37年2月10日	計測自動制御学会 発行	B5冊子1	
2014	「電気工学計算問題集」	昭和5年9月1日	工業教育会 編・発行	A5変冊子1	函入,初版大正8年10月30日
2015	「飛行機の力学 全」	昭和2年9月15日	R. DEVILLERS 著,野田哲夫・西井潔 訳,山海堂出版部 発行	A5変冊子1	函入
2016	「浦賀技報 第4号」	昭和34年3月2日	浦賀船渠株式会社浦賀造船所 編・発行	A4冊子1	
2017	「浦賀技報 第5号」	昭和34年8月16日	浦賀船渠株式会社浦賀造船所 編・発行	A4冊子1	
2018	「三菱造船 29 Vol.6」	昭和33年10月1日	三菱造船 発行	A4冊子1	
2019	「三菱造船 30 Vol.6」	昭和33年11月20日	三菱造船 発行	A4冊子1	
2020	「三菱造船 32 Vol.7」	昭和34年7月5日	三菱造船 発行	A4冊子1	
2021	「三菱造船 35 Vol.8」	昭和35年7月25日	三菱造船 発行	A4冊子1	
2022	「三菱造船の研究機関」	昭和35年8月1日	三菱造船 編・発行	A4冊子1	
2023	「溶接技術 第21号 第2号」	昭和48年2月1日	社団法人 日本溶接協会 編,産報 発行	A4変冊子1	

番号	件名	作成年月日	作成(発信→受信)	形態	備考
2024	「溶接技術 第21号 第3号」	昭和48年3月1日	社団法人 日本溶接協会 編,産報 発行	A4変冊子1	
2025	「溶接技術 第21号 第4号」	昭和48年4月1日	社団法人 日本溶接協会 編,産報 発行	A4変冊子1	
2026	「溶接技術 第21号 第5号」	昭和48年5月1日	社団法人 日本溶接協会 編,産報 発行	A4変冊子1	
2027	「溶接技術 第21号 第6号」	昭和48年6月1日	社団法人 日本溶接協会 編,産報 発行	A4変冊子1	
2028	「溶接技術 第21号 第7号」	昭和48年7月1日	社団法人 日本溶接協会 編,産報 発行	A4変冊子1	
2029	「溶接技術 第21号 第8号」	昭和48年8月1日	社団法人 日本溶接協会 編,産報 発行	A4変冊子1	
2030	「溶接技術 第21号 第9号」	昭和48年9月1日	社団法人 日本溶接協会 編,産報 発行	A4変冊子1	
2031	「溶接技術 第21号 第10号」	昭和48年10月1日	社団法人 日本溶接協会 編,産報 発行	A4変冊子1	
2032	「溶接技術 第21号 第11号」	昭和48年11月1日	社団法人 日本溶接協会 編,産報 発行	A4変冊子1	
2033	「溶接技術 第21号 第12号」	昭和48年12月1日	社団法人 日本溶接協会 編,産報 発行	A4変冊子1	
2034	「溶接技術 第27号 第11号」	昭和54年11月1日	社団法人 日本溶接協会 編,産報 発行	A4変冊子1	
2035	「溶接技術 第27号 第1号」	昭和54年1月1日	社団法人 日本溶接協会 編,産報 発行	A4変冊子1	
2036	「溶接技術 第27号 第2号」	昭和54年2月1日	社団法人 日本溶接協会 編,産報 発行	A4変冊子1	
2037	「溶接技術 第27号 第3号」	昭和54年3月1日	社団法人 日本溶接協会 編,産報 発行	A4変冊子1	
2038	「溶接技術 第27号 第4号」	昭和54年4月1日	社団法人 日本溶接協会 編,産報 発行	A4変冊子1	
2039	「溶接技術 第27号 第5号」	昭和54年5月1日	社団法人 日本溶接協会 編,産報 発行	A4変冊子1	
2040	「溶接技術 第27号 第6号」	昭和54年6月1日	社団法人 日本溶接協会 編,産報 発行	A4変冊子1	
2041	「溶接技術 第27号 第7号」	昭和54年7月1日	社団法人 日本溶接協会 編,産報 発行	A4変冊子1	
2042	「溶接技術 第27号 第8号」	昭和54年8月1日	社団法人 日本溶接協会 編,産報 発行	A4変冊子1	
2043	「溶接技術 第27号 第9号」	昭和54年9月1日	社団法人 日本溶接協会 編,産報 発行	A4変冊子1	
2044	「溶接技術 第27号 第10号」	昭和54年10月1日	社団法人 日本溶接協会 編,産報 発行	A4変冊子1	
2045	「溶接技術 第27号 第12号」	昭和54年12月1日	社団法人 日本溶接協会 編,産報 発行	A4変冊子1	
2046	「船の科学 第11巻 第1号」	昭和33年1月10日	船舶技術協会 発行	B5冊子1	
2047	「船の科学 第11巻 第2号」	昭和33年2月10日	船舶技術協会 発行	B5冊子1	
2048	「船の科学 第11巻 第3号」	昭和33年3月10日	船舶技術協会 発行	B5冊子1	
2049	「船の科学 第11巻 第4号」	昭和33年4月10日	船舶技術協会 発行	B5冊子1	
2050	「船の科学 第11巻 第5号」	昭和33年5月10日	船舶技術協会 発行	B5冊子1	
2051	「船の科学 第11巻 第6号」	昭和33年6月10日	船舶技術協会 発行	B5冊子1	
2052	「船の科学 第11巻 第7号」	昭和33年7月10日	船舶技術協会 発行	B5冊子1	
2053	「船の科学 11 No.8-12」	昭和33年	船舶技術協会 発行	B5冊子1	
2054	「船の科学 15 No.1-6」	昭和37年	船舶技術協会 発行	B5冊子1	
2055	「船の科学 15 No.7-12」	昭和37年	船舶技術協会 発行	B5冊子1	
2056	「船の科学 第26巻 第1号」	昭和48年1月10日	船舶技術協会 発行	B5冊子1	
2057	「船の科学 第26巻 第2号」	昭和48年2月10日	船舶技術協会 発行	B5冊子1	
2058	「船の科学 第26巻 第3号」	昭和48年3月10日	船舶技術協会 発行	B5冊子1	
2059	「船の科学 第26巻 第4号」	昭和48年4月10日	船舶技術協会 発行	B5冊子1	
2060	「船の科学 第26巻 第5号」	昭和48年5月10日	船舶技術協会 発行	B5冊子1	
2061	「船の科学 第26巻 第6号」	昭和48年6月10日	船舶技術協会 発行	B5冊子1	
2062	「船の科学 第26巻 第7号」	昭和48年7月10日	船舶技術協会 発行	B5冊子1	
2063	「船の科学 第26巻 第8号」	昭和48年8月10日	船舶技術協会 発行	B5冊子1	
2064	「船の科学 第26巻 第9号」	昭和48年9月10日	船舶技術協会 発行	B5冊子1	
2065	「船の科学 第26巻 第10号」	昭和48年10月10日	船舶技術協会 発行	B5冊子1	
2066	「船の科学 第26巻 第11号」	昭和48年11月10日	船舶技術協会 発行	B5冊子1	
2067	「船の科学 第26巻 第12号」	昭和48年12月10日	船舶技術協会 発行	B5冊子1	
2068	「船舶 第31巻 第1号」	昭和33年1月12日	天然社 発行	B5冊子1	
2069	「船舶 第31巻 第2号」	昭和33年2月12日	天然社 発行	B5冊子1	
2070	「船舶 第31巻 第3号」	昭和33年3月12日	天然社 発行	B5冊子1	
2071	「船舶 第31巻 第4号」	昭和33年4月12日	天然社 発行	B5冊子1	
2072	「船舶 第31巻 第5号」	昭和33年5月12日	天然社 発行	B5冊子1	

### 3. 書籍等

番号	件名	作成年月日	作成(発信→受信)	形態	備考
2073	「船舶 第31巻 第6号」	昭和33年6月12日	天然社 発行	B5冊子1	
2074	「船舶 第31巻 第7号」	昭和33年7月12日	天然社 発行	B5冊子1	
2075	「船舶 第31巻 第8号」	昭和33年8月12日	天然社 発行	B5冊子1	
2076	「船舶 第31巻 第9号」	昭和33年9月12日	天然社 発行	B5冊子1	
2077	「船舶 第31巻 第10号」	昭和33年10月12日	天然社 発行	B5冊子1	
2078	「船舶 第31巻 第11号」	昭和33年11月12日	天然社 発行	B5冊子1	
2079	「船舶 第31巻 第12号」	昭和33年12月12日	天然社 発行	B5冊子1	
2080	「船舶 第32巻 第1号」	昭和34年1月12日	天然社 発行	B5冊子1	
2081	「船舶 第32巻 第2号」	昭和34年2月12日	天然社 発行	B5冊子1	
2082	「船舶 第32巻 第3号」	昭和34年3月12日	天然社 発行	B5冊子1	
2083	「船舶 第32巻 第4号」	昭和34年4月12日	天然社 発行	B5冊子1	
2084	「船舶 第32巻 第5号」	昭和34年5月12日	天然社 発行	B5冊子1	
2085	「船舶 第32巻 第6号」	昭和34年6月12日	天然社 発行	B5冊子1	
2086	「船舶 第32巻 第7号」	昭和34年7月12日	天然社 発行	B5冊子1	
2087	「船舶 第32巻 第8号」	昭和34年8月12日	天然社 発行	B5冊子1	
2088	「船舶 第32巻 第9号」	昭和34年9月12日	天然社 発行	B5冊子1	
2089	「船舶 第32巻 第10号」	昭和34年10月12日	天然社 発行	B5冊子1	
2090	「船舶 第32巻 第11号」	昭和34年11月12日	天然社 発行	B5冊子1	
2091	「船舶 第32巻 第12号」	昭和34年12月12日	天然社 発行	B5冊子1	
2092	「船舶 第33巻 第1号」	昭和35年1月12日	天然社 発行	B5冊子1	
2093	「船舶 第33巻 第2号」	昭和35年2月12日	天然社 発行	B5冊子1	
2094	「船舶 第33巻 第3号」	昭和35年3月12日	天然社 発行	B5冊子1	
2095	「船舶 第33巻 第4号」	昭和35年4月12日	天然社 発行	B5冊子1	
2096	「船舶 第33巻 第5号」	昭和35年5月12日	天然社 発行	B5冊子1	
2097	「船舶 第33巻 第6号」	昭和35年6月12日	天然社 発行	B5冊子1	
2098	「船舶 第33巻 第7号」	昭和35年7月12日	天然社 発行	B5冊子1	
2099	「船舶 第33巻 第8号」	昭和35年8月12日	天然社 発行	B5冊子1	
2100	「船舶 第33巻 第9号」	昭和35年9月12日	天然社 発行	B5冊子1	
2101	「船舶 第33巻 第10号」	昭和35年10月12日	天然社 発行	B5冊子1	
2102	「船舶 第33巻 第11号」	昭和35年11月12日	天然社 発行	B5冊子1	
2103	「船舶 第33巻 第12号」	昭和35年12月12日	天然社 発行	B5冊子1	
2104	「船舶 第34巻 第1号」	昭和36年1月12日	天然社 発行	B5冊子1	
2105	「船舶 第34巻 第2号」	昭和36年2月12日	天然社 発行	B5冊子1	
2106	「船舶 第34巻 第3号」	昭和36年3月12日	天然社 発行	B5冊子1	
2107	「船舶 第34巻 第4号」	昭和36年4月12日	天然社 発行	B5冊子1	
2108	「船舶 第34巻 第5号」	昭和36年5月12日	天然社 発行	B5冊子1	
2109	「船舶 第34巻 第6号」	昭和36年6月12日	天然社 発行	B5冊子1	
2110	「船舶 第34巻 第7号」	昭和36年7月12日	天然社 発行	B5冊子1	
2111	「船舶 第34巻 第8号」	昭和36年8月12日	天然社 発行	B5冊子1	
2112	「船舶 第34巻 第9号」	昭和36年9月12日	天然社 発行	B5冊子1	
2113	「船舶 第34巻 第10号」	昭和36年10月12日	天然社 発行	B5冊子1	
2114	「船舶 第34巻 第11号」	昭和36年11月12日	天然社 発行	B5冊子1	
2115	「船舶 第34巻 第12号」	昭和36年12月12日	天然社 発行	B5冊子1	
2116	「船舶 第35巻 第1号」	昭和37年1月12日	天然社 発行	B5冊子1	
2117	「船舶 第35巻 第2号」	昭和37年2月12日	天然社 発行	B5冊子1	
2118	「船舶 第35巻 第3号」	昭和37年3月12日	天然社 発行	B5冊子1	
2119	「船舶 第35巻 第4号」	昭和37年4月12日	天然社 発行	B5冊子1	
2120	「船舶 第35巻 第5号」	昭和37年5月12日	天然社 発行	B5冊子1	
2121	「船舶 第35巻 第6号」	昭和37年6月12日	天然社 発行	B5冊子1	
2122	「船舶 第35巻 第7号」	昭和37年7月12日	天然社 発行	B5冊子1	
2123	「船舶 第35巻 第8号」	昭和37年8月12日	天然社 発行	B5冊子1	
2124	「船舶 第35巻 第9号」	昭和37年9月12日	天然社 発行	B5冊子1	
2125	「船舶 第35巻 第10号」	昭和37年10月12日	天然社 発行	B5冊子1	
2126	「船舶 第35巻 第11号」	昭和37年11月12日	天然社 発行	B5冊子1	
2127	「船舶 第35巻 第12号」	昭和37年12月12日	天然社 発行	B5冊子1	
2128	「船舶 46 No.2-6」	昭和48年	天然社 発行	B5冊子1	
2129	「船舶 46 No.7-12」	昭和48年	天然社 発行	B5冊子1	
2130	「溶接技術 第4巻 第3号」	昭和31年3月1日	社会法人 日本溶接協会 編集局 発行	B5冊子1	
2131	「溶接技術 第4巻 第8号」	昭和31年8月1日	社会法人 日本溶接協会 編集局 発行	B5冊子1	
2132	「溶接技術 第4巻 第9号」	昭和31年9月1日	社会法人 日本溶接協会 編集局 発行	B5冊子1	
2133	「溶接技術 第4巻 第10号」	昭和31年10月1日	社会法人 日本溶接協会 編集局 発行	B5冊子1	
2134	「溶接技術 第4巻 第11号」	昭和31年11月1日	社会法人 日本溶接協会 編集局 発行	B5冊子1	

番号	件名	作成年月日	作成(発信→受信)	形態	備考
2135	「溶接技術 第4巻 第12号」	昭和31年12月1日	社会法人 日本溶接協会 編集局 発行	B5冊子1	
2136	「溶接技術 第7巻 第1号」	昭和34年1月1日	社団法人 日本溶接協会 編, 溶接ニュース出版局 発行	B5冊子1	
2137	「溶接技術 第7巻 第2号」	昭和34年2月1日	社団法人 日本溶接協会 編, 溶接ニュース出版局 発行	B5冊子1	
2138	「溶接技術 第7巻 第3号」	昭和34年3月1日	社団法人 日本溶接協会 編, 溶接ニュース出版局 発行	B5冊子1	
2139	「溶接技術 第7巻 第4号」	昭和34年4月1日	社団法人 日本溶接協会 編, 溶接ニュース出版局 発行	B5冊子1	
2140	「溶接技術 第7巻 第6号」	昭和34年6月1日	社団法人 日本溶接協会 編, 溶接ニュース出版局 発行	B5冊子1	
2141	「溶接技術 第7巻 第7号」	昭和34年7月1日	社団法人 日本溶接協会 編, 溶接ニュース出版局 発行	B5冊子1	
2142	「溶接技術 第7巻 第8号」	昭和34年8月1日	社団法人 日本溶接協会 編, 溶接ニュース出版局 発行	B5冊子1	
2143	「溶接技術 第7巻 第9号」	昭和34年9月1日	社団法人 日本溶接協会 編, 溶接ニュース出版局 発行	B5冊子1	
2144	「溶接技術 第7巻 第10号」	昭和34年10月1日	社団法人 日本溶接協会 編, 溶接ニュース出版局 発行	B5冊子1	
2145	「溶接技術 第12巻 第1号」	昭和39年1月1日	社団法人 日本溶接協会 編, 産報 発行	B5冊子1	
2146	「溶接技術 第12巻 第2号」	昭和39年2月1日	社団法人 日本溶接協会 編, 産報 発行	B5冊子1	
2147	「溶接技術 第12巻 第3号」	昭和39年3月1日	社団法人 日本溶接協会 編, 産報 発行	B5冊子1	
2148	「溶接技術 第12巻 第4号」	昭和39年4月1日	社団法人 日本溶接協会 編, 産報 発行	B5冊子1	
2149	「溶接技術 第12巻 第5号」	昭和39年5月1日	社団法人 日本溶接協会 編, 産報 発行	B5冊子1	
2150	「溶接技術 第12巻 第6号」	昭和39年6月1日	社団法人 日本溶接協会 編, 産報 発行	B5冊子1	
2151	「溶接技術 第12巻 第7号」	昭和39年7月1日	社団法人 日本溶接協会 編, 産報 発行	B5冊子1	
2152	「溶接技術 第12巻 第8号」	昭和39年8月1日	社団法人 日本溶接協会 編, 産報 発行	B5冊子1	
2153	「溶接技術 第12巻 第9号」	昭和39年9月1日	社団法人 日本溶接協会 編, 産報 発行	B5冊子1	
2154	「溶接技術 第12巻 第10号」	昭和39年10月1日	社団法人 日本溶接協会 編, 産報 発行	B5冊子1	
2155	「溶接技術 第12巻 第11号」	昭和39年11月1日	社団法人 日本溶接協会 編, 産報 発行	B5冊子1	
2156	「溶接技術 第12巻 第12号」	昭和39年12月1日	社団法人 日本溶接協会 編, 産報 発行	B5冊子1	
2157	「溶接技術 第13巻 第1号」	昭和40年1月1日	社団法人 日本溶接協会 編, 産報 発行	B5冊子1	
2158	「溶接技術 第13巻 第2号」	昭和40年2月1日	社団法人 日本溶接協会 編, 産報 発行	B5冊子1	
2159	「溶接技術 第13巻 第4号」	昭和40年4月1日	社団法人 日本溶接協会 編, 産報 発行	B5冊子1	
2160	「溶接技術 第13巻 第5号」	昭和40年5月1日	社団法人 日本溶接協会 編, 産報 発行	B5冊子1	
2161	「溶接技術 第13巻 第6号」	昭和40年6月1日	社団法人 日本溶接協会 編, 産報 発行	B5冊子1	
2162	「溶接技術 第13巻 第7号」	昭和40年7月1日	社団法人 日本溶接協会 編, 産報 発行	B5冊子1	
2163	「溶接技術 第13巻 第8号」	昭和40年8月1日	社団法人 日本溶接協会 編, 産報 発行	B5冊子1	
2164	「溶接技術 第13巻 第9号」	昭和40年9月1日	社団法人 日本溶接協会 編, 産報 発行	B5冊子1	
2165	「溶接技術 第13巻 第10号」	昭和40年10月1日	社団法人 日本溶接協会 編, 産報 発行	B5冊子1	
2166	「溶接技術 第13巻 第11号」	昭和40年11月1日	社団法人 日本溶接協会 編, 産報 発行	B5冊子1	
2167	「溶接技術 第13巻 第12号」	昭和40年12月1日	社団法人 日本溶接協会 編, 産報 発行	B5冊子1	

### 3. 書籍等

番号	件名	作成年月日	作成(発信→受信)	形態	備考
2168	「溶接界 12」	昭和35年	日本印刷出版 発行	B5冊子1	
2169	「溶接界 13」	昭和36年	日本印刷出版 発行	B5冊子1	
2170	「船の科学 13 No.1-6」	昭和35年	船舶技術協会 発行	B5冊子1	
2171	「船の科学 13 No.7-12」	昭和35年	船舶技術協会 発行	B5冊子1	
2172	「日立造船技報 第28巻 第1号」	昭和42年2月20日	日立造船株式会社技術研究所 編・発行	A4冊子1	
2173	「日立造船技報 第28巻 第2号」	昭和42年5月20日	日立造船株式会社技術研究所 編・発行	A4冊子1	
2174	「日立造船技報 第28巻 第3号」	昭和42年8月30日	日立造船株式会社技術研究所 編・発行	A4冊子1	
2175	「日立造船技報 第28巻 第4号」	昭和42年11月30日	日立造船株式会社技術研究所 編・発行	A4冊子1	
2176	「日立造船技報 第31巻 第1号」	昭和45年2月20日	日立造船株式会社技術研究所 編・発行	A4冊子1	
2177	「日立造船技報 第31巻 第2号」	昭和45年5月20日	日立造船株式会社技術研究所 編・発行	A4冊子1	
2178	「日立造船技報 第31巻 第3号」	昭和45年8月20日	日立造船株式会社技術研究所 編・発行	A4冊子1	
2179	「日立造船技報 第31巻 第4号」	昭和45年11月30日	日立造船株式会社技術研究所 編・発行	A4冊子1	
2180	「造波 第3号」	昭和35年3月30日	広島大学船舶会	A5冊子1	
2181	「造波 第4号」	昭和36年1月9日	広島大学船舶会	A5冊子1	
2182	「造波 第6号」	昭和37年3月1日	広島大学船舶会	A5冊子1	
2183	「近畿大学呉機械学会誌 vol.2」	昭和38年3月20日	近畿大学呉機械学会 編・発行	B5冊子1	
2184	「近畿大学呉機械学会誌 vol.3」	昭和38年12月16日	近畿大学呉機械学会企画部 編, 近畿大学呉機械学会 発行	B5冊子1	
2185	「FRP技術データ集」	昭和37年10月10日	社団法人 強化プラスチック協会 発行	B5冊子1	
2186	「造船・車両に関するFRPシンポジウムテキスト」	昭和37年10月10日	社団法人 強化プラスチック協会 発行	B5冊子1	
2187	「溶接学会誌 第27巻 第8号」	昭和33年8月25日	社団法人 溶接学会 発行	B5冊子1	
2188	「溶接学会誌 第27巻 第9号」	昭和33年9月25日	社団法人 溶接学会 発行	B5冊子1	
2189	「溶接学会誌 第27巻 第10号」	昭和33年10月25日	社団法人 溶接学会 発行	B5冊子1	
2190	「溶接学会誌 第27巻 第11号」	昭和33年11月25日	社団法人 溶接学会 発行	B5冊子1	
2191	「溶接学会誌 第27巻 第12号」	昭和33年12月25日	社団法人 溶接学会 発行	B5冊子1	
2192	「溶接学会誌 第30巻 第6号」	昭和36年6月25日	社団法人 溶接学会 発行	B5冊子1	
2193	「溶接学会誌 第30巻 第9号」	昭和36年9月25日	社団法人 溶接学会 発行	B5冊子1	
2194	「溶接学会誌 第30巻 第10号」	昭和36年10月25日	社団法人 溶接学会 発行	B5冊子1	
2195	「溶接学会誌 第30巻 第11号」	昭和36年11月25日	社団法人 溶接学会 発行	B5冊子1	
2196	「溶接学会誌 第30巻 第12号」	昭和36年12月25日	社団法人 溶接学会 発行	B5冊子1	
2197	「溶接学会誌 第31巻 第2号」	昭和37年2月25日	社団法人 溶接学会 発行	B5冊子1	
2198	「溶接学会誌 第31巻 第3号」	昭和37年3月25日	社団法人 溶接学会 発行	B5冊子1	
2199	「溶接学会誌 第31巻 第4号」	昭和37年4月25日	社団法人 溶接学会 発行	B5冊子1	
2200	「溶接学会誌 第31巻 第5号」	昭和37年5月25日	社団法人 溶接学会 発行	B5冊子1	
2201	「溶接学会誌 第31巻 第8号」	昭和37年8月25日	社団法人 溶接学会 発行	B5冊子1	
2202	「溶接学会誌 第31巻 第9号」	昭和37年9月25日	社団法人 溶接学会 発行	B5冊子1	
2203	「溶接学会誌 第31巻 第10号」	昭和37年10月25日	社団法人 溶接学会 発行	B5冊子1	
2204	「溶接学会誌 第31巻 第11号」	昭和37年11月25日	社団法人 溶接学会 発行	B5冊子1	
2205	「溶接学会誌 第32巻 第1号」	昭和38年1月25日	社団法人 溶接学会 発行	B5冊子1	
2206	「溶接学会誌 第32巻 第3号」	昭和38年3月25日	社団法人 溶接学会 発行	B5冊子1	

番号	件名	作成年月日	作成(発信→受信)	形態	備考
2207	「溶接学会誌 第32巻 第8号」	昭和38年8月25日	社団法人 溶接学会 発行	B5冊子1	
2208	「溶接学会誌 第32巻 第9号」	昭和38年9月25日	社団法人 溶接学会 発行	B5冊子1	
2209	「溶接学会誌 第32巻 第10号」	昭和38年10月25日	社団法人 溶接学会 発行	B5冊子1	
2210	「溶接学会誌 第32巻 第11号」	昭和38年11月25日	社団法人 溶接学会 発行	B5冊子1	
2211	「溶接学会誌 第32巻 第12号」	昭和38年12月25日	社団法人 溶接学会 発行	B5冊子1	
2212	「溶接学会誌 第33巻 第1号」	昭和39年1月25日	社団法人 溶接学会 発行	B5冊子1	
2213	「溶接学会誌 第33巻 第2号」	昭和39年2月25日	社団法人 溶接学会 発行	B5冊子1	
2214	「溶接学会誌 第33巻 第3号」	昭和39年3月25日	社団法人 溶接学会 発行	B5冊子1	
2215	「溶接学会誌 第33巻 第4号」	昭和39年4月25日	社団法人 溶接学会 発行	B5冊子1	
2216	「溶接学会誌 第33巻 第5号」	昭和39年5月25日	社団法人 溶接学会 発行	B5冊子1	
2217	「溶接学会誌 第33巻 第6号」	昭和39年6月25日	社団法人 溶接学会 発行	B5冊子1	
2218	「溶接学会誌 第33巻 第7号」	昭和39年7月25日	社団法人 溶接学会 発行	B5冊子1	
2219	「溶接学会誌 第33巻 第8号」	昭和39年8月25日	社団法人 溶接学会 発行	B5冊子1	
2220	「溶接学会誌 第33巻 第9号」	昭和39年9月25日	社団法人 溶接学会 発行	B5冊子1	
2221	「溶接学会誌 第33巻 第10号」	昭和39年10月25日	社団法人 溶接学会 発行	B5冊子1	
2222	「溶接学会誌 第33巻 第11号」	昭和39年11月25日	社団法人 溶接学会 発行	B5冊子1	
2223	「溶接学会誌 第33巻 第12号」	昭和39年12月25日	社団法人 溶接学会 発行	B5冊子1	
2224	「溶接界 11」	昭和34年	日本印刷出版 発行	B5冊子1	
2225	「溶接界 14」	昭和37年	日本印刷出版 発行	B5冊子1	
2226	「溶接技術 第6巻 第1号」	昭和33年1月1日	社団法人 日本溶接協会編, 溶接ニュース出版局 発行	B5冊子1	
2227	「溶接技術 第6巻 第2号」	昭和33年2月1日	社団法人 日本溶接協会編, 溶接ニュース出版局 発行	B5冊子1	
2228	「溶接技術 第6巻 第3号」	昭和33年3月1日	社団法人 日本溶接協会編, 溶接ニュース出版局 発行	B5冊子1	
2229	「溶接技術 第6巻 第4号」	昭和33年4月1日	社団法人 日本溶接協会編, 溶接ニュース出版局 発行	B5冊子1	
2230	「溶接技術 第6巻 第5号」	昭和33年5月1日	社団法人 日本溶接協会編, 溶接ニュース出版局 発行	B5冊子1	
2231	「溶接技術 第6巻 第6号」	昭和33年6月1日	社団法人 日本溶接協会編, 溶接ニュース出版局 発行	B5冊子1	
2232	「溶接技術 第6巻 第7号」	昭和33年7月1日	社団法人 日本溶接協会編, 溶接ニュース出版局 発行	B5冊子1	
2233	「溶接技術 第6巻 第8号」	昭和33年8月1日	社団法人 日本溶接協会編, 溶接ニュース出版局 発行	B5冊子1	
2234	「溶接技術 第6巻 第9号」	昭和33年9月1日	社団法人 日本溶接協会編, 溶接ニュース出版局 発行	B5冊子1	
2235	「溶接技術 第6巻 第10号」	昭和33年10月1日	社団法人 日本溶接協会編, 溶接ニュース出版局 発行	B5冊子1	
2236	「溶接技術 第6巻 第11号」	昭和33年11月1日	社団法人 日本溶接協会編, 溶接ニュース出版局 発行	B5冊子1	
2237	「溶接技術 第6巻 第12号」	昭和33年12月1日	社団法人 日本溶接協会編, 溶接ニュース出版局 発行	B5冊子1	
2238	「溶接技術 第8巻 第1号」	昭和35年1月1日	社団法人 日本溶接協会編, 溶接ニュース出版局 発行	B5冊子1	

### 3. 書籍等

番号	件名	作成年月日	作成(発信→受信)	形態	備考
2239	「溶接技術 第8巻 第2号」	昭和35年2月1日	社団法人 日本溶接協会編, 溶接ニュース出版局発行	B5冊子1	
2240	「溶接技術 第8巻 第3号」	昭和35年3月1日	社団法人 日本溶接協会編, 溶接ニュース出版局発行	B5冊子1	
2241	「溶接技術 第8巻 第4号」	昭和35年4月1日	社団法人 日本溶接協会編, 溶接ニュース出版局発行	B5冊子1	
2242	「溶接技術 第8巻 第5号」	昭和35年5月1日	社団法人 日本溶接協会編, 溶接ニュース出版局発行	B5冊子1	
2243	「溶接技術 第8巻 第6号」	昭和35年6月1日	社団法人 日本溶接協会編, 溶接ニュース出版局発行	B5冊子1	
2244	「溶接技術 第8巻 第7号」	昭和35年7月1日	社団法人 日本溶接協会編, 溶接ニュース出版局発行	B5冊子1	
2245	「溶接技術 第8巻 第8号」	昭和35年8月1日	社団法人 日本溶接協会編, 溶接ニュース出版局発行	B5冊子1	
2246	「溶接技術 第8巻 第9号」	昭和35年9月1日	社団法人 日本溶接協会編, 溶接ニュース出版局発行	B5冊子1	
2247	「溶接技術 第8巻 第10号」	昭和35年10月1日	社団法人 日本溶接協会編, 溶接ニュース出版局発行	B5冊子1	
2248	「溶接技術 第8巻 第11号」	昭和35年11月1日	社団法人 日本溶接協会編, 溶接ニュース出版局発行	B5冊子1	
2249	「溶接技術 第8巻 第12号」	昭和35年12月1日	社団法人 日本溶接協会編, 溶接ニュース出版局発行	B5冊子1	
2250	「溶接技術 第10巻 第1号」	昭和37年1月1日	社団法人 日本溶接協会編, 溶接ニュース出版局発行	B5冊子1	
2251	「溶接技術 第10巻 第2号」	昭和37年2月1日	社団法人 日本溶接協会編, 溶接ニュース出版局発行	B5冊子1	
2252	「溶接技術 第10巻 第3号」	昭和37年3月1日	社団法人 日本溶接協会編, 溶接ニュース出版局発行	B5冊子1	
2253	「溶接技術 第10巻 第4号」	昭和37年4月1日	社団法人 日本溶接協会編, 産報 発行	B5冊子1	
2254	「溶接技術 第10巻 第5号」	昭和37年5月1日	社団法人 日本溶接協会編, 産報 発行	B5冊子1	
2255	「溶接技術 第10巻 第6号」	昭和37年6月1日	社団法人 日本溶接協会編, 産報 発行	B5冊子1	
2256	「溶接技術 第10巻 第7号」	昭和37年7月1日	社団法人 日本溶接協会編, 産報 発行	B5冊子1	
2257	「溶接技術 第10巻 第8号」	昭和37年8月1日	社団法人 日本溶接協会編, 産報 発行	B5冊子1	
2258	「溶接技術 第10巻 第9号」	昭和37年9月1日	社団法人 日本溶接協会編, 産報 発行	B5冊子1	
2259	「溶接技術 第10巻 第10号」	昭和37年10月1日	社団法人 日本溶接協会編, 産報 発行	B5冊子1	
2260	「溶接技術 第10巻 第11号」	昭和37年11月1日	社団法人 日本溶接協会編, 産報 発行	B5冊子1	
2261	「広島大学工学部研究報告 1-2」	昭和27～28年	広島大学工学部 編・発行	B5冊子1	
2262	「広島大学工学部研究報告 3-4」	昭和29～30年	広島大学工学部 編・発行	B5冊子1	
2263	「広島大学工学部研究報告 13-15」	昭和40～42年	広島大学工学部 編・発行	B5冊子1	
2264	「広島大学工学部研究報告 16-21」	昭和42～47年	広島大学工学部 編・発行	B5冊子1	
2265	「広島大学工学部研究報告 5-6」	昭和31～32年	広島大学工学部 編・発行	B5冊子1	
2266	「広島大学工学部研究報告 7-9」	昭和33～36年	広島大学工学部 編・発行	B5冊子1	
2267	「広島大学工学部研究報告 10-12」	昭和36～39年	広島大学工学部 編・発行	B5冊子1	
2268	「MEMOIRS OF THE FACULTY OF ENGINEERING HIROSHIMA UNIVERSITY Vol.4 No.2」	昭和46年2月	広島大学工学部 編・発行	B5冊子1	
2269	「MEMOIRS OF THE FACULTY OF ENGINEERING HIROSHIMA UNIVERSITY Vol.4 No.1」	昭和45年1月	広島大学工学部 編・発行	B5冊子1	

番号	件名	作成年月日	作成(発信→受信)	形態	備考
2270	「MEMOIRS OF THE FACULTY OF ENGINEERING HIROSHIMA UNIVERSITY Vol.1 No.1」	昭和32年12月20日	広島大学工学部 編・発行	B5冊子1	
2271	「MEMOIRS OF THE FACULTY OF ENGINEERING HIROSHIMA UNIVERSITY Vol.1 No.2」	昭和33年12月20日	広島大学工学部 編・発行	B5冊子1	
2272	「MEMOIRS OF THE FACULTY OF ENGINEERING HIROSHIMA UNIVERSITY Vol.1 No.3」	昭和35年2月24日	広島大学工学部 編・発行	B5冊子1	
2273	「MEMOIRS OF THE FACULTY OF ENGINEERING HIROSHIMA UNIVERSITY Vol.1 No.4」	昭和36年2月24日	広島大学工学部 編・発行	B5冊子1	
2274	「MEMOIRS OF THE FACULTY OF ENGINEERING HIROSHIMA UNIVERSITY Vol.1 No.5」	昭和37年5月20日	広島大学工学部 編・発行	B5冊子1	
2275	「MEMOIRS OF THE FACULTY OF ENGINEERING HIROSHIMA UNIVERSITY Vol.2 No.1」	昭和38年5月20日	広島大学工学部 編・発行	B5冊子1	
2276	「MEMOIRS OF THE FACULTY OF ENGINEERING HIROSHIMA UNIVERSITY Vol.2 No.2」	昭和39年8月10日	広島大学工学部 編・発行	B5冊子1	
2277	「MEMOIRS OF THE FACULTY OF ENGINEERING HIROSHIMA UNIVERSITY Vol.2 No.3」	昭和40年10月25日	広島大学工学部 編・発行	B5冊子1	
2278	「MEMOIRS OF THE FACULTY OF ENGINEERING HIROSHIMA UNIVERSITY Vol.3 No.1」	昭和42年8月10日	広島大学工学部 編・発行	B5冊子1	
2279	「MEMOIRS OF THE FACULTY OF ENGINEERING HIROSHIMA UNIVERSITY Vol.3 No.2」	昭和43年7月	広島大学工学部 編・発行	B5冊子1	
2280	「MEMOIRS OF THE FACULTY OF ENGINEERING HIROSHIMA UNIVERSITY Vol.3 No.3」	昭和44年3月	広島大学工学部 編・発行	B5冊子1	
2281	「溶接学会誌 第28巻 第1号」	昭和34年1月25日	社団法人 溶接学会 発行	B5冊子1	
2282	「溶接学会誌 第28巻 第2号」	昭和34年2月25日	社団法人 溶接学会 発行	B5冊子1	
2283	「溶接学会誌 第28巻 第3号」	昭和34年3月25日	社団法人 溶接学会 発行	B5冊子1	
2284	「溶接学会誌 第28巻 第4号」	昭和34年4月25日	社団法人 溶接学会 発行	B5冊子1	
2285	「溶接学会誌 第28巻 第5号」	昭和34年5月25日	社団法人 溶接学会 発行	B5冊子1	
2286	「溶接学会誌 第28巻 第6号」	昭和34年6月25日	社団法人 溶接学会 発行	B5冊子1	
2287	「溶接学会誌 第28巻 第7号」	昭和34年7月25日	社団法人 溶接学会 発行	B5冊子1	
2288	「溶接学会誌 第28巻 第8号」	昭和34年8月25日	社団法人 溶接学会 発行	B5冊子1	
2289	「溶接学会誌 第28巻 第9号」	昭和34年9月25日	社団法人 溶接学会 発行	B5冊子1	
2290	「溶接学会誌 第28巻 第10号」	昭和34年10月25日	社団法人 溶接学会 発行	B5冊子1	表紙破損
2291	「溶接学会誌 第28巻 第11号」	昭和34年11月25日	社団法人 溶接学会 発行	B5冊子1	
2292	「溶接学会誌 第28巻 第12号」	昭和34年12月25日	社団法人 溶接学会 発行	B5冊子1	
2293	「溶接学会誌 第29巻 第1号」	昭和35年1月25日	社団法人 溶接学会 発行	B5冊子1	表紙破損
2294	「溶接学会誌 第29巻 第2号」	昭和35年2月25日	社団法人 溶接学会 発行	B5冊子1	
2295	「溶接学会誌 第29巻 第3号」	昭和35年3月25日	社団法人 溶接学会 発行	B5冊子1	
2296	「溶接学会誌 第29巻 第4号」	昭和35年4月25日	社団法人 溶接学会 発行	B5冊子1	
2297	「溶接学会誌 第29巻 第5号」	昭和35年5月25日	社団法人 溶接学会 発行	B5冊子1	
2298	「溶接学会誌 第29巻 第6号」	昭和35年6月25日	社団法人 溶接学会 発行	B5冊子1	
2299	「溶接学会誌 第29巻 第7号」	昭和35年7月25日	社団法人 溶接学会 発行	B5冊子1	
2300	「溶接学会誌 第29巻 第8号」	昭和35年8月25日	社団法人 溶接学会 発行	B5冊子1	
2301	「溶接学会誌 第29巻 第9号」	昭和35年9月25日	社団法人 溶接学会 発行	B5冊子1	

### 3. 書籍等

番号	件名	作成年月日	作成(発信→受信)	形態	備考
2302	「溶接学会誌 第29巻 第10号」	昭和35年10月25日	社団法人 溶接学会 発行	B5冊子1	
2303	「溶接学会誌 第29巻 第11号」	昭和35年11月25日	社団法人 溶接学会 発行	B5冊子1	
2304	「溶接学会誌 第29巻 第12号」	昭和35年12月25日	社団法人 溶接学会 発行	B5冊子1	
2305	「呉造船技報 12-15」	昭和40～42年	呉造船所 編・発行	A4冊子1	
2306	「石川島播磨技報 別冊第4号(船舶特集号)」	昭和45年10月1日	石川島播磨重工業 発行	A4冊子1	
2307	「三菱造船 1 1953」	昭和28年5月25日	三菱造船 発行	A4冊子1	
2308	「三菱造船 2 1953」	昭和28年7月5日	三菱造船 発行	A4冊子1	
2309	「三菱造船 3 1953」	昭和28年10月15日	三菱造船 発行	A4冊子1	
2310	「三菱造船 4 1953」	昭和28年12月5日	三菱造船 発行	A4冊子1	
2311	「三菱造船 2 VOL.2 NO.6」	昭和29年3月20日	三菱造船 発行	A4冊子1	
2312	「三菱造船 3 VOL.2 NO.7」	昭和29年5月15日	三菱造船 発行	A4冊子1	
2313	「三菱造船 4 VOL.2 NO.8」	昭和29年7月20日	三菱造船 発行	A4冊子1	
2314	「川崎技報 第3号」	昭和30年1月31日	川崎重工業株式会社 編・発行	A4冊子1	
2315	「浦賀技報 第1号」	昭和32年3月26日	浦賀船梁株式会社浦賀造船所 編・発行	A4冊子1	
2316	「浦賀技報 第2号」	昭和32年9月2日	浦賀船梁株式会社浦賀造船所 編・発行	A4冊子1	
2317	「浦賀技報 第3号」	昭和33年3月16日	浦賀船梁株式会社浦賀造船所 編・発行	A4冊子1	
2318	「浦賀技報 第4号」	昭和34年3月2日	浦賀船梁株式会社浦賀造船所 編・発行	A4冊子1	
2319	「浦賀技報 第7号」	昭和35年5月26日	浦賀船梁株式会社浦賀造船所 編・発行	A4冊子1	
2320	「川崎技報 第1号」	昭和29年7月1日	川崎重工業株式会社 編・発行	A4冊子1	
2321	「川崎技報 第2号」	昭和29年10月31日	川崎重工業株式会社 編・発行	A4冊子1	
2322	「川崎技報 第3号」	昭和30年1月31日	川崎重工業株式会社 編・発行	A4冊子1	
2323	「川崎技報 第4号」	昭和30年4月30日	川崎重工業株式会社 編・発行	A4冊子1	
2324	「川崎技報 第7号」	昭和31年1月31日	川崎重工業株式会社 編・発行	A4冊子1	
2325	「川崎技報 第8号」	昭和31年4月30日	川崎重工業株式会社 編・発行	A4冊子1	
2326	「呉造船技報 第1号」	昭和32年12月20日	株式会社呉造船所 編・発行	A4冊子1	
2327	「呉造船技報 第2号」	昭和33年7月20日	株式会社呉造船所 編・発行	A4冊子1	
2328	「呉造船技報 第3号」	昭和34年1月20日	株式会社呉造船所 編・発行	A4冊子1	
2329	「呉造船技報 第5号」	昭和34年8月20日	株式会社呉造船所 編・発行	A4冊子1	
2330	「呉造船技報 第6号」	昭和35年2月20日	株式会社呉造船所 編・発行	A4冊子1	
2331	「呉造船技報 第7号」	昭和35年7月20日	株式会社呉造船所 編・発行	A4冊子1	
2332	「呉造船技報 第8号」	昭和36年6月30日	株式会社呉造船所 編・発行	A4冊子1	
2333	「呉造船技報 第9号」	昭和37年4月20日	株式会社呉造船所 編・発行	A4冊子1	
2334	「川崎技報 第17号」	昭和33年11月30日	川崎重工業株式会社 編・発行	A4冊子1	
2335	「川崎技報 第20号」	昭和34年12月15日	川崎重工業株式会社 編・発行	A4冊子1	
2336	「川崎技報 第9号」	昭和31年7月31日	川崎重工業株式会社 編・発行	A4冊子1	
2337	「川崎技報 第10号」	昭和31年10月31日	川崎重工業株式会社 編・発行	A4冊子1	
2338	「川崎技報 第11号」	昭和32年1月31日	川崎重工業株式会社 編・発行	A4冊子1	
2339	「川崎技報 第12号」	昭和32年4月30日	川崎重工業株式会社 編・発行	A4冊子1	
2340	「川崎技報 第13号」	昭和32年10月31日	川崎重工業株式会社 編・発行	A4冊子1	
2341	「川崎技報 第14号」	昭和33年1月31日	川崎重工業株式会社 編・発行	A4冊子1	

番号	件名	作成年月日	作成(発信→受信)	形態	備考
2342	「川崎技報 第15号」	昭和33年4月30日	川崎重工工業株式会社 編・発行	A4冊子1	
2343	「川崎技報 第16号」	昭和33年7月31日	川崎重工工業株式会社 編・発行	A4冊子1	
2344	「三菱造船 2」	昭和28年7月5日	三菱造船 発行	A4冊子1	
2345	「三菱造船 16 VOL.3」	昭和30年12月26日	三菱造船 発行	A4冊子1	
2346	「三菱造船 18 VOL.4」	昭和31年5月25日	三菱造船 発行	A4冊子1	
2347	「三菱造船 19 VOL.4」	昭和31年8月10日	三菱造船 発行	A4冊子1	
2348	「三菱造船 20 VOL.4」	昭和31年9月30日	三菱造船 発行	A4冊子1	
2349	「溶接学会誌 第39巻 第1号」	昭和45年1月25日	社団法人 溶接学会 発行	A4冊子1	
2350	「溶接学会誌 第39巻 第7号」	昭和45年7月25日	社団法人 溶接学会 発行	A4冊子1	
2351	「溶接学会誌 第39巻 第8号」	昭和45年8月25日	社団法人 溶接学会 発行	A4冊子1	
2352	「溶接学会誌 第39巻 第2号」	昭和45年2月25日	社団法人 溶接学会 発行	A4冊子1	
2353	「溶接学会誌 第39巻 第3号」	昭和45年3月25日	社団法人 溶接学会 発行	A4冊子1	
2354	「溶接学会誌 第40巻 第10号」	昭和46年10月25日	社団法人 溶接学会 発行	A4冊子1	
2355	「溶接学会誌 第40巻 第11号」	昭和46年11月25日	社団法人 溶接学会 発行	A4冊子1	
2356	「溶接学会誌 第40巻 第12号」	昭和46年12月25日	社団法人 溶接学会 発行	A4冊子1	
2357	「溶接学会誌 第39巻 第4号」	昭和45年4月25日	社団法人 溶接学会 発行	A4冊子1	
2358	「溶接学会誌 第39巻 第5号」	昭和45年5月25日	社団法人 溶接学会 発行	A4冊子1	
2359	「溶接学会誌 第39巻 第6号」	昭和45年6月25日	社団法人 溶接学会 発行	A4冊子1	
2360	「溶接学会誌 第39巻 第9号」	昭和45年9月25日	社団法人 溶接学会 発行	A4冊子1	
2361	「溶接学会誌 第39巻 第10号」	昭和45年10月25日	社団法人 溶接学会 発行	A4冊子1	
2362	「溶接学会誌 第39巻 第11号」	昭和45年11月25日	社団法人 溶接学会 発行	A4冊子1	
2363	「溶接学会誌 第39巻 第12号」	昭和45年12月25日	社団法人 溶接学会 発行	A4冊子1	
2364	「広島工業会誌 第60号」	昭和37年5月10日	広島工業会 発行	B5冊子1,活版	
2365	「広島工業会誌 第61号」	昭和37年10月25日	広島工業会 発行	B5冊子1,活版	
2366	「広島工業会誌 第63号」	昭和38年11月30日	広島工業会 発行	B5冊子1,活版	
2367	「広島工業会誌 第64号」	昭和39年6月20日	広島工業会 発行	B5冊子1,活版	
2368	「広島工業会誌 第65号」	昭和39年12月	広島工業会 発行	B5冊子1,活版	
2369	「広島工業会誌 第66号」	昭和40年7月30日	広島工業会 発行	B5冊子1,活版	
2370	「広島工業会誌 第67号」	昭和40年12月6日	広島工業会 発行	B5冊子1,活版	
2371	「長崎造船短期大学研究報告 第2号」	昭和37年5月1日	長崎造船短期大学 発行	B5冊子1,活版	
2372	「長崎造船短期大学研究報告 第3号」	昭和38年5月1日	長崎造船短期大学 発行	B5冊子1,活版	
2373	「会誌 第1号」	昭和38年	全国造船教育研究会編・発行	B5冊子1,孔版	
2374	「関東工業教育協会資料第24号」	昭和39年7月30日	関東工業教育協会編・発行	B5冊子1,活版	
2375	「WERKZEITSCHRIFT 43」			A4冊子1,活版	
2376	「WERKZEITSCHRIFT 44」			A4冊子1,活版	
2377	「Schlatter Bulletin 2 SCHLATTER」			A4冊子1,活版	
2378	「Schlatter Bulletin 3 SCHLATTER」			A4冊子1,活版	
2379	「Schlatter Bulletin 4 SCHLATTER」			A4冊子1,活版	
2380	「Schlatter Bulletin 5 SCHLATTER」			A4冊子1,活版	
2381	「Schlatter Bulletin 5 E SCHLATTER」			A4冊子1,活版	番号2380と内容一部重複
2382	「WERKZEITSCHRIFT 33」	昭和34年9月		A4冊子1,活版	
2383	「WERKZEITSCHRIFT 34」	昭和34年12月		A4冊子1,活版	
2384	「WERKZEITSCHRIFT 35」			A4冊子1,活版	
2385	「WERKZEITSCHRIFT 36」			A4冊子1,活版	
2386	「WERKZEITSCHRIFT 37」			A4冊子1,活版	
2387	「WERKZEITSCHRIFT 38」			A4冊子1,活版	

### 3. 書籍等

番号	件名	作成年月日	作成(発信→受信)	形態	備考
2388	「WERKZEITSCHRIFT 39」			A4冊子1,活版	
2389	「institut dr. förster reutlingen(West Germany)」		カールツァイス株式会社	B5洋紙リーフレット1,活版	ドクター・フェルスター研究所総合カタログ
2390	光学的カムシャフト・テスターなどカタログ		カールツァイス株式会社	B5洋紙1,活版	
2391	「ZEISS 測定用 分析用 顕微鏡 検査用」		カールツァイス株式会社	B5洋紙リーフレット1,活版	カタログ
2392	「顕微鏡関係器機及び附属品」		カールツァイス株式会社	B5洋紙リーフレット1,活版	カタログ
2393	「分析用器械類」		カールツァイス株式会社	B5洋紙リーフレット1,活版	カタログ
2394	「溶接技術 VOL.9 No.1」	昭和36年1月1日	社団法人日本溶接協会編, 溶接ニュース出版局発行	B5冊子1,活版	番号2394~2402は紙綴り一括,「6,7,8欠」と付箋あり,“年頭の辞”新しい年を迎えて,特集<溶接新技術〔I〕>ほか
2395	「溶接技術 VOL.9 No.2」	昭和36年2月1日	社団法人日本溶接協会編, 溶接ニュース出版局発行	B5冊子1,活版	特集<溶接新技術〔II〕>ほか
2396	「溶接技術 VOL.9 No.3」	昭和36年3月1日	社団法人日本溶接協会編, 溶接ニュース出版局発行	B5冊子1,活版	KU-KUAN ダムのステンレス鋼製ライニング・プロテクションの製作についてほか
2397	「溶接技術 VOL.9 No.4」	昭和36年4月1日	社団法人日本溶接協会編, 溶接ニュース出版局発行	B5冊子1,活版	日本最初の溶接アルミニウム合金永久橋金慶橋工事製作についてほか
2398	「溶接技術 VOL.9 No.5」	昭和36年5月1日	社団法人日本溶接協会編, 溶接ニュース出版局発行	B5冊子1,活版	特集/溶接棒ほか
2399	「溶接技術 VOL.9 No.9」	昭和36年9月1日	社団法人日本溶接協会編, 溶接ニュース出版局発行	B5冊子1,活版	シェル石油横浜油槽所スーパータンカーバース用海底送油管敷設工事についてほか
2400	「溶接技術 VOL.9 No.10」	昭和36年10月1日	社団法人日本溶接協会編, 溶接ニュース出版局発行	B5冊子1,活版	サブマージドアーク溶接法による石油貯蓄槽の周溶接ほか
2401	「溶接技術 VOL.9 No.11」	昭和36年11月1日	社団法人日本溶接協会編, 溶接ニュース出版局発行	B5冊子1,活版	特集/溶接と腐食ほか
2402	「溶接技術 VOL.9 No.12」	昭和36年12月1日	社団法人日本溶接協会編, 溶接ニュース出版局発行	B5冊子1,活版	最近の金属の接着剤についてほか
2403	「1963年 溶接文献リスト」	昭和39年7月	溶接学会編集委員会	B5冊子1	
2404	「ダイヘン 溶接ニュース No.12」	昭和40年9月1日	大阪変圧器 発行	A4冊子1	
2405	「海上自衛隊の技術幹部」	昭和39年4月	海上幕僚監部	B5冊子1	
2406	「海上自衛隊」	昭和38年5月	海上幕僚監部	B5冊子1	
2407	「建材ニュース Vol.1 No.1」	昭和37年4月10日	八幡製鉄株式会社市場部 建材サービス班	A4冊子1	ファイル「建材ニュース Vol.1」内にあり
2408	「建材ニュース Vol.1 No.2」	昭和37年5月10日	八幡製鉄株式会社市場部 建材サービス班	A4冊子1	ファイル「建材ニュース Vol.1」内にあり
2409	「建材ニュース Vol.1 No.3」	昭和37年7月14日	八幡製鉄株式会社市場部 建材サービス班	A4冊子1	ファイル「建材ニュース Vol.1」内にあり
2410	「建材ニュース Vol.1 No.4」	昭和37年9月1日	八幡製鉄株式会社市場部 建材サービス班	A4冊子1	ファイル「建材ニュース Vol.1」内にあり
2411	「建材ニュース Vol.1 No.5」	昭和37年10月30日	八幡製鉄株式会社市場部 建材サービス班	A4冊子1	ファイル「建材ニュース Vol.1」内にあり
2412	「H形鋼のサイズ増強について」	昭和38年2月	八幡製鉄	A4冊子1	ファイル「建材ニュース Vol.1」内にあり
2413	「建材ニュース Vol.2 No.2」	昭和38年12月2日	八幡製鉄株式会社市場部	A4冊子1	ファイル「建材ニュース Vol.1」内にあり
2414	「建材ニュース Vol.3 No.3」	昭和39年9月19日	八幡製鉄株式会社市場部	A4冊子1	ファイル「建材ニュース Vol.1」内にあり
2415	「建材ニュース Vol.3 No.4」	昭和39年11月10日	八幡製鉄株式会社市場部	A4冊子1	ファイル「建材ニュース Vol.1」内にあり
2416	「建材ニュース Vol.3 No.5」	昭和40年3月12日	八幡製鉄株式会社市場部	A4冊子1	ファイル「建材ニュース Vol.1」内にあり
2417	「鉄と生活のはなし」		社団法人 鋼材倶楽部	B5冊子1	
2418	「H形鋼ニュース No.1」	昭和35年11月15日	八幡製鉄株式会社市場部 H形鋼需要開発班	B5冊子1	ファイル「H形鋼ニュース」内にあり
2419	「H形鋼ニュース No.2」	昭和35年12月15日	八幡製鉄株式会社市場部 H形鋼需要開発班	B5冊子1	ファイル「H形鋼ニュース」内にあり
2420	「H形鋼ニュース No.3」	昭和36年1月15日	八幡製鉄株式会社市場部 H形鋼需要開発班	B5冊子1	ファイル「H形鋼ニュース」内にあり
2421	「H形鋼ニュース No.4」	昭和36年2月15日	八幡製鉄株式会社市場部 H形鋼需要開発班	B5冊子1	ファイル「H形鋼ニュース」内にあり
2422	「H形鋼ニュース No.5」	昭和36年3月15日	八幡製鉄株式会社市場部 H形鋼需要開発班	B5冊子1	ファイル「H形鋼ニュース」内にあり
2423	「H形鋼ニュース No.6」	昭和36年4月15日	八幡製鉄株式会社市場部 H形鋼需要開発班	B5冊子1	ファイル「H形鋼ニュース」内にあり

番号	件名	作成年月日	作成(発信→受信)	形態	備考
2424	「H形鋼ニュース No.7」	昭和36年5月15日	八幡製鉄株式会社市場部 H形鋼需要開発班	B5冊子1	ファイル「H形鋼ニュース」内にあり
2425	「H形鋼ニュース No.8」	昭和36年8月15日	八幡製鉄株式会社市場部 H形鋼需要開発班	B5冊子1	ファイル「H形鋼ニュース」内にあり
2426	「H形鋼ニュース No.9」	昭和36年10月10日	八幡製鉄株式会社市場部 H形鋼需要開発班	B5冊子1	ファイル「H形鋼ニュース」内にあり
2427	「H形鋼設計施工資料集 隧道支保」	昭和36年6月	八幡製鉄	A4変冊子1	
2428	「H形鋼設計施工資料集 仮設(山止め材)」	昭和36年6月	八幡製鉄	A4変冊子1	
2429	「H形鋼設計施工資料集 Hパイル」	昭和36年5月	八幡製鉄	A4変冊子1	
2430	「鋼構造設計・施工の総合誌 総合鉄骨建築 4月号」	昭和39年4月1日	鉄骨建築社 発行	B5冊子1	
2431	「建材ニュース Vol.4 No.2」	昭和40年6月21日	八幡製鉄	B5冊子1	ファイル「建材ニュース Vol.2」内にあり
2432	「建材ニュース Vol.4 No.3」	昭和40年9月20日	八幡製鉄	B5冊子1	ファイル「建材ニュース Vol.2」内にあり
2433	「建材ニュース Vol.4 No.4」	昭和40年12月1日	八幡製鉄	B5冊子1	ファイル「建材ニュース Vol.2」内にあり
2434	「建材ニュース Vol.2 No.1」	昭和38年9月16日	八幡製鉄株式会社市場部	B5冊子1	ファイル「建材ニュース Vol.2」内にあり
2435	「建材ニュース Vol.2 No.3」	昭和39年1月10日	八幡製鉄株式会社市場部	B5冊子1	ファイル「建材ニュース Vol.2」内にあり
2436	「建材ニュース Vol.2 No.4」	昭和39年2月25日	八幡製鉄株式会社市場部	B5冊子1	ファイル「建材ニュース Vol.2」内にあり
2437	「建材ニュース Vol.3 No.1」	昭和39年4月15日	八幡製鉄株式会社市場部	B5冊子1	ファイル「建材ニュース Vol.2」内にあり
2438	「建材ニュース Vol.3 No.2」	昭和39年7月10日	八幡製鉄株式会社市場部	B5冊子1	ファイル「建材ニュース Vol.2」内にあり
2439	「大慶油田」			21.4×18.4cm冊子1,活版	パンフレット
2440	「事業概要」	昭和36年	雇用促進事業団 広島総合職業訓練所	B5冊子1,活版	
2441	「日本における産学協同の実態調査」		東洋大学工学部長工学博士 大越諄	B5冊子1,孔版	
2442	「創造性教育の具体策(参考資料)」		東洋大学社会学研究所研究員 加藤八千代	B5冊子1,孔版	『科学技術計画局資料調査』22号収録資料
2443	「Nikon 光学器械」		猪原商会	B5ファイル1,活版	日本光学工業株式会社,オリオン光学株式会社の光学器械パンフレットのファイル
2444	「経歴書」		株式会社 三保造船所	B5冊子1,孔版	パンフレット
2445	「営業案内」		株式会社 三保造船所	A4変冊子1,孔版	パンフレット
2446	「曳船 TUG BOATS」		下田船渠株式会社	A4冊子1,活版	パンフレット
2447	「営業案内 CHOOSE OUR DOCKYARD」		下田船渠株式会社	A4冊子1,活版	パンフレット
2448	「MIHO SHIP YARD CO.,LTD」		株式会社三保造船所	A4変冊子1,活版	造船目録のパンフレット
2449	「長崎造船所の概況」		三菱造船株式会社	B5冊子1,活版	パンフレット
2450	「会社概要」		佐世保重工株式会社	A4冊子1,活版	パンフレット,造船所地図,見学スケジュール挟込
2451	「L.P.G. TEST PLANT」		三菱造船株式会社	A4冊子1,活版	パンフレット
2452	「当社の概況」		三菱造船株式会社	A4冊子1,活版	パンフレット
2453	「低温用鋼板 YND」	昭和37年5月	八幡製鉄株式会社	A4冊子1,活版	パンフレット
2454	「L.P.G. TANKER」		三菱造船株式会社	A4冊子1,活版	パンフレット
2455	「HIROSHIMA SHIPYARD and ENGINE WORKS」		三菱造船株式会社広島造船所	A4冊子1,活版	パンフレット
2456	「つばきダイジェスト」		椿本チエイン製作所	A4冊子1,活版	パンフレット
2457	「三菱配電機器 モートル 制御機器 仕様一覧表」		三菱電機株式会社	A4冊子1,活版	パンフレット
2458	「'63 自衛隊の現況」	昭和38年	防衛庁長官官房広報課	A4冊子1,活版	パンフレット
2459	「空のまもり 航空自衛隊」	昭和37年	航空幕僚監部	A4冊子1,活版	パンフレット
2460	「海上自衛隊」	昭和38年5月	海上幕僚監部	B5冊子1,活版	パンフレット
2461	「ITAMI」	昭和36年10月	伊丹市	A5冊子1,活版	パンフレット
2462	「陸上自衛隊 幹部候補生学校」	昭和38年	陸上自衛隊幹部候補生学校	B5冊子1,活版	パンフレット
2463	「陸上自衛隊 中部方面隊」	昭和38年	中部方面総監部	19.5×21.2cm冊子1,活版	パンフレット
2464	「幹部候補生学校」		航空自衛隊	B5冊子1,活版	パンフレット
2465	「日機装 NIKKISO PUMPS & INSTRUMENTS AUTOMATIC CONTROL SYSTEMS」		日本機械計装株式会社	A4冊子1,活版	カタログ
2466	「日機装 会社のご案内」		日本機械計装株式会社	A4冊子1,活版	カタログ
2467	「NIKKISO PUMPS & INSTRUMENTS AUTOMATIC CONTROL SYSTEMS」		日本機械計装株式会社	A4冊子1,活版	カタログ
2468	「名古屋造船 NAGOYA SHIPBUILDING」		名古屋造船株式会社	A4冊子1,活版	パンフレット

### 3. 書籍等

番号	件名	作成年月日	作成(発信→受信)	形態	備考
2469	「OSAKA DENKI COMPANY LTD. STANDARD CATALOG」		大阪電気株式会社	A4フラットファイル1	
2470	「社団法人 日本溶接協会会員名簿 昭和38年3月1日現在」	昭和38年1月	社団法人日本溶接協会編, 株式会社産報発行	B5冊子1,活版	贈呈状挟込
2471	「鉄構」		株式会社名村造船所	A4冊子1,活版	パンフレット
2472	「USAC3010」		株式会社内田洋行	A5洋紙11,活版	パンフレット
2473	「CATALOGUE」		NAMURA SHIPYARD CO., LTD	A4冊子1,活版	
2474	「ADVANCED DRYDOCKING SYSTEMS」		Pearlson Engineering Company Inc.	A4冊子1,青焼	パンフレット,図面あり
2475	「交流溶接機用Uni-Arcアークトーチ」		大同興業株式会社	A4洋紙1,孔版	ピラ
2476	「SUMIRODE」		住金溶接棒株式会社	A4冊子1,活版	パンフレット
2477	「エレクトロニクスとNEC」		日本電気株式会社	13.4×27.5cm洋紙リーフレット1,活版	パンフレット
2478	「NEC オートメーション機器」		日本電気株式会社	A4冊子1,活版	カタログ
2479	「NEC NEAC-T100 トランジスタ式アナログ計算機」		日本電気株式会社	A4冊子1,活版	カタログ
2480	「主要製造品目」		富士電波工業株式会社	A4洋紙リーフレット1,活版	カタログ
2481	「低周波誘導電気炉 無鉄芯坩堝型 金属の加熱・溶解用」		富士電波工業株式会社	A4冊子1,活版	カタログ
2482	「安来工場案内」		日立金属工業株式会社	A4冊子1,活版	パンフレット
2483	「Welding News 溶接機ニュース No.15」	昭和37年6月15日	松下電器産業株式会社, 溶接機事業部	B5洋紙1,活版	
2484	「工場概況」	昭和35年	株式会社中山製鋼所	B5洋紙リーフレット1,活版	
2485	「会社概要」		株式会社中山製鋼所	B5冊子1,活版	
2486	「パノラミック社製計測器」		松下電器貿易株式会社	A4冊子1,活版	カタログ
2487	「Brüel & Kjøer Copenhagen MECHANICAL MEASURING INSTRUMENTS」		松下電器貿易株式会社	A5冊子1,活版	カタログ
2488	VOLTMETERSほかカタログ		Boonton ELECTRONICS Corp.	A4変洋紙1,活版	
2489	「広島製作所 工場案内 JAPAN STEEL WORKS, HIROSHIMA PLANT.」		日本製鋼所	A4冊子1,活版	
2490	「ナショナルー完全密閉型ニッケル・カドミウムーアルカリ蓄電池 説明書」		松下電器産業株式会社蓄電池事業部	B5冊子1,活版	
2491	「ナショナル キュービクル式直流電源装置」		松下電器産業株式会社	A4リーフレット1,活版	カタログ
2492	「ナショナル整流器(一般蓄電池・PBX用)」		松下電器産業株式会社	A4冊子1,活版	カタログ
2493	「ナショナル自動停電灯装置」		松下電器	B5洋紙1,活版	ピラ
2494	「ナショナル自動停電灯装置」		松下電器	B5洋紙1,活版	ピラ
2495	「ナショナルー焼結式ニッケル・カドミウムーアルカリ蓄電池 トランジスタ テレビ・測定機器・通信機器用説明書」		松下電器産業株式会社蓄電池事業部	B5冊子1,活版	
2496	シンクロリフトカタログ		丸紅飯田株式会社東京支社	A4フラットファイル1,青焼,活版	昭和37年2月26日付広島大学工学部浜本教授宛丸紅飯田株式会社東京支社機械第一部船舶課書簡(シンクロリフトカタログ送付及び質問事項への回答)あり
2497	「A panorama of MATSUSHITA ELECTRIC」		MATSUSHITA ELECTRIC INDUSTRIAL CO., LTD.	21×35.9cm冊子1,活版	パンフレット,工場写真のポストカード挟込
2498	「日本炭酸株式会社」		日本炭酸株式会社	A4冊子1,活版	29.1×30.1cmBUREAU VERITAS封筒あり
2499	「中国新聞」	昭和20年2月16日	中国新聞社	ブランケット版新聞1,活版	
2500	「長崎日報」	昭和18年10月14日	長崎日報社	ブランケット版新聞1,活版	
2501	「朝日新聞」	昭和20年2月15日	朝日新聞西部本社	ブランケット版新聞1,活版	一部切抜あり
2502	「大阪 毎日新聞」	大正12年9月23日	大阪毎日新聞社	ブランケット版新聞1,活版	

## 4. 物 品



## 4. 物 品

番号	件 名	作成年月日	作成(発信→受信)	形 態	備 考
2503	三角定規			26.2×45.4cm木制定規1	大学のマーク入,「浜本」とあり
2504	三角定規			21×21cmプラスチック制定規1	
2505	雲型定規			最長16.7cmプラスチック制定規1	
2506	雲型定規			最長21.4cmプラスチック制定規1	
2507	「タケダ高級製図用三角定規」			21.2×21.2cmプラスチック制定規1,30×17.3cmプラスチック制定規1,ビニルケース入	ビニルケース入
2508	三角スケール			3×5cm竹製三角スケール1,3cm×31.9cm竹製三角スケール1,3×39.3cm箱入	
2509	「TUTUI T.S.K SOKKI」			2×5cm竹製三角スケール1,2×32cm,竹製三角スケール1,3.1×39.1cm箱入	三角スケールセット
2510	かご			16.9×24.3cm編みかご1,2×20cm木製三角スケール1	番号2503～2509かごで一括
2511	雲型定規			最長20.6cm木制定規1	
2512	雲型定規			最長21.2cm木制定規1	破損あり,「中畠」の印あり
2513	雲型定規			最長17.7cm木制定規1	
2514	雲型定規			最長20.2cm木制定規1	「中畠」の印あり
2515	雲型定規			最長16.7cm木制定規1	
2516	雲型定規			最長20.2cm木制定規1	「中畠」の印あり
2517	雲型定規			最長8.6cm木制定規1	破損カ
2518	方位磁針			直径4.5cm方位磁針1	蓋破損あり
2519	分度器			8×15cmプラスチック製分度器1	
2520	円形分度器			直径12.1cmプラスチック製分度器1	
2521	雲型定規			最長10.2cm木制定規1	「造船科8」とあり
2522	雲型定規			最長17.6cm木制定規1	破損あり
2523	三角定規			24.1×13.8cmプラスチック制定規1	
2524	三角定規			17×17cmプラスチック制定規1	
2525	ディバイダ			13.7×1cm金属製ディバイダ1	箱,封筒あり
2526	三角定規			10.6×10.6cmプラスチック制定規1	
2527	テンプレート			11.1×27cmプラスチック製テンプレート1	破損あり
2528	テンプレート			6×9.3cmプラスチック製テンプレート1	破損あり
2529	ルーペ			6.3×2.1×1.6cmルーペ 1,4.5×2.6×2.7cm皮ケース入	
2530	ルーペ			3.7×9.4cmルーペ1	
2531	製図用筆記具			12.3×1cm器具1	
2532	製図用筆記具			12.3×1cm器具1	
2533	雲型定規			最長36.3cm木制定規1	
2534	雲型定規			最長28.5cm木制定規1	
2535	木制定規			3.2×31.5cm木制定規1	「浜本」とあり
2536	計算尺			2.9×15cm尺1,16×4.5cm皮ケース入	
2537	計算尺			3.2×28.5cm尺1,4×28.8cm紙ケース入	
2538	計算尺			3.3×28.5cm尺1,4×28.8cm紙ケース入	
2539	「HARD ARKANSAS OIL STONE」			2.7×7.5×0.7cm油砥石 1,7.4×10×2.6cm金属ケース入	
2540	「溶接部X線写真」			11.9×16.4cmガラス板6枚,13.1×18×2.8cm箱入	「現れる欠陥と強度との関連性(第1報・第2報)写真,ネガ」とあり
2541	「STRAIN GAGE」		株式会社 共和電業	7.2×17.4cm紙ケース8枚,7×19.5×8.4cm箱入	抵抗線歪計 共和ゲージ,未使用

#### 4. 物 品

---

番号	件 名	作成年月日	作成 (発信→受信)	形 態	備 考
2542	「DIAL GAUGE」		株式会社 テクロック	16.5×9×6cm箱4,31.4× 17.3×9.2cm箱入	

# 濱本家文書



# 1. 網元關係



# 1. 網元関係

番号	件名	作成年月日	作成(発信→受信)	形態	備考
1	名前書付	文政5～安政6年		15×44cm和紙1	紙縫り一括
2	土地証書束	弘化2～明治20年		30×45cm和紙88	和紙に包み紐一括
3	「香典帳」	万延2～明治26年		15×45cm和紙1	
4	各種証文束	明治6～27年		29×45cm和紙24	和紙11枚に挟込
5	「借家番号覚帳 更ニ政申候」	明治12年6月		20×15cm和紙,冊子1	
6	「改正反別書拔 辰一月上旬 後控記」	明治13年	浜本善三郎	25×17cm和紙,冊子1	
7	教学資本世話係依頼状	明治15年7月10日	浜本喜三郎	17×25cm和紙1	
8	「質屋取締条例」	明治17年	浜本氏	25×17cm和紙罫紙,冊子1	
9	「品触書」	明治19年10月15日	浜本喜三郎	25×18cm和紙,冊子1	
10	「網上作取立帳 戊一月上旬改」	明治19年		23×14cm和紙,冊子1	
11	品触綴	明治22～24年		20×15cm和紙,冊子1	
12	「貯金登記済通知書」	明治24年4月～25年7月	大阪郵便為替貯金分局(管理支所)→浜本光雄	17×7cm二つ折洋紙6	
13	「貯金登記済通知書」	明治25年4月～32年12月	大阪郵便為替貯金管理支所,赤間関郵便為替貯金管理支所→浜本光雄	17×7cm二つ折洋紙10	
14	「広村地所登記第五巻六巻号 地所売渡証」	明治27年4月5日		30×45cm和紙1	
15	「金口帳」	明治28～33年	浜本光雄	22×14cm和紙1	
16	「掛金受取証」	明治30年10月16日,明治32年11月25日	真宗信徒生命保険株式会社→西本仙太郎,浜本光雄	18×17cm三つ折洋紙2	
17	「明治三十一年一月改正 大日本武徳会設立趣旨及規則」	明治31年1月	大日本武徳会	19×13cm洋紙,冊子1	入会申込書の挟込あり,番号35・121と紙縫り一括
18	「網売捌帳」	明治31年8月	浜本光雄	34×12cm和紙1	
19	「送金控」	明治31年	浜本光雄	16×12cm和紙,冊子1	「浜本光雄 明治31年 送金帳」の付箋貼付
20	買物帳簿	明治31～38年		15×43cm和紙1 15×43cm和紙,冊子1 15×43cm和紙,冊子1 14×41cm和紙,冊子1 15×44cm和紙,冊子1 14×44cm和紙,冊子1 15×42cm和紙,冊子1 15×41cm和紙1 15×44cm和紙,冊子1	綿紐一括,西村トヨ(明治31年・32年),増田トカ(明治31～36年),増田トカ(明治32～34年),泉セイ(明治34～38年),西沖とみ(明治34～35年),根津ヤス(明治31～38年),広木ユカ(明治31～35年),池庄司スエ(明治31～34年),広木ユカ(廣木ユカ)の9件一括
21	「領収書」	明治32年7月15日	日本赤十字社広島支部賀茂郡委員長中尾松太郎→浜本光雄	13×14cm洋紙1	
22	会計簿	明治32～大正6年		28×17cm和紙,冊子1	クリップどめ
23	「金受帳」	明治33年3月	浜本光雄	22×14cm和紙1	
24	親子関係書付	明治33年		14×45cm和紙1	
25	「網類売捌簿」	明治33年	浜本光雄	34×12cm和紙1	
26	「明治三十五年度 家賃取立帖」			22×14cm和紙,冊子1	「明治33年 網売別簿」の付箋貼付
27	「出金簿 甲 小費帖」	明治37年	浜本光雄	23×16cm和紙,冊子1	「甲 小費帖」は背に記載
28	「出金簿 乙 小費帖」	明治37年	浜本光雄	23×16cm和紙,冊子1	「乙 小費帖」は背に記載
29	金銭証文	明治37年		20×52cm和紙19	
30	金銭証文	明治37年		20×45cm和紙22	
31	「漁網売捌帖」	明治37年	浜本光雄	34×12cm和紙1	
32	「記念品贈与抽籤法」	明治38年11月11日	伊勢国山田大神宮御神楽会本部→浜本光雄	28×10cm和紙封書1	世話係贈与品規定,返信用封筒同封
33	特別大々御神楽御祈禱奉奏予告の案内状	明治38年11月13日	伊勢国山田町神宮奉祀会→浜本光雄	15×9cm洋紙封書1	返信用封筒同封
34	「領収証」	明治38年12月2日	日本赤十字社広島支部→浜本光雄	11×15cm洋紙1	虫損紙片
35	「軍人遺族新報 第参拾五号」	明治38年12月15日		26×19cm洋紙,冊子1	
36	「明治三拾九年(中) 仕入帖」	明治39年	浜本光雄	23×16cm和紙,冊子1	
37	「明治三十九年(中分) 金出納簿」	明治39年	浜本光雄	23×16cm和装1	
38	「明治三拾九年度ヨリ 網売捌帖」	明治39～45年	浜本漁網商店	23×16cm和紙1	
39	「明治三十九年十一月起リ 長兄ト緞子製造の覚帳抜」	明治39～大正10年		20×13cm洋紙,冊子1	
40	金銭帳簿	明治30年代		24×40cm和紙洋紙混,冊子1	

1. 網元関係

番号	件名	作成年月日	作成(発信→受信)	形態	備考
41	「貯金事務」	明治40年3月10日	郵便為替貯金管理所→浜本光雄	22×9cm洋紙封書1	「賜金請求書」の提出方法の説明書(11×8cm)1枚同封
42	「漁網御荘売捌帳」	明治40年11月	浜本光雄	32×12cm和紙1	
43	「明治四拾年度ヨリ 金受帖」	明治40～大正3年	浜本光雄	24×16cm和装1	
44	「明治四拾老年(内) 仕入帖」	明治41年	浜本光雄	23×16cm和紙,冊子1	
45	「網積出帖」	明治41～大正8年	浜本光雄	23×16cm和装1	表紙に「大正四年ヨリ船越ニ支店ヲ置き支店送りヲ記入スルコトナル」と筆書あり
46	「(中)出納簿 1」	明治42～43年		19×13cm洋紙,冊子1	学校用ノート
47	「(中)出納簿 2」	明治44年		19×13cm洋紙,冊子1	学校用ノート
48	「内出納簿 I」	明治43～44年		19×13cm洋紙,冊子1	学校用ノート
49	「内出納簿 II」	明治45年		19×13cm洋紙,冊子1	学校用ノート
50	郵便はがき	9月21日	森川広吉→浜本光雄	14×9cm1	
51	郵便はがき	9月21日	和歌山県有田郡広中町麻綿漁網擦糸製造卸商・戸田保太郎→浜本光雄	14×9cm1	
52	郵便はがき	明治42年9月26日	和歌山県有田郡広中町麻綿漁網擦糸製造卸商・戸田保太郎→浜本光雄	14×9cm1	
53	郵便はがき	明治42年9月28日	和歌山県有田郡広中町麻綿漁網擦糸製造卸商・戸田保太郎→浜本光雄	14×9cm1	
54	郵便はがき	明治42年12月7日	麻苧麻糸苧製所(広島県安佐郡古市)・黒田麻行→浜本光雄	14×9cm1	
55	郵便はがき	明治43年6月27日	麻苧麻糸苧製所(広島県安佐郡古市)・黒田麻行→浜本光雄	14×9cm1	
56	「第拾五号 広島県芸陽漁網同業組合ノ証」	明治43年9月10日	広島県芸陽漁網同業組合事務所	24×11cm木製1	銘板,裏面に交付日と「広島県芸陽漁網同業組合事務所」の記載あり
57	「明治四拾参年改 上米帖」	明治43年		22×14cm和紙,冊子1	
58	「貸附ノ集金六ヶ敷分(八子)一覽表」	明治43年		24×33cm罫紙1	
59	「万覚帖」	(明治40年代)	田中ツルヨ	20×15cm洋紙,冊子1	
60	「費用帖」	大正元年	浜本光雄	17×12cm和紙,冊子1	
61	「大正武年度ヨリ 漁網売捌帖」	大正2～4年	浜本支店	33×12cm和紙1	
62	「金銭出納簿」	大正3～4年	浜本光雄	23×16cm和装1	
63	「大正五年度ヨリ 金出納簿」	大正5～9年	浜本光雄	24×16cm和紙1	
64	「大正参年度ヨリ 仕入帖」	大正3～8年	浜本光雄	23×16cm和紙,冊子1	
65	「買入簿」	大正3～14年		19×14cm洋紙,冊子1	
66	「覚」	大正4年		20×14cm洋紙,冊子1	小学校用ノート
67	「大正四年度 本店決算」	大正4年		24×33cm罫紙3	うち2枚は半裁
68	「地所台帖 附道具書画」	大正6年2月	浜本光雄	17×13cm和装1	
69	「大正六年春 財産整理帖」	大正6～11年		24×17cm和装1	
70	「西本整理ニ付彼我及拙宅トノ計算簿」	大正6～15年	浜本光雄	23×16cm和装1	4枚のメモ挟込あり
71	「大正七年度 本店仕入調べ」	大正7～8年		23×16cm和装1	
72	「大正九年 支店エ送品帖」	大正9～昭和4年	浜本漁網店	25×17cm和装1	
73	「附込帖」	大正10年	浜本光雄	23×17cm和紙,冊子1	
74	「支店 大正12年1月27日報」	大正12年		20×24cm洋紙1	
75	「拾武年度ヨリ 仕訳帳」	大正12～15年		19×13cm洋紙,冊子1	
76	「借家借地証」	大正期		25×33cm和紙22	未記入
77	弔文	(昭和)10年2月27日	小林小市→浜本光雄	20×9cm洋紙封書1	
78	弔文	(昭和)10年2月25日	八幡浜市朝日町菊池八郎→浜本光雄	21×9cm和紙封書1	便箋2枚同封
79	弔文	(昭和)10年2月26日	仏さき忠枝→浜本光雄	21×9cm和紙封書1	和紙手紙1枚同封
80	弔文	(昭和)10年3月1日	保田ミサミ→浜本局長	21×8cm和紙封書1	和紙手紙1枚同封
81	弔文	(昭和)10年2月26日	佐次真造→浜本光雄	22×9cm洋紙封書1	便箋3枚同封
82	弔文	(昭和)10年3月1日	西本耕一・西本巴→浜本光雄・浜本博登	22×9cm洋紙封書1	便箋3枚同封
83	弔文	(昭和)10年2月27日	杉本敬三→浜本光雄	22×9cm洋紙封書1	便箋2枚同封
84	往信控	4月4日～8月15日		10×17cm和紙,束1	
85	「天照皇大神宮御神楽御祈禱奉奏加名簿」		伊勢国山田大神宮御神楽会本部	16×9cm洋紙,冊子1	返信用封筒同封
86	「天照皇大神宮特別大々御神楽奉奏願主名簿」		伊勢国山田町神宮奉祀会事務所	24×17cm洋紙,冊子1	
87	摺り物絵			31×15cm和紙1	
88	「見舞控」			12×102cm和紙1	
89	地堂竹の屋買物書付			10×17cm和紙1	

番号	件名	作成年月日	作成(発信→受信)	形態	備考
90	複比例問答集			16×12cm和紙,冊子1	和装本 表紙裏表紙ともに墨塗あり
91	田引渡証文			24×10cm和紙1	
92	「約定証書」			25×17cm和紙,冊子1	



## 2. 教育・文化関係



## 2. 教育・文化関係

番号	件名	作成年月日	作成(発信→受信)	形態	備考
93	「明治十三年略本暦」			16×12cm和紙1	紐綴じ 裏表紙欠 番号93～112紐一括
94	「明治十四年略本暦」		東京大阪頒曆商社	16×12cm和紙1	
95	「明治十五年略本暦」		頒曆商社	16×12cm和紙1	
96	「明治十七年略本暦」		神宮司庁頒曆局	16×12cm和紙1	
97	「明治十九年略本暦」		神宮司庁	16×12cm和紙1	
98	「明治二十年略本暦」		神宮司庁	16×12cm和紙1	
99	「明治廿一年略本暦」		神宮司庁	16×12cm和紙1	
100	「明治廿二年略本暦」	明治21年10月24日	神宮司庁	16×12cm和紙1	
101	「明治廿四年略本暦」	明治23年10月25日	神宮司庁	16×12cm和紙1	
102	明治廿六年略本暦	明治25年11月10日	古森健次	15×12cm和紙1	表紙欠
103	「明治廿七年略本暦」	明治26年11月1日	神宮司庁	16×12cm和紙1	
104	「明治三拾丁酉年農業蒔附使用」	明治29年11月10日	古森健次	15×12cm和紙1	
105	「明治三十一年吉記宝」	明治30年11月10日	藤井正実	15×12cm和紙1	
106	「明治三十二己亥年農業蒔附使用」	明治31年10月11日	古森健次	16×12cm和紙1	
107	「明治三十三年略本暦」	明治32年11月1日	神宮司庁	16×12cm和紙1	
108	明治三十四年略本暦	明治33年11月5日	阿賀佐一高	16×12cm和紙1	表紙欠
109	「明治三十五年当用便覧」	明治34年11月6日	小島和三郎	15×12cm和紙1	
110	「明治三十六年略本暦」	明治35年11月1日	神部署	16×12cm和紙1	
111	「明治三十七年略本暦」	明治36年	神部署	16×12cm和紙1	
112	「明治三十八年略本暦」	明治37年	神部署	16×12cm和紙1	
113	「簡易読本巻六」	明治20年7月26日	高橋熊太郎	B5和紙,冊子1,27頁,和綴じ	
114	「小学簡易読本 高橋熊太郎巻三」	明治21年3月2日	高橋熊太郎	B5和紙,冊子1,22頁,和綴じ	表紙に墨で浜本姓,裏表紙に広村浜本光雄とあり
115	「高等科用帝国読本巻之六」		学海指針社編集	B5和紙,冊子1,60頁,和綴じ	
116	「高等科用帝国読本巻之七」	明治27年3月6日	学海指針社編集	B5和紙,冊子1,65頁,和綴じ	
117	「高等科用帝国読本巻之八」	明治27年3月6日	学海指針社編集	B5和紙,冊子1,66頁,和綴じ	
118	「万国地理初歩巻の上」	明治27年1月10日	学海指針社	B5和紙,冊子1,38頁,和綴じ	裏表紙裏に墨で浜本光雄とあり,1頁に縦14×横9cmの御案内券2枚あり
119	「高等小学新地理巻三」	明治27年5月18日	岡村増太郎	B5和紙,冊子1,138頁,和綴じ	裏表紙に墨で長浜浜本光雄とあり
120	「日本地理初歩巻之下」	明治29年2月22日	学海指針社	B5和紙,冊子1,39頁,和綴じ	裏表紙に墨で浜本光雄とあり
121	「尾道新聞」	明治30年1月1日		10×27cm四つ折洋紙1	帯封未開封
122	版木(松の葉と幹)			12.2×22.2cm,1	松の幹,葉の柄
123	見張員心得			27.5×40cm,木製,1	



# 中村光子文書



# 中村光子文書

番号	件名	作成年月日	作成(発信→受信)	形態	備考
1	「前期ホームルーム財政委員委嘱状」	昭和38年4月30日	広島県呉三津田高等学校長 小路丹一	19.5×13.5cm,1	
2	呉三津田高等学校教材「短期演習精選総合英語問題[基礎編]」	昭和38年10月20日	高校英語研究会編/山口書店	21×15cm冊子1	プリント挟込あり
3	「後期ホームルーム財政委員委嘱状」	昭和38年11月12日	広島県呉三津田高等学校長 小路丹一	19.5×13.5cm,1	
4	「前期ホームルーム財政委員委嘱状」	昭和39年4月28日	広島県呉三津田高等学校長 小路丹一	19.5×13.5cm,1	
5	「前期ホームルーム財政委員委嘱状」	昭和40年4月27日	広島県呉三津田高等学校長 小路丹一	19.5×13.5cm,1	
6	「アイオワの空-Nakからの手紙-」	平成21年1月2日	中村光子・中村英裕・中村光宏・浜本隆夫	A5冊子1	
7	「履歴書」	平成25年9月11日	中村光子	A4,1	
8	「3.文学部講義題目」	(昭和42年)		B5冊子1,10頁	
9	「昭和二十九年度通信表」	昭和29年	広島県呉市立長浜小学校	26×36.6cm,1	非公開
10	「昭和三十年度通信表」	昭和30年	広島県呉市立長浜小学校	26×36.6cm,1	非公開
11	「昭和31年度 通知表」	昭和31年	呉市立長浜小学校	25.7×18cm冊子1,3頁	非公開
12	「昭和32年度 通知表」	昭和32年	呉市立長浜小学校	25.7×18cm冊子1,3頁	非公開
13	「昭和33年度 通知表」	昭和33年	呉市立長浜小学校	26×27cm,1	非公開
14	「昭和34年度 通知表」	昭和34年	呉市立長浜小学校	26×27cm,1	非公開
15	「昭和三十五年度通知表」	昭和35年	呉市立二河中学校	19.5×36cm,1	非公開
16	「昭和三十六年度通知表」	昭和36年	呉市立二河中学校	19.5×36cm,1	非公開
17	「昭和37年度通知表」	昭和37年	呉市立二河中学校	36×19.5cm,1	非公開
18	「昭和38年度 通知表」	昭和38年	広島県呉三津田高等学校	15.3×19.8cm,1	非公開
19	「昭和39年度 通知表」	昭和39年	広島県呉三津田高等学校	15.3×19.8cm,1	非公開
20	「昭和40年度 通知表」	昭和40年	広島県呉三津田高等学校	15.3×19.8cm,1	非公開
21	「昭和42年度 授業時間割表(一年次)(二年次)」	昭和42年	広島大学教養部	39×35.5cm,1	
22	「昭和42年度 指定時間授業時間割表(二年次)」	昭和42年	広島大学教養部	39×35.5cm,1	
23	「成績一覧表」		呉市立二河中学校	26×17.7cm,1	非公開
24	「成績一覧表」		呉市立二河中学校	26×17.7cm,1	非公開
25	呉三津田高等学校ノート「単語帳 I Year 5 Class M. Hamamoto」		浜本光子	21×15cm冊子1	日章B30ノート
26	呉三津田高等学校ノート「単語帳 [三位一体][二段式]一年五組 浜本光子」		浜本光子	21×15cm冊子1	日章B20ノート
27	呉三津田高等学校ノート「英単語帳」		浜本光子	21×15cm冊子1	日章Loop A-B50ノート
28	呉三津田高等学校ノート「All-Round Drill 1 Year 5 Class, No.49. M. Hamamoto」		浜本光子	21×15cm冊子1	日章B40ノート
29	呉三津田高等学校ノート「英文法 ① New World English 1 Year 5 Class, No.49. M. Hamamoto」		浜本光子	21×15cm冊子1	日章B30ノート
30	呉三津田高等学校ノート「英文法 ② New World English 1 Year 5 Class, No.49. Mituko. Hamamoto」		浜本光子	21×15cm冊子1	日章B40ノート
31	呉三津田高等学校ノート「English World Note 1 Year 5 Class, No.49. Mituko. Hamamoto」		浜本光子	21×15cm冊子1	日章B20ノート
32	呉三津田高等学校ノート「English World Note 1 Year 5 Class, No.49. Mituko. Hamamoto」		浜本光子	21×15cm冊子1	日章B40ノート
33	呉三津田高等学校ノート「The New Japan. 1 Year 5 Class, No.49. Mituko. Hamamoto」		浜本光子	21×15cm冊子1	日章B30ノート
34	呉三津田高等学校ノート「The New Japan. 一年5組. 49. 浜本光子」		浜本光子	21×15cm冊子1	東海KB20ノート 表紙の「保健体育」を抹消して「The New Japan」と記載
35	呉三津田高等学校ノート「No. 1 三津田高校 浜本光子」		浜本光子	21×15cm冊子1	極東H B40ノート
36	呉三津田高等学校ノート「No.2 (単語) 三津田高校 浜本光子」		浜本光子	21×15cm冊子1	極東H B40ノート 表紙の「No.2(単語)」は抹消
37	呉三津田高等学校ノート「生物 No.1 一年五組 浜本光子」		浜本光子	21×15cm冊子1	日章B30ノート

番号	件名	作成年月日	作成(発信→受信)	形態	備考
38	呉三津田高等学校ノート「生物 No.2 一年五組49 浜本光子」		浜本光子	21×15cm 冊子1	日章B40ノート
39	呉三津田高等学校ノート「地学 I 一年五組49 浜本光子」		浜本光子	21×15cm 冊子1	日章B30ノート プリントの挟込みあり
40	呉三津田高等学校ノート「地学 一年五組四十九 浜本光子」		浜本光子	21×15cm 冊子1	極東H B40ノート
41	呉三津田高等学校教材「Study Note 英語[単語] 一年五組 浜本光子」		THE PILOT PEN CO.,LTD.	21×15cm 冊子1	
42	呉三津田高等学校ノート「NEW JAPAN 単語 二年二組 五十二番 浜本光子」		浜本光子	21×15cm 冊子1	日章T20ノート
43	呉三津田高等学校ノート「単語帳(正) 二年二組 五十二番 浜本光子」		浜本光子	21×15cm 冊子1	極東H A40ノート
44	呉三津田高等学校ノート「英語(副) 二年二組 五十二番 浜本光子」		浜本光子	21×15cm 冊子1	日章B50ノート
45	呉三津田高等学校ノート「単語帳(正) 二年二組 五十二番 浜本光子」		浜本光子	21×15cm 冊子1	極東H A30
46	呉三津田高等学校ノート「単語帳(副) 二年二組 五十二番 浜本光子」		浜本光子	21×15cm 冊子1	日章T20ノート
47	呉三津田高等学校ノート「English Readers [1] 2 Year 2 Class 52 Mituko Hamamoto」		浜本光子	21×15cm 冊子1	極東H B40ノート
48	呉三津田高等学校ノート「二段式英語問題集[1] 二年二組 浜本光子」		浜本光子	21×15cm 冊子1	極東H B30ノート
49	呉三津田高等学校ノート「チャート式数ⅡB 二年二組 五十二番 浜本光子」		浜本光子	21×15cm 冊子1	日章B50ノート
50	呉三津田高等学校ノート「物理[1] 二年二組 五十二番 浜本光子」		浜本光子	21×15cm 冊子1	極東H B40ノート
51	呉三津田高等学校ノート「物理問題演習 二年二組 浜本光子」		浜本光子	21×15cm 冊子1	日章B30ノート
52	呉三津田高等学校ノート「化学[1] 二年二組 浜本光子」		浜本光子	26×18cm 冊子1	SPARTA NOTE SR 2 50と極東ノート2冊を合冊
53	呉三津田高等学校ノート「倫理 社会 二年二組 浜本光子」		浜本光子	21×15cm 冊子1	日章A30ノート
54	呉三津田高等学校ノート「倫理 社会 二年二組 浜本光子」		浜本光子	21×15cm 冊子1	極東H A40ノート
55	呉三津田高等学校ノート「現代の政治と経済 浜本光子」		浜本光子	21×15cm 冊子1	日章A30ノート
56	呉三津田高等学校ノート「世界史 二年二組 浜本光子」		浜本光子	26×18cm 冊子1	極東 R A50ノート
57	呉三津田高等学校ノート「世界史 浜本光子」		浜本光子	26×18cm 冊子1	日章 S A50ノート
58	呉三津田高等学校ノート「英文・完成演習 三年五組五十二番 浜本光子」		浜本光子	21×15cm 冊子1	日章B30ノート
59	呉三津田高等学校ノート「化学[Ⅲ] 三年五組五十二番 浜本光子」		浜本光子	26×18cm 冊子1	極東 A50ノート
60	呉三津田高等学校ノート「化学[Ⅳ] 三年五組五十二番 浜本光子」		浜本光子	26×18cm 冊子1	極東 A50ノート
61	呉三津田高等学校ノート「物理③ 二年二組 浜本光子」		浜本光子	21×15cm 冊子1	日章B30ノート
62	呉三津田高等学校ノート「日本史 三年五組 浜本光子」		浜本光子	26×18cm 冊子1	極東 A50ノート
63	呉三津田高等学校ファイル「日本史 三年五組五十二番 浜本光子」		浜本光子	27×20cm 冊子1	『標準日本史年表』『標準世界史地図』(吉川弘文館)、プリントの挟込みのみ
64	呉三津田高等学校ノート「世界史 三年五組五十二番 浜本光子」		浜本光子	26×18cm 冊子1	極東 A50ノート
65	呉三津田高等学校ノート「世界史 三年五組 浜本光子」		浜本光子	26×18cm 冊子1	極東 A50ノート
66	広島大学文学部ノート「文学批評史 文学部文教科英文二 浜本光子」		浜本光子	26×19cm 冊子1	極東 New Millionリングノート表紙は「中世文学概説」を抹消して「文学批評史」と記載
67	広島大学文学部ノート「Tennyson In Memoriam English Literature 2 Mituko Hamamoto」		浜本光子	26×18cm 冊子1	極東 B50ノート
68	広島大学文学部ノート「Shakespeare序説 English Literature 3 M. Hamamoto」		浜本光子	26×18cm 冊子1	極東 A50ノート プリント挟込みあり

番号	件名	作成年月日	作成(発信→受信)	形態	備考
69	広島大学文学部ノート「現代英文学序説 文学部文科学科英文 浜本光子」		浜本光子	26×18cm冊子1	極東 R A50ノート プリント挟込あり
70	広島大学文学部ノート「集中講義 1.比較文学と諸問題 1.英語講読 (山大,水田教授) 文学部文科学科英文 浜本光子」		浜本光子	26×18cm冊子1	極東 B40 プリント挟込あり
71	広島大学文学部ノート「特殊講義 文学部文科学科英文3年 浜本光子」		浜本光子	26×18cm冊子1	極東 A50ノート プリント挟込あり
72	広島大学文学部ノート「American Literature: An Anthology English Literature 3 M. Hamamoto」		浜本光子	26×18cm冊子1	極東 R B50ノート プリント挟込あり
73	広島大学文学部ノート「英語教育法 浜本光子」		浜本光子	26×18cm冊子1	日章 S A50ノート プリント挟込あり
74	広島大学文学部ノート「英語教育法(By J.E. Strain) 文学部文科学科英文 浜本光子」		浜本光子	26×18cm冊子1	極東 R A40ノート プリント挟込あり
75	広島大学文学部ファイル「英語教育法 浜本光子」		浜本光子	27×20cm冊子1	表紙の「世界史」を抹消して「英語教育法」と記載



## おわりに

ご寄贈いただいてから随分と時間がたってしまいました。

濱本関係文書については、元副学長の茂里先生からお話をいただいたのが最初でした。すぐにご寄贈いただくようお返事し、その後、五次にわたって濱本博登先生の御事績に関する諸資料をいただきました。茂里先生には本当にお骨折りいただきありがとうございます。この目録ができましたのも茂里先生のお導きがあったればこそと思っております。

特に思い出しますのは、長浜のご自宅に伺った時のことです。屋根裏にも倉庫があり、その屋根裏の梁の見事さ、ご自宅の瀟洒なこと、そして資料との出会い、とてもありがたいことでした。その際、望月昌子様、中村光子様大変良くしていただきました。そしてご自宅の前には瀬戸内海が広がっており、濱本先生が呉を行きかう船をみて造船技術者をめざされたのも理解できました。

寄贈をうけ、また呉市海事歴史科学館より同科学館所蔵の濱本文書を長期貸出としていただき、企画展示にあたり戦艦大和の模型を借りることができたのも、館長戸高一成様の御厚意によるもので本当に感謝しております。

しかし、目録化には大変時間がたってしまいました。平成 23 年から 26 年まで小宮山准教授が整理を担当しましたが、結局、小池が全体の 70%程度の仮目録化も含めて行いました。そのうえで小池が統合再整理し目録化に至りました。この過程で、事務補佐員であった阿武旭君に確認をしてもらい、今日に至りました。阿武君にも感謝します。

最後になりましたが、本関係文書の寄贈・展示・そして目録化に至るまで、ご遺族、濱本隆夫様、望月昌子様、中村光子様にはお世話になりますと共に、目録刊行が遅れ大変失礼いたしました。是非とも文書館に来ていただき、資料ともお会いしていただければ幸いです。そして、この目録が一つの縁となり、再び人のつながりや、思いへとつながればと考えております。

広島大学文書館

小池 聖一

広島大学文書館蔵

濱本博登関係文書目録 補訂版

---

令和3年3月31日 発行

編 集 広島大学文書館

発 行 広島大学文書館

〒739-8524

広島県東広島市鏡山一丁目1-1

TEL 082-424-6050

FAX 082-424-6049

印 刷 株式会社ニシキプリント

〒733-0833

広島市西区商工センター七丁目5-33

---



